

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第198集

周防畑遺跡群

若宮遺跡Ⅳ
道常遺跡
南近津遺跡Ⅲ
宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ

(第一分冊)

2012.10

佐久市
佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第 198 集

周防畑遺跡群

若宮遺跡 IV
道常遺跡
南近津遺跡 III
宮の前遺跡 I・II

(第一分冊)

2012. 10

佐 久 市
佐久市教育委員会



発掘調査区を南より望む。山並みの奥右端が浅間山



発掘調査区垂直写真

奈良三彩



NME II H274



NME II H275



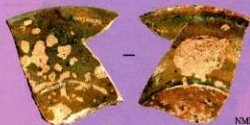
NME II H182

(1:1)

緑釉陶器



NME I H7



NME I H62



NME I H100

(1:2)



NME I H173



NME I H172



NME I H11



NME I H18



NME I H45



NME I H11



瓦

NSDJ Gr (1:2)



帶金具

NME I H56



鈴

NME I H47

(1:1)



鉄斧

NME I H59

(1:2)

例 言

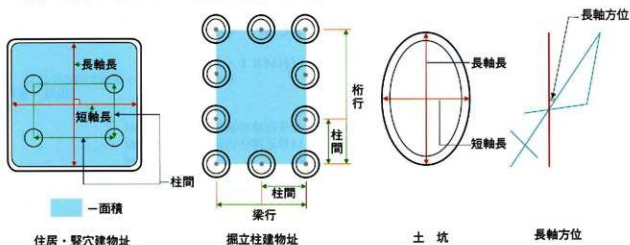
1. 本書は佐久市が行う都市再生整備計画事業の内、都市計画道路近津砂山線・近津住吉線及び近津区画整理地内区画道路と2号公園建設に伴う発掘調査報告書である。
2. 調査原因者 佐久市（建設部・都市計画課）
3. 調査主体者 佐久市教育委員会（社会教育部・文化財課）
4. 調査地点 佐久市長十呂1281-1外
5. 遺跡名および期間と面積
(遺跡略記号)

若宮遺跡Ⅳ (NWAⅣ)	平成21年10月13日～12月22日 (現場)	1,126㎡
道常遺跡 (NSDⅡ)	平成21年9月30日～12月24日 (現場)	1,635㎡
南近津遺跡Ⅲ (NSCⅢ)	平成21年7月28日～10月30日 (現場)	357㎡
宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ (NMEⅠ・Ⅱ)	平成22年5月17日～平成24年3月31日 (現場・整理)	8,968.5㎡
6. 開発名称別調査面積

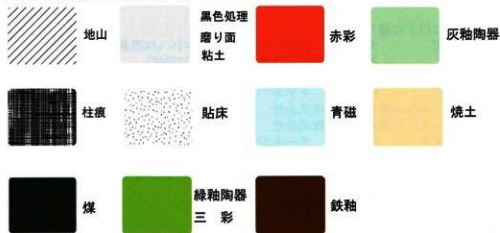
都市計画道路3・4・32号近津砂田線	7,538.0㎡
都市計画道路3・5・14号近津住吉線	1,060.0㎡
区画道路 (S1-90号線)	237.0㎡
区画道路 (S1-90-2号線)	1,073.0㎡
区画道路 (S1-94号線)	278.0㎡
区画道路 (S1-90-3号線)	847.5㎡
2号公園	1,053.0㎡
総面積	12,086.5㎡
7. 発掘調査の担当は以下の通りである。
 若宮遺跡Ⅳ・道常遺跡 林 幸彦
 南近津遺跡Ⅲ 佐々木宗昭
 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ 小林眞寿 富沢一明 佐々木宗昭 森泉かよ子
8. 本書の整理作業は富沢が行い、石材鑑定は羽毛田、住居址の時期決定は聖原福年に従い小林が行った。原稿は文頭か文末に文責を記載した。その他記載のないものは編集・執筆を富沢がおこなった。
 なお、陶磁器類は(財)長野県埋蔵文化財センター 市川隆之氏に、弥生外来系土器については、明治大学教授 石川日出志氏に、周常盤関係については(財)長野県埋蔵文化財センター 廣瀬昭弘・桜井秀雄の両氏にご教示をいただいた。記して感謝申し上げます。
9. 本遺跡の委託業務は以下の通りである。
 基準点測量・設定 有限会社 ワイムシ-エンジニアリング・エイクス測量設計 (平成21年度)
 池山測量設計 有限会社 (平成22年度)
 有限会社 細萱測量 (平成23年度)
 ラジコン写真撮影 株式会社 モテキ (平成22、23年度)
 遺構測量・編集システム貸借 株式会社 共栄測量設計社 (平成22、23年度)
 遺物実測・編集システム貸借 株式会社 共栄測量設計社 (平成23年度)
 種子・樹種・骨鑑定 株式会社 アーキジオ
10. 本書に掲載した出土遺物については佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

凡 例

1. 遺構の略記号は竪穴住居址-H、竪穴建物址-T a、掘立柱建物址-F、土坑-D、溝状遺構-M、ピット-P、周溝墓-OT、土器棺墓-Kである。
2. 挿図の縮尺は遺構 1/80、遺物で土器・石器 1/4、金属製品 1/2 を基本とする。
それ以外のものは挿図中にスケールを記載した。
3. 遺構の海拔標高は遺構ごとに統一し、水系標高をスケール上に「標高」として記した。
4. 土層の色調は1988年版「新版 標準土色帖」に基づいた。
5. 遺物挿図番号、遺物写真番号、遺物観察表番号は一致する。() は推定値、< > は残存値である。
6. 測量座標は世界測地系を用い、調査区グリッドは公共座標の区割りに従い、間隔は8×8mに設定した。
7. 遺構の計測値は下図に示した部分の計測値である。



- ・遺構計測表中の () は推定値、< > は残存値。数値単位はmと㎡であり、その他は表中に記載した。
 - ・遺構深度は数値の範囲を示しているもの以外は平均値である。
 - ・住居址の形態は長軸長と短軸長の差が1割を超えたものを長方形とした。
 - ・住居址の軸は長軸長より計測し、正方形の場合はカマド側を長軸とする。
 - ・遺構計測表の時期については、『聖原』佐久市埋蔵文化財調査報告書第126集に準拠した。
 - ・遺構計測表の出土遺物に記載した遺物は、いずれも小片で実測不能のものである。
8. 挿図中における網掛けは以下を示す。



目次

第一分冊

巻頭カラー図版

例言

凡例

第I章 発掘調査の経緯	
第1節 調査の経緯	1
第2節 調査体制	2
第3節 調査日誌	3
第II章 遺跡の立地と環境	
第1節 自然的環境	4
第2節 歴史的環境	5
第III章 調査の方法	
第1節 調査の方法	8
第2節 基本層序	10
第3節 検出遺構・遺物の概要	10
第IV章 若宮遺跡IV	
第1節 若宮遺跡IVの概要	11
第2節 遺構と遺物	
1. 竪穴住居址と竪穴状遺構	12
2. 掘立柱建物址	26
3. 土坑	28
4. 溝状遺構	29
5. ビットと遺構外出土遺物	30
第V章 道常遺跡	
第1節 道常遺跡の概要	35
第2節 遺構と遺物	
1. 竪穴住居址と竪穴状遺構	37
2. 掘立柱建物址	47
3. 土坑	48
4. 溝状遺構	58
5. ビットと遺構外出土遺物	60
第VI章 南近津遺跡III	
第1節 南近津遺跡IIIの概要	67
第2節 遺構と遺物	
1. 竪穴住居址	68
2. 土坑と遺構外出土遺物	70

第VII章 宮の前遺跡I・II

第1節 宮の前遺跡I・IIの概要	71
第2節 遺構と遺物	
1. 竪穴住居址	73
2. 掘立柱建物址	212
3. 土坑	236
4. 溝状遺構	256
5. 周溝墓と土器棺墓	272
6. ビット	279
7. 遺構外出土遺物	300

第VIII章 科学分析

第1節 種子・樹種鑑定	309
第2節 骨鑑定	313

第IX章 まとめ

	331
--	-----

第二分冊

写真図版目次

航空写真	図版1～2
遺構写真	図版3～115
遺物写真	図版116～202

遺構計測・遺物観察表目次

若宮遺跡IV	P1～P10
道常遺跡	P11～P30
南近津遺跡III	P31～P32
宮の前遺跡I・II	P33～P158

挿図目次

第1図	若宮遺跡Ⅳ・道常遺跡・南近津遺跡Ⅲ・宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ位置図 (1/50000)	1
第2図	佐久市地質図	4
第3図	周辺遺跡位置図	6
第4図	調査遺跡位置図 (1/5000)	8
第5図	グリット配置図	9
第6図	基本層序模式図	10
第7図	若宮遺跡Ⅳ全体図	11
第8図	NWAIⅣ H2号住居址(1)	12
第9図	NWAIⅣ II2号住居址(2)	13
第10図	NWAIⅣ H3号住居址	14
第11図	NWAIⅣ H4号住居址・H5号住居址	15
第12図	NWAIⅣ H6号住居址・H7号住居址	16
第13図	NWAIⅣ H8号住居址・H9号住居址	17
第14図	NWAIⅣ H10号住居址	18
第15図	NWAIⅣ H11号住居址・H15号住居址	19
第16図	NWAIⅣ H12号住居址(1)	20
第17図	NWAIⅣ H12号住居址(2)	21
第18図	NWAIⅣ H13号住居址	22
第19図	NWAIⅣ H14号住居址	23
第20図	NWAIⅣ H17号住居址(1)	24
第21図	NWAIⅣ H17号住居址(2)・H18号住居址・Ta1号竪穴状遺構	25
第22図	NWAIⅣ F1号掘立柱建物址・F3号掘立柱建物址	26
第23図	NWAIⅣ F2号掘立柱建物址	27
第24図	NWAIⅣ D1～3・D12・D13号土坑	28
第25図	NWAIⅣ M1～4号溝状遺構	29
第26図	NWAIⅣ ビット平面図(1)	30
第27図	NWAIⅣ ビット平面図(2)	31
第28図	NWAIⅣ ビット平面図(3)	32
第29図	NWAIⅣ ビット平面図(4)	33
第30図	NWAIⅣ ビット・遺構外出土遺物	34
第31図	渋谷衛門遺跡出土瓦	35
第32図	道常遺跡全体図	36
第33図	NSDJ H1号住居址	37
第34図	NSDJ H12号住居址	38
第35図	NSDJ H3号住居址(1)	39
第36図	NSDJ H3号住居址(2)	40
第37図	NSDJ H4号住居址	41
第38図	NSDJ H5号住居址(1)	42
第39図	NSDJ H5号住居址(2)・H8号住居址	43
第40図	NSDJ H6号住居址・H9号住居址	44
第41図	NSDJ Ta1号竪穴状遺構・Ta2号竪穴状遺構・Ta3号竪穴状遺構	45
第42図	NSDJ Ta5号竪穴状遺構	46
第43図	NSDJ F1号掘立柱建物址	47
第44図	NSDJ D1～4・D7・D8・D10～D13・D15号土坑	48

第45図	NSDJ D6・D14・D16～18号土坑	49
第46図	NSDJ D19～23号土坑	50
第47図	NSDJ D24～34号土坑	51
第48図	NSDJ D35～45号土坑	52
第49図	NSDJ D46～53号土坑	53
第50図	NSDJ D55～59・D62～64号土坑	54
第51図	NSDJ D65～71・D73～75号土坑	55
第52図	NSDJ D1～6号土坑出土遺物	56
第53図	NSDJ D9～75号土坑出土遺物	57
第54図	NSDJ M1号溝状遺構・M5号溝状遺構	58
第55図	NSDJ M3号溝状遺構・M6号溝状遺構・M7号溝状遺構	59
第56図	NSDJピット平面図(1)	60
第57図	NSDJピット平面図(2)	61
第58図	NSDJピット平面図(3)	62
第59図	NSDJピット・遺構外出上遺物(1)	63
第60図	NSDJ遺構外出上遺物(2)	64
第61図	NSDJ遺構外出上遺物(3)	65
第62図	NSDJ遺構外出上遺物(4)	66
第63図	南近津遺跡Ⅲ全体図	67
第64図	NSCⅢ H36号住居址(1)	68
第65図	NSCⅢ H36号住居址(2)	69
第66図	NSCⅢ H41号住居址・D2号土坑・遺構外出上遺物	70
第67図	宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ全体図	72
第68図	NMEⅠ H6号住居址(1)	73
第69図	NMEⅠ H6号住居址(2)	74
第70図	NMEⅠ H6号住居址(3)・H7号住居址	75
第71図	NMEⅠ H8号住居址(1)	76
第72図	NMEⅠ H8号住居址(2)	77・78
第73図	NMEⅠ H8号住居址(3)	79
第74図	NMEⅠ H9号住居址・H10号住居址	80
第75図	NMEⅠ H11号住居址	81
第76図	NMEⅠ H12号住居址・H13号住居址(1)	82
第77図	NMEⅠ H13号住居址(2)	83
第78図	NMEⅠ H14号住居址・H15号住居址(1)	84
第79図	NMEⅠ H15号住居址(2)	85
第80図	NMEⅠ H16号住居址・H18号住居址	86
第81図	NMEⅠ H17号住居址	87
第82図	NMEⅠ H19号住居址	88
第83図	NMEⅠ H20号住居址・H21号住居址(1)	89
第84図	NMEⅠ H21号住居址(2)・H24号住居址	90
第85図	NMEⅠ H22号住居址・H26号住居址	91
第86図	NMEⅠ H25号住居址(1)・H27号住居址	92
第87図	NMEⅠ H25号住居址(2)	93
第88図	NMEⅠ H28号住居址	94
第89図	NMEⅠ H34号住居址(1)	95

第90图	NME I H34号住居址(2)·H35号住居址(1)	96
第91图	NME I H35号住居址(2)	97
第92图	NME I H38号住居址	98
第93图	NME I H39号住居址(1)	99
第94图	NME I H39号住居址(2)·H40号住居址(1)	100
第95图	NME I H40号住居址(2)	101
第96图	NME I H42号住居址·H43号住居址(1)	102
第97图	NME I H43号住居址(2)·H45号住居址	103
第98图	NME I H41号住居址	104
第99图	NME I H44号住居址	105
第100图	NME I H46号住居址·H49号住居址	106
第101图	NME I H47号住居址	107
第102图	NME I H48号住居址(1)	108
第103图	NME I H48号住居址(2)	109
第104图	NME I H50号住居址	110
第105图	NME I H51号住居址·H52号住居址	111
第106图	NME I H53号住居址·H54号住居址(1)	112
第107图	NME I H54号住居址(2)	113
第108图	NME I H55号住居址	114
第109图	NME I H56号住居址(1)	115
第110图	NME I H56号住居址(2)	116
第111图	NME I H57号住居址·H58号住居址	117
第112图	NME I H59号住居址·H60号住居址	118
第113图	NME I H65号住居址	119
第114图	NME I H61号住居址(1)·H63号住居址	120
第115图	NME I H61号住居址(2)	121
第116图	NME I H62号住居址(1)	122
第117图	NME I H62号住居址(2)	123
第118图	NME I H62号住居址(3)·H64号住居址(1)	124
第119图	NME I H64号住居址(2)	125
第120图	NME I H68号住居址(1)	126
第121图	NME I H68号住居址(2)	127
第122图	NME I H67号住居址·H71号住居址	128
第123图	NME I H69号住居址	129
第124图	NME I H70号住居址	130
第125图	NME I H76号住居址·H82号住居址	131
第126图	NME I H77号住居址·H78号住居址	132
第127图	NME I H81号住居址(1)	133
第128图	NME I H81号住居址(2)	134
第129图	NME I H81号住居址(3)·H83号住居址	135
第130图	NME I H84号住居址(1)	136
第131图	NME I H84号住居址(2)·H86号住居址(1)	137
第132图	NME I H86号住居址(2)	138
第133图	NME I H87号住居址	139
第134图	NME I H85号住居址(1)	140

第135图	NME I H85号住居址(2)	141
第136图	NME I H88号住居址(1)	142
第137图	NME I H88号住居址(2)	143
第138图	NME I H100号住居址(1)	144
第139图	NME I H100号住居址(2)	145
第140图	NME I H101号住居址(1)	146
第141图	NME I H101号住居址(2)	147
第142图	NME I H89号住居址·H99号住居址	148
第143图	NME I H106号住居址·H116号住居址	149
第144图	NME I H109号住居址(1)	150
第145图	NME I H109号住居址(2)·H115号住居址	151
第146图	NME I H117号住居址·H121号住居址	152
第147图	NME I H132号住居址·H133号住居址	153
第148图	NME I H124号住居址·H126号住居址(1)	154
第149图	NME I H126号住居址(2)	155
第150图	NME I H123号住居址·H128号住居址·H130号住居址(1)	156
第151图	NME I H130号住居址(2)·H131号住居址	157
第152图	NME I H134号住居址(1)	158
第153图	NME I H134号住居址(2)·H136号住居址	159
第154图	NME I H135号住居址(1)	160
第155图	NME I H135号住居址(2)·H141号住居址	161
第156图	NME I H137号住居址(1)	162
第157图	NME I H137号住居址(2)·H145号住居址	163
第158图	NME I H138号住居址(1)	164
第159图	NME I H138号住居址(2)·H142号住居址	165
第160图	NME I H144号住居址(1)	166
第161图	NME I H144号住居址(2)·H148号住居址	167
第162图	NME I H146号住居址(1)	168
第163图	NME I H146号住居址(2)·H150号住居址	169
第164图	NME I H147号住居址(1)	170
第165图	NME I H154号住居址·H155号住居址	171
第166图	NME I H149号住居址·H153号住居址(1)	172
第167图	NME I H153号住居址(2)	173
第168图	NME I H166号住居址·H168号住居址	174
第169图	NME I H167号住居址	175
第170图	NME I H156号住居址	176
第171图	NME I H157号住居址·H170号住居址	177
第172图	NME I H169号住居址	178
第173图	NME I H173号住居址·H174号住居址·H176号住居址	179
第174图	NME I H177号住居址·H179号住居址	180
第175图	NME II H181号住居址	181
第176图	NME II H182号住居址	182
第177图	NME II H183号住居址·H184号住居址	183
第178图	NME II H185号住居址	184
第179图	NME II H187号住居址	185

第180图	NME II H186号住居址(1)	186
第181图	NME II H186号住居址(2)·H188号住居址	187
第182图	NME II H191号住居址·H195号住居址·H197号住居址	188
第183图	NME II H196号住居址	189
第184图	NME II H204号住居址	190
第185图	NME II H198号住居址·H200号住居址	191
第186图	NME II H201号住居址(1)	192
第187图	NME II H201号住居址(2)·H203号住居址	193
第188图	NME II H199号住居址·H202号住居址	194
第189图	NME II H240号住居址·H244号住居址·H246号住居址	195
第190图	NME II H248号住居址	196
第191图	NME II H247号住居址	197
第192图	NME II H245号住居址(1)	198
第193图	NME II H245号住居址(2)	199
第194图	NME II H255号住居址	200
第195图	NME II H253号住居址·H258号住居址	201
第196图	NME II H260号住居址(1)·H261号住居址	202
第197图	NME II H260号住居址(2)	203
第198图	NME II H365号住居址	204
第199图	NME II H262号住居址	205
第200图	NME II H263号住居址(1)·H264号住居址(1)	206
第201图	NME II H263号住居址(2)·H264号住居址(2)	207
第202图	NME II H266号住居址(1)	208
第203图	NME II H266号住居址(2)·H275号住居址	209
第204图	NME II H274号住居址(1)	210
第205图	NME II H274号住居址(2)·H277号住居址	211
第206图	NME I F8号·12号·13号掘立柱建物址	212
第207图	NME I F9号·20号掘立柱建物址	213
第208图	NME I F17号·24号掘立柱建物址	214
第209图	NME I F25号·26号掘立柱建物址	215
第210图	NME I F28号掘立柱建物址	216
第211图	NME I F27号·29号·33号·34号掘立柱建物址	217
第212图	NME I F30号·31号掘立柱建物址	218
第213图	NME I F32号·35号·38号掘立柱建物址	219
第214图	NME I F36号·131号掘立柱建物址	220
第215图	NME I F37号·39号掘立柱建物址	221
第216图	NME I F40号·42号掘立柱建物址	222
第217图	NME I F43号·45号掘立柱建物址	223
第218图	NME I F44号·47号掘立柱建物址	224
第219图	NME I F48号·52号掘立柱建物址	225
第220图	NME I F49号·51号掘立柱建物址	226
第221图	NME I F50号·53号掘立柱建物址	227
第222图	NME I F54号·57号掘立柱建物址	228
第223图	NME I F55号·58号掘立柱建物址	229
第224图	NME I F56号·59号掘立柱建物址	230

第225图	NME I F60号·F61号掘立柱建物址	231
第226图	NME I F65号·II F81号掘立柱建物址	232
第227图	NME I F67号·F71号·F73号掘立柱建物址	233
第228图	NME I F72号·II F85号掘立柱建物址	234
第229图	NME II F82号·F83号掘立柱建物址	235
第230图	NME I D3~D7号土坑	236
第231图	NME I D8~D14号·D27号·D35号·D39号土坑	237
第232图	NME I D40~D45号·D47~D49号土坑	238
第233图	NME I D50~D59号土坑	239
第234图	NME I D60~D66号·D68号·D72~D74号土坑	240
第235图	NME I D75号·D76号·D81号·D88号·D90号·D94~D98号土坑	241
第236图	NME I D99~D102号·D108~D110号·D112号土坑	242
第237图	NME I D114~D119号·D122~D126号土坑	243
第238图	NME I D127号·D132~D134号·D136~D142号土坑	244
第239图	NME I D143号·D144号·D147号·D151~D155号·IID170号·IID171号土坑	245
第240图	NME II D172~D175号·D192~D195号·D199号土坑	246
第241图	NME I 土坑出土遗物(1)	247
第242图	NME I·II 土坑出土遗物(2)	248
第243图	NME I·II 土坑出土遗物(3)	249
第244图	NME I·II 土坑出土遗物(4)	250
第245图	NME I D71号·D93号(1)土坑	251
第246图	NME I D93号土坑(2)	252
第247图	NME I D69号土坑	253
第248图	NME I D70号土坑(1)	254
第249图	NME I D70号土坑(2)	255
第250图	NME I M1号·M2号·M6号溝状遺構	256
第251图	NME I M3号溝状遺構	257
第252图	NME I M4号·M7号溝状遺構	258
第253图	NME I M5号溝状遺構	259
第254图	NME I M9~M11号·M14号溝状遺構	260
第255图	NME I M15号~M18号溝状遺構	261
第256图	NME I M19号·M25号溝状遺構	262
第257图	NME I M20~M22号溝状遺構	263
第258图	NME I M23号(1)·M32号溝状遺構	264
第259图	NME I M23号溝状遺構(2)	265
第260图	NME I M29号·M35号·M36号·M42号溝状遺構	266
第261图	NME I M30号·M37号·M43号溝状遺構	267
第262图	NME I M30号溝状遺構(2)	268
第263图	NME I M44号·II M51号·II M52·II M55号溝状遺構	269
第264图	NME I M50号·M56号·M63号溝状遺構	270
第265图	NME I M53号·M54号溝状遺構	271
第266图	NME I OT8号·OT9号周溝墓	272
第267图	NME I OT10号~OT12号周溝墓	273
第268图	NME I OT13号·OT14号周溝墓	274
第269图	NME I OT15号·OT16号·OT19号周溝墓	275

第270図	NME I OT17号周溝墓	276
第271図	NME I OT20号・OT21号周溝墓	277
第272図	NME I OT18号周溝墓、K2号木棺墓	278
第273図	NME I・II ビット平面図(1)	279
第274図	NME I・II ビット平面図(2)・(3)	280
第275図	NME I・II ビット平面図(4)・(5)	281
第276図	NME I・II ビット平面図(6)・(7)・(8)	282
第277図	NME I・II ビット平面図(9)	283
第278図	NME I・II ビット平面図(10)	284
第279図	NME I・II ビット平面図(11)	285
第280図	NME I・II ビット平面図(12)	286
第281図	NME I・II ビット平面図(13)	287
第282図	NME I・II ビット平面図(14)	288
第283図	NME I・II ビット平面図(15)	289
第284図	NME I・II ビット平面図(16)	290
第285図	NME I・II ビット平面図(17)	291
第286図	NME I・II ビット平面図(18)・(19)・(23)	292
第287図	NME I・II ビット平面図(20)	293
第288図	NME I・II ビット平面図(21)	294
第289図	NME I・II ビット平面図(22)	295
第290図	NME I・II ビット平面図(24)・(25)	296
第291図	NME I・II ビット平面図(26)・(27)	297
第292図	NME I・II ビット平面図(28)	298
第293図	NME I・II ビット出土遺物	299
第294図	遺構外出土遺物(1)	300
第295図	遺構外出土遺物(2)	301
第296図	遺構外出土遺物(3)	302
第297図	遺構外出土遺物(4)	303
第298図	遺構外出土遺物(5)	304
第299図	遺構外出土遺物(6)	305
第300図	遺構外出土遺物(7)	306
第301図	遺構外出土遺物(8)	307
第302図	遺構外出土遺物(9)	308
第303図	宮の前遺跡弥生遺構配置図	331
第304図	周溝墓形態別規模比較	333

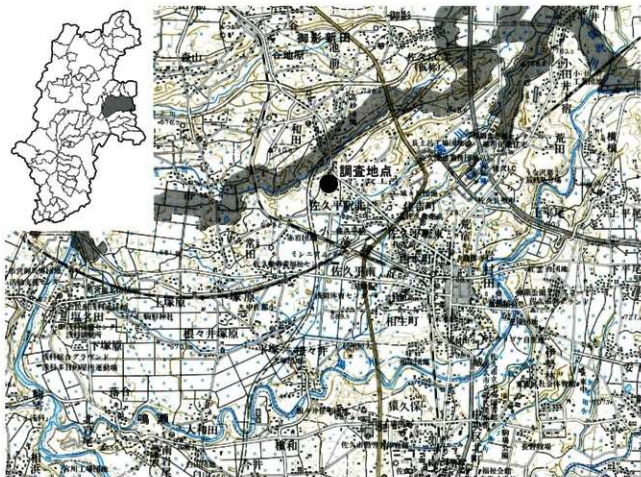
第I章 発掘調査の経緯

第1節 調査の経緯

今回調査を行った4遺跡は遺跡名が異なるもののいずれも周防畑遺跡群の南端部分に位置し、標高700mを僅かに越える台地上に位置する。調査地点はいわゆる「田切地形」が消滅する台地の先端にあたり、地山は浅間第一軽石流の堆積層である。遺跡周辺では田切地形を挟んで西に接する台地上で近年「中部横断自動車道」が建設され、それに伴う埋蔵文化財発掘調査により、国内最大級の弥生時代後期の竪穴住居址や古代律令期の銅印が発見された近津遺跡群がある。過去においても当遺跡周辺では若宮遺跡・大豆田遺跡などが調査されており、遺跡名は異なるが同一遺跡の広がりと捉えることができる。

今回調査された遺跡群周辺は、平成9年に開通した長野新幹線により佐久平駅が開業し駅周辺部の交通渋滞が問題となっていた。この混雑解消をはかる為に、佐久市により当遺跡周辺地域の区画整理および都市計画道路建設の計画がなされた。計画道路は幅員16mで長さ500m、区画内道路は幅員8mで区画整理地面積は約30,000㎡が予定された。

平成20年10月に佐久市都市計画課より文化財保護法94条が佐久市教育委員会に通知され、当該地の試掘調査が行われた。結果、道路予定地内から竪穴住居址等が発見され、周辺部の過去の調査事例より計画地全体に遺跡が広がる事が予想された。試掘調査の結果を受け保護協議がなされ、遺跡の存在する部分については記録保存を目的とする発掘調査を行うこととなった。



第1図 若宮遺跡Ⅳ、道常遺跡、南近津遺跡Ⅲ、宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ位置図 (1/50000)

第2節 調査体制

平成 21 ～ 23 年度

調査主体者 佐久市教育委員会

教 育 長

土屋 盛大

事務局 社会教育部長

下藤 秀康 (I121.II22)

社会教育部次長

伊藤 明弘 (II23)

文化財課長

藤牧 浩 (H23)

森角 吉晴 (H21.H22)

文化財調査係長

古澤 隆 (H23)

文化財調査係

三石 宗一

林 幸彦

並木 節子

須藤 陸司

小林 眞寿

羽毛田卓也

宮沢 一明

神津 格

(H21.4月～9月)

上原 学

井山 泰章

(II21.10月～H23.9月)

神津 一明 (H23.10月～)

出澤 力 (H21.H22)

調査担当

林 幸彦

小林 眞寿

宮沢 一明

主任調査員

佐々木宗昭

森泉かよ子

浅沼 勝男

浅沼 ノブ江

阿部 和人

調査員

赤羽根 篤

赤羽根 光江

飯塚 一男

飯森 成英

池山勝吉郎

甘利 隆雄

安藤 孝司

市川 光吉

井出 孝子

岩崎 重子

磯貝 律子

市川 明子

白田 絢佳

白田 猛

江原 富子

岩松 茂年

碓氷 知子

小幡 弘子

風間 敏

柏木 義雄

岡村千代美

小沢 稔幸

狩野小百合

川瀬 祥太

川原田憲子

加藤ひろ美

上山 貴恵

木内 修一

菊池 喜重

小井戸厚子

川原田三男

木内 勇

神津 千春

小島 真

小林 妙子

小井戸秀元

神津 和子

小林 下勝

小林 敏雄

小林百合子

小林喜久子

小林 節子

堺 益子

酒井 一夫

佐々木靖夫

小林 よしみ

小山 功

清水 澄生

清水 律子

須江 睦美

果見 理生

澤井 知春

高橋 章

中澤 登

滝沢 三男

副島 克子

大工原達江

上原 武士

橋詰 勝子

中嶋 フクジ

田中ひさ子

土屋 邦子

羽毛山利明

橋詰 勝子

橋詰 信子

中条 勝良

中山 清美

林 美智子

林 まゆみ

比田井久美子

花岡美津子

花岡佐恵子

平林 麻郎

広瀬梨恵子

細井里江子

山口 昭次

松山 修一

堀籠 滋子

堀籠 保子

本田 慶二

細登ミズズ

細谷秀子

百瀬 秋男

柳沢 亜矢子

柳澤 孝子

宮川真紀子

武者幸彦

山口ひとみ

山田 英輝

山村 容子

柳澤千賀子

油井 重明

横尾 敏雄

吉田 信行

依山 二男

油井 重明

油井 満芳

渡邊 真

渡辺 廣野

渡辺 学

依田 好行

渡邊久美子

第3節 調査日誌

平成20年度

- 10月8日 佐久市より土木工事等のための埋蔵文化財発掘の通知（文化財保護法94条第1項）
長野県教育委員会教育長に東信教育事務所経由で副申。
10月28日 長野県教育委員会教育長より通知（発掘調査を行う）

平成21年度

- 7月28日 南近津遺跡Ⅲ発掘調査開始。
重機による表土除去開始。
10月30日 南近津遺跡Ⅲ現場作業を終了。
9月30日 道常遺跡発掘調査開始。
井戸跡より桝木が出土。
瓦が出土。
12月24日 道常遺跡現場作業を終了。
10月13日 若宮遺跡Ⅳ発掘調査開始。
重機により表土除去開始。
遺構の検出・掘り下げ・記録に着手
石敷きのH17号住居址を発掘調査。
12月22日 若宮遺跡Ⅳ現場作業を終了。
室内作業を開始する。

平成22年度

- 5月17日 宮の前遺跡発掘調査を開始。
6月2日 遺構測量システムによる測量
8月4日 長野県遺跡調査指導員による視察
8月6日 第3回目の空中写真撮影
10月3日 長野県埋蔵文化財センター見学30名
12月12日 第6回目の空中写真撮影を行う。
12月28日 機材撤収を行い現場作業終了。
室内作業を行う。

平成23年度

- 4月15日 報告書の作成を開始
5月6日 宮の前遺跡の発掘調査を再開
5月9日 遺構編集システムによる整理開始
6月1日 自然科学分析業務を委託
12月1日 近津住吉線の残り部分調査開始
12月12日 本年度の発掘調査を終了する。
3月8日 報告書原稿入稿

平成24年度

報告書を印刷しすべての作業を終了する。



若宮遺跡Ⅳ調査区北側



道常遺跡調査区南側



宮の前遺跡Ⅱ北側調査区

第2節 歴史的環境

今回調査した周防畑遺跡群が位置する佐久市の北部は、上信越自動車道や長野新幹線等の建設、それらに付随する開発等で1980年代より大規模な発掘調査が相次いだ地域である。それにより膨大な埋蔵文化財資料が蓄積されており、ここでそれらを概観したい。

まず、旧石器・縄文時代であるが、これらの時代は調査面積に比して非常に資料が希薄な時代である。本遺跡となりの近津遺跡群からは縄文後期の土器・石器群は出土しているが住居址は発見されていない。本調査地点でも、縄文時代中期・後期の土器片及び落とし穴は検出されたが、住居址は検出されなかった。縄文期の集落が発見されるのは、関東山地の山裾や千曲川を挟んで蓼科山麓側であり、縄文時代に佐久平中心部の平地地は主に狩場として利用されていたと考えられる。

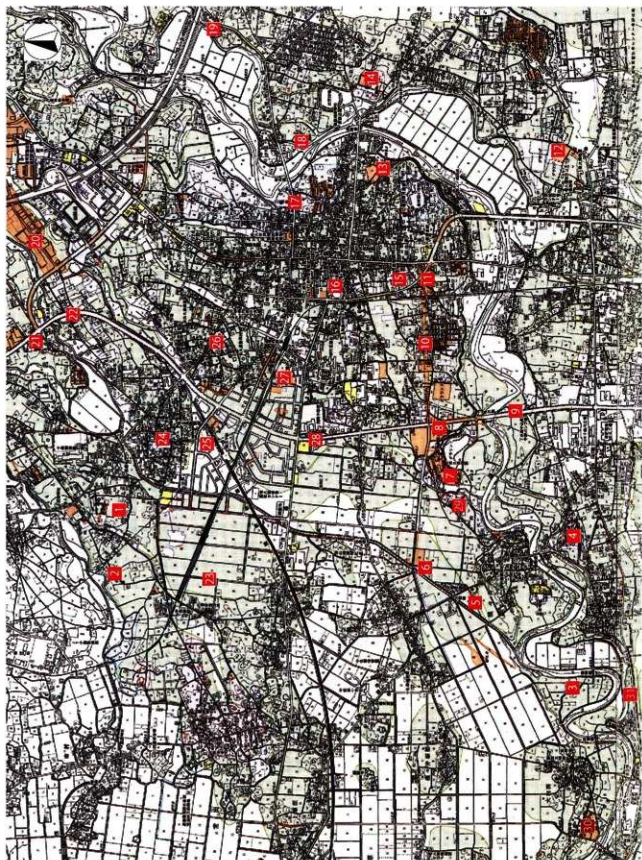
次に弥生時代では、前期と中・後期で様相が異なる。まず前期では発見された遺跡が非常に少なく、集落も発見されていない。仲田遺跡の上坑より口縁二重突帯文の甕、東大門先遺跡Ⅱから同じく土坑よりⅡ式に比定される細密条筋の甕が出土している。また、下信濃石遺跡Ⅱからは包含層よりの出土であるが、弥生前期とすべき良好な土器・石器資料が出土している。これらの遺跡はいずれも湯川沿いに立地する遺跡であり、佐久北部においては弥生前期の人々が湯川を意識して活動していたことが解る。次に中期になると遺跡数も増え集落址が確認されるようになる。湯川沿いの下流より、川原端遺跡・森平遺跡・寄塚遺跡・根々井芝宮遺跡・北西の久保遺跡・西一本柳遺跡、内陸部に出止坊遺跡がある。これらの遺跡はいずれも中期後半に比定されるが、中期後半古相に位置づけられるのは根々井芝宮遺跡のみである。このように中期に至り集落が形成されるようになっても遺跡立地は湯川沿岸を指向する傾向にあり、佐久平北部において弥生前期・中期を通して湯川が人々の生産或いは流通・移動等の諸々の活動において重要な要素を担っていたことが解る。後期になると集落は湯川沿岸より内陸部に進出するようになる。北から近津遺跡・宮の前遺跡・周防畑遺跡・上直路遺跡・円正坊遺跡・西一本柳遺跡・西一里塚遺跡などがあげられる。これらの遺跡は田切地形が消滅し、濁川により形成された低地を取り囲むように立地し、佐久平北部における稲作生産の本格的な導入を示唆している。また、当該時期の遺跡からは遺構として西近津遺跡より国内で最大級とされる18×9.5mの窪穴住居址が発見された。また、上直路遺跡からは屋内埋葬という特異な形態の墓より、腕に装着された状態の銅剣15本が発見されている。

次の古墳時代前期は弥生後期の集落展開に比べ、規模が非常に縮小し立地も限定的となる。湯川沿いの小さな平地や田切台地でも縁辺など、弥生後期に開発した水田地帯を放棄するような状態である。つづく中期前半では、当該期に比定される遺跡が佐久地域において北西の久保遺跡のみであり、前期にもまして遺跡数が激減する時期である。中期前半は他地域においても遺跡数が減少するが、佐久地域の少なさは異常である。これとは対照的に中期後半から後期の所謂、5世紀後半から6世紀にかけての遺跡数の増加は目を見張るものがある。特に北部においては、弥生後期に集落が展開した地域とともに、新たに田切台地の内陸部まで集落が広がっていく。特に上型端遺跡・芝宮遺跡・聖原遺跡といった遺跡では累積で100軒単位の集落が形成されている。この現象は佐久平において、5世紀後半以降の集落遷地の理由が大きく変わった。あるいは加わったことを意味する。一つの可能性としては、水田経営に適さない高燥台地の内陸にあえて集落を展開するという事は集落維持のための生産基盤を或いは牧畜経営等に置いた結果とも考えられる。

続く奈良時代は古墳後期と同じような場所に集落が展開し生活・生産活動の継続性が見て取れる。平安時代になると、集落内の住居址数は増すが、住居は小型化が顕著であり、平安時代後半には散村化の傾向がある。また、近年に当遺跡付近の調査事例で「大井」の墨書や刻書が記載された土器が多く出土し、古代「人井郷」の核地域であろうことが推測されている。

その後、鎌倉時代になると、甲斐源氏の加々美遠光が信濃守となり、その子小笠原長清の七男朝光が大井荘に十着し、人井氏を名乗るようになる。大井氏によりこの地域は発展し、『四隣譚載』によれば戦国時代には「その賑わい國府にまさり」と例えられる隆盛を誇った。これらの関連遺跡としては現岩村市市街地付近に集中し、苑池の跡が発見された柳堂遺跡や龍雲寺との関連が推定される下信濃石遺跡、漆工房跡と考えられる北一本柳遺跡、また、大井氏の居城と考えられている大井城址などがある。

近世になってからは、地域内を「中山道」が通過し、それに伴う宿場整備で岩村田宿は繁栄する。特に岩村田は佐久平甲州街道が通り、北国街道も近く中世の隆盛を彷彿とさせる状態であった。町屋調査としては中山道沿いの中宿遺跡等があげられる。以上、各時代の概観である。



第3图 周边道路位置图

No.	遺跡群名	遺跡名	所在地	検出遺構	報告書
1	両刃短遺跡群	苜の前進跡	長土呂		本報告書
2	近津遺跡群	西近津遺跡	長土呂字近津・森下	竪穴住605(縄文~平安)、竪立80、土坑3、周溝跡13	根淵吉
3		森平遺跡	横和字森平	竪穴住(弥生中期1)、縄溝跡1、横溝、溝3、配石遺構2	根淵吉
4	宮の上遺跡群	根々井芝宮遺跡	根々井字芝宮	竪穴住(弥生43・奈良3・平安14)、竪立3、土坑27、溝5	第49集
5		根々井大塚古墳	根々井字大塚	方形埴山墳1	年報9
6	西一里塚遺跡群	西一里塚遺跡	岩村田字西一里塚	竪穴住(弥生後期1)、縄溝跡1、環溝、土坑7、溝6	
7	岩村田遺跡群	北西の久保遺跡	岩村田字北西ノ久保	竪穴住(弥生中期1・弥生後期8・古墳中期20)	
		西一本柳遺跡Ⅳ	岩村田字西一本柳	竪穴住201(弥生1~平安2)、竪穴45、土坑12、溝11	第73集
		西一本柳遺跡Ⅴ・Ⅵ	岩村田字下樋田	竪穴住(弥生中期3・弥生後期1・古墳後期2・奈良1)、溝	第91集
		西一本柳遺跡Ⅶ	岩村田字西一本柳	竪穴住(弥生中期7・後期2・古墳後期・奈良1)、竪立5、土坑8、溝6	年報8
		西一本柳遺跡Ⅷ	岩村田字下樋田	竪穴住(弥生中期9・弥生後期7・古墳中期6・古墳後期42・奈良16・平安9・不明2)、竪立30、土坑51、溝13	第109集
		西一本柳遺跡Ⅸ	岩村田字西一本柳	竪穴住(古墳後期16・奈良1・平安2・竪穴状2)、竪立9、土坑12	第113集
		西一本柳遺跡Ⅹ	岩村田字西一本柳	竪穴住(弥生中期34・弥生後期12・古墳中期12・古墳後期15・奈良21・平安9・不明2)、竪立14、土坑19、溝14	年報14
		西一本柳遺跡Ⅺ	岩村田字下樋田	竪穴住(弥生中期1・弥生後期10)、溝	年報13
		西一本柳遺跡Ⅻ	岩村田字下樋田	竪穴住(古墳後期6・奈良1・竪穴状遺構6)、竪立2	第125集
		西一本柳遺跡Ⅼ	岩村田字下樋田	竪穴住(弥生中期13・弥生後期8・古墳中期2・古墳後期2・奈良2・平安1・不明)、竪立5	第139集
		西一本柳遺跡ⅭⅣ	岩村田字下樋田	竪穴住(弥生中期17・後期17・古墳中期3・後期7・奈良11)、竪立10、土坑16、溝13	第175集
		西一本柳遺跡ⅭⅤ	岩村田字常木上	竪穴住(弥生中期3・後期3・古墳後期2・奈良1・平安6)、竪立3、土坑5	第154集
		西一本柳遺跡ⅭⅥ	岩村田字西一本柳	竪穴住(弥生中期12・後期1・古墳後期4・奈良1)、竪立6、溝3	第160集
		西一本柳遺跡ⅭⅦ	岩村田字西一本柳	竪穴住(弥生中期1・後期2・奈良2)、溝	第169集
9	寺領遺跡群	仲田遺跡	除久保字仲田	竪穴住(古墳中期4・後期6・奈良10・平安6)、竪立11、土坑6、H15より花弁形埴山瓦出土	第66集
		北一本柳遺跡ⅲ	岩村田字北一本	竪穴住4、土層見1、溝2	年報14
		北一本柳遺跡ⅳ	岩村田字北一本	竪穴住(弥生後期18・古墳後期11・中世57)、竪立13、土坑310、溝32	第175集
		北一本柳遺跡ⅳⅣ	岩村田字北一本	竪穴住3、溝2	第158集
11	岩村田遺跡群	東大門先遺跡Ⅱ	岩村田字東大門先	竪穴住(古墳後期2・奈良・平安15)、竪立21、土坑9、溝10	第175集
12	野馬塚遺跡群	野馬塚遺跡Ⅱ・Ⅲ	除久保字野馬塚	竪穴住1、竪穴状遺構17、竪立13、土坑231	第170集
13		下信濃石遺跡	岩村田字下信濃	古墳後期1、竪穴状遺構10、土坑47、古瀬川灰輪水面上出	第134集
14		蛇塚古墳	安原字蛇塚	後期古墳3基、竪穴住3、竪立1	第78集
15	岩村田遺跡群	飯宮守遺跡	岩村田字飯宮堂	竪穴住(平安1・中世27)、土坑170、土層見4、竪立1	第70集
16	岩村田遺跡群	柳堂遺跡	岩村田字柳堂	竪穴住(弥生後期2・平安1・中世33)、竪立2、土坑203、縄溝跡3、溝	第83集
17		大井城址	岩村田字古城	竪穴住(古墳後期15・中世54)、竪立3、土坑285	
18		下小平遺跡	岩村田字下小平	竪穴住(弥生後期5・古墳後期1)、方形縄溝跡2	
19		藤舌遺跡	上平尾字藤舌	竪穴住(弥生後期1・古墳前期4・平安2)、溝4	
20	長上呂遺跡群	原原遺跡	長土呂字原原	竪穴住(古墳後期155・奈良平安663)、竪立860、土坑370、溝40	第103集~
21	芝宮遺跡群	下芝宮遺跡Ⅰ~Ⅳ	長土呂字下芝宮	竪穴住(古墳中期5・後期2・平安2)、竪立6	第9集
22	長上呂遺跡群	下上飯端遺跡Ⅰ・Ⅱ	長土呂字下飯端	竪穴住(弥生後期4・古墳中期13・後期23・奈良1・平安15)、竪立18	第9集
23		両刃短遺跡群	長土呂	竪穴住92(弥生~平安)、竪立3、円形埴山瓦15、土坑422	根淵吉
24	長上呂遺跡群	長上呂船址	長土呂	中世船址	
25	長上呂遺跡群	下釣母塚遺跡	長土呂字下釣母塚	竪穴住(弥生後期40)、溝、縄溝	第110集
26	枇杷坂遺跡群	上高路遺跡	岩村田字上高路	竪穴住(弥生後期2)、銅器11	年報5
		丹止坊遺跡Ⅱ	岩村田字丹止坊	竪穴住(弥生中期2・弥生後期1・古墳後期2・平安2)、竪立1、古墳1、土坑8	第53集
		丹止坊遺跡Ⅳ	岩村田字丹止坊	竪穴住(古墳中期7・後期23・平安4)、方形・円形縄溝跡10	第102集
		丹止坊遺跡Ⅴ	岩村田字丹止坊	竪穴住37、竪立4、横溝跡1、土坑26	年報15
		丹止坊遺跡Ⅵ	岩村田字丹止坊	竪穴住(弥生~平安4)、竪立2、土坑11、溝3、円形縄溝跡1	第185集
28	岩村田遺跡群	松の木遺跡Ⅰ・Ⅱ	岩村田字松の木	竪穴住(弥生10~占領10)、竪立1、土坑1、溝6	第91集
29	雲沢遺跡群	丸里田遺跡	根々井字丸里田	竪穴住(弥生中期43・縄溝跡5・古墳後期2、土坑37	第74集
30	大和田遺跡群	川原南遺跡	鳴瀬町川原南	竪穴住(弥生10~後期13・古墳40)、竪立20、土坑22、溝24	第89集
31	吉原遺跡群	袴塚遺跡	横和字袴塚	竪穴住13(弥生中期後半~古墳前期)、竪立5、土坑17	第157集

第1表 周辺遺跡一覧

第Ⅲ章 調査の方法

第1節 調査の方法

遺跡名・調査区

佐久市詳細分布図の遺跡に照らし合わせ、各4遺跡とした。ローマ数字は調査次数である。

調査区を網羅するように、国家座標に沿って40×40mの区画を設定し、南よりローマ数字を付した。この40mの区画は北東隅を起点に8mの各グリッドに25分割しグリッド名とした。

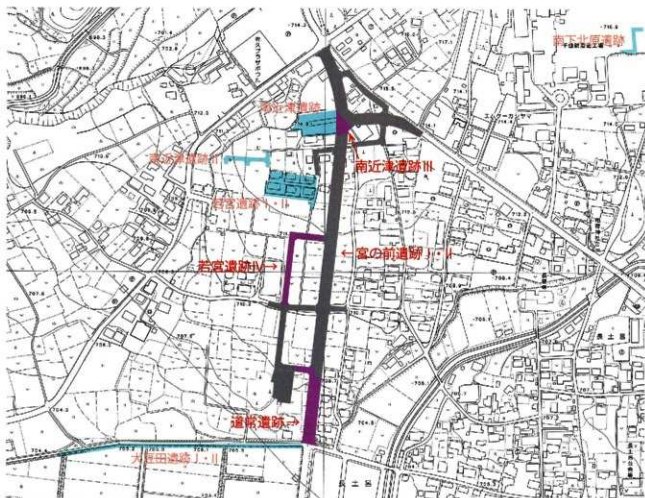
遺跡略記号・遺構略記号

遺跡略記号は以下の決まりに従い付けられている。

- アルファベット3文字の先頭は旧大字のローマ字表記の頭文字である。 N=長十呂
- アルファベット3文字の2番目は遺跡名のローマ字表記の頭文字である。 M=みやのま
- アルファベット3文字の3番目は遺跡名のローマ字表記の任意の文字である。 E=え
- 末尾のローマ数字は発掘調査回数を表す。

遺構略記号は以下のとおりであり、佐久市共通である。

- H=住居址（竪穴住居址である。現在のところ佐久市内では明確な平地住居は確認されていない。）
- F=竪立柱建物址
- D=土坑（陥穴、貯蔵穴等）
- P=ピット（柱状のものを建てたと思われる、多くは小径の掘り込み）



第4図 調査遺跡位置図 (1/5000)

- M=溝状遺構（環濠、水路、道路、堀等）
 Ta=中世の竪穴建物址あるいは竪穴状遺構
 OT=周溝墓・古墳
 K=土器棺墓・木棺墓

遺構調査

住居址は均等に4分割し、対面する2区画を掘り下げ土層の観察・記録を行った後完掘し、床面を精査し、柱穴・炉・カマド等を適宜分割し、土層の観察・記録を行い、最終的に平面の記録を行った。遺物は4分割した各区画に取り上げ、床面上の遺物に関しては連続するNoを付け3次元の記録を行い取り上げた。

土坑は長軸方向に沿って2分割し、半裁により土層の観察・記録を行った後完掘した。遺物は半裁された区を東西南北の英語頭文字を区として取り上げた。

ピットも土坑と同様であるが、遺物は遺構Noで一括した。

溝・周溝墓は短辺方向に任意の場所で区分し、土層を観察・記録した。遺物は区毎に取り上げた。

遺構外の遺物はグリッド毎に取り上げた。

遺構測量

平面図・断面図ともにトータルステーションを用い3次元データを取得した。取得したデータは株式会社CUBICの「遺構君」により図化した。測量基準座標はグリッド杭を用いた。なお、平成21年調査分の南近津遺跡Ⅲ・若宮遺跡Ⅳ・道常遺跡についてはグリッド杭を用いた簡易測方測量で行った。

写真

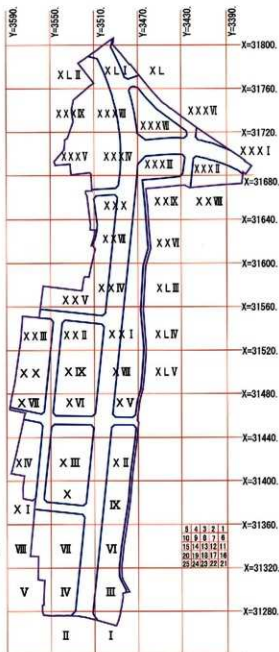
現場での写真は、デジタル一眼レフカメラによるRAW画質モードと、35mm一眼レフカメラによるカラーリバーサルで同一カットを各々記録した。遺物写真はデジタル一眼レフカメラで撮影し、EPSデータ形式で報告書に使用した。

遺構・遺物の整理等

遺構の図面修正は株式会社CUBICの「遺構君」により行った。遺物洗浄は竹ブラシを用い手で行い、室内で自然乾燥させた。注記は白色のポスターカラーにより行い、薄めたラッカーをその上から塗布した。遺物の接合はセメダインCを使用し、遺物復元の際の充当材はエポキシ系樹脂を用いた。遺物実測は手取りと株式会社CUBICの「遺構君」で行った。遺物の保管に際しては報告書を台帳として、報告書掲載遺物と未掲載遺物に区分し、コンテナに分類ラベルを貼り収蔵庫に収納した。

報告書

文章はアドビ社製の「イラストレーター」で作成し、表についてはマイクロソフト社の「エクセル」で作成した。また、遺物実測図は「イラストレーター」によりデジタルトレースを行い、写真・拓本はアドビ社製「フォトショップ」により補正加工を行った。これらを最終的に「イラストレーター」により頁単位で編集し、印刷原稿を作成し、イラストレーターでのファイル形式で入稿した。



第5図 グリッド配置図

第2節 基本層序

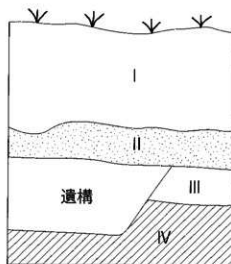
基本層序は第6図のとおりである。本道跡は南北に調査範囲が広い
ため、調査個所により遺構確認面は異なった。特に建物等による削平
が激しかった北部では表土直下がIV層のローム層となり、IV層を遺構確
認面とした。また、調査区中央部や南部では狭い範囲で細かな川砂
層（II層）が検出され、一部の遺構はII層上面で遺構確認ができた。
しかし、そのほとんどはII層を除去後、III層上面での遺構検出となっ
た。

I—灰褐色土（畑耕作土）しまり、粘性弱い。小石を含む

II—灰白色土（砂層） 調査区の一部に広がる層で、X X IV区やIV・
VII区で検出された。

III—黒褐色土（10YR3/2） II層が残存する部分には確認でき、主に
調査区南側とX X IV区付近で確認された。

IV—にぶい黄褐色土層（10YR7/4）。浅間火山第1軽石流の堆積



第6図 基本層序模式図

第3節 検出遺構・遺物の概要

検出された遺構・遺物の概要は以下のとおりである。なお、本報告書は都市計画道路並びに区画道路と公園
部分で検出された遺構・遺物について掲載するが、区画整理面も同時に調査を行っているため、遺構の主要部
分が検出された側での報告とする。よって、道路部分でもその多くが区両面になる遺構は、本報告書に記載され
ておらず、その逆もありうる。また、調査年度により道路側でしか調査が行われていない遺構については、面積
の如何にかかわらず記載した。

検出遺構

若宮遺跡IV	竪穴住居址 溝状遺構	16軒 4本	竪穴状遺構 上坑	1基 5基	掘立柱建物址 ピット	3棟
道常遺跡	竪穴住居址 土坑	8軒 69基	竪穴状遺構 掘立柱建物址	4基 1棟	溝状遺構 ピット	5本
南近津遺跡III	竪穴住居址	10軒（内8軒は1997年に調査報告済み）			土坑	1基
宮の前遺跡I・II	竪穴住居跡 土坑 ピット	153軒 108基	掘立柱建物址 周溝墓	52棟 14基	溝状遺構 土器棺墓	38本 1基

出土遺物

縄文土器（後期）、弥生土器（箱清水式土器、二軒屋式土器）、
石器類（石鎌・打製石斧・叩き石・砥石・臼）
土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、奈良三彩（蓋・小壺）、瓦、青磁
鉄製品（鉄鎌・刀子・紡錘車・鎌・釘・鉄斧・鉄鋤）、青銅製品（帯金具・鈴）
占 銭、ガラス小玉、翡翠丸玉

若宮遺跡Ⅳ

第IV章 若宮遺跡IV

第1節 若宮遺跡IVの概要



若宮遺跡IVは今回の調査範囲で中央部西よりに位置する。区画道路部分の調査であり、南北100m・東西40m・幅8mの逆「L」字形の調査区である。調査は平成21年度に行われ、面積は1126㎡を測る。検出された遺構は堅穴住居址を中心に溝状遺構や掘立柱建物址である。住居址の時代は弥生時代後期箱清水期と古墳時代後期、奈良時代である。

これらの中で特に注目される遺構としてはH17号住居址があげられる。本址は調査区の北寄りで見出され、東側1/3程が調査された。カマドは調査区域外となる。本住居址は長軸長が6.68mと比較的大型の住居であり、掘り込みも深い。本址の所産時期は出土遺物より奈良時代前半と考えられる。

本址の特徴は壁際に住居を巡るように石が床面上に配置されていることである。礫は大小あるがほぼ人頭大程の大きさであり、石材はほとんどが浅間山噴出に由来する軽石である。一部には面を作るような加工痕も確認できた。また、礫の床下には掘り込み等は確認されず、壁に沿うように横穴が見出された。穴は不規則な大きさであるが、検出された縦方向の位置は、礫の上面に沿うように穿かれていた。

このような住居址は、その後の調査でも本遺跡では発見されておらず特異な形態を示している。近隣に類例を求めれば、周辺遺跡の項でも述べた聖原遺跡H677号住居址において、壁際に石が置かれている例がある。しかし、聖原の例は若宮のように一直線に隙間なく配置するものではなく、柱の礎石のように等間隔に間をおいて配されており異なる。ただ時期としては同じく奈良時代前半の遺構である。その他の例として非常に近似するものに長野市の塩崎小学校遺跡H22号が挙げられる。本址は大きさも一辺6mで、礫の配置もよく似る。



これらの礫については、いまままで上屋構造との関連で語られる部分が多かったが、今日これだけの資料蓄積がなされているにも関わらず、検出例の少なさは顕著であり、住居の使用法も含め性格論も考える時期にきているのではないだろうか。

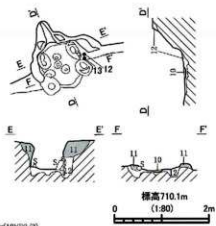
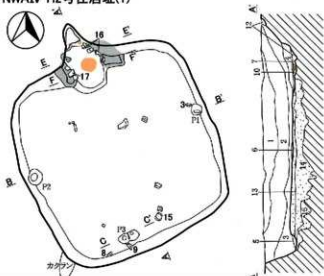
調査区全景（南より）

第7図 若宮遺跡IV全体図

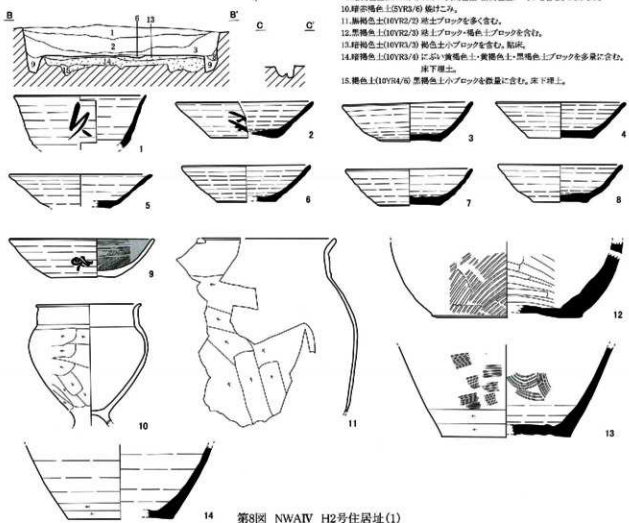
第2節 遺構と遺物

1. 竪穴住居址と竪穴状遺構

NWAIV H2号住居址(1)

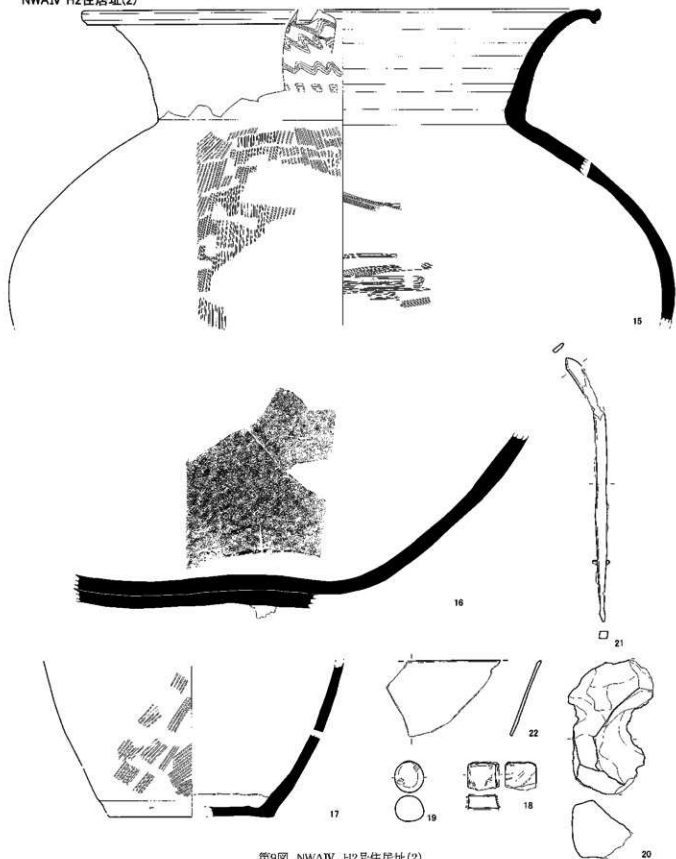


1. 緑褐色土(HVR3/2)
2. 黒褐色土(HVR2/4)
3. 黒褐色土(HVR2/2) におい・黄褐色土・黒褐色土小ブロックを多量に含む。人為的堆積。
4. 黒褐色土(HVR2/2) 黒褐色粘土が主体。炭十粒・赤色砂。
5. 黒褐色土(HVR2/2) 黄褐色土小ブロックを含む。
6. 黒褐色土(HVR2/2) 石灰砂り。
7. におい・赤褐色土(HVR4/4) 粘土状。
8. 緑褐色土(HVR3/2) やわらか。
9. 緑褐色土(HVR3/4) におい・黄褐色土・黒褐色土ブロックを含む。しまりなし。
10. 緑褐色土(HVR3/4) 粘けこみ。
11. 黒褐色土(HVR2/2) 粘土ブロックを多く含む。
12. 黒褐色土(HVR2/2) 粘土ブロック・黒色土ブロックを含む。
13. 緑褐色土(HVR3/2) 緑褐色土小ブロックを含む。粘り。
14. 緑褐色土(HVR3/4) におい・黄褐色土・黒褐色土ブロックを多量に含む。
床下埋土。
15. 黒色土(HVR4/4) 黒褐色土小ブロックを多量に含む。床下埋土。



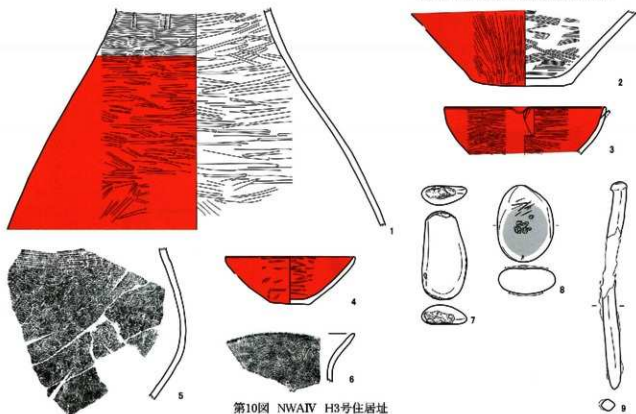
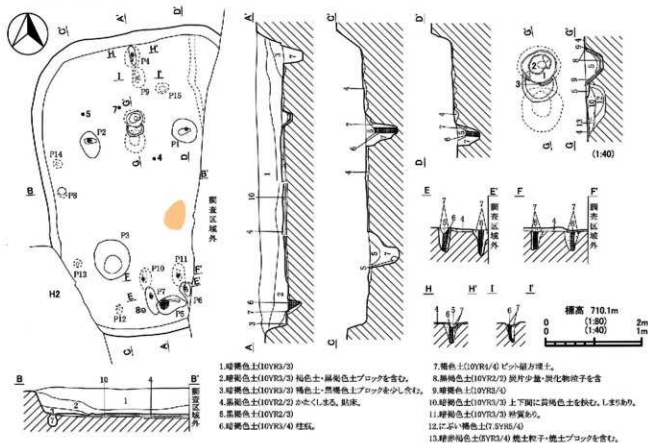
第8図 NWAIV H2号住居址(1)

NWAIV H2住居址(2)



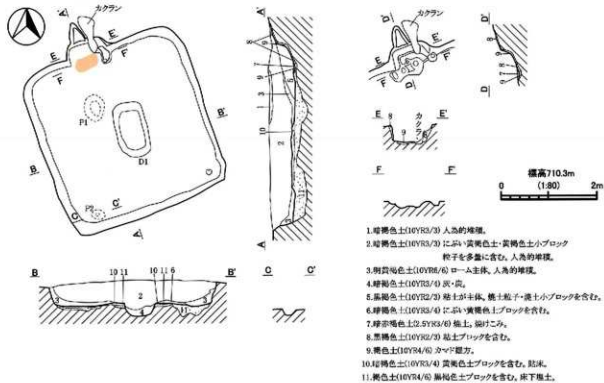
第9圖 NWAIV H2号住居址(2)

NWAIV H3号住居址

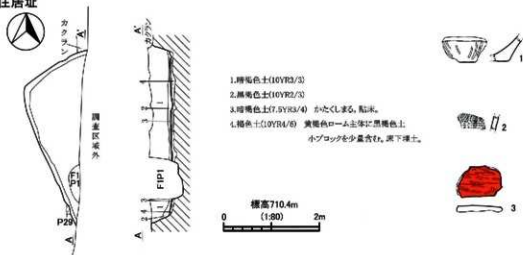


第10図 NWAIV H3号住居址

NWAIV H4号住居址

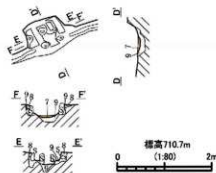
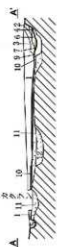
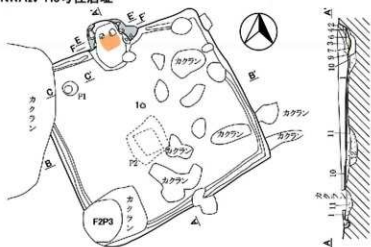


NWAIV H5号住居址

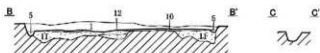


第11図 NWAIV H4号住居址-5号住居址

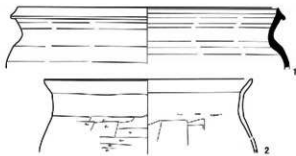
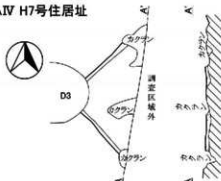
NWAIV H6号住居址



標高710.7m
(1:80) 2m



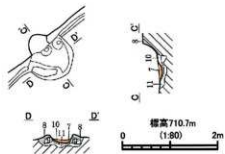
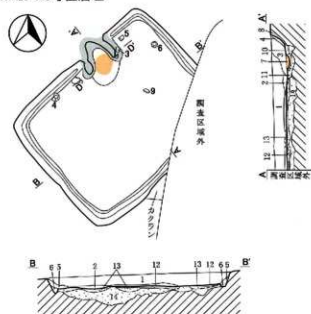
NWAIV H7号住居址



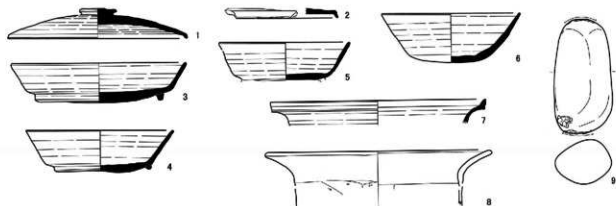
標高710.7m
(1:80) 2m

第12図 NWAIV H6号住居址・H7号住居址

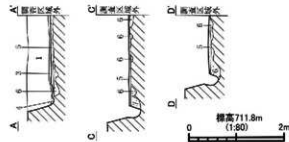
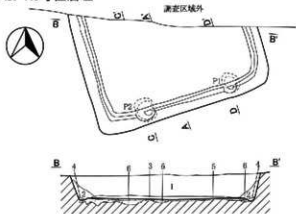
NWAIV H8号住居址



1. 1.にぶい黄褐色土(10YR4/3) にぶい黄褐色土・黒灰色土小ブロックを含む。
2. 暗褐色土(10YR3/2) 黒灰色粘土粒子を少量含む。
3. 暗褐色土(10YR3/2) 黒褐色粘土ブロックを多く含む、少量の炭化物を含む。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 赤褐色粘土粒子・黒褐色土ブロックを含む。
5. 黒灰色土(10YR4/1)
6. 暗褐色土(10YR3/3)
7. 褐色土(5YR6/3) 焼土主体。
8. 暗褐色土(10YR4/1) 粘土主体。
9. 1.にぶい黄褐色土(10YR5/4)
10. 黒褐色土(10YR3/1) 焼土粒子を微量に含む。
11. 褐色土(10YR4/4) 灰黄褐色土ブロックを微量に含む。
12. 黒褐色土(10YR2/3) 粘灰。
13. 暗褐色土(10YR3/4) 黒褐色土にぶい褐色土ブロックを含む。
14. 1.にぶい褐色土(7.5YR5/4) にぶい褐色土が主体で、黒褐色土小ブロックを含む。



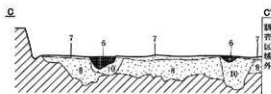
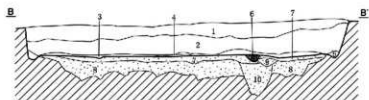
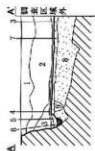
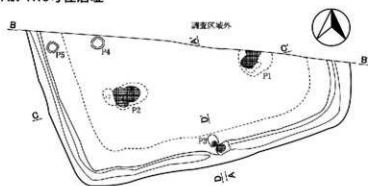
NWAIV H9号住居址



1. 暗褐色土(10YR3/3) 灰褐色土・黒褐色土小ブロックを多量に含む、人為的堆積。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土ブロックを含む。
3. 暗褐色土(10YR3/2) やや粘質あり。
4. 暗褐色土(10YR3/4)
5. 暗褐色土(10YR2/3) 灰褐色土小ブロックを少量含む、粘灰。
6. 暗褐色土(10YR2/3) 黄褐色土・黒褐色土小ブロックを多量に含む。
7. 暗褐色土(10YR3/3) ビット礫方。

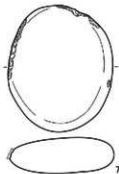
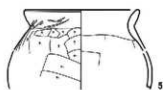
第13図 NWAIV H8号住居址・H9号住居址

NWAIV H10号住居址



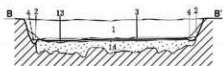
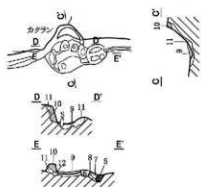
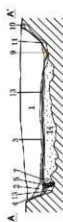
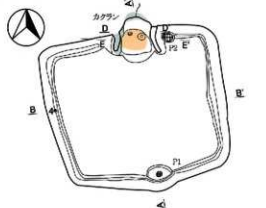
標高711.9m
(1:80) 2m

- 1.黒褐色土(10YR2/3)
- 2.暗褐色土(10YR2/4) 黄褐色土・黒褐色土ブロックを多量に含む、部分が砕けかたくなる。人為的半硬。
- 3.暗褐色土(10YR2/3) しまりなし。
- 4.黒褐色土(10YR2/2) かたくしまる。
- 5.黒褐色土(10YR2/2) しまりなし。
- 6.黒褐色土(10YR2/2) 粒状。
- 7.黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色土小ブロックを含む。磁片。
- 8.暗褐色土(10YR2/3) 黄褐色土・黒褐色土ブロックを多量に含む。磁片硬土。
- 9.黒褐色土(10YR2/3) しまりなし。
- 10.暗褐色土(10YR2/3) 黄褐色土・黒褐色土小ブロックを多量に含む。



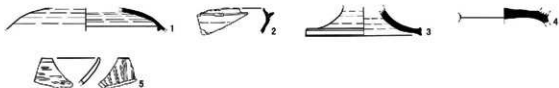
第14図 NWAIV H10号住居址

NWAIV H11号住居址

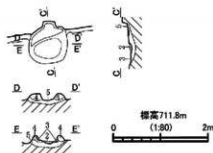


標高711.7m
(1.80)
0 2m

- 1.黒褐色土(10YR2/3)
- 2.黒褐色土(10YR2/3) 黒褐色土小ブロックを少量含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土小ブロックを含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色土小ブロックを少量含む。
- 5.黒褐色土(10YR2/3) 粘り。
- 6.暗褐色土(10YR3/3) カマド跡。壁かけ跡。
- 7.暗褐色土(10YR3/3)
- 8.褐色土(10YR4/4) 黄褐色土小ブロックを多量に含む。
- 9.暗赤褐色土(5YR3/4) 粘土。焼けこみ。
- 10.暗褐色土(10YR2/4) 粘土。
- 11.黒褐色土(10YR2/3) カマド築上。
- 12.暗褐色土(10YR3/3)
- 13.黒褐色土(10YR2/3) 褐色土小ブロックを少量含む。かたしまる。粘り。
- 14.黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色土・黒褐色土小ブロックを多量に含む。床下埋土。



NWAIV H15号住居址



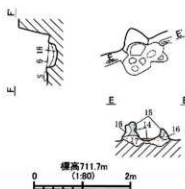
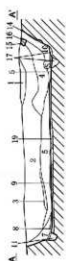
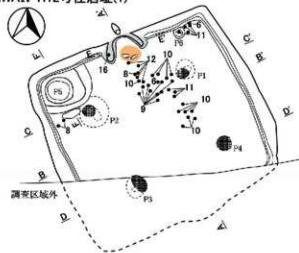
標高711.8m
(1.80)
0 2m

- 1.暗褐色土(10YR3/3) 粘りに砂を含んで、0.5~1cm大の小円粒を多く含む。
- 2.暗赤褐色土(5YR3/4) 粘土。
- 3.暗赤褐色土(5YR3/4) 焼けこみ。
- 4.にがい褐色土(7.5YR6/4) 砂質土。壁の内側焼けこみでいへ。
- 5.黒褐色土(10YR2/3) 砂質土。にがい褐色土小ブロックを含む。

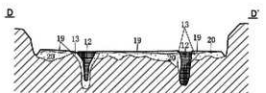


第15図 NWAIV H11号住居址・H15号住居址

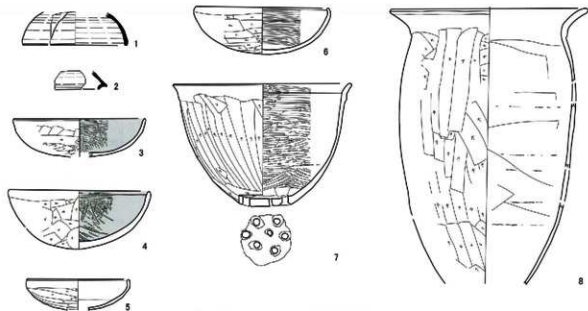
NWA IV H12号住居址(1)



標高711.7m
0 2m
(1:80)

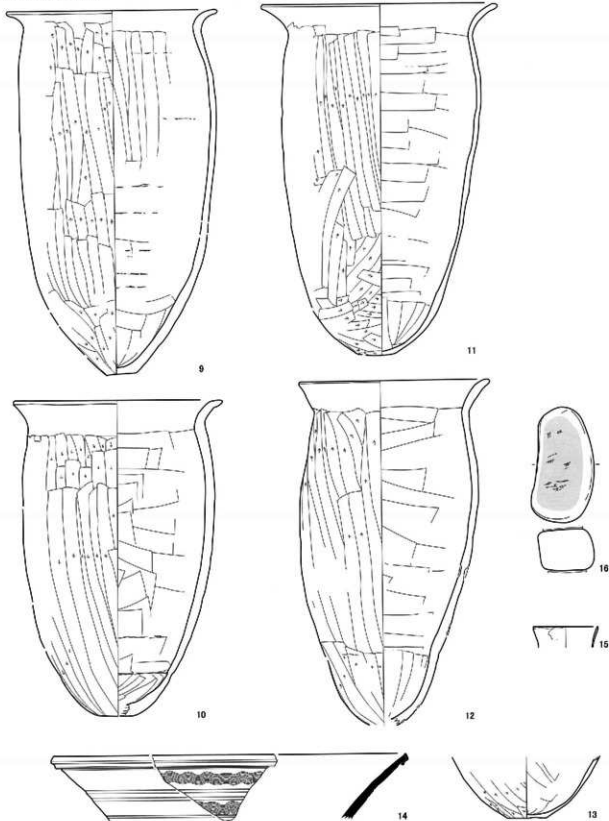


- 1.暗褐色土(09YR3/3)
- 2.暗褐色土(09YR3/3) 黒褐色土・黄褐色土に灰い黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3.黒褐色土(09YR2/3) 少量。
- 4.灰色土(09YR4/4) 粘土ブロックを多量に含む。
- 5.暗褐色土(09YR3/3) 黒褐色土・黄褐色土に灰い黄褐色土ブロックを多く含む。
- 6.黒褐色土(09YR2/3) 少量。
- 7.黒褐色土(09YR2/3) 黒褐色土と黄褐色土ブロックが層状に混在。
- 8.黒褐色土(09YR2/3) 少量。
- 9.黒褐色土(09YR2/3) 床土上の發覆土。
- 10.暗褐色土(09YR3/4) 粘土・漆土ブロックを多量に含む。
- 11.褐色土(09YR4/4) 黄褐色土ブロックを多く含む。
- 12.暗褐色土(09YR3/3) 柱状。
- 13.褐色土(09YR4/4) 黄褐色土ブロック・黒褐色土小ブロックを含む。
- 14.赤褐色土(5YR4/4) 粘土。上面に褐色の灰あり。
- 15.褐色土(7.5YR4/3) 粘土。
- 16.暗褐色土(09YR3/3)
- 17.暗褐色土(09YR3/3) 黒褐色土・黄褐色土小ブロックを多く含む。
- 18.褐色土(09YR4/4) 灰色土の土床。やわらかい。
- 19.黒褐色土(09YR2/3) 黄褐色土小ブロックを含む。
- 20.床下埋土。



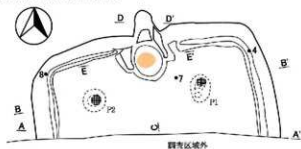
第16図 NWA IV H12号住居址(1)

NWAIV H12住居址(2)

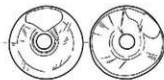
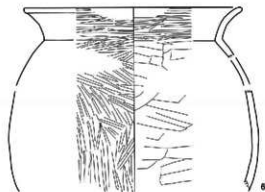
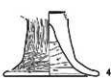
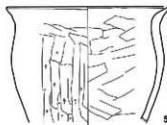
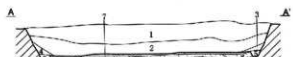


第17图 NWAIV H12号住居址(2)

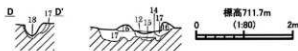
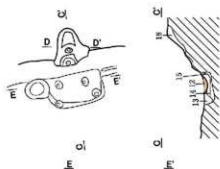
NWAIV H13号住居址 ㉔



調査区域外



9(1:2)



標高711.7m

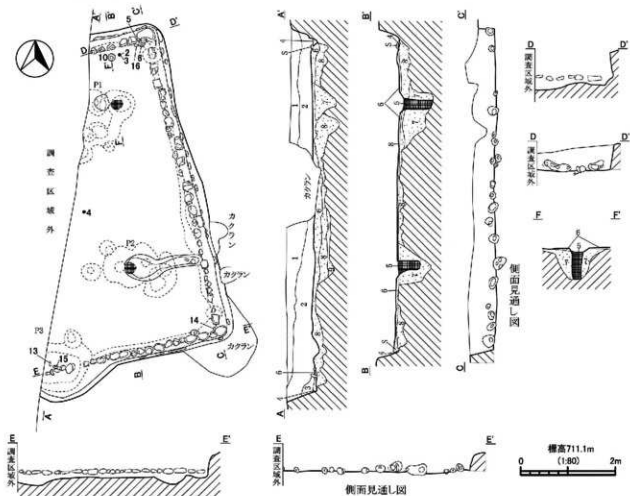
(1:80)

2m

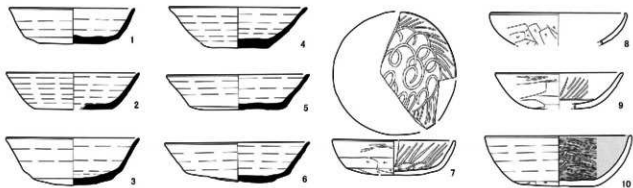
1. ㉔に㉔い黄褐色土(0YR4/3)ノミズメ大・小石を少量含む。
2. 黒褐色土(0YR3/2) 黒褐色土5~10mm大ブロックを含む。
3. 黒褐色土(0YR3/1)
4. 黄褐色土(0YR3/4)
5. ㉔い黄褐色土(0YR4/2) に㉔い黄褐色土を含む。
6. ㉔黄褐色土(0YR4/2) 柱状。
7. 黒褐色土(0YR3/2) に㉔い黄褐色土ブロックと混在。粘厚。
8. 黒褐色土(0YR3/2) に㉔い黄褐色土ブロックをまじら含む。
9. ㉔い黄褐色土(0YR3/4) 黒褐色土ブロックを含む。
10. ㉔い黄褐色土(0YR3/4) 黄褐色土ブロック・粒子を含む。
11. 黄褐色土(0YR3/4) 黒褐色土小ブロック・粒子を含む。
12. 明赤褐色土(5YR5/4) 焼土。
13. ㉔い黄褐色土(0YR3/2) 黒褐色土ブロック・粒子を含む。
14. 黒褐色土(0YR3/2) カマド痕方。
15. 暗褐色土(0YR3/4) に㉔い黄褐色土ブロックを含む。
16. ㉔黄褐色土(0YR4/2) 粘土ブロックを多量に、粘土ブロック・粒子を含む。
17. ㉔い黄褐色土(0YR3/4) 黒褐色土ブロック・褐色土粒子を含む。
18. ㉔黄褐色土(0YR4/2) 粘土ブロックを多量に、粘土ブロック・粒子を含む。

第18図 NWAIV H13号住居址

NWAIV H17号住居址(1)

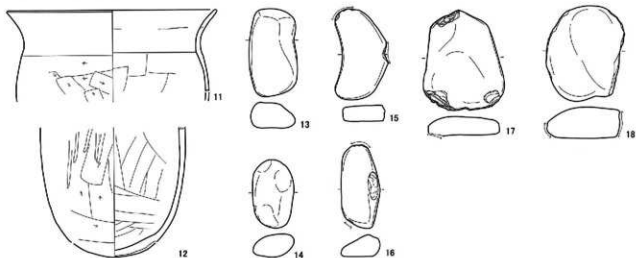


- 1.黒褐色土(10YR2/2)
- 2.黒褐色土(10YR2/2) 黒褐色土小ブロックを含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2)
- 4.黒褐色土(10YR2/2) L状穴なし。
- 5.黒褐色土(10YR2/2) 柱穴。
- 6.暗褐色土(10YR3/2) 黒褐色土小ブロックを含む。
- 7.にがい・黄褐色土(10YR4/3) 黄褐色土・にがい・黄褐色土・黒褐色土ブロックを多数に含む。柱穴。
- 8.黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土・黒褐色土ブロックを多数に含む。壁が遺土。
- 9.黄褐色土(10YR5/0) 11-A主体。

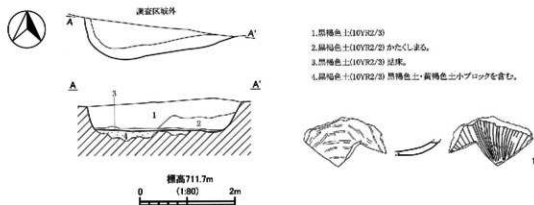


第20図 NWAIV H17号住居址(1)

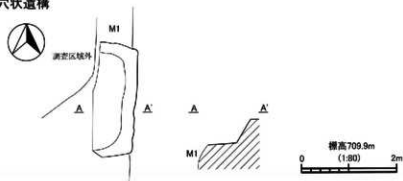
NWAIV H17住居址(2)



NWAIV H18号住居址



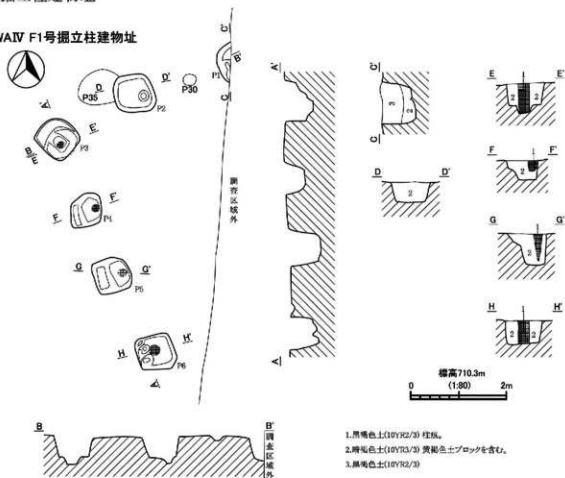
NWAIV Ta1号竪穴状遺構



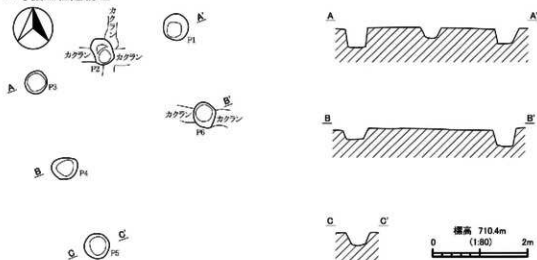
第21図 NWAIV H17号住居址(2)・H18号住居址・Ta1号竪穴状遺構

2. 掘立柱建物址

NWAIV F1号掘立柱建物址

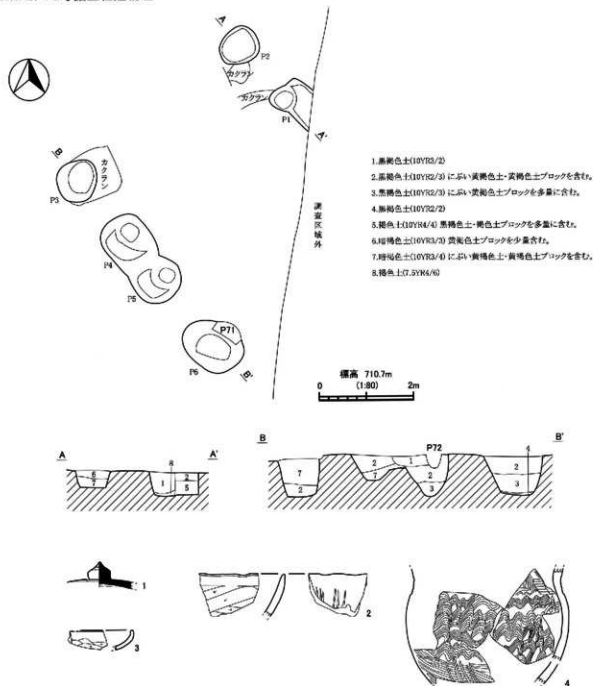


NWAIV F3号掘立柱建物址



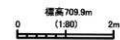
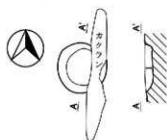
第22図 NWAIV F1号掘立柱建物址・F3号掘立柱建物址

NWAIV F2号掘立柱建物址



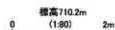
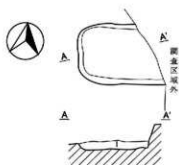
第23図 NWAIV F2号掘立柱建物址

3.土坑



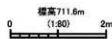
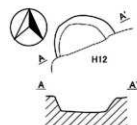
1.黒色土(10V92/1)
黄褐色土小ブロックを少量含む。

D1号土坑

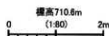
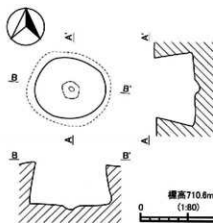


1.黒色土(10V92/1) 黄褐色土小ブロックを含む。

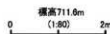
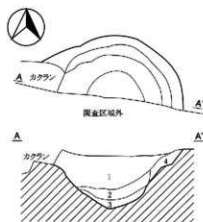
D2号土坑



D12号土坑



D3号土坑

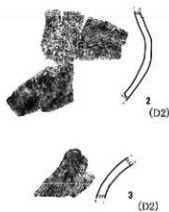


1.黒褐色土(10V93/2) 小石を少量含む。
2.黒褐色土(10V92/3)
3.に灰・黄褐色土(10V95/4) 黄褐色土粒子を少量含む。
4.黒褐色土(10V93/1)

D13号土坑

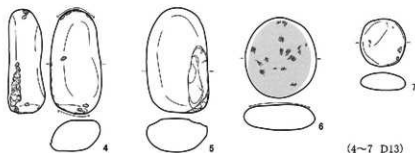


1 (D3)



2 (D2)

3 (D2)

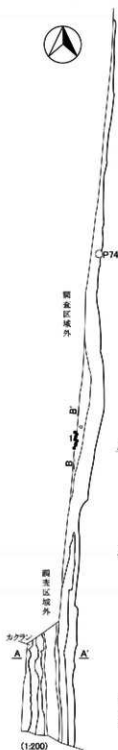


(4~7 D13)

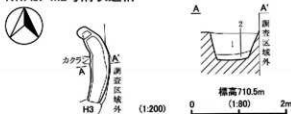
第24図 NWAIV D1~3・D12・D13号土坑

4. 溝状遺構

NWAIⅣ M1号溝状遺構



NWAIⅣ M2号溝状遺構



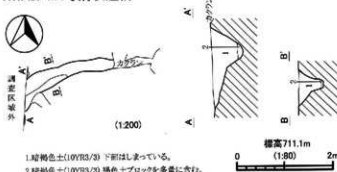
1. 黒褐色土(10YR2/3) 褐色土・黄褐色土・黒褐色土小ブロックを多く含む。人為的堆積。
2. 褐色土(10YR4/4) に灰・黄褐色土主体。人為的堆積。

NWAIⅣ M3号溝状遺構

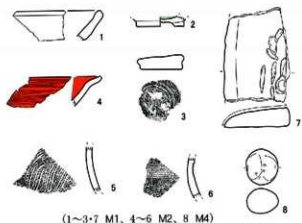


1. 暗褐色土(10YR3/3)
2. 暗褐色土(10YR3/3) に灰・黄褐色土ブロックを多数を含む。

NWAIⅣ M4号溝状遺構



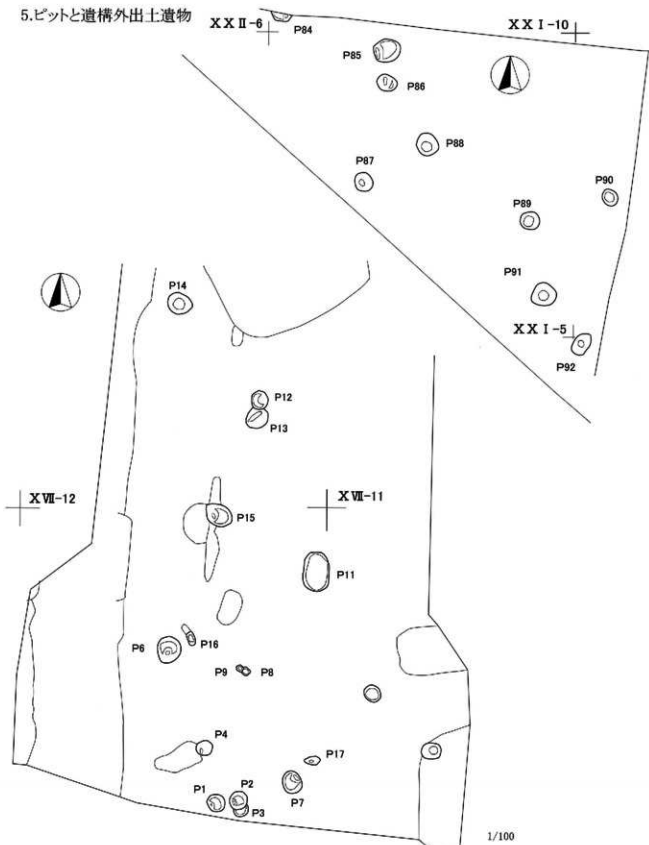
1. 暗褐色土(10YR3/3) 下層はしまっている。
2. 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土ブロックを多数を含む。



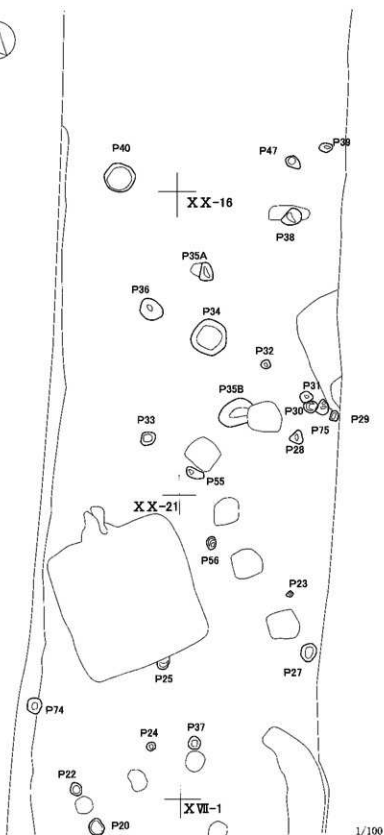
(1~3・7 M1、4~6 M2、8 M4)

第25図 NWAIⅣ M1~M4号溝状遺構

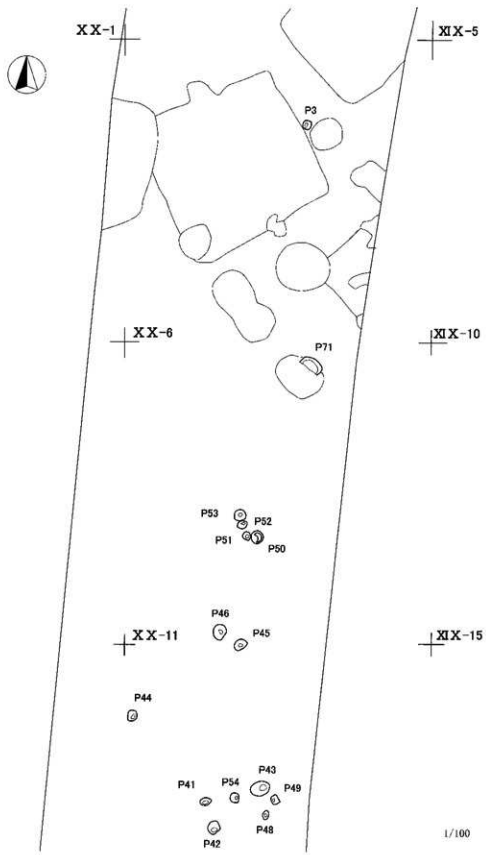
5.ピットと遺構外出土遺物



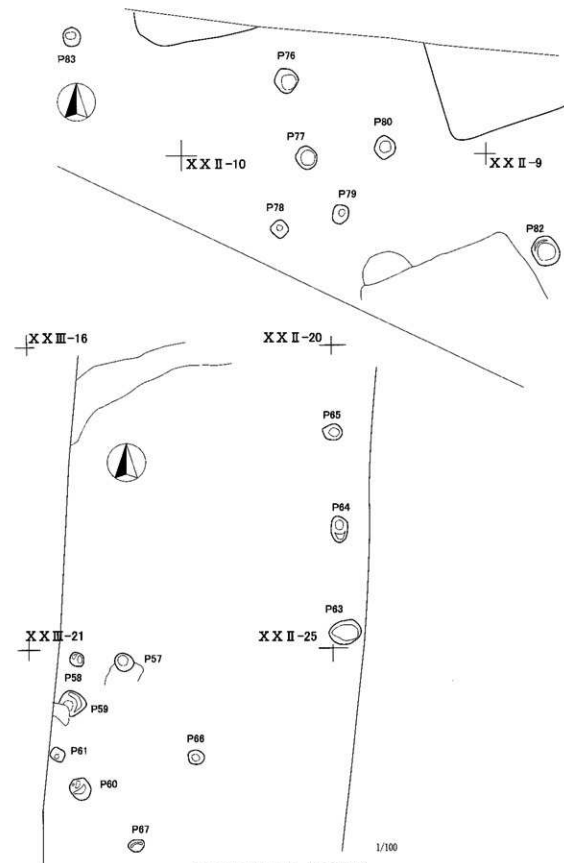
第26図 NWAIV ピット平面図(1)



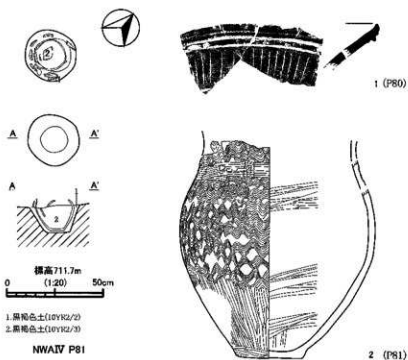
第27図 NW/IV ピット平面図(2)



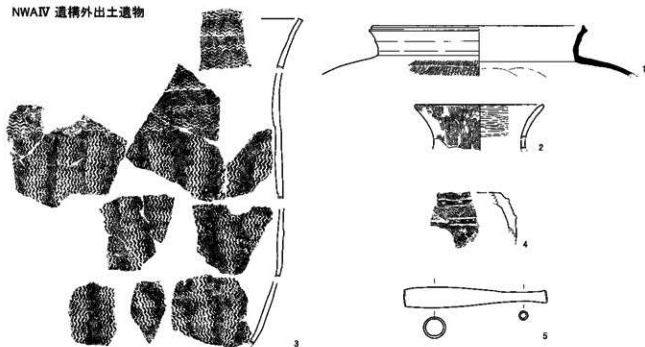
第28図 NW/IV ピット平面図(3)



第29図 NWAV ピット平面図(4)



NWAIV 遺構外出土遺物



第30図 NWAIV ビット・遺構外出土遺物

道常遺跡

第V章 道常遺跡

第1節 道常遺跡の概要

道常遺跡は今回の調査範囲で中央部南端に位置する。都市計画道路の調査であり、南北 100m・東西 30m・幅 16mの調査区で、面積は 1635 m²を測る。平成21年度に調査が行われた。検出された遺構は堅穴住居跡や堅穴状遺構を中心に溝状遺構や土坑である。住居址の時代は奈良・平安時代であり、堅穴状遺構や土坑は中世の所産と考えられる。特に中世の遺構群は先の「基本層序」でも述べた黒色土が広がる範囲に集中し検出された。道路幅の調査であるため遺跡の全容は不明であるが、大型のTa5号堅穴状遺構を中心に、掘立柱建物址や土坑が配置される。また、D6号土坑やD20号土坑のように大型で木枠（樹種等の詳細は科学分析の項を参照）が残存する井戸跡も間隔をおいて検出されている。出土遺物は、土鍋やカワラケと共に石臼やつき臼の石製品、青磁などの磁器類等と占銭等があった。出土遺物よりこれら中世遺構群の所産時期は15～16世紀頃と考えられる。

次に注目される出土遺物として「布目平瓦」があげられる。道常遺跡からは遺構外の出土遺物であるが4点の平瓦が出土した。いずれも破片であるが、古代瓦の出土例が希薄な佐久地域において希少な出土例である。特に今回の都市計画道路建設並びに区画整理事業に伴う発掘においては、調査区の北側において比較的まとまった量の瓦が出土している。残念ながら軒瓦は出土していないが、平瓦と丸瓦が両方出土している。これらの瓦はほぼ共通のたたき目を有し、同一建物或いは同一時期に使用されたと考えられる。道常遺跡の出土瓦もこれと同じ様相を呈する。佐久地域においては、先にも述べたように古代瓦の出土が希薄な地域である。歴史的環境で述べた大規模な古代律令期の集落が展開する聖原遺跡や芝宮遺跡ですら瓦の出土はごく少量に止まっている。その中で比較的出土量が確認されているのが、茂田井地区の天神反遺跡と長土呂地区のこの近辺（周防畑・渋右衛門・一本松地籍）のみである。それゆえに早くから所謂、定額寺の「妙楽寺」推定地と考えられ、付近には「佐久郡衙」があると考えられていた。また、近年になって周防畑遺跡群中の丁場造成残土より7世紀末に比定される「川原寺」式の軒丸瓦が採集・発表されたことにより益々注目される場所となっている。今回の出土資料もこれらを補足する資料である。



第31図 渋右衛門遺跡出土瓦



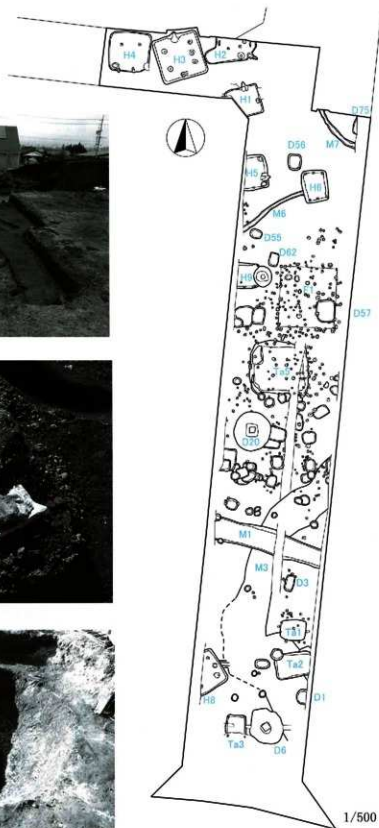
調査区北側(西より)



平瓦出土状況



D20号土坑検出状況

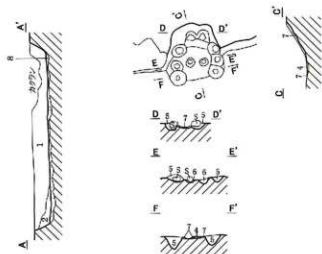
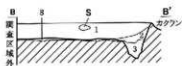


第32図 道常遺跡全体図

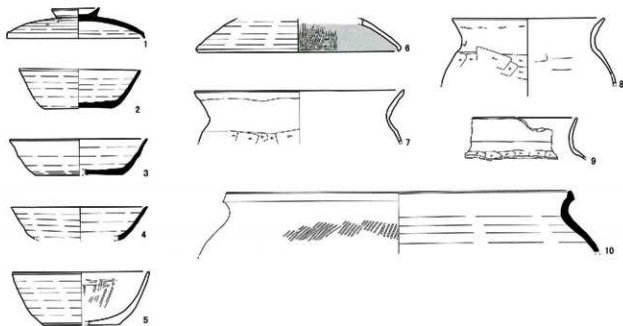
第2節 遺構と遺物

1. 竪穴住居址と竪穴状遺構

NSDJ H1号住居址

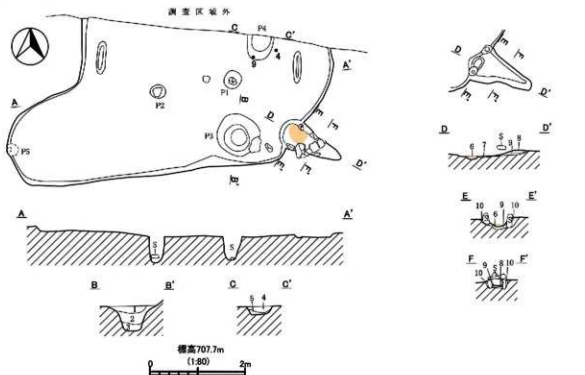


1. 暗褐色土(10YR3/3) 褐色土の粒子を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/3)
3. 灰黄褐色土(10YR5/2) 褐色土のブロックを含む。
4. 赤褐色土(5YR4/0) 流土。
5. 黒褐色土(10YR3/1) 黒灰色の粘土ブロックを含む。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 粘土粒子微量を含む。
7. 黒褐色土(10YR3/1) 暗褐色土粒子・粘土粒子を微量を含む。
8. 黒褐色土(10YR3/2) 褐色土ブロック・粒子を含む。

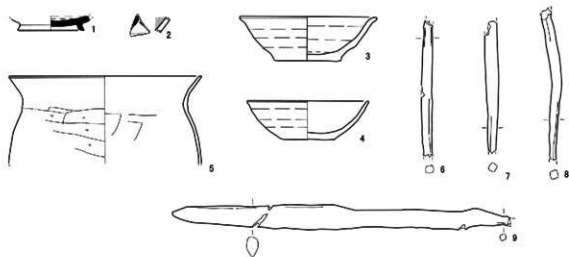


第33図 NSDJ H1号住居址

NSDJ H2住居址

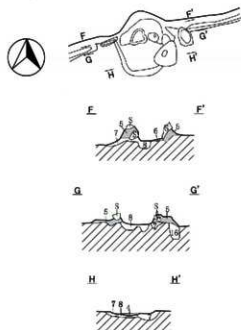
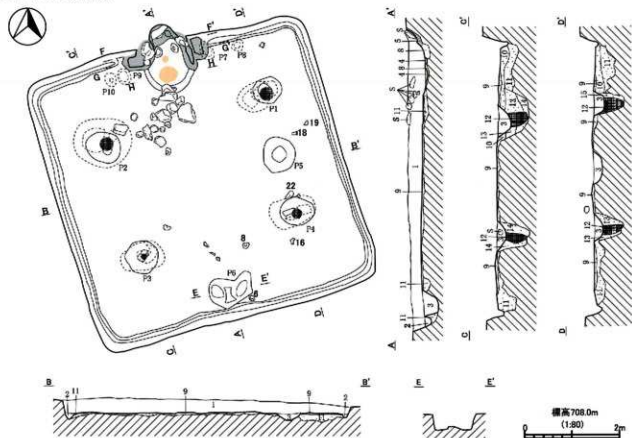


1. 褐色土(5YR6/1)
2. 赤い黄褐色土(5YR6/3) 黒褐色土小ブロックを含む。
3. 灰黄褐色土(5YR5/2) 黒褐色土小ブロックを含む。
4. 黒褐色土(5YR2/3) 炭化物を微量含む。
5. 褐色土(5YR4/3) 炭化物・焼土粒子を微量含む。
6. 褐色土(5YR6/6) 焼土。
7. 赤い褐色土(5YR6/4) 灰を多量、炭化物粒子を微量含む。
8. 明赤褐色土(5YR5/6) 焼土粒子を多量、黒褐色土の小ブロックを含む。
9. 暗褐色土(5YR3/0) 焼土粒子を微量に含む。
10. 褐色土(5YR4/1) 焼土ブロックを多く含む。



第34図 NSDJ H2住居址

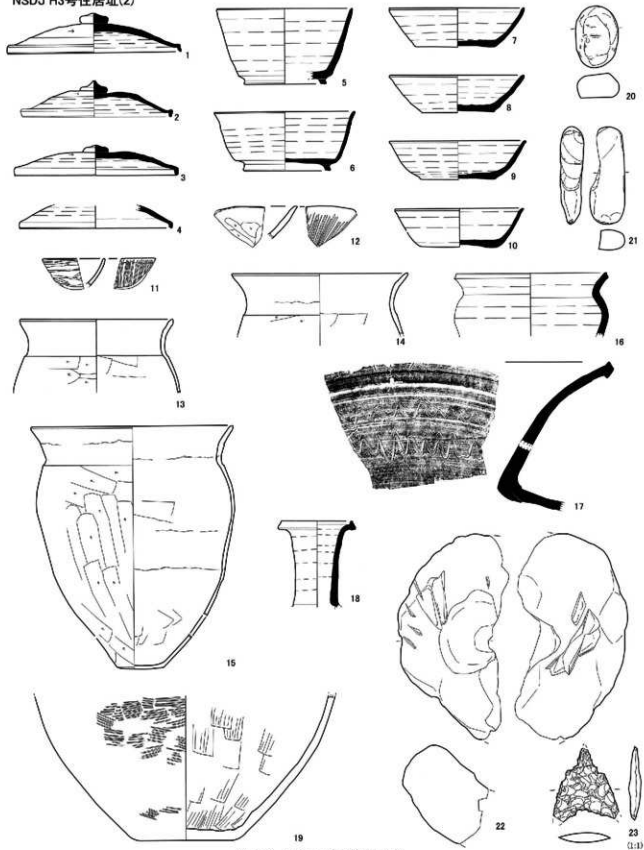
NSDJ H3号住居址(1)



- 1.黒褐色土(10YR2/2)
- 2.黒褐色土(10YR2/3)
- 3.黒褐色土(10YR2/2)
- 4.流土
- 5.黒褐色土(10YR2/2) 褐色(10YR4/1)粘土ブロックを多く含む。
- 6.暗赤褐色土(5YR3/4) 流土・炭化物含む。
- 7.黒褐色土(10YR2/2) 粘土ブロックを少量含む。
- 8.にじみ赤褐色(5YR3/2) 灰・焼土を微量に含む。
- 9.黒褐色土(10YR2/2) 褐色土ブロックを少量含む。粘床。
- 10.黒褐色土(10YR2/2)
- 11.暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土の1~3cm大のブロックを含む。
- 12.灰黄褐色土(10YR5/2) 褐色土wp少量含む。柱直。
- 13.褐色土(10YR4/4) 黄褐色土ブロックと黒褐色土ブロックを多量に含む。まだら状。
- 14.にじみ黄褐色土(10YR5/4) 黄褐色土粒子を微量に含む。
- 15.灰黄褐色土(10YR4/2)
- 16.黒褐色土(10YR2/1)

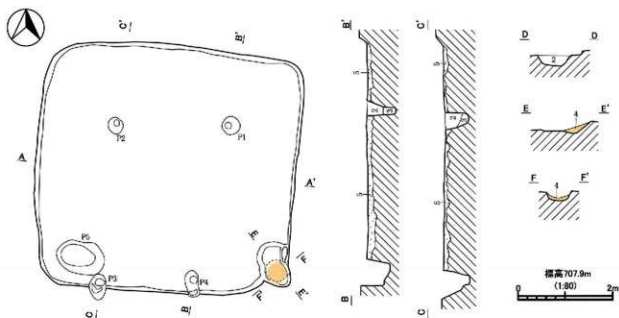
第35図 NSDJ H3号住居址(1)

NSDJ H3号住居址(2)

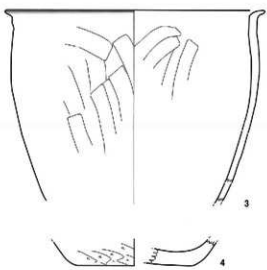
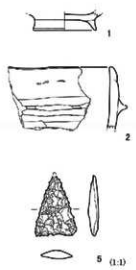
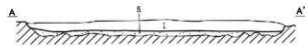


第36图 NSDJ H3号住居址(2)

NSDJ H4号住居址

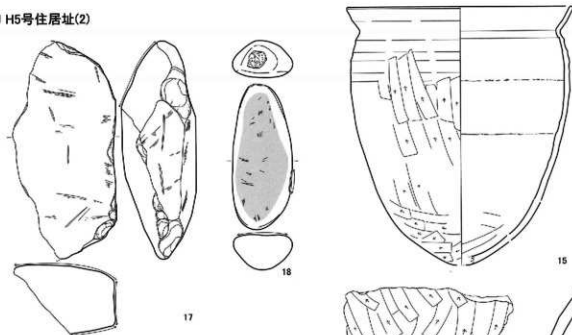


1. 黒褐色土(10YR2/3) 輝褐色土粒を多量含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) にごり、黄褐色土を微量含む。
3. にごり、黄褐色土(10YR6/4) 黒褐色土小ブロック含む。
4. 紅褐色土(5YR6/6) 黄土 にごり、黄褐色土ブロック含む。
5. 輝褐色土(10YR3/4) 明黄褐色土ブロック・粒子を多く含む。

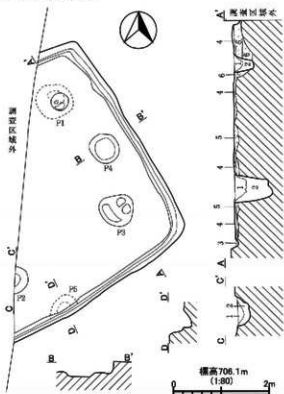


第37図 NSDJ H4号住居址

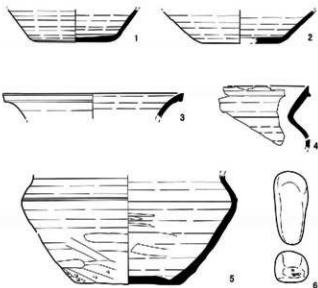
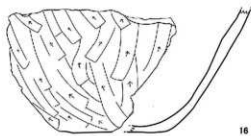
NSDJ H5号住居址(2)



NSDJ H8号住居址

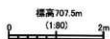
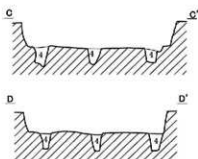
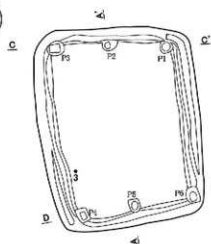


- 1.黒褐色土(10YR2/3)
- 2.褐色土(10YR2/3) 黒褐色土・黄褐色土小ブロック多量含む。
- 3.暗褐色土(10YR2/4)
- 4.黒褐色土(10YR2/3) 断面。
- 5.褐色土(10YR4/4) 黄褐色土・黄褐色土小ブロック多量に含む。
- 6.褐色土(10YR4/4) ローム半体。



第39図 NSDJ H5号住居址(2)・H8号住居址

NSDJ H6住居址

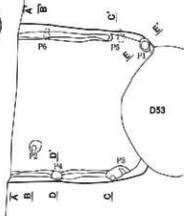


1. 黒褐色土(10YR5/2)
2. 赤褐色土(10YR3/2) 及び 褐色土を少量含む。
3. 暗褐色土(10YR3/0) 黄褐色土を少量含む。
4. 黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土ブロックを多く含む。



3 (0:1)

NSDJ H9号住居址



1. 黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土ブロックを多量に含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1)

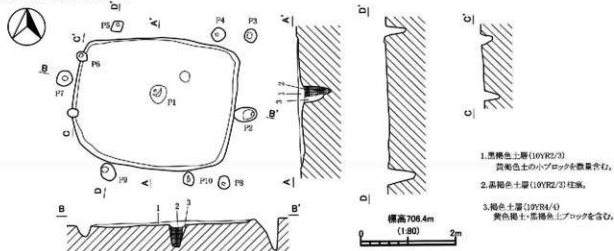


1

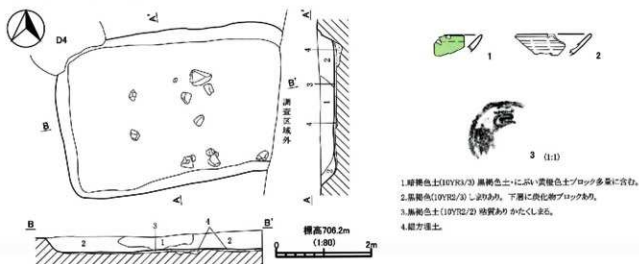


第40図 NSDJ H6号住居址・H9号住居址

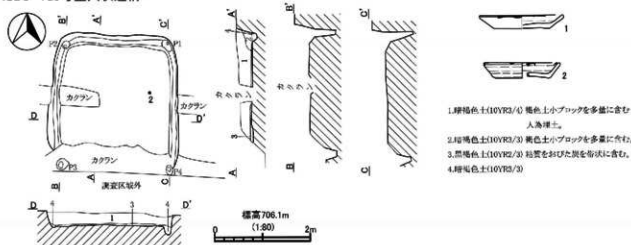
NSDJ Ta1号堅穴状遺構



NSDJ Ta2号堅穴状遺構

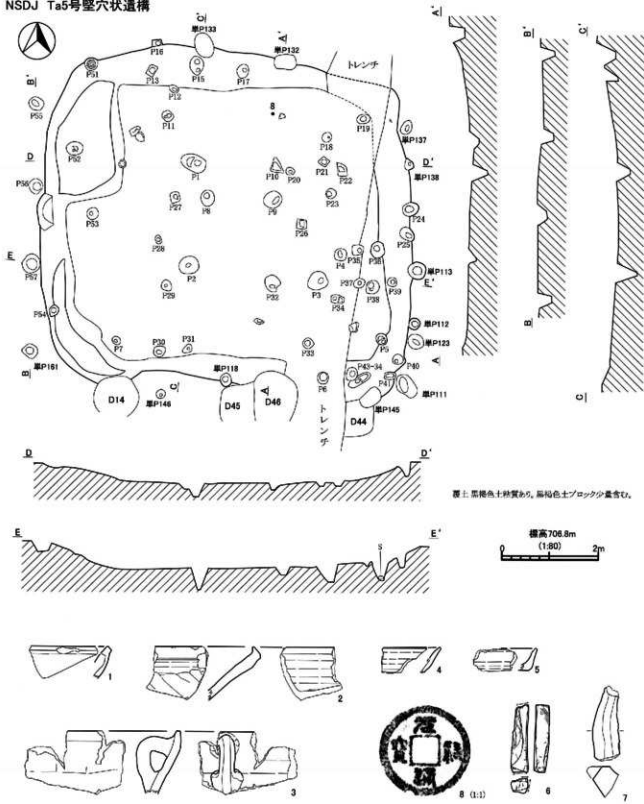


NSDJ Ta3号堅穴状遺構



第41図 NSDJ Ta1号堅穴状遺構・Ta2号堅穴状遺構・Ta3号堅穴状遺構

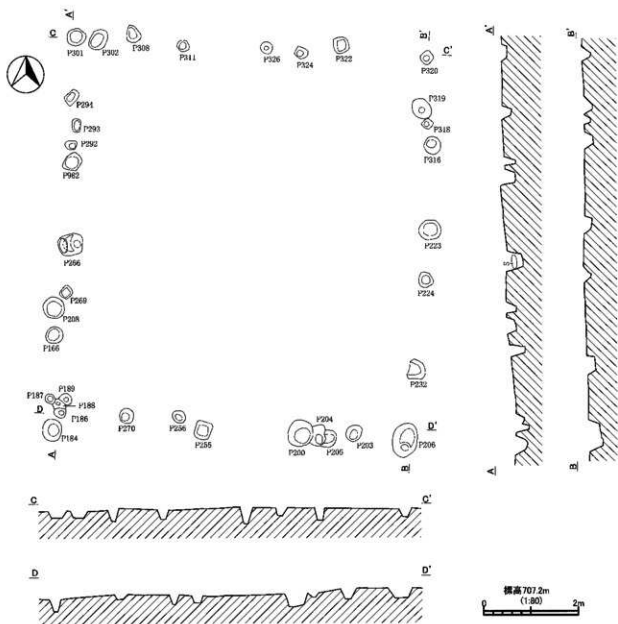
NSDJ Ta5号堅穴状遺構



第42図 NSDJ Ta5号堅穴状遺構

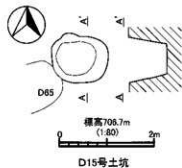
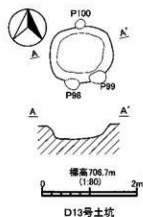
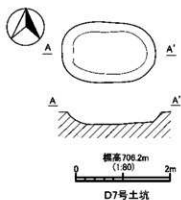
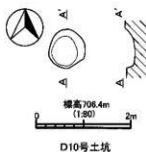
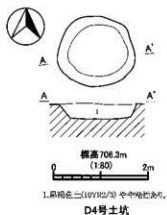
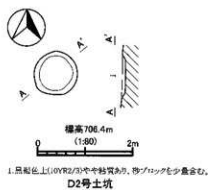
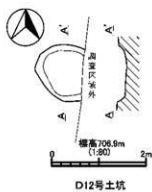
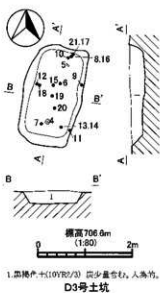
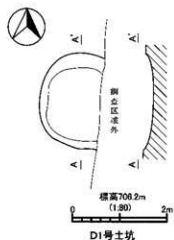
2. 掘立柱建物址

NSDJ F1号掘立柱建物址

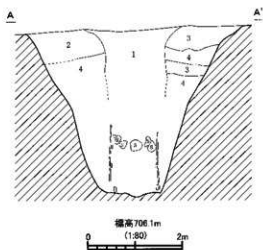
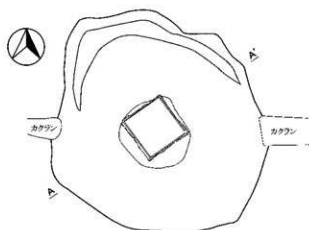


第43图 NSDJ F1号掘立柱建物址

3.土 坑

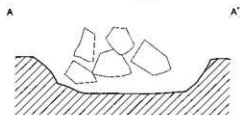
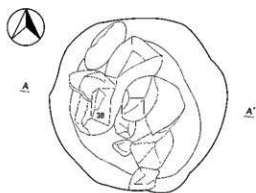


第44図 NSDJ D1~4・D7・D8・D10~13・D15号土坑



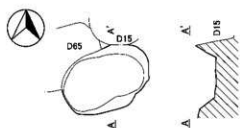
1. 1.に深い黄褐色土(10YR4/3)
2. 2.に深い黄褐色土(10YR4/3) 緑褐色土小ブロックを少量含む。
3. 3.暗褐色土(10YR3/3) 暗褐色土に深い黄褐色土ブロックを多量に含む。かたしめる。
4. 4.暗褐色土(10YR3/3) 1.に深い黄褐色土ブロックを少量含む。かたしめる。

D6号土坑



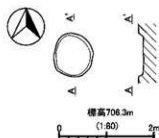
標高706.7m
(1:40)

D14号土坑

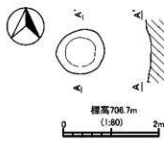


標高706.7m
(1:80)

D16号土坑

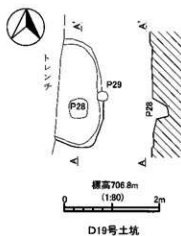
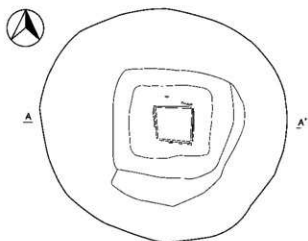


D17号土坑

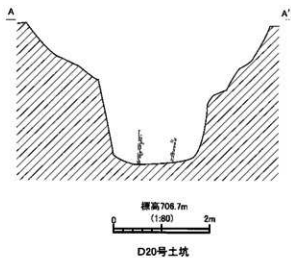


D18号土坑

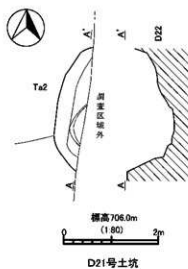
第45図 NSDJ D6・D14・D16～18号土坑



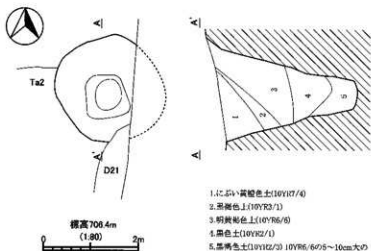
D19号土坑



D20号土坑



D21号土坑



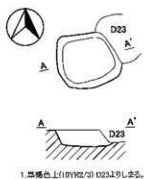
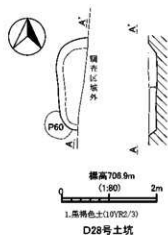
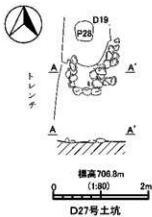
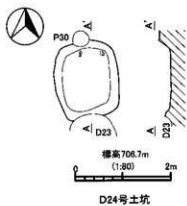
D22号土坑

1. 灰土・黄褐色土(10YR7/4)
2. 黒褐色土(10YR2/1)
3. 明黄褐色土(10YR6/6)
4. 黒色土(10YR2/1)
5. 黒褐色土(10YR2/3) 10YR6/6の5~10cm大のブロックを含む。

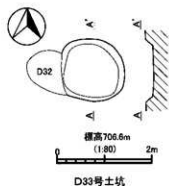
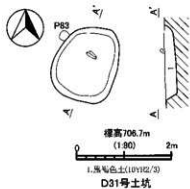
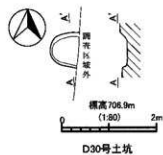


D23号土坑

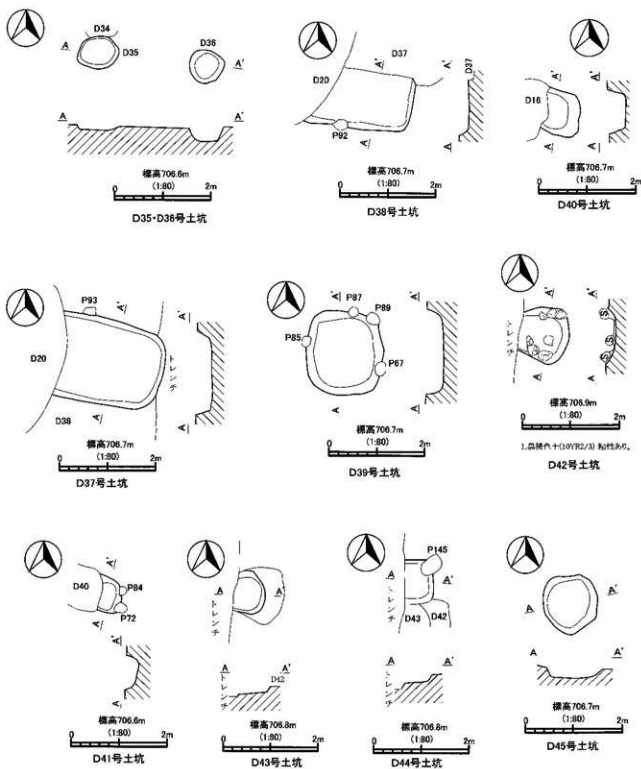
第46図 NSD J D19~23号土坑



1.黒褐色土(10YR2/3) D23よりLまで。



第47図 NSD] D24~34号土坑

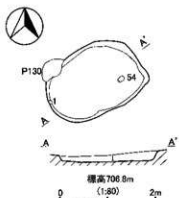


第48図 NSDJ D35~45号土坑



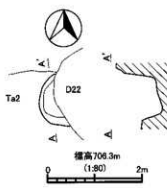
1.黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色の泥/ブロックを含む。

D45号土坑

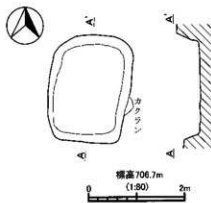


1.黒褐色土(10YR2/3) 珪砂あり、砂層直に穴行。

D47号土坑



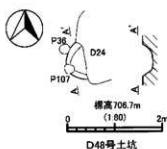
D49号土坑



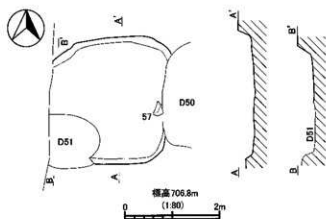
D46号土坑



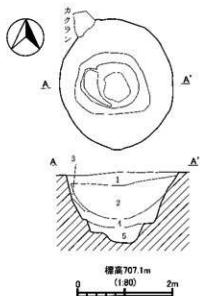
D51号土坑



D48号土坑



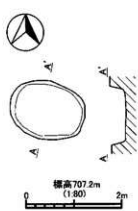
D52号土坑



- 1.黒褐色土(10YR2/2)
- 2.褐色土(10YR4/0) 1cmの黄褐色土、ブロックを多量に含む。
- 3.褐色土(10YR4/1)
- 4.黒褐色土(10YR2/1)
- 5.黄褐色土(10YR5/0) 黒内土とレンズ状・ブロック状に穴される。

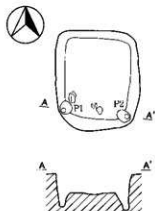
D53号土坑

第49図 \S DJ D46～53号土坑



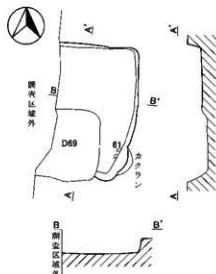
標高707.2m
(1:80)

D55号土坑



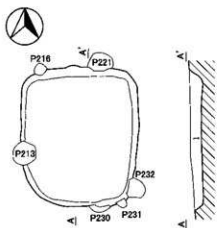
標高707.4m
(1:80)

D56号土坑



標高706.6m
(1:80)

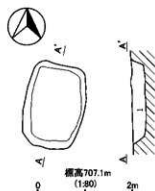
D58号土坑



標高707.0m
(1:80)

1.緑褐色土(10YR3/4) 小石を多く含む。

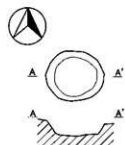
D57号土坑



標高707.1m
(1:80)

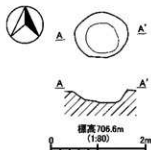
1.黒褐色土(10YR2/3) 黒褐色土ブロック・砂子を少量含む。

D62号土坑



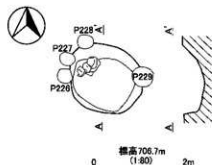
標高706.5m
(1:80)

D63号土坑



標高706.6m
(1:80)

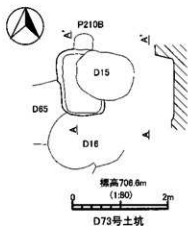
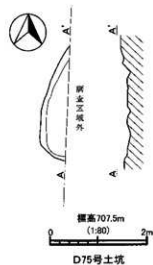
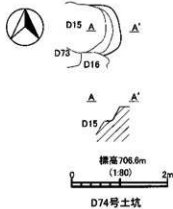
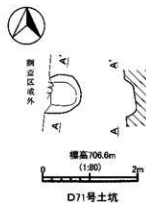
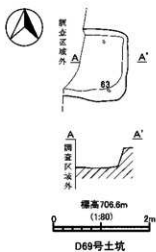
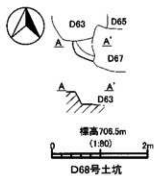
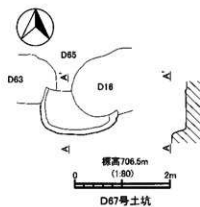
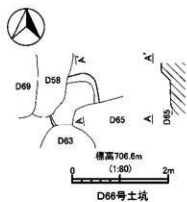
D59号土坑



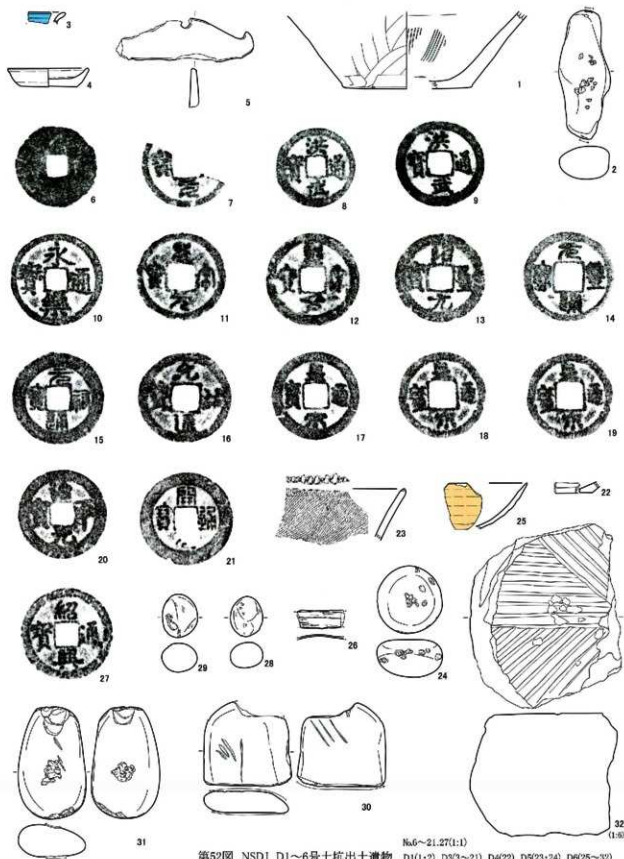
標高706.7m
(1:80)

D64号土坑

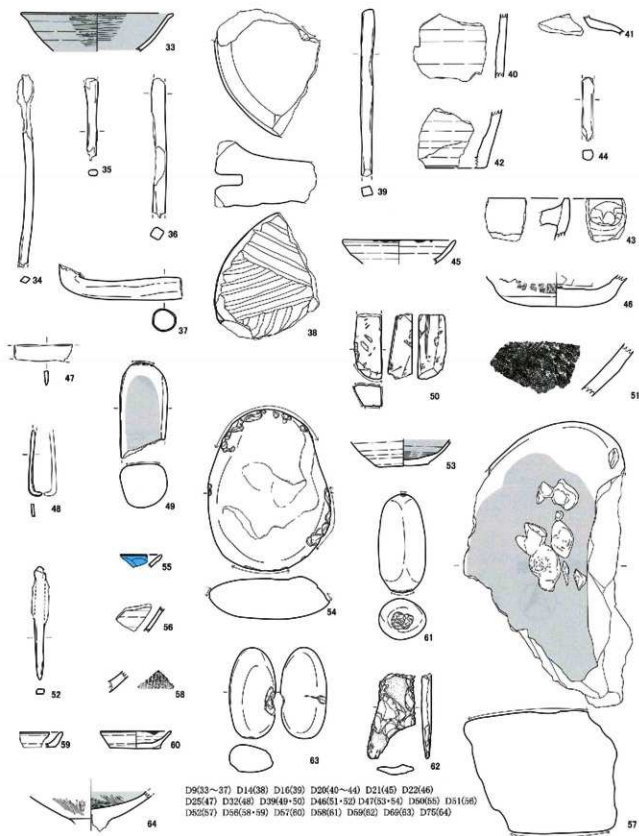
第50図 NSDJ D55~59・D62~64号土坑



第51图 NSDJ D65~71·D73~75号土坑



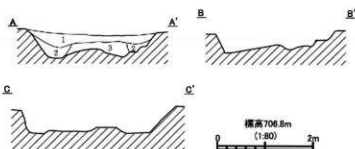
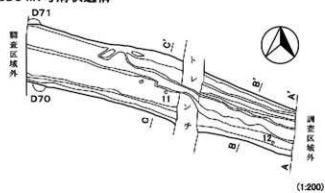
第52图 NSDJ D1~6号土坑出土遗物
 No.6~21.27(1:1)
 D1(1-2) D3(3~21) D4(22) D5(23-24) D6(25~32)



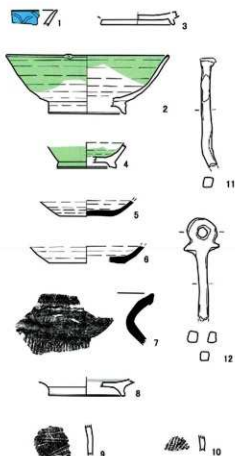
第53图 NSDJ D9~75号土坑出土遗物

4. 溝状遺構

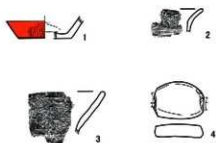
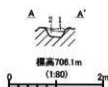
NSDJ M1号溝状遺構



- 1.黒褐色土(10YR3/2) 砂を微量に含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) 小石・褐色土粒子を微量に含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) 褐色土を微量に含み全体に砂を含まない。



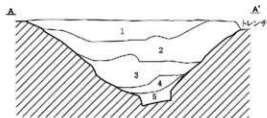
NSDJ M5号溝状遺構



- 1.黒褐色土(10YR2/2)
- 2.褐色土(10YR3/4) 黄褐色土の小ブロックを多量に含む。

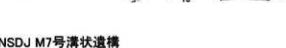
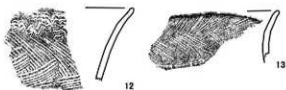
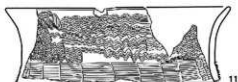
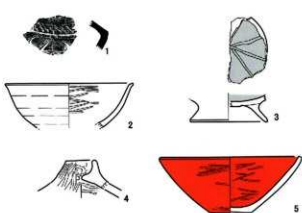
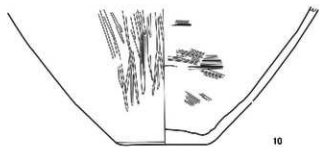
第54図 NSDJ M1号溝状遺構・M5号溝状遺構

NSDJ M3号溝状遺構

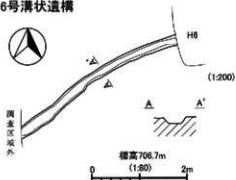


1. 緑赤褐色土(0YR3/3) 赤色化する砂の層に褐色のシルトを多く含む。
2. 褐色土(7.5YR4/0) シルト主体に赤色化する暗赤褐色砂を少量含む。
3. 灰白・黄褐色土(10YR7/2)の白砂に暗赤褐色の赤砂を含む。
4. 黒褐色土(0YR2/1) 褐色のシルトブロックを含む。
5. 灰白・黄褐色土(10YR5/4) ロームブロック・白砂・小石を主成分とする。

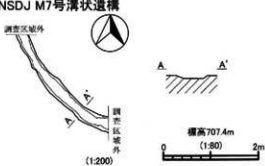
標高706.5m
0 (1:80) 2m
平面図はP62を参照



NSDJ M6号溝状遺構

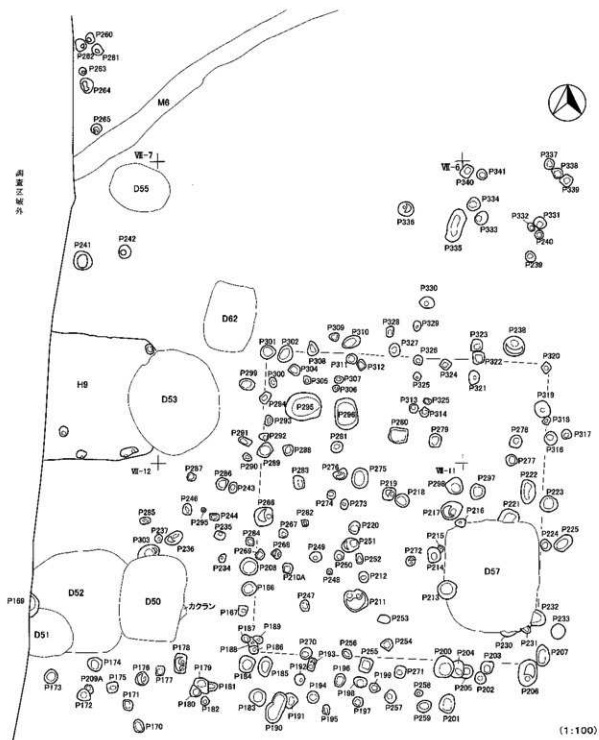


NSDJ M7号溝状遺構

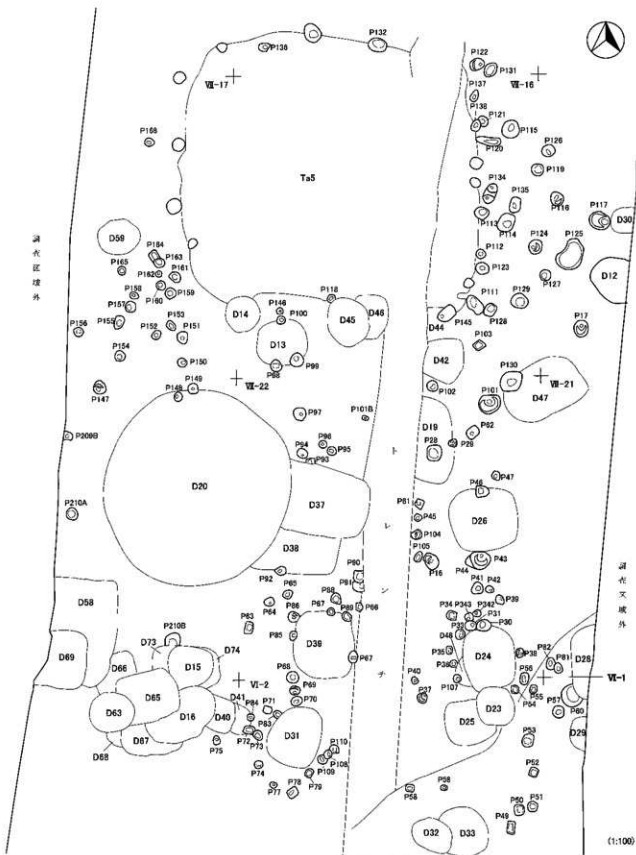


第55図 NSDJ M3号溝状遺構・M6号溝状遺構・M7号溝状遺構

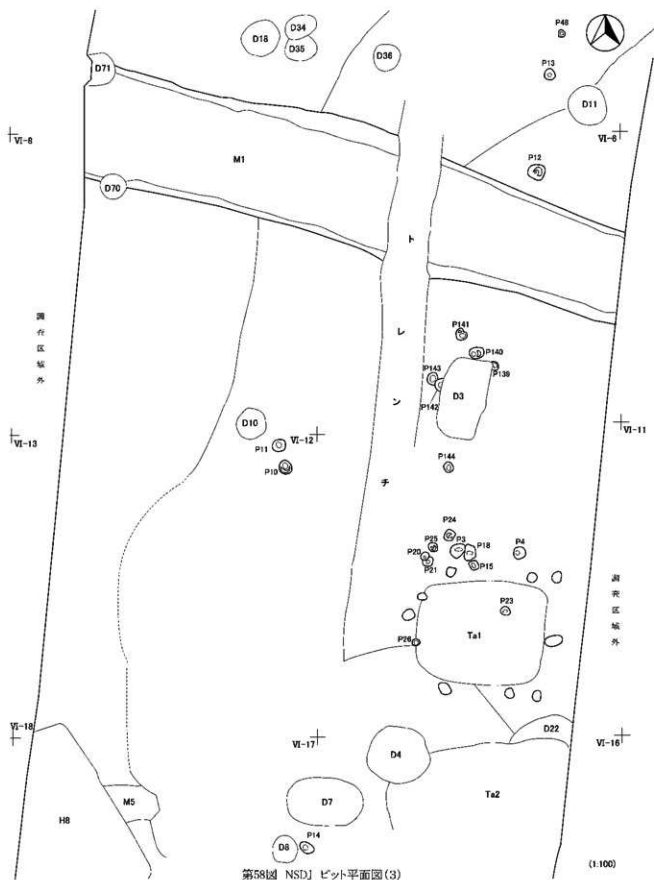
5.ピットと遺構外出土遺物



第56図 NSDJ ピット平面図(1)

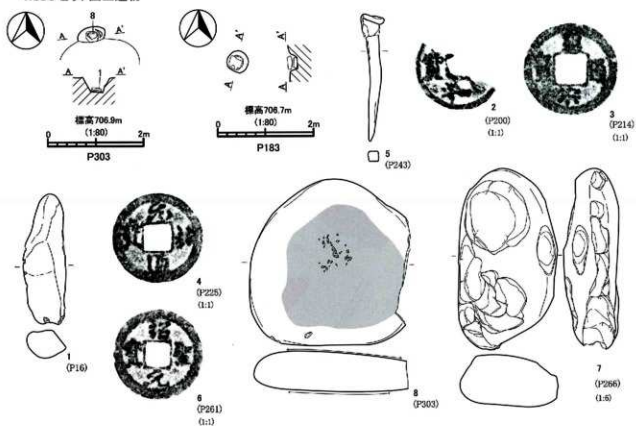


第57図 NSJD ビット平面図(2)

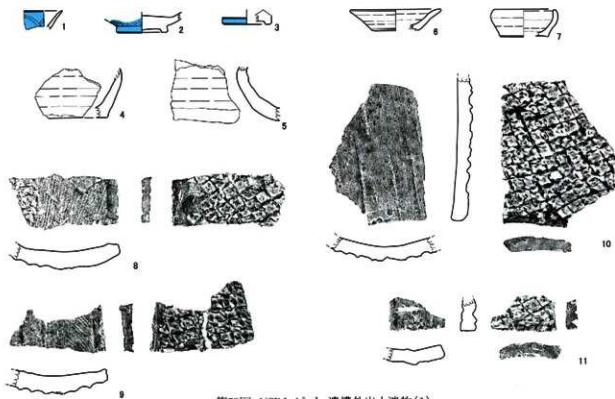


第58図 NSD] ビット平面図(3)

NSDJ ピット出土遺物

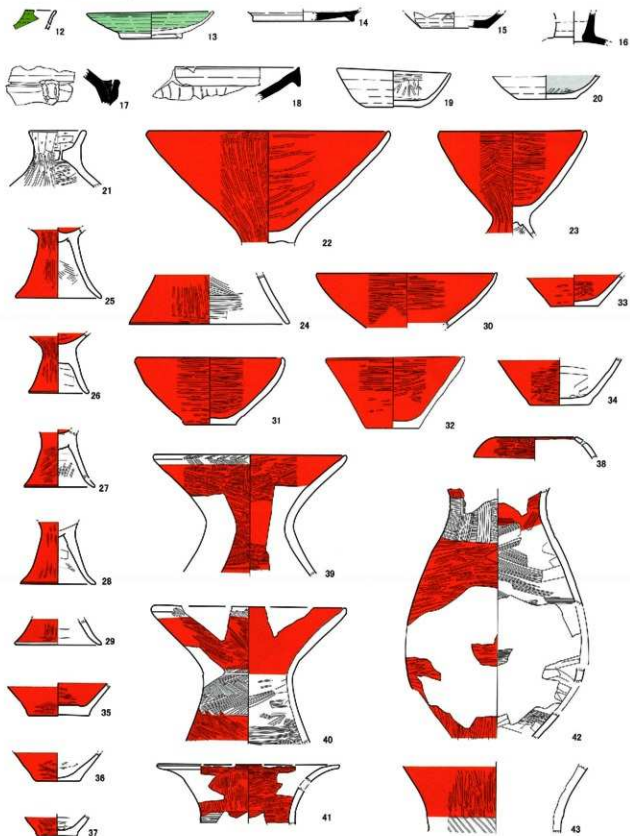


NSDJ 遺構外出土遺物(1)



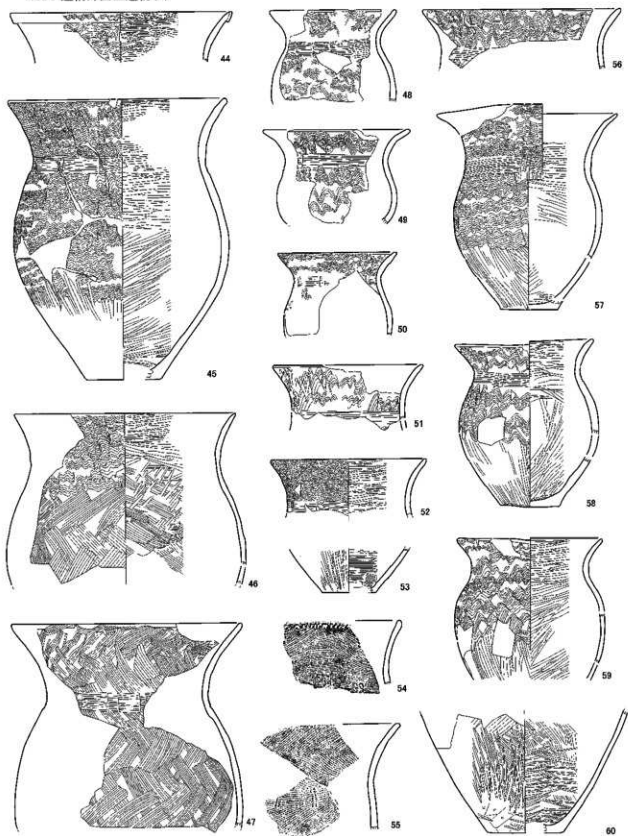
第59図 NSDJ ピット・遺構外出土遺物(1)

NSDJ 遺構外出土遺物(2)



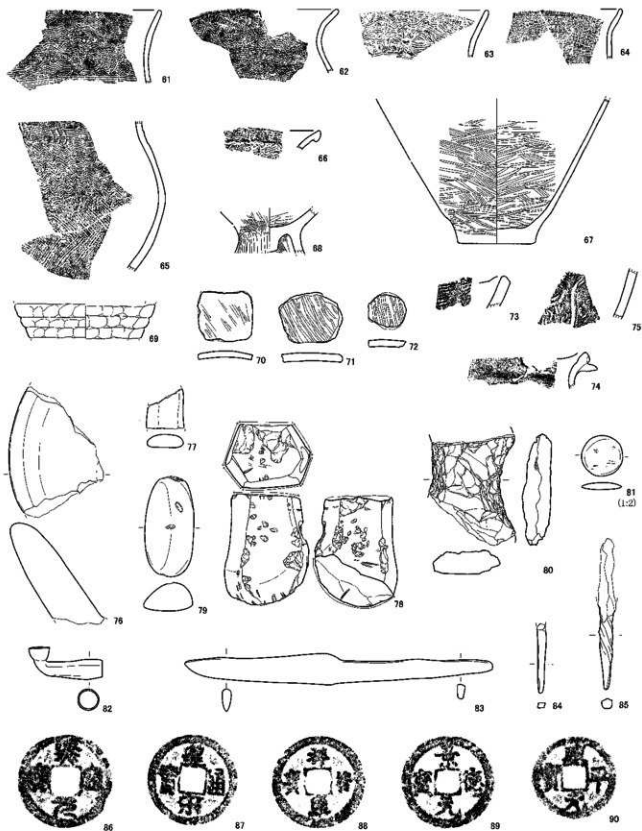
第60図 NSDJ 遺構外出土遺物(2)

NSDJ 遺構外出土遺物(3)



第61図 NSDJ 遺構外出土遺物(3)

NSDJ 遺構外出土遺物(4)



№.86~90 (1:1)

第62圖 NSDJ 遺構外出土遺物(4)

南近津遺跡Ⅲ

第VI章 南近津遺跡Ⅲ

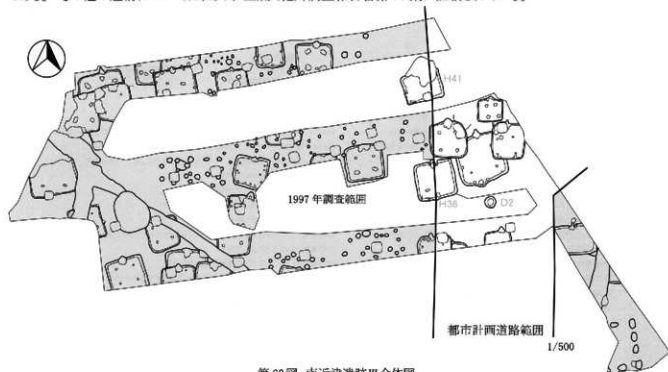
第1節 南近津遺跡Ⅲの概要

南近津遺跡Ⅲは今回の調査範囲で北よりに位置する。都市計画道路部分の調査であり、面積は357㎡を測る。本遺跡の一部は1997年に宅地造成に伴い発掘調査がなされている。結果、古墳時代後期から平安時代にいたる竪穴住居址35軒、掘立柱建物址3棟、土坑や溝状遺構等が検出されている。特に注目される出土遺物では、「大井」と書かれた須恵器環の墨書や土師器環の刻書が出土し、また「有子」と読める土師器皿が出土している。今回の調査地点全域でも「大井」と読める墨書や刻書は多く、南端で調査された大豆田遺跡の資料も含めると、かなりの出土例が蓄積された。この事実は古代「大井郷」の比定に大きな傍証となっている。

しかし、本遺跡北に接する南下北原遺跡の竪穴住居址から「刑部仁丸」と墨書された土師器碗が出土し、またやや離れるが北部地域の土久保田向遺跡から同じく「刑部」と書かれた墨書が発見されている。現在、「刑部郷」は佐久南部地域の野沢平に比定されており出土地と比定地がかけ離れている。また、南部地域の根岸に所在する榛名平遺跡からは須恵器蓋の内面に「大井」と書かれた刻書が出土している。これらの事を見ると一概に出土地点だけをもって比定地に結論付けるのは、古代の律令下で編成された「郷」の実態が不明瞭な中で熟考を求められる部分であろう。

また、南近津遺跡の南50mに若宮遺跡Ⅰ・Ⅱが存在する。1983年と1991年に宅地造成に伴い発掘調査が行われ、奈良時代を中心とする竪穴住居址17軒が検出されている。中でもH7号住居址とH9号住居址から出土し、遺構間接合された土師器環は内面に所謂、螺旋状の畿内型暗文を施したもので飛鳥編年の1期に比定される大型環である。現在までに当地域では本資料が唯一であり、この畿内型環や先の道常遺跡で触れた「互」の出土、また「大井」の墨書や刻書などの資料を考え合わせると、今回の調査範囲を中心とする周防畑遺跡群や、隣の近津遺跡群は古代佐久地域において純粋な農村集落とは異なる性格付けを考えなければならぬ遺跡であることは間違いない。

なお、今回南近津遺跡Ⅲで報告する遺構は、範囲内で新たに発見された下図に示した2軒の住居址と土坑1基である。その他の遺構については佐久市埋蔵文化財調査報告書第76集に記載されている。

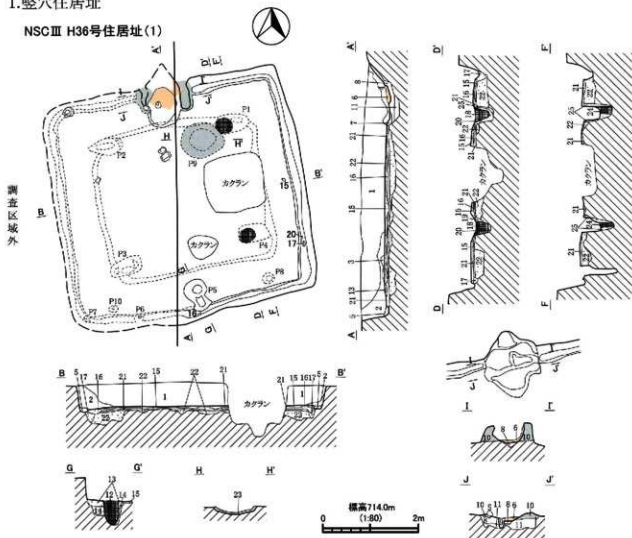


第63図 南近津遺跡Ⅲ全体図

第2節 遺構と遺物

1. 竪穴住居址

NSCⅢ H36号住居址(1)

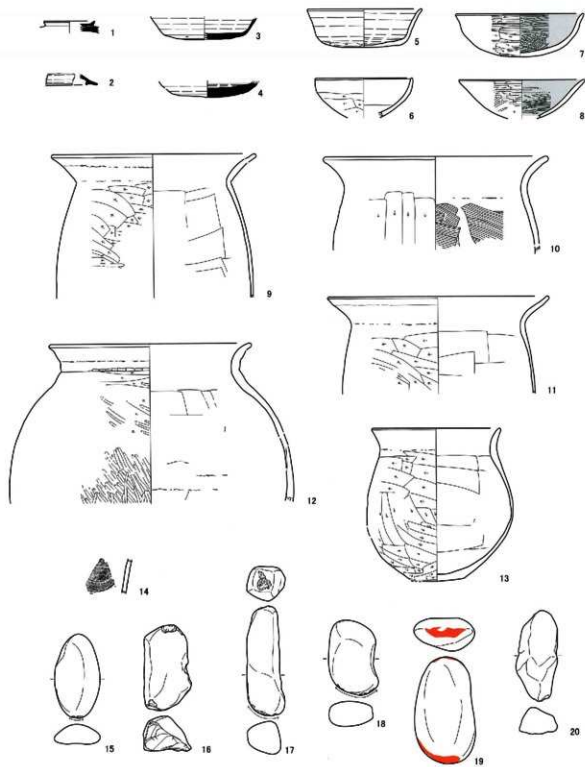


1. 褐色土(10YR4/4) 暗褐色土・褐色砂小ブロックを多量に含む。
2. 暗褐色土(10YR3/4) 暗褐色土・褐色砂小ブロックを多量に含む。
3. 暗褐色土(10YR3/4) 褐色土が主体で、暗褐色土小ブロックを少量含む。
4. 暗赤褐色土(5YR3/3) 暗褐色土小ブロックを多量に含む。
5. たい・粘土ブロックを少量(焼けたんだカマド跡)土、灰を含む。
5. 褐色土(10YR4/6)
6. 明赤褐色土(5YR5/6) 粘土。
7. 黒褐色土(10YR2/2) 黒い・粘土。カマド跡。
8. 褐色土(10YR4/4) 黄褐色土に多い黄褐色土小ブロックを含む。
9. 暗赤褐色土(5YR3/3) 又跡が壊れた痕?
10. 暗褐色土(10YR3/3) 粘土ブロックを多量に含む。カマド跡。
11. に多い黄褐色土(10YR4/3) 粘土ブロックを含む。
12. 暗褐色土(10YR3/4) 粘土。に多い黄褐色土ブロックを少量含む。
13. 暗褐色土(10YR3/2) に多い黄褐色土ブロックを少量含む。

14. に多い黄褐色土(10YR4/3)
15. に多い黄褐色土(10YR5/4) 黄褐色土とレンズ状及び砂小ブロックで含まれる。粘土。
16. に多い黄褐色土(10YR4/3) 暗褐色土小ブロックを多量に含む。黄褐色土ブロックを少量含む。
17. 褐色土(10YR4/6) 暗褐色土小ブロックが少量含まれる。床下位の層。
18. に多い黄褐色土(10YR4/3) 粘土。
19. に多い黄褐色土(10YR5/4) 暗褐色土を少量含む。
20. 暗褐色土(10YR5/6) 地山の明黄褐色土を少量含む。
21. 褐色土(10YR4/4) 粘土。床下位。
22. 黄褐色土(10YR5/6) 同黄褐色土主体で、暗褐色土小ブロックを少量含む。床下位層跡。
23. 暗褐色土(10YR2/2) 焼けた粘土。
24. 暗褐色土(10YR3/2) 粘土。黄褐色土を少量含む。
25. 黄褐色土(10YR5/6) 地山の明黄褐色土が主体。床下位層跡。

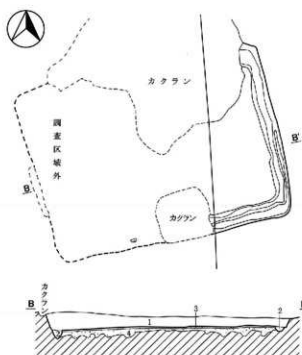
第64図 NSCⅢ H36号住居址(1)

NSCⅢ H36号住居址(2)



第65图 NSCⅢ H36号住居址(2)

NSCⅢ H41号住居址

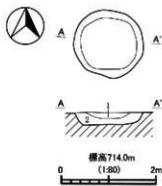


- 1.灰黄褐色土(0V94/2)
褐色土ブロックを多量に含む。
- 2.にぶい・黄褐色土(0V75/3)
明黄褐色ロームを含む。
- 3.黒褐色土(0V93/2)
黄色ロームブロックを少量含む。
- 4.黒褐色土(0V73/2)
明黄褐色ロームブロック及びローム粒子を多く含む。

標高713.9m
(1:80) 2m

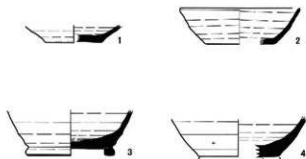
2.土坑と遺構外出土遺物

NSCⅢ D2号土坑



- 1.黒色土(0V92/1)
 - 2.黒褐色土(0V92/2)
- 褐色土粒子を多量に含む。

NSCⅢ 遺構外出土遺物



第66図 NSCⅢ H41号住居址・D2号土坑・遺構外出土遺物

宮の前遺跡 I・II

第七章 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ

第1節 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱの概要

宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱは都市計画道路と区画道路及び都市公園部分の調査であり、面積は 8968.5 m²を測る。平成22年度に調査した部分をⅠ、平成23年度調査分をⅡとしている。今回の報告対象は先に述べたように道路部分と公園部分であり、堅穴住居址153軒、掘立柱建物址52棟、土坑108基、溝38本、周溝墓14基等である。ただし、調査は区画整理地内も同時に発掘を行っており、遺跡全体では300軒以上の堅穴住居址が調査されている。その為、概要でも述べたが遺構の性格上で計画線をまたいでの遺構も数多く調査されており、調査年次の状況や遺構の検出状況により報告対象遺構を選別した。

今回の調査は4遺跡あるが、先にも述べたように調査年次の違いによるもので、一つの遺跡の広がりや捉えられる。ただ、南北500mの範囲では場所により時代別遺構密度の差が確認された。まず、縄文時代については集落址は発見されず、落とし穴と考えられる土坑と遺物が少量検出されたのみである。次の弥生時代は後期・箱清水期から集落が形成される。住居址は調査地点の中央部付近からまとまって検出され、重複する住居も多いことから2時期以上の変遷が考えられる。また、この集落を取り囲むように円形周溝墓や四隅の切れる方形周溝墓が展開している。この墓域と考えられるエリアには所謂「土器棺墓」「木棺墓」と考えられる遺構も検出され多様な墓制の共存が目される。周溝墓主体部からはガラス小玉や翡翠の小玉、鉄釘等が出土した。いまひとつ弥生時代の遺構として注目されるものに「井戸」址の発見がある。遺跡中央部付近より発見されたD93号土坑である。形態は素掘りの円形ですり鉢状の掘り込みを伴っていた。出土遺物は箱清水式土器のみであり、他の遺構との新旧関係から弥生時代と判定した。佐久地域において弥生時代と考えられる井戸の発見は現時点で報告されているものではなく希少な例である。なお、この近辺からは古代と中世の井戸址がそれぞれ発見されている。

次に古墳時代は前・中期の遺物は発見されておらず、後期段階から集落が営まれるようになる。ただ、後の奈良・平安時代の集落に比べると非常に少なく、古墳時代後期においては散村風景が広がっていたと考えられる。

古代律令期に入ると遺跡の様相は一変し、奈良時代の住居数は急激に増える。また、若宮遺跡Ⅳの項で述べた石敷きの堅穴住居や若宮遺跡Ⅰの畿内型塚の出土が特殊性が伺える。平安時代に入っても集落規模は減少せず台地全体にひろがりを見せる。道常遺跡で触れた瓦や三彩・緑釉陶器の出土もあり、奈良時代と同じくさびしい散村風景ではなかったように感じられる。しかし、田切を挟んで隣の台地に展開する近津遺跡からは奈良時代的大型住居址や掘立柱建物址が検出され、その規模は平安時代にも引き継がれ、出土遺物も「銅印」や皇朝十二銭・帯金具等がある。本遺跡と比較すると近津遺跡の方が中核的集落の様相を示しており、本遺跡はその周辺に広がる集落の一部とも考えられる。

最後に注目される出土遺物の一つ取り上げたい。今回の調査でも「大井」と書かれた墨書や刻書は多く発見されたが、墨書において一番個体数が多かったものに「令」の字がある。おもに墨書での出土であったが、3点ほど暗文による表記が見られた。坏の見込み部に書かれたもので平安時代の堅穴住居址から出土している。暗文による文字の表記は聖原遺跡の多文字を記した土師器仏鉢形土器が有名である。書かれた文字は「甲斐国山梨郡大野郷戸?」「乙作八千?」「此後?佛?為?」「八千体?」であり、見込み部に大きく「佛」と書かれている。土器自身も甲斐よりの搬入品と考えられている。今回のものは一文字であるが聖原例と同じく暗文で表記されている。土器は在地のものであるが、同一文字を墨書で書くものと暗文で行うもの差異に興味を持たれる。なお、今回の暗文表記の土器も坏の見込み部に書かれている。墨書は底部外面か体部外面であり土器見込み内に書かれたものは無い。文字の意味も含め、書かれた部位や手法も視野に入れた研究が望まれる。



H100号住居址出土「令」暗文土器



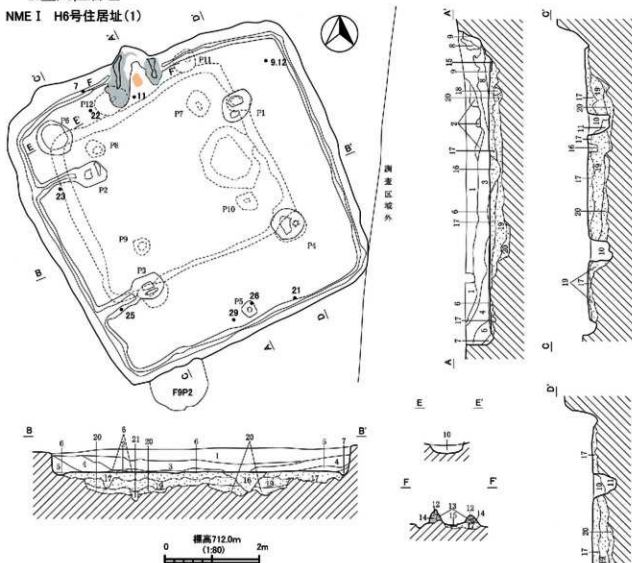
第67図 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ全体図



第2節 遺構と遺物

1. 竪穴住居址

NME I H6号住居址(1)



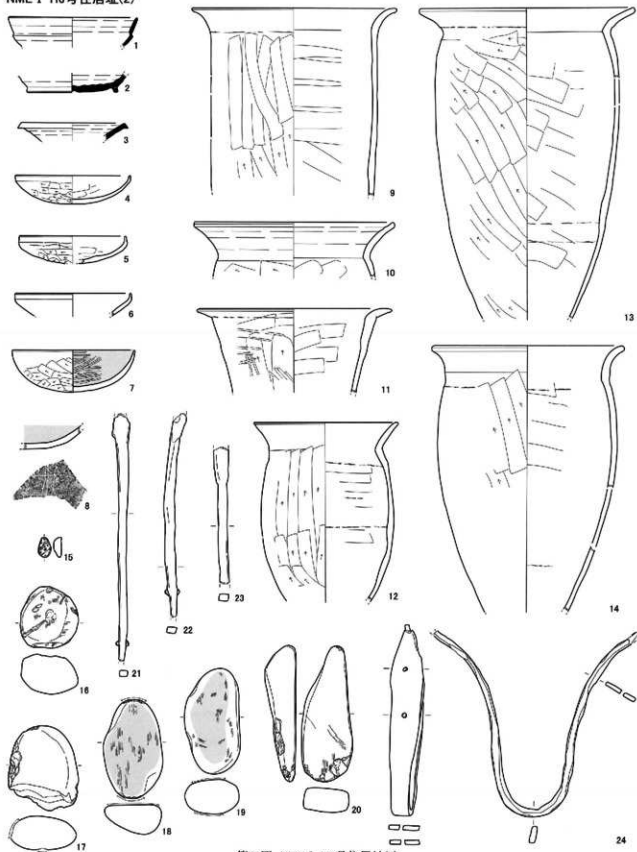
1. 緑褐色土(10YR3/2) ローム粒子・パリスを含む。
2. 棕色土(10YR4/6) ロームブロック主体。
3. 緑褐色土(10YR3/2) 褐色ロームブロックと黒色土ブロックを含む。
4. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・パリスを含む。
5. 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子、パリスを含む。
6. 褐色土(10YR4/4) ローム塊ブロック・粒子を極多く含む。
7. 灰・黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子を極多く含む。
8. 灰褐色土(7.5YR6/2) 粘土。
9. 暗褐色土(7.5YR3/4) 灰・粘土を多量に含む。
10. 暗褐色土(10YR3/2) しまり・粘性弱い、ぼそぼそしている。
11. 黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり、ロームブロックを多く含む。
12. 灰・黄褐色土(10YR4/3) しまり・粘性あり、粘土。
13. 灰白色土(10YR8/1) しまり・粘性あり、粘土。
14. 暗褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり、粘土と黒色土の混合土。

15. 赤色土(10R5/8) 染土。
16. 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性弱い、黒色土とローム粒子を多く含む。
17. 褐色土(10YR4/6) しまり・粘性あり、大層のロームブロックを多量に含む。
18. 灰黄褐色土(10YR4/2) 16層に似るが、17層下から抽出。
19. 黒褐色土(10YR3/1) しまり弱く、粘性あり。
黒色土ブロックと褐色土ブロックを含む。
20. 明黄褐色土(10YR6/8) しまり・粘性弱い。
ローム主体で黒色土が入る
21. 褐色土(10YR4/6) しまり・粘性ややあり。
黒色土ブロックを多く含む。

※本址は数層、19層が取り戻り時の黒土と考えられる。奥方ピットは20層を切り込むように抽出された。

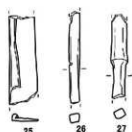
第68図 NME I H6号住居址(1)

NME I H6号住居址(2)

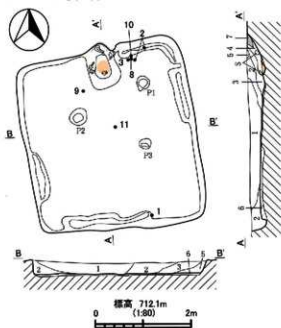


第69图 NME I H6号住居址(2)

NME I H6号住居址(3)

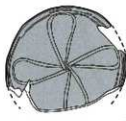
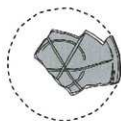


NME I H7号住居址



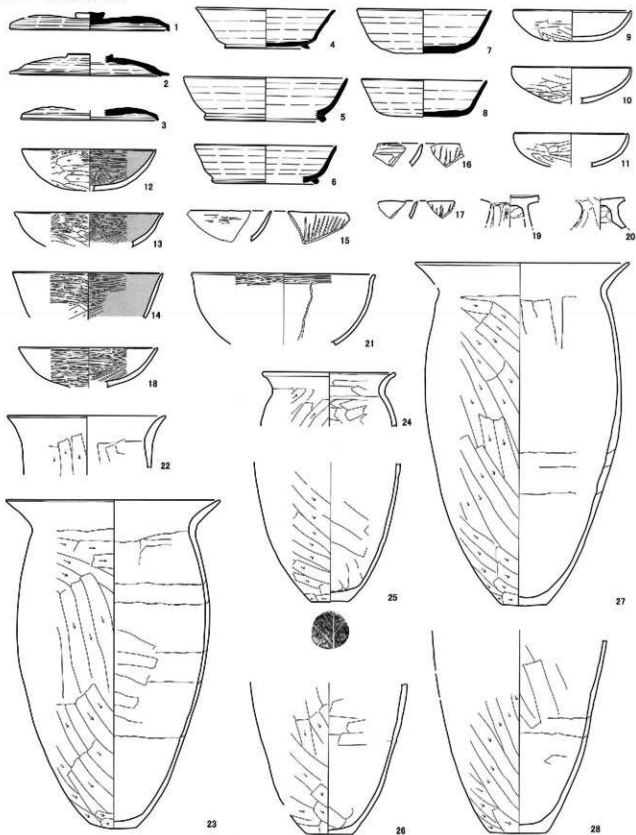
- 1.黒褐色土(019)R2/2) 底土粒子を含む。
- 2.黒褐色土(019)R2/2) コーム粒子を多く含む。
- 3.黒褐色土(019)R2/2) コーム粒子・ハリスを少し含む。
- 4.町黄褐色土(019)R2/2) 底土粒子を多く含む。

- 5.黒褐色土(019)R2/2) 砂質土層。
- 6.灰黄褐色土(019)R2/2) に似、黄褐色の
コーム粒子を多く含む。瓦研。
- 7.粘土の焼土化したもの。



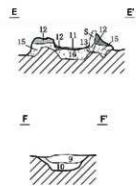
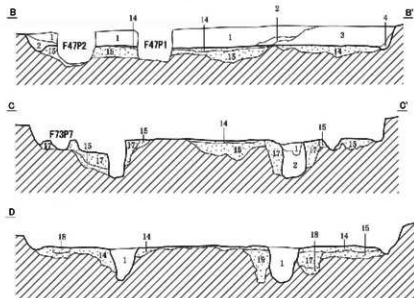
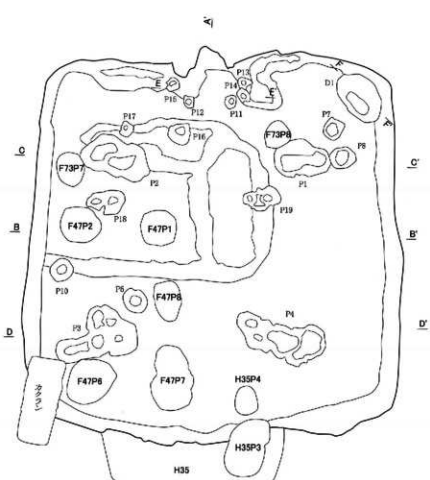
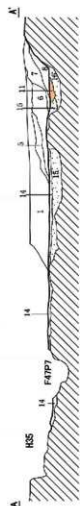
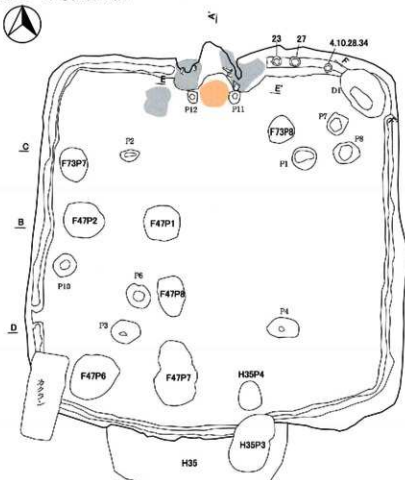
第70図 NME I H6号住居址(3)・H7号住居址

NME I H8号住居址(1)



第71图 NME I H8号住居址(1)

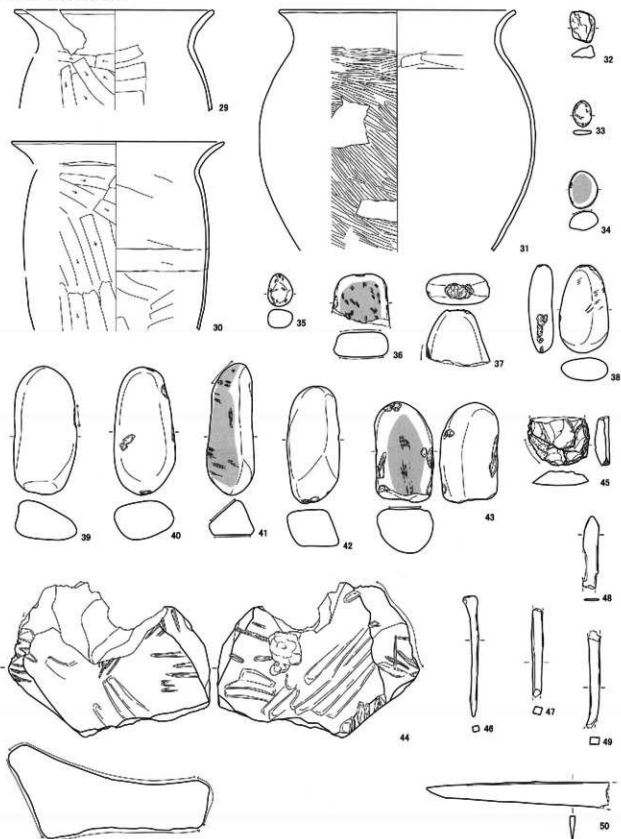
NME I H8号住居址(2)



- 1.黒褐色土(10YR5/1) しまり・粘性强い、ローム粒子を多く含む。
 - 2.黒色土(10YR2/1) しまり・粘性强い、腐植が強く、炭化物が入った土。
 - 3.緑褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い。
 - 4.黄色土(10YR6/6) しまり・粘性强い、ローム粒子を多く含む。
 - 5.にぶ・黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い、白色の粘土ブロックと黒土ブロックを含む。
 - 6.黒褐色土(10YR2/1) しまり・粘性强い、黒土ブロックを多く含む。
 - 7.にぶ・黒褐色土(10YR2/1) しまり・粘性强い、黒土ブロックを多く含む。
 - 8.赤褐色土(10YR4/6) しまり・粘性强い、火焼土。
 - 9.黒褐色土(10YR2/1) しまり・粘性强い、ローム粒子を含む。
 - 10.にぶ・黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い、ロームブロックと黒土ブロックを含む。
 - 11.赤色土(10R5/8) しまり・粘性强い、硬土。
 - 12.灰白色土(7.5YR8/2) 白色粘土でしまり・粘性强い。
 - 13.黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い、腐植を含み、腐植土を多く含む。
 - 14.黒褐色土(10YR2/1) しまり・粘性强い、ロームブロックを含む、硬質土、粘土。
 - 15.にぶ・黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い、ロームブロックが多い、粘土。
 - 16.黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い、ロームの腐り残りの土。
 - 17.にぶ・黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い、ローム土。
 - 18.にぶ・黄褐色土(10YR5/4) ロームと赤褐色土の混合土。
 - 19.にぶ・黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性强い。
- ※16層は必要に限り掘り出した土。

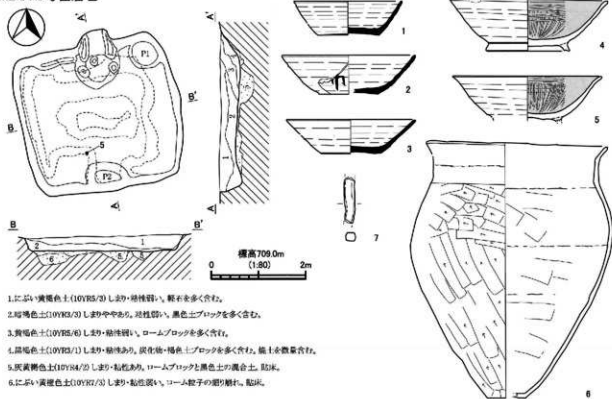
第72図 NME I H8号住居址(2)

NME I H8号住居址(3)



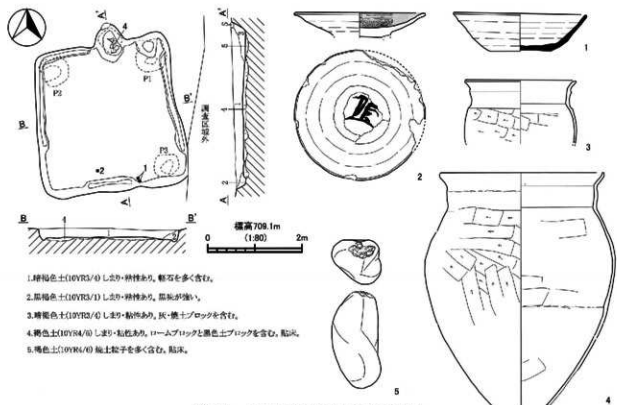
第73图 NME I H8号住居址(3)

NME I H9号住居址



1. 灰に黄褐色土(0YR5/2)しまり・粘性强い、軽石を多く含む。
2. 暗褐色土(0YR3/2)しまりや中あり、粘性弱い、黒色土ブロックを多く含む。
3. 黄褐色土(0YR5/6)しまり・粘性强い、ロームブロックを多く含む。
4. 暗褐色土(0YR3/2)しまり・粘性あり、灰化後・褐色土ブロックを多く含む。施1を微量含む。
5. 灰黄褐色土(0YR4/2)しまり・粘性あり、ロームブロックと黒色土の混合土。施1。
6. 灰に黄褐色土(0YR5/2)しまり・粘性强い、ローム粒子の張り附け。施1。

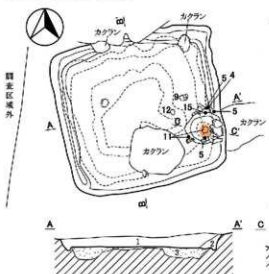
NME I H10号住居址



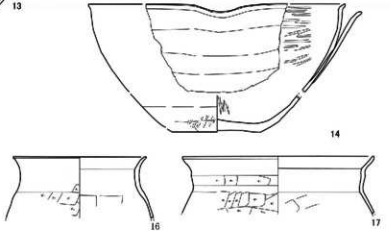
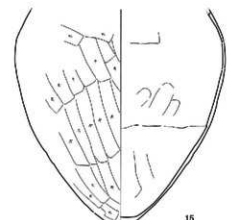
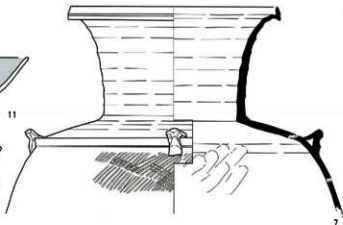
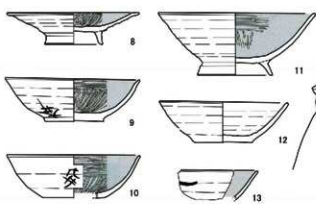
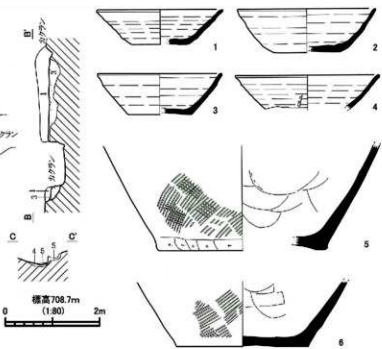
1. 暗褐色土(0YR3/2)しまり・粘性あり、軽石を多く含む。
2. 暗褐色土(0YR3/2)しまり・粘性あり、灰化が強い。
3. 暗褐色土(0YR3/2)しまり・粘性あり、灰・黄土ブロックを含む。
4. 褐色土(0YR4/2)しまり・粘性あり、ロームブロックと黒色土ブロックを含む。施1。
5. 褐色土(0YR4/2)施1土粒子を多く含む。施1。

第74図 NME I H9号住居址・H10号住居址

NME I H11号住居址

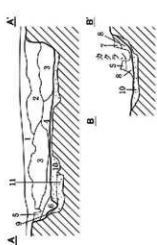


- 1.黒褐色土(0YR5/1) しまり・粘性弱い。
 - 2.にがい黄褐色土(10YR4/3) しまり・粘性あり。
粘土ブロックを含む。
 - 3.褐色土(10YR4/6) しまり・粘性ややあり。上面硬質であり、
ロームブロックを多く含む。粘床。
 - 4.褐色土(10YR4/4) 粘土粒子を含む。
 - 5.にがい赤褐色土(5YR5/4) 黄土。
- ※カタワン:灰黄褐色土(10YR5/2) しまり・粘性弱。 黒土・ロームの混合土。

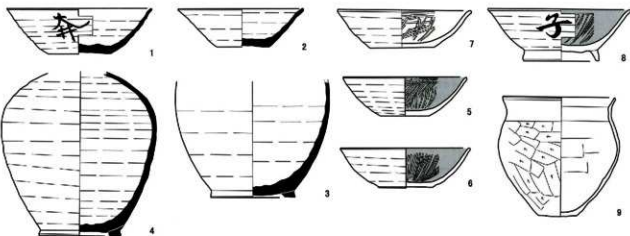
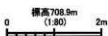


第75図 NME I H11号住居址

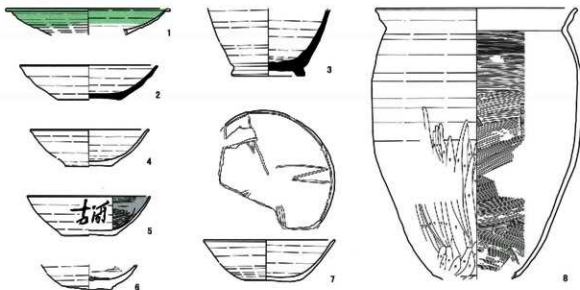
NME I H12号住居址



- 1.黄灰色土(10YR5/1) しまり・粘性強い。表土。耕作土。
- 2.灰黄褐色土(10YR1/2) しまり・粘性やや弱い。
- 3.褐色土(10YR4/4) しまり・粘性あり。ロームブロック・褐色土ブロックを多く含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり。2層に広がるが、硬石含まない。
- 5.褐色土(10YR4/4) しまりあり。粘性やや弱い。
- 6.黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。粘性弱い。
- 7.黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。粘土ブロックを含む。
- 8.暗褐色土(10YR3/3) しまり・粘性強い。粘土粒子を多く含む。
- 9.黄灰色土(10YR5/1) しまり・粘性強い。ロームブロックが多い。粘床。
- 10.褐色土(10YR4/4) しまり・粘性強い。黒色土・ロームの混合土。粘床。
- 11.にじみ黄褐色(10YR7/4) しまり・粘性弱い。粘床。

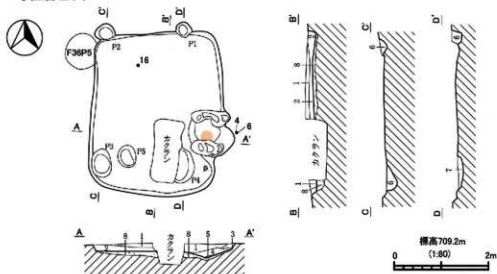


NME I H13号住居址(1)

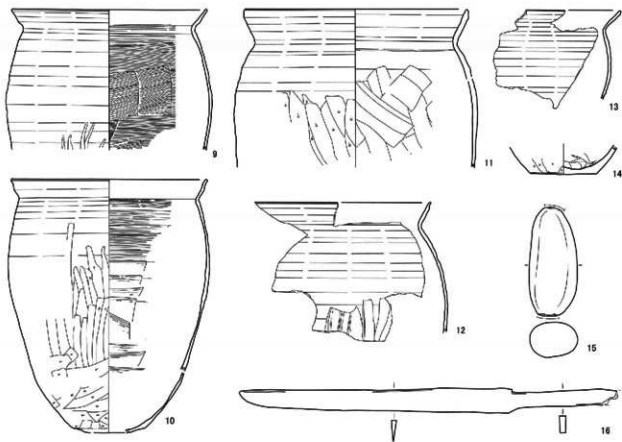


第76図 NME I H12号住居址・H13号住居址(1)

NME I H13号住居址(2)

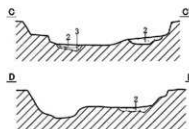
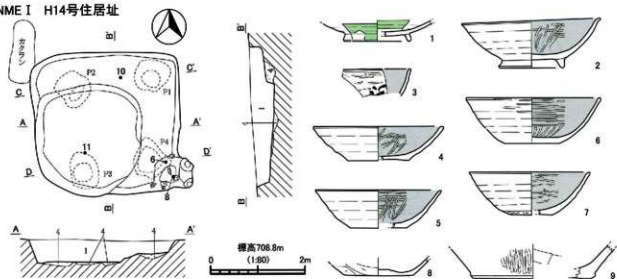


- 1.黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・灰を含む。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) 1層よりローム粒子を多く含む。灰を含む。
- 3.暗褐色土(7.5YR3/2) 粘多く微土粒子・灰を含む。
- 4.黒褐色土(7.5YR3/2) 粘土粒子・灰を含む。土器あり。
- 5.赤褐色土(2.5YR5/8) 粘土。
- 6.黒褐色土(10YR3/2) 赤黄褐色のローム粒子を少量含む。
- 7.黒褐色土(10YR3/2) 灰化地・土器を含む。赤黄褐色のロームを少量含む。
- 8.にぶい赤褐色土(10YR4/3) 灰化地。にぶい黄褐色のロームを少量含む。磁方礫土。

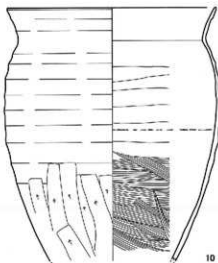


第77図 NME I H13号住居址(2)

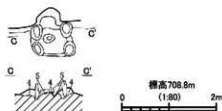
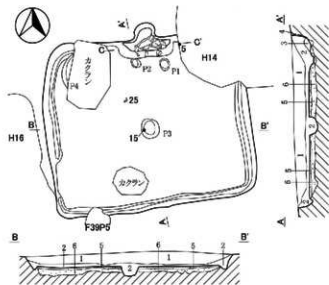
NME I H14号住居址



1. 土に灰・黄褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のローム・灰産物を含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性ややあり、ローム粒子を多く含む。
3. 黄褐色土(10YR3/5) しまり・粘性強い、ローム土。
4. 黒褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のローム・黒褐色土を含む。硬方礫土。



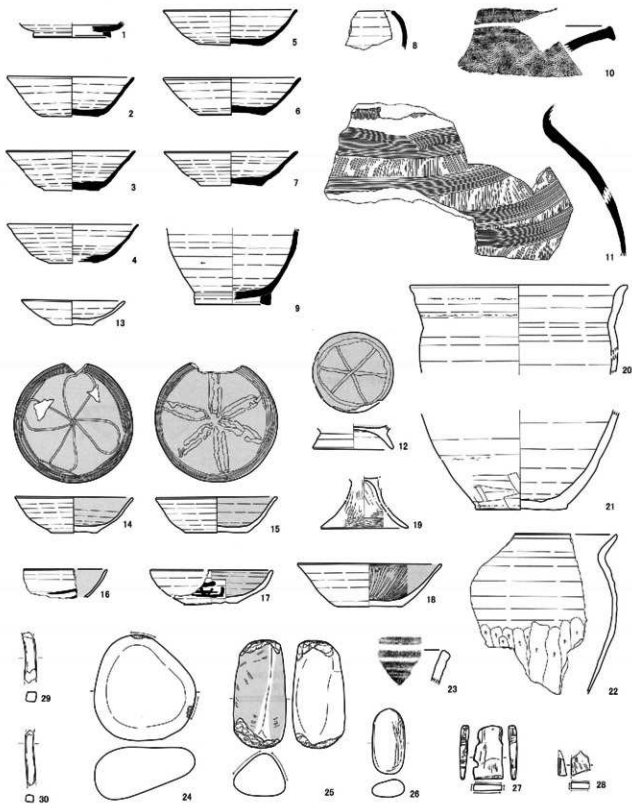
NME I H15号住居址(1)



1. 黒褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のロームを極少量含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 黒褐色土に灰・黄褐色のロームを少量含む。
3. 黒褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のローム・灰産物の粘土質土を含む。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘質土。カマド構築土?
5. 灰黄褐色土(10YR4/2) 見取。
6. 明黄褐色土(10YR7/3) に近い黄褐色のローム主体、黒褐色土を少量含む。硬方礫土。

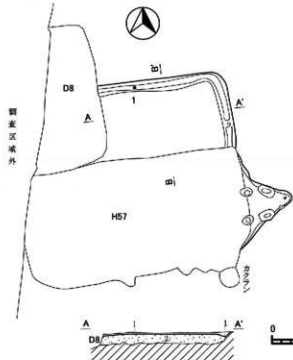
第78図 NME I H14号住居址・H15号住居址(1)

NME I H15号住居址(2)

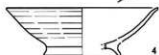


第79图 NME I H15号住居址(2)

NME I H16号住居址



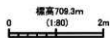
1. 1. 灰褐色土(10YR5/3) に灰褐色～明黄褐色のロームを含む。
2. 2. 灰褐色土(10YR5/4)～明黄褐色土(10YR7/6)ローム主体、黒褐色土を含む。前方基土。



NME I H18号住居址

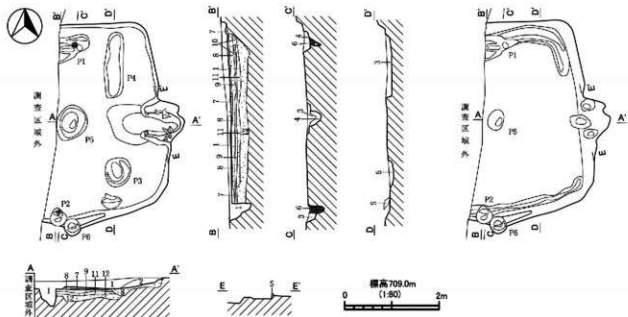


1. 1. 灰褐色土(10YR5/1) しまり・粘性強い。
2. 2. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性強い、小石を含む。
3. 3. 灰褐色土(10YR5/3) しまり・粘性強い。
4. 4. 褐色土(10YR4/4) しまり・粘性強い、ロームブロックを多く含む。
5. 5. 褐色土(10YR4/6) しまり・粘性強い、炭化物・炭土を含む。(足床)
6. 6. 黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり、ロームブロックを含む。(足床)

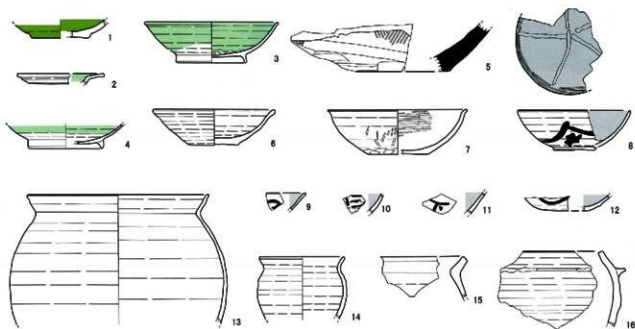


第80図 NME I H16号住居址・H18号住居址

NME I H17号住居址

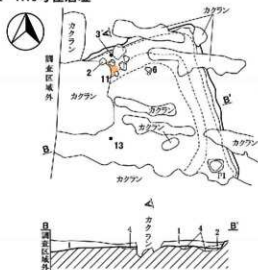


1. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・ハリスを多く含む。
2. 黒褐色土(7.5YR3/2) 灰・炭土粒子を含む。
3. 黒褐色土(10YR3/2) に灰・黄褐色のロームを少量含む。
4. 灰黄褐色土(10YR6/2) 明黄褐色・に灰・黄褐色のロームを多く含む。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘土・灰を多く含む。土面を多く含む。
6. に灰・黄褐色土(10YR4/2) 粘土。
7. 灰黄褐色土(10YR6/2) に灰・黄褐色のロームを含む。粘土。
8. に灰・黄褐色土(10YR5/3) 明黄褐色のロームを少量含む。
9. 11層と間に灰化地層(厚3cm) 胎床状の面あり。粘土。
10. 灰。
11. に灰・黄褐色土(10YR4/3) に灰・黄褐色のロームを少量含む。
12. に灰・黄褐色土(10YR5/2) 明黄褐色・に灰・黄褐色のロームを多く含む。

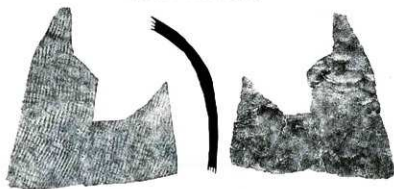


第81図 NME I H17号住居址

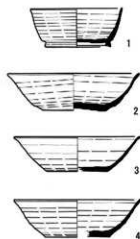
NME I H19号住居址



1. 緑褐色土(10YR3/3) しまり・粘性弱い。
2. 黒色土(10YR4/6) しまり・粘性強い、ロームブロックを多く含む。
3. 緑褐色土(10YR3/3) しまり・粘性ややあり、泥土・粘土ブロックを含む。
4. 黄褐色土(10YR5/6) しまりあり。瓦床。



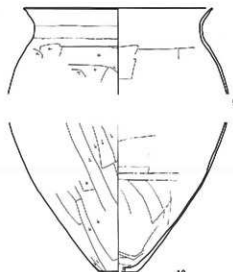
5



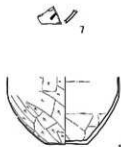
6



8



10



11



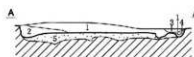
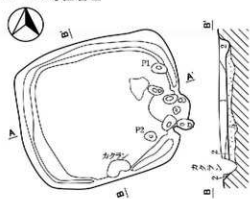
12



13

第82図 NME I H19号住居址

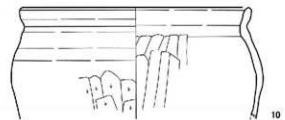
NME I H20号住居址



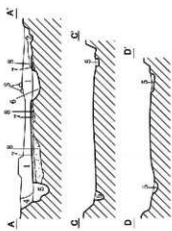
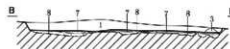
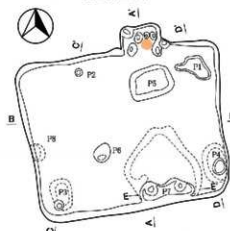
標高706.4m
(1.90) 2m



- 1.灰黄褐色土(0YR5/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
- 2.灰黄褐色土(0YR5/2)
- 3.にぶ・黄褐色土(0YR5/3) 灰を多く含む。
- 4.にぶ・黄褐色土(0YR5/3) にぶ・黄褐色のロームを少量含む。
- 5.灰黄褐色土・明黄褐色のロームを混在。東方塚土。



NME I H21号住居址(1)

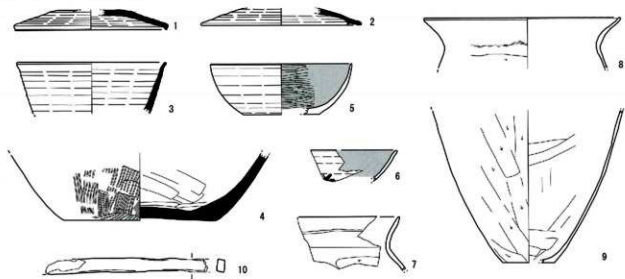


- 1.にぶ・黄褐色土(0YR5/3) にぶ・黄褐色のロームを少量含む。
- 2.1層中に粘土・灰・土器を含む。
- 3.黒褐色土(0YR2/2) にぶ・黄褐色のロームを多く含む。
- 4.黒褐色土(0YR2/2) にぶ・黄褐色の砂粒。浅黄褐色のロームを極少量含む。
- 5.黒褐色土(0YR2/2) にぶ・黄褐色のロームを少量含む。
- 6.黒褐色土(0YR2/2) にぶ・黄褐色のロームを少量含む。
- 7.にぶ・黄褐色土(0YR3/4) ローム主体。黒褐色土を少量含む。詰土。
- 8.にぶ・黄褐色土・黒褐色土を含む。東方塚土。

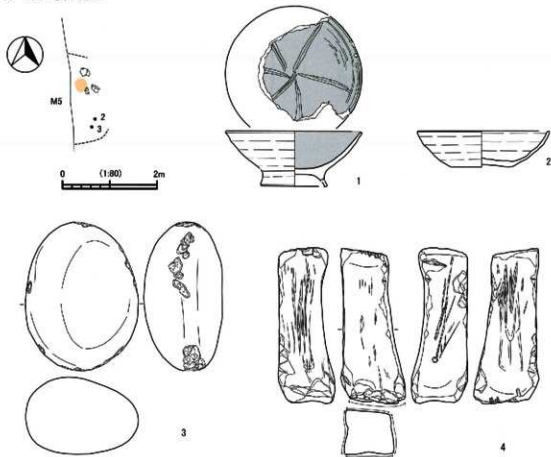
標高708.2m
(1.90) 2m

第83図 NME I H20号住居址・H21号住居址(1)

NME I H21号住居址(2)

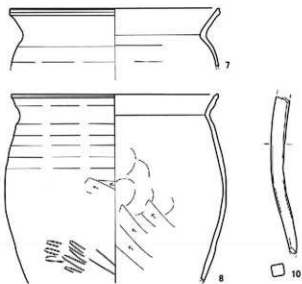
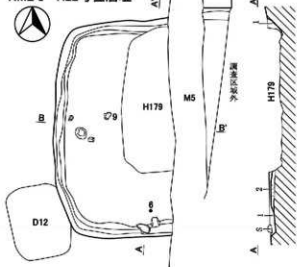


NME I H24号住居址



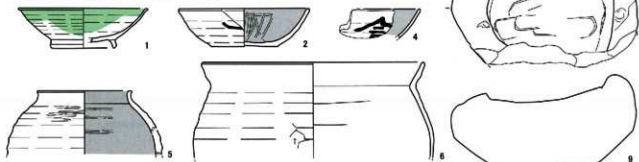
第84图 NME I H21号住居址(2)·H24号住居址

NME I H22号住居址

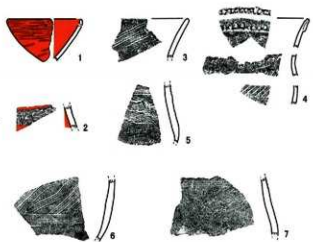
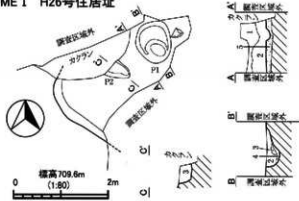


標高706.6m (1:80) 2m

- 1.黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色のロームを少量含む。陥凹。



NME I H26号住居址

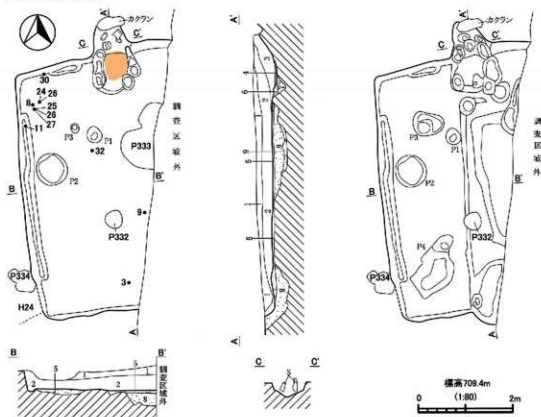


- 1.黒褐色土(10YR3/2) におい 黄褐色のローム・黒褐色土を少量含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) におい 黄褐色のローム・黒褐色土を多く含む。
- 3.におい 黄褐色土(10YR5/3) におい 黄褐色のロームを含む。
- 4.におい 黄褐色土(10YR3/3) におい 黄褐色のロームを多く含む。
- 5.におい 黄褐色土(10YR7/4) 明黄褐色のローム主体。黒褐色土を少量含む。

陥凹上。

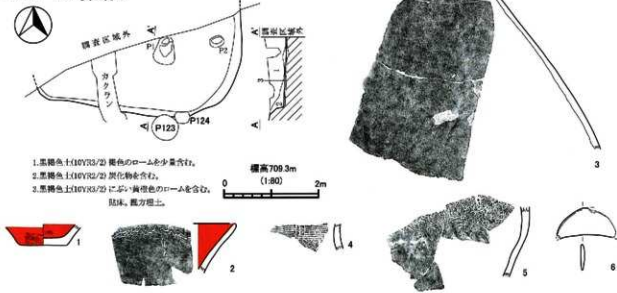
第85図 NME I H22号住居址・H26号住居址

NME I H25号住居址(1)



1. 灰黄褐色土(10YR4/2) に灰黄褐色のロームを含む。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 明黄褐色土のローム・灰を含む。
3. 灰黄褐色土(10YR5/2) カマド遺出層。
4. 黄褐色土(10YR6/8) 柱上。
5. 黒褐色土(10YR2/2) 汚黄褐色のロームを含む。柱床。
6. 灰黄褐色土(10YR4/2) 肥後土。
7. 灰黄褐色土(10YR4/4) ローム主体、黒褐色土を含む。
8. 黒褐色土(10YR2/2) に灰黄褐色土(10YR7/4)・明黄褐色土(10YR7/6) ローム混在層、柱方礎土。
9. 灰黄褐色土(10YR7/1) ローム主体、黒褐色土を少量含む。

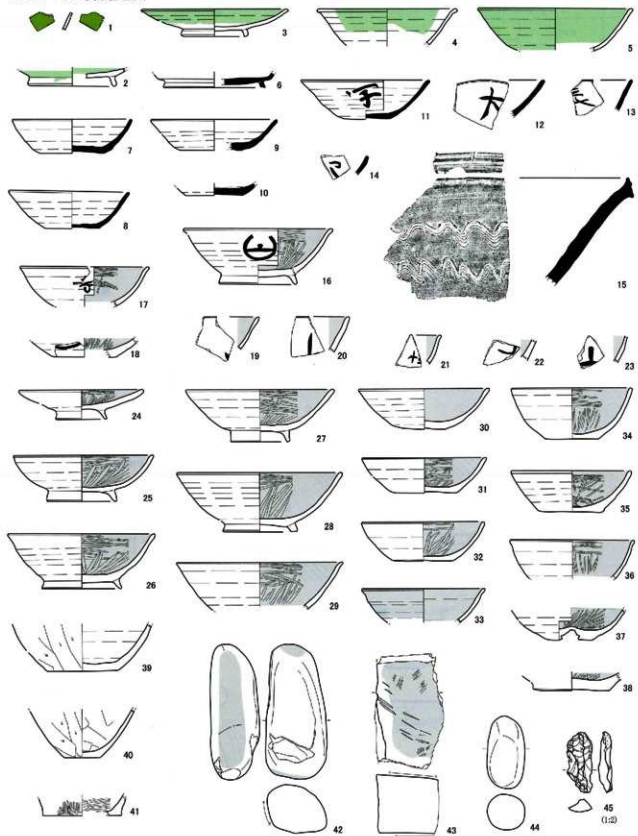
NME I H27号住居址



1. 黒褐色土(10YR2/2) 褐色のロームを少量含む。
 2. 黒褐色土(10YR2/2) 炭化物を含む。
 3. 黒褐色土(10YR2/2) に灰黄褐色のロームを含む。
- 柱床、柱方礎土。

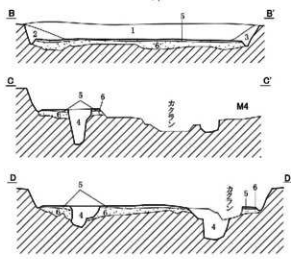
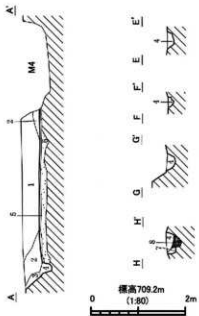
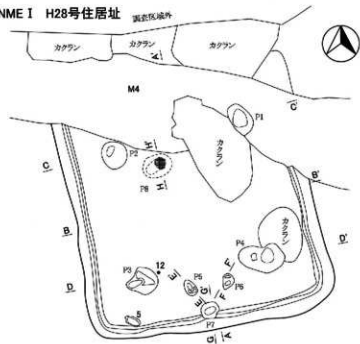
第86図 NME I H25号住居址(1)・H27号住居址

NME I H25号住居址(2)

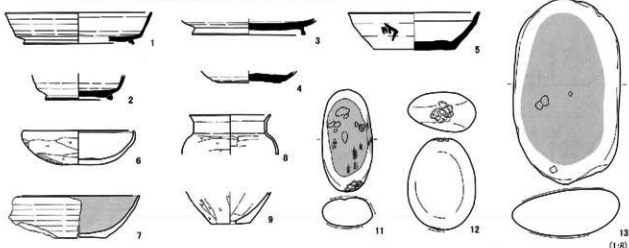


第87图 NME I H25号住居址(2)

NME I H28号住居址

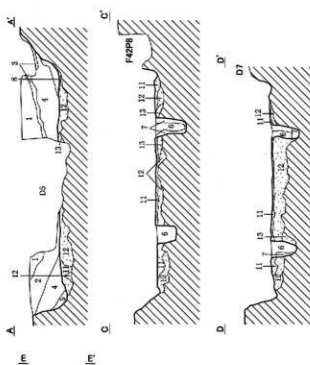
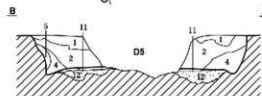
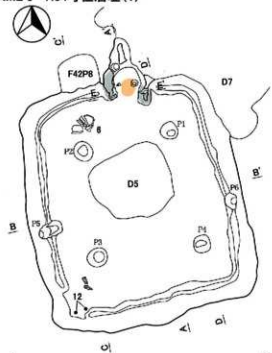


1. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のロームを含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 黒褐色のロームを含む。
4. 黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
5. 黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色のロームを含む。結核。
6. 赤褐色土(10YR7/4)・明黄褐色土(10YR7/2) ローム土体。黒褐色土・赤褐色土を含む。
7. 黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色のロームを含む。
8. 黒褐色土(10YR2/2) 柱礎。



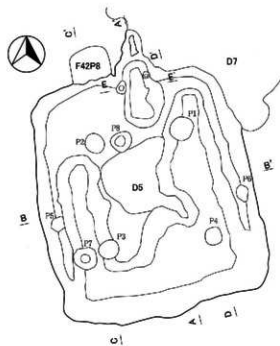
第88図 NME I H28号住居址

NME I H34号住居址(1)



標高712.9m
(1:80)

0 2m

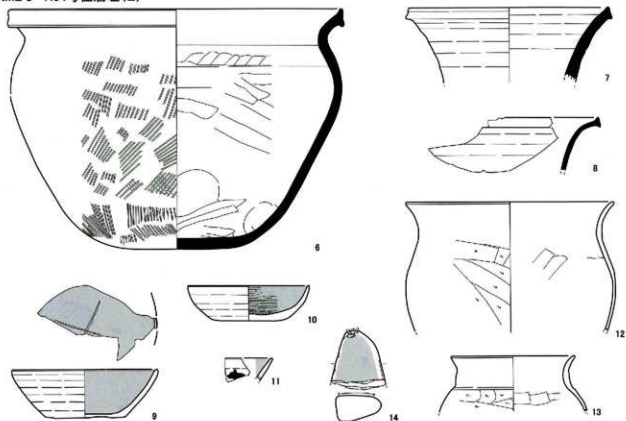


- 1.黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性弱い、小石を多く含む。
- 2.褐色土(10YR4/4) しまり弱い、ロームブロックを多く含む。
- 3.黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性弱い、黒灰が強い土。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまり・粘性弱い。
- 5.にぶい黄褐色土(10YR5/6) しまり・粘性弱い。
- 6.灰黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性弱い。
- 7.にぶい黄褐色土(10YR7/0) しまり・粘性弱く、ローム層の跡のような黒色土を含む。
- 8.明赤褐色土(5YR5/0) しまり・粘性強い、火床面。
- 9.褐灰色土(10YR4/1) しまりあり、地上層で、灰を含む。
- 10.暗褐色土(10YR3/2) しまり・粘性弱い、黒色土、白い火山灰ブロックを多く含む。
- 11.にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまり・粘性あり、硬質面。
- 12.にぶい黄褐色土(10YR7/2) しまり・粘性弱い、ローム主体、黒色土ブロックを多く含む。
- 13.灰白色土(10YR8/2) しまり・粘性ややあり、黒色の粘土ブロックを含む。

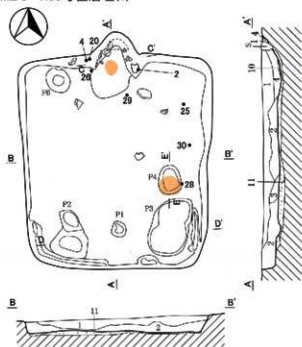


第89図 NME I H34号住居址(1)

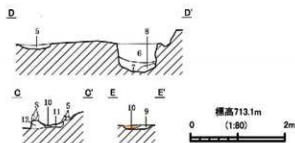
NME I H34号住居址(2)



NME I H35号住居址(1)

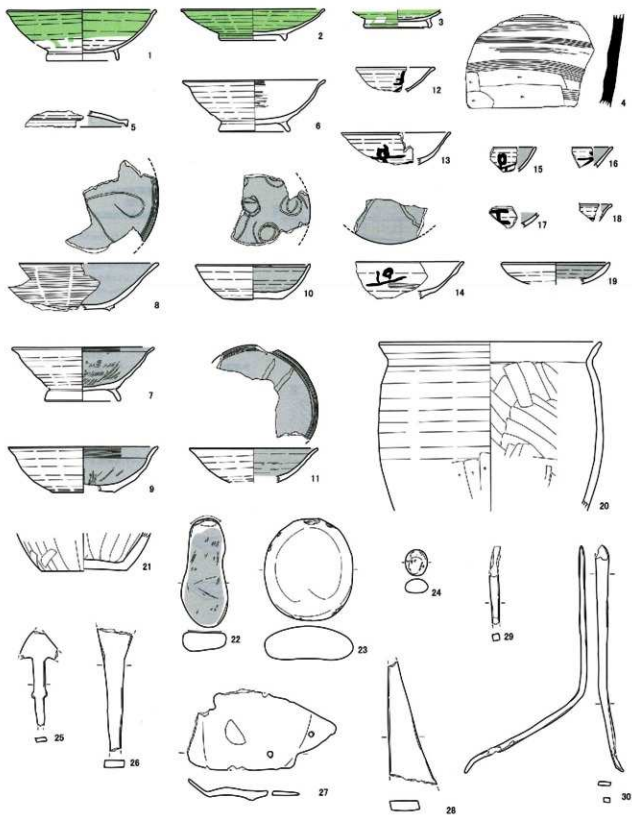


1. 暗褐色土(10YR3/3) しまり・粘性ややあり、ローム粒子を多く含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) しまり・粘性ややあり。
3. 褐色土(10YR4/3) しまり・粘性ややあり、ロームブロックを含む。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性弱い、灰を多く含む、焼土粒子を含む。
5. 土に赤・黄褐色土(10YR5/2) に赤・黄褐色ロームを含む。
6. 灰黄褐色土(10YR4/2) に赤・黄褐色ロームを少量含む。
7. 灰黄褐色土(10YR4/2) に赤・黄褐色土・赤・黄褐色ロームを多く含む。
8. 土に赤・黄褐色土(10YR3/2) ローム主体。
9. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のローム・土に赤・黄褐色土を含む。
10. 赤色土(10R5/3) 焼土。
11. 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性ややあり、小石を含む。
12. 暗褐色土(10YR3/1) しまり・粘性ややあり、ローム粒子を多く含む。



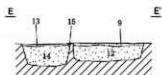
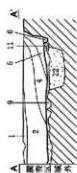
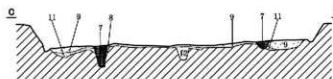
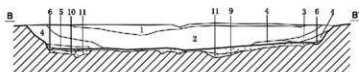
第90図 NME I H34号住居址(2)・H35号住居址(1)

NME I H35号住居址(2)



第91图 NME I 1135号住居址(2)

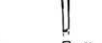
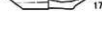
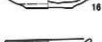
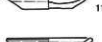
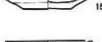
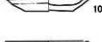
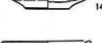
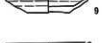
NME I H38号住居址



標高708.7m
(1.80)

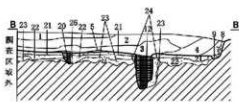
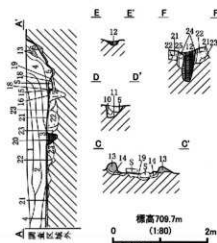
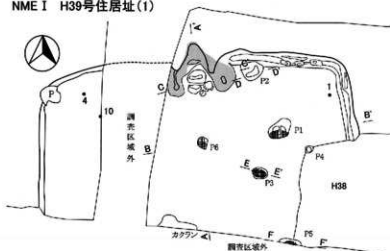
0 2m

- 1.黒褐色土(10YR2/2) 下面にシロト質土、1mm大小石・砂を含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) ~5mm大小石・砂・ローム粒子を含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) ~5mm大小石・ローム粒子・黒色土を含む。
- 4.暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子・灰土を多く含む。
- 5.暗褐色土(10YR3/4) 壁面にロームブロックを含む。
- 6.暗褐色土(10YR3/2) ローム粒子を多く含む。
- 7.黒褐色土(10YR3/2) 柱頭。
- 8.褐色土(10YR4/4) ローム主体。
- 9.黒褐色土(10YR3/2)・黄褐色土(10YR5/6) ロームブロックが点在、それほどもりなし。
- 10.暗褐色土(10YR3/2) 黄褐色のロームブロックを多く含む。
- 11.黄褐色土(10YR5/6) ローム主体。
- 12.にがい・黄褐色土(10YR4/2) ローム主体、地山のロームとは異なる色。
- 13.黒褐色土(10YR3/2) 褐色のロームブロック・黒色土ブロック混在。
- 14.褐色土(10YR4/4) ローム主体。
- 15.にがい・褐色土(7.5YR5/4) ローム主体。
- 16.暗褐色土(10YR3/4) 柱式。
- 17.暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック・暗褐色土ブロック混在。

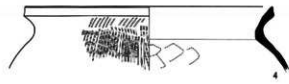
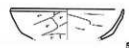


第92図 NME I H38号住居址

NME I H39号住居址(1)

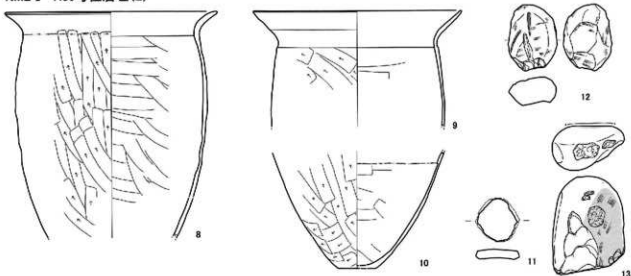


- 1.暗褐色土(10YR3/2)・パリス6mm大・ローム粒子を含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) 1層29×4×35mm大多数を含む。
- 3.暗褐色土(10YR3/3) カマド裏壁跡土・黒褐色土・ブロッコを多く含む。層上種煤層に。
- 4.暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子・パリスを多数を含む。
- 5.黒褐色土(10YR2/3) 黒褐色土(7.5YR3/1)粘土主体。源流残存か。黄土粒子を含む。
- 6.黒色土(7.5YR/4) ロームブロッコ・黄土ブロック・ローム粒子・細・パリスを含む。
- 7.黒褐色土(10YR3/2) 粘土ブロックをまれを含む。
- 8.暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を多く含む。
- 9.黒褐色土(10YR2/3) ローム粒子を含む。
- 10.暗褐色土(10YR3/4) 暗褐色土・黒色粘土・黄土ブロックを含む。
- 11.黄褐色土(10YR5/6) ローム主体。
- 12.黒褐色土(10YR2/3) 粒土。
- 13.黒褐色土(7.5YR3/1) 粒土。
- 14.黒褐色土(10YR3/2) 粘土ブロック・黄土ブロック・ロームブロックを含む。
- 15.黄褐色土(7.5YR4/2) ローム層だけ。
- 16.黒色土(10YR3/1) 炭化物粘土主体。
- 17.暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子を多く含む。黄土粒子を含む。
- 18.褐色土(7.5YR/6) 掛け込んだルーム。
- 19.黄褐色土(10YR5/6) ローム主体。
- 20.暗褐色土(10YR3/3) 粒土。
- 21.黒褐色土(10YR3/2) 粘土ブロック・黄土ブロック・細かい黄褐色土・ロームブロック混在。非常によしまる。
- 22.黒褐色土(10YR2/2) 細かい黄褐色土・ロームブロック混在土。中央上面はよくまとっている。
- 23.暗褐色土(10YR3/4) ローム主体。
- 24.暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック・パリス多数を含む。
- 25.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を含む。
- 26.細かい黄褐色土(10YR5/6) 暗褐色土が混在土。

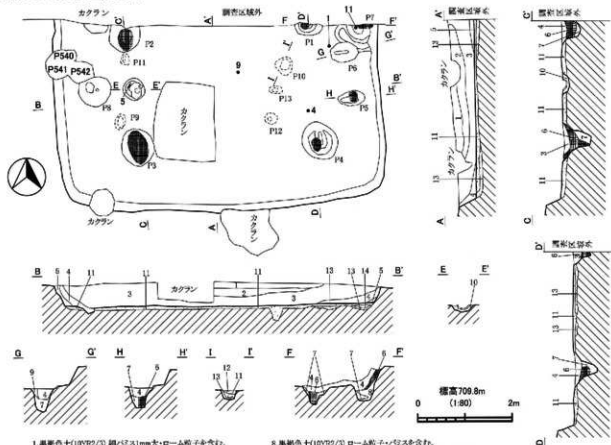


第93図 NME I H39号住居址(1)

NME I H39号住居址(2)



NME I H40号住居址(1)

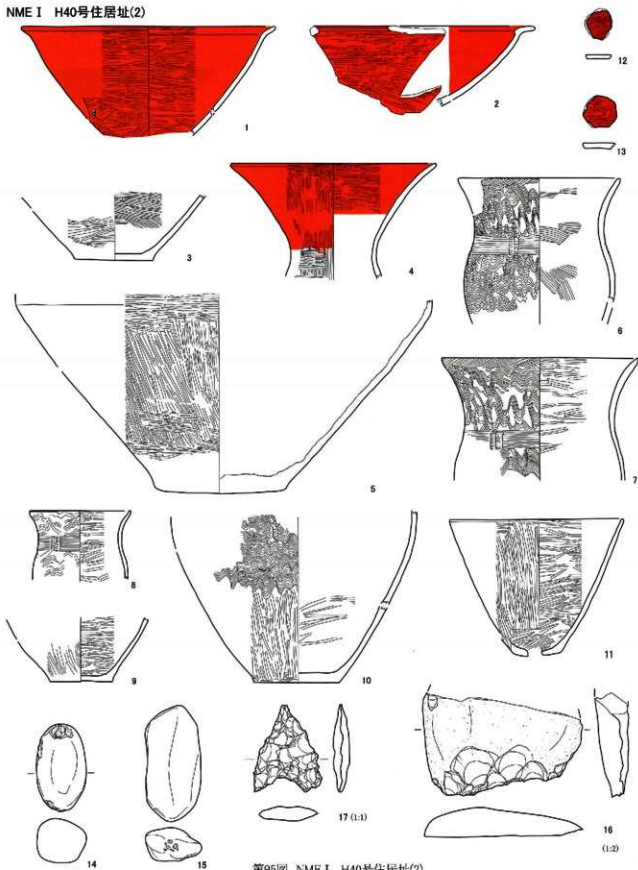


1. 黒褐色土(09YR2/3) 網ベリス1mm大・ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土(09YR2/3) 黒色土層1層を含む。
3. 暗褐色土(09YR3/3) ~5mm大・ローム・ローム粒子を多く含む。
4. 黒褐色土(09YR2/3) 網ベリス1mm大・ローム粒子を含む。
5. 黒褐色土(09YR2/3) ローム粒子・ロームを含む。
6. 暗褐色土(09YR3/3) ローム粒子・ロームを含む。
7. 褐色土(09YR4/4) ローム主体。

8. 黒褐色土(09YR2/3) ローム粒子・ロームを含む。
9. 暗褐色土(09YR3/3) ロームブロックと褐色のブロックを含む。
10. 褐色土(09YR4/3) 少し脆ける。土部下は赤く脆ける。
11. 褐色土(09YR4/4) ロームブロックを多数を含む。
12. 黒褐色土(09YR2/3) ローム粒子を含む。
13. 褐色土(09YR4/3) ローム主体。
14. 黒褐色土(09YR2/3) 黄褐色のロームブロックを含む。

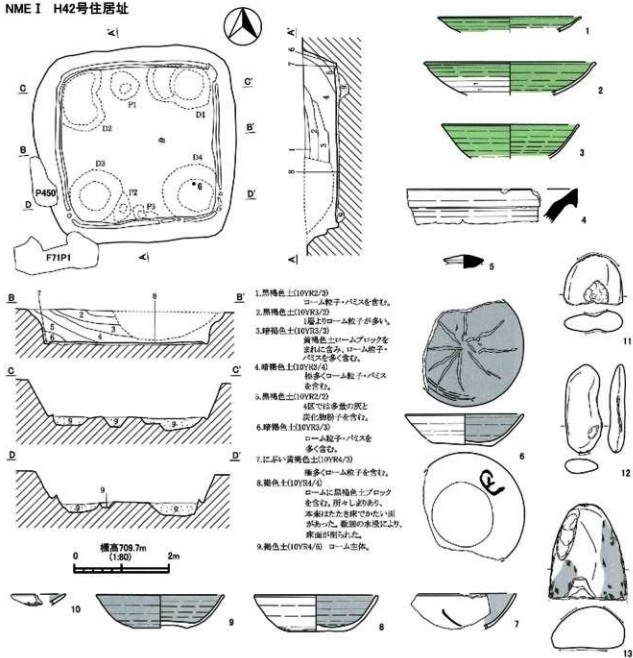
第94図 NME I H39号住居址(2)・H40号住居址(1)

NME I H40号住居址(2)

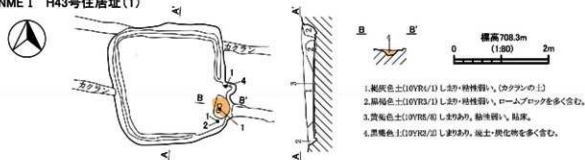


第95图 NME I H40号住居址(2)

NME I H42号住居址

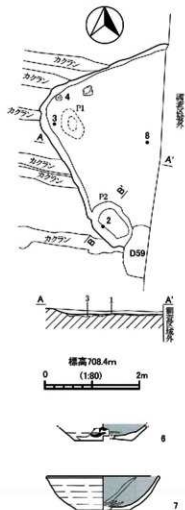


NME I H43号住居址(1)

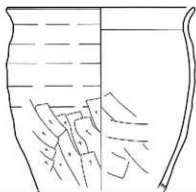


第96図 NME I H42号住居址・H43号住居址(1)

NME I H45号住居址



1. 褐色土(10YR4/1) しまり・粘り強い、石をやや多く含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘りあり、ローム粒子を多く含む。
3. 黄褐色土(10YR5/6) しまり・粘性あり、ロームブロックを多く含む。

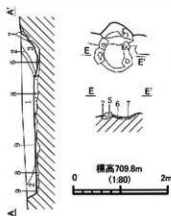
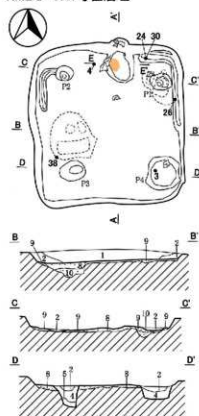


NME I H43号住居址(2)



第97図 NME I H43号住居址(2)・H45号住居址

NME I H41号住居址

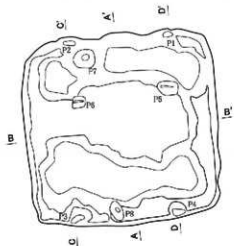
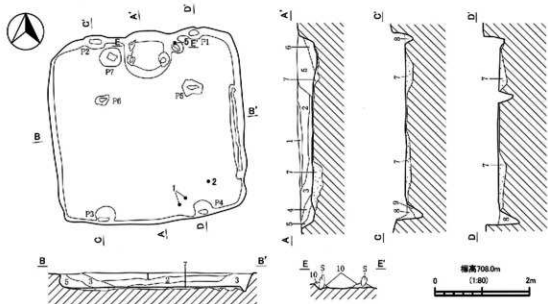


- 1.灰白色土(OYR7/1)しまりややみり。粘性あり。
灰層であり、褐色土ブロックを含む。
- 2.褐色土(OYR4/4)しまり。粘性あり。
白色の火山灰を含む。
- 3.明赤褐色土(SYR5/3)しまり。粘性弱い。
黄土ブロックを含む。
- 4.にぶい黄褐色土(OYR4/3)ローム粒子を多量に含む。
- 5.暗褐色土(OYR3/3)ローム粒子を含む。
- 6.暗褐色土(YSYR2/2)炭十灰。
- 7.黒褐色土(YSYR2/2)炭土粒子を含む。
- 8.黒褐色土(OYR2/2)ノミス・ローム粒子を含む。しまり。
- 9.黒色土(OYR4/4)ローム主体に黒色土ブロックを
まじれに含む。よくしまる。
- 10.にぶい黄褐色土(OYR5/4)ローム。しまりなし。

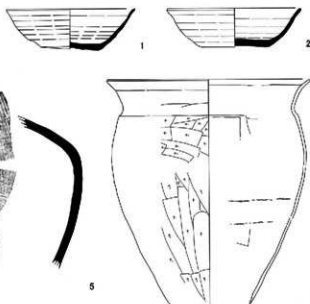


第98図 NME I H41号住居址

NME I H44号住居址

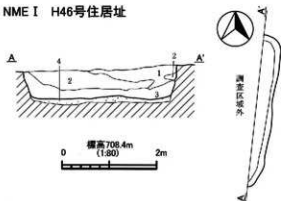


1. 黒褐色土(0VYR3/1)しまり・粘性强い。
2. にぶい黄褐色土(0VYR4/2)しまり・粘性ややあり、ロームブロックを多く含む。
3. 緑褐色土(0VYR3/2)しまり・粘性ややあり。
4. 黒色土(0VYR2/1)しまり・粘性强い。しまった土。
5. 反黄褐色土(0VYR4/2)しまり・粘性强い。小石をやや多く含む。
6. 黄灰色土(0VYR5/1)しまり・粘性强い。黄土ブロックと粘土を含む。
7. 黒褐色土(0VYR3/1)しまりあり。粘性弱い。ロームブロックを多量に含む。草席。
8. 反黄褐色土(0VYR4/2)しまり・粘性强い。ローム粒子を多く含む。
9. 黒褐色土(0VYR3/2)しまり・粘性强い。
10. 黄灰色土(0VYR4/1)しまり・粘性强い。灰を多く含む。カマド粘土。



第99図 NME I H44号住居址

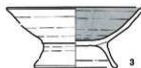
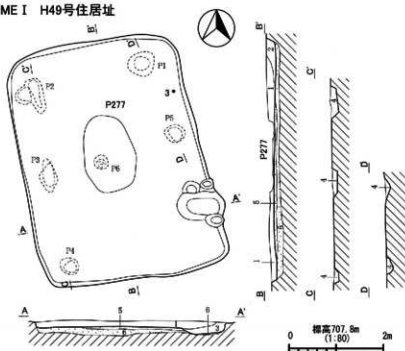
NME I H46号住居址



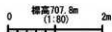
1. 黒褐色土(10YR3/3)
しまり弱く、粘りあり、サラサラした土。
2. 黄褐色土(10YR5/6)
しまり・粘性弱い、
ロームブロックを多く含む。
3. 黄褐色土(10YR5/6)
しまり・粘性強い。
4. 黄褐色土(10YR5/4)
しまり・粘性強い。
結実の土であるが、ボソボソしている。
蒸気め乾した土。



NME I H49号住居址

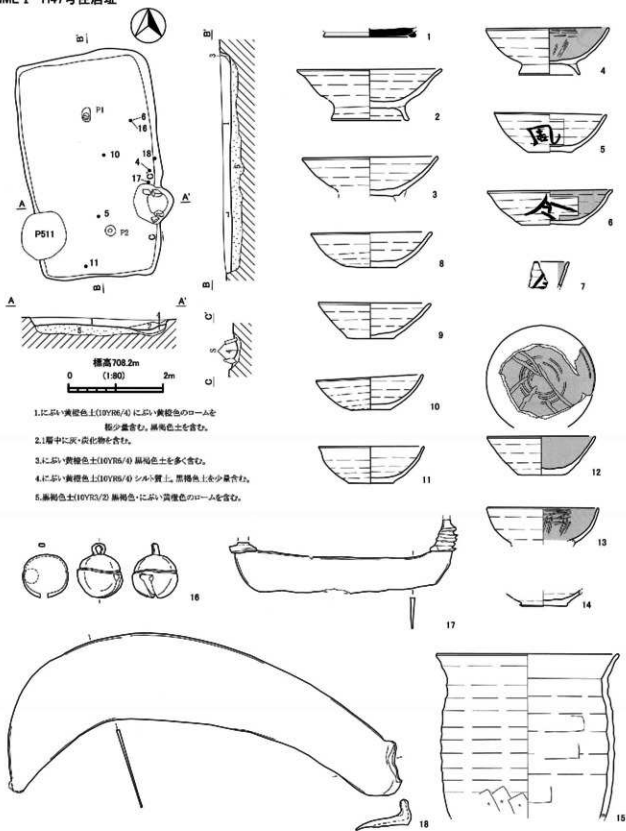


1. にぶい黄褐色土(10YR5/4) 黒褐色土・明黄褐色ロームを少量含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄褐色ロームを少量含む。
3. にぶい黄褐色土(10YR5/4) 炭土・灰化物を多く含む。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色ロームを少量含む。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色ロームを少量含む。足塚。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色土・にぶい黄褐色ロームを含む。難方礫土。



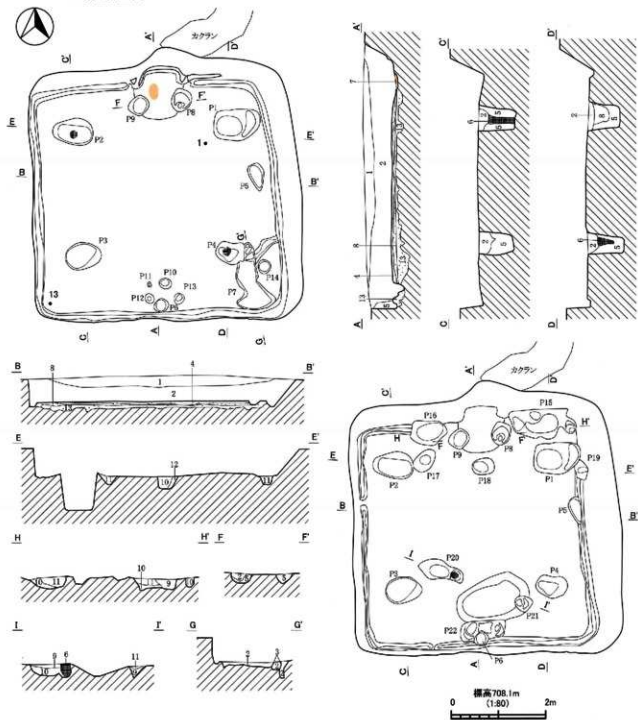
第100図 NME I H46号住居址・H49号住居址

NME I H47号住居址



第101図 NME I H47号住居址

NME I H48号住居(1)



1. におい・黄褐色土(10YR5/4) におい・黄褐色ローム粒子を少量含む。

2. 黒褐色土(10YR3/2) 炭化堆土におい・黄褐色ローム粒子を含む。

3. におい・黄褐色土(10YR7/4) 薄いロームの層状堆積。

4. 黒褐色土(10YR3/2) におい・黄褐色土～明黄褐色ロームを少量含む。點状。

5. におい・黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。黒褐色土を含む。

6. 暗褐色土(10YR3/3) 硬質。

7. 別荘褐色土S.5YR5/6 硬土。

8. 黒褐色土(10YR2/2) におい・黄褐色土・明黄褐色ロームにおい・黄褐色土上の高台。層方理上。

9. 灰黄褐色土(10YR4/2) 明黄褐色ロームを多く含む。

10. におい・黄褐色土(10YR4/3) 明黄褐色ロームを多く含む。

11. 黒褐色土(10YR3/2)

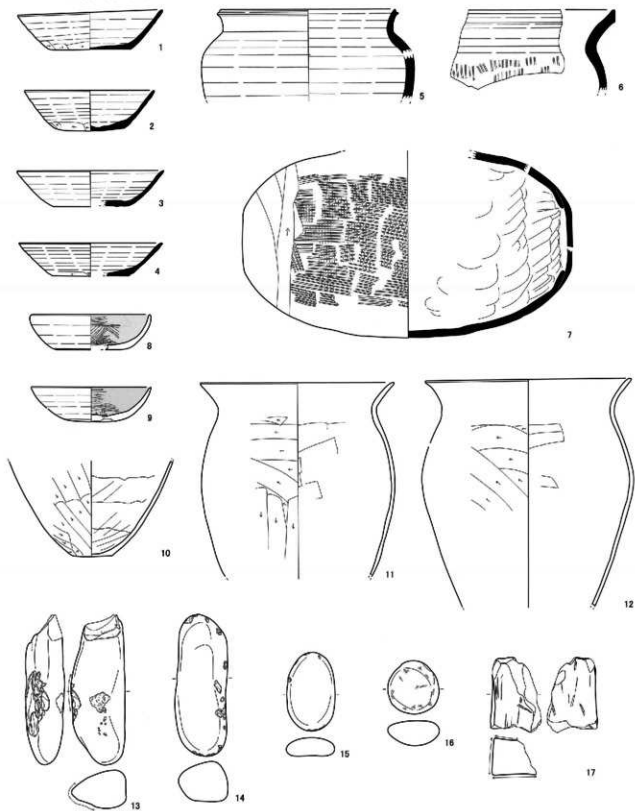
12. におい・黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。灰黄褐色土を少量含む。

13. におい・黄褐色土(10YR4/3) におい・黄褐色土～明黄褐色ロームを多く含む。

旧住居棟。層方理上。

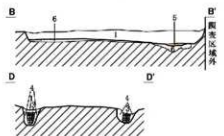
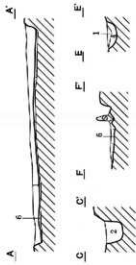
第102図 NME I H48号住居(1)

NME I H48号住居址(2)

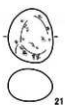
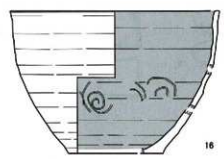
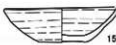
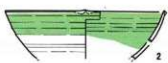


第103圖 NME I H48号住居址(2)

NME I H50号住居址

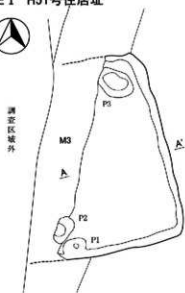


1. にぶい黄褐色土(10196/2)黒褐色土を含む。
2. にぶい黄褐色土(10196/2)明黄褐色ロームを極少量含む。
3. 黒褐色土(10193/2)柱前。
4. 黒褐色土(10193/2)にぶい黄褐色シルト・明黄褐色ロームを少量含む。
5. 赤土(1085/2)柱上。
6. 反黄褐色土(10184/2)明黄褐色ロームを少量含む。跗球。



第104図 NME I H50号住居址

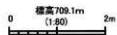
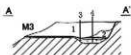
NME I H51号住居址



調査区域外



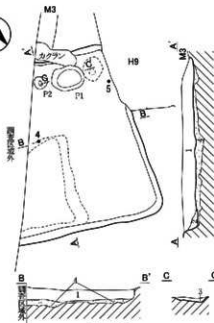
調査区域外



1. 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性弱い。礫石を含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。
3. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。上面硬質化しており、ロームブロックを含む。
4. 褐色土(10YR4/4) しまり・粘性弱い。ローム主体。

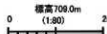
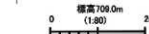


NME I H52号住居址

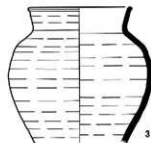
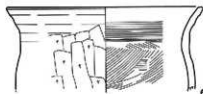
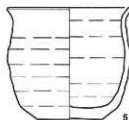


調査区域外

調査区域外

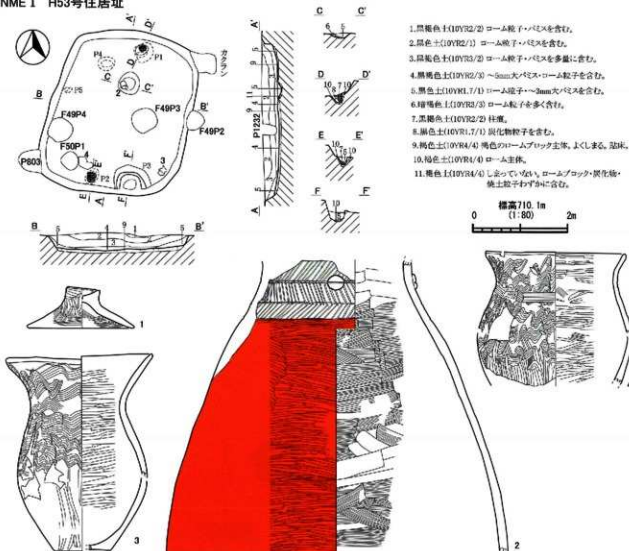


1. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。
2. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。炭土粒子を含む。
3. 褐色土(10YR4/4) しまり・粘性あり。白色粘土ブロックを含む。
4. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。ローム粒子を多く含む。 粘土。

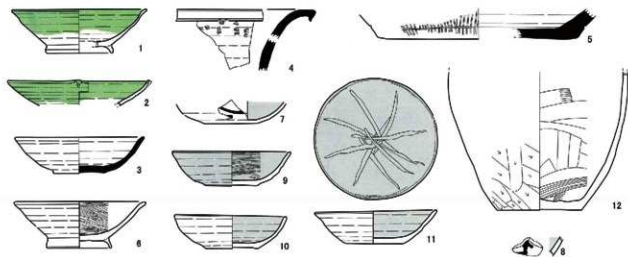


第105図 NME I H51号住居址・H52号住居址

NME I H53号住居址

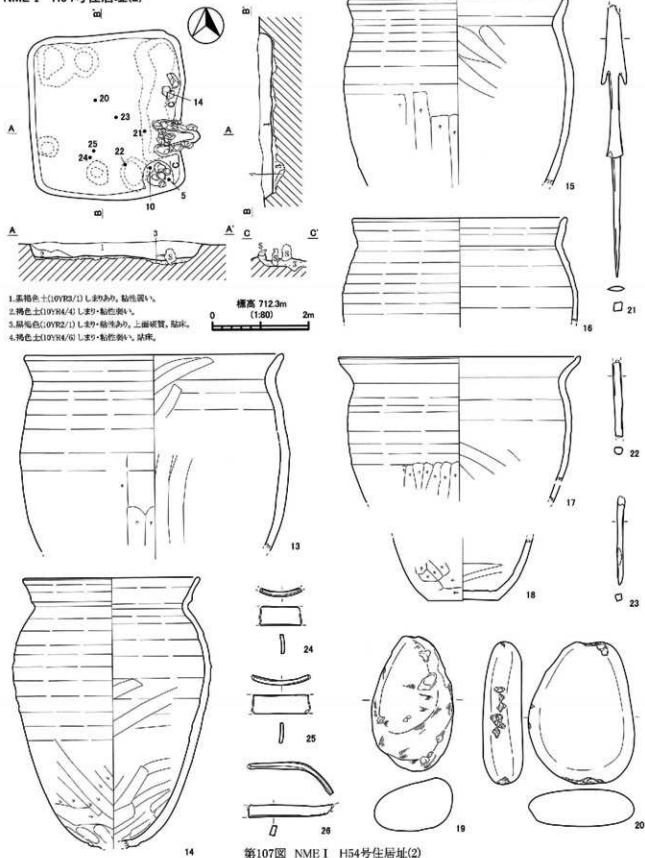


NME I H54号住居址(1)



第106図 NME I H53号住居址・H54号住居址(1)

NME I H54号住居址(2)

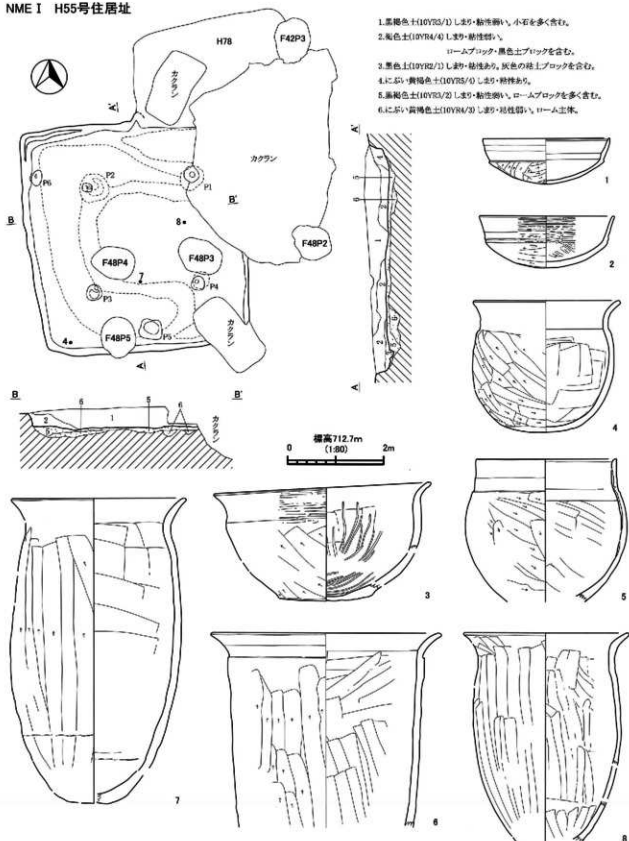


1. 黒褐色土(10YR3/1) L型9号内, 粘土器Ⅰ。
 2. 褐色土(10YR6/4) L型9号内, 粘土器Ⅰ。
 3. 黒褐色土(10YR2/1) L型9号内, 土器破片, 磁片。
 4. 褐色土(10YR6/6) L型9号内, 磁片。

標高 712.3m
(1:80)
0 2m

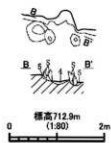
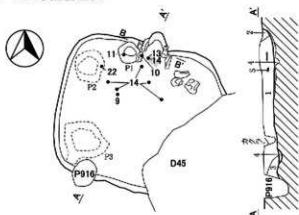
第107图 NME I H54号住居址(2)

NME I H55号住居址

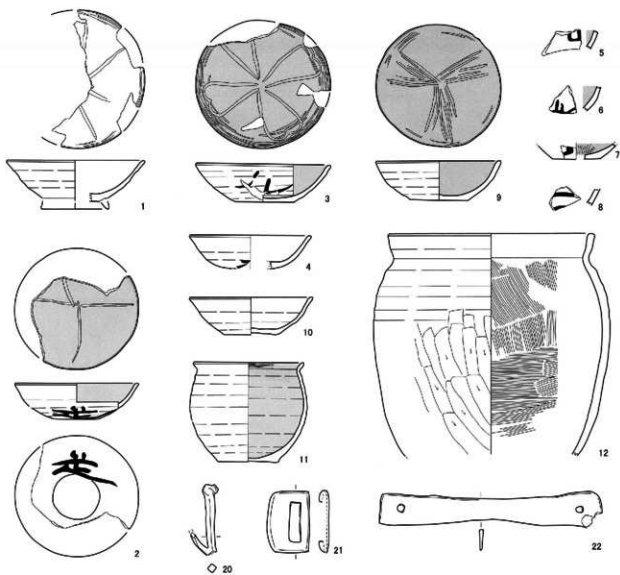


第108図 NME I H55号住居址

NME I H56号住居址(1)

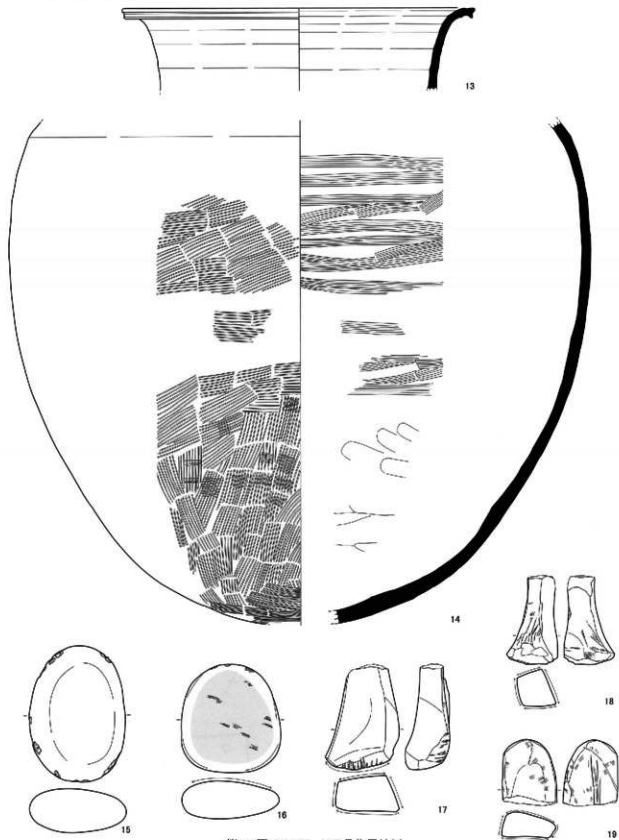


1. 橙褐色土(10YR3/3)しまり・粘性強い、ロームブロックを多く含む。
2. 黄褐色土(10YR5/6)しまり・粘性強い、ローム粒子を含む。
3. 3にS4・黄褐色土(10YR4/3)しまり・粘性強い。
4. 褐色土(10YR4/4)しまり・粘性強い、ローム土主体。
5. 暗褐色土(10YR3/3)しまり・粘性ややあり。



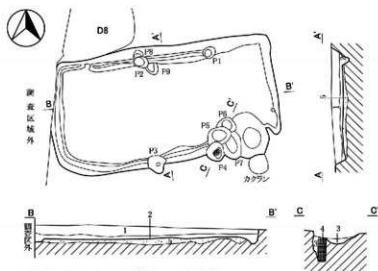
第109図 NME I H56号住居址(1)

NME I H56号住居址(2)

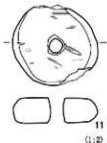
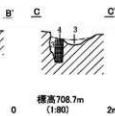


第110图 NME I H56号住居址(2)

NME I H57号住居址

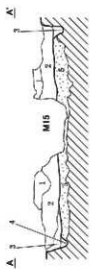
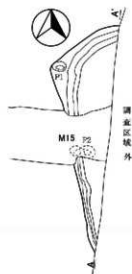


- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色のロームを少量含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) 1層との間に炭化物の堆積層、かたい、
におい、黄褐色のロームを少量含む。
- 3.におい、黄褐色土(10YR5/2) におい、黄褐色のロームを少量含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2) 特徴。
- 5.におい、黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色のローム・黄褐色のローム
を多く含む。黒方粘土。

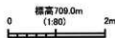


(1:2)

NME I H58号住居址

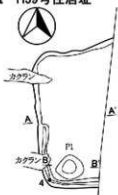


- 1.黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性あり。
- 2.におい、黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性あり、小石を多く含む。
- 3.褐色土(10YR4/4) しまり・粘性弱い、ローム粒子多い。
- 4.褐色土(10YR4/4) しまり・粘性あり。
- 5.におい、黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性ややゆる。黒色土と
ローム土の割合多。粘厚。



第111図 NME I H57号住居址・H58号住居址

NME I H59号住居址

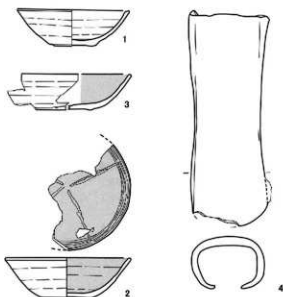
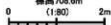


1. 暗褐色土(0YR3/3)
しまり・粘性弱い、
ローム粒子を多く含む。
2. 褐色土(0YR4/0)
しまり・粘性弱い、
ローム土が主体。
3. 黒褐色土(0YR3/1)
しまりあり、粘性強い、
上面硬質、鼠座

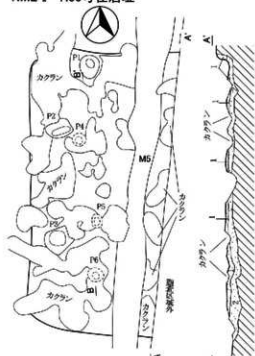


標高708.6m

(1.80)

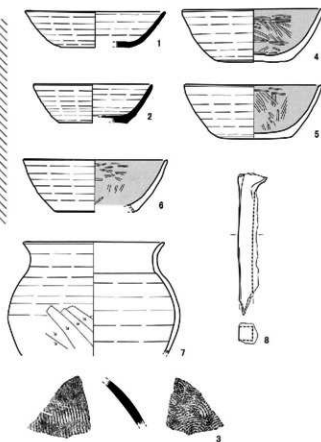
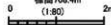


NME I H60号住居址



標高708.4m

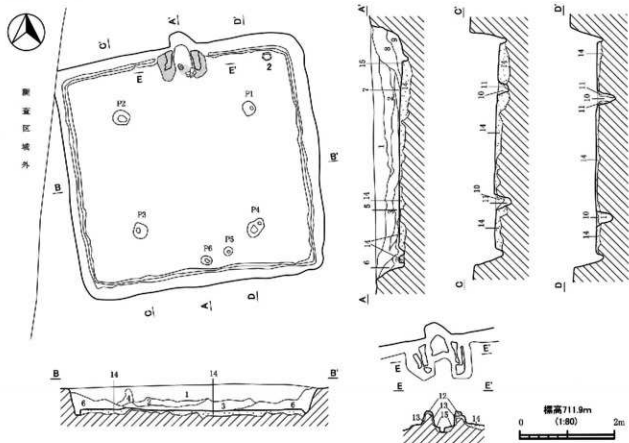
(1.80)



1. 黒褐色土(0YR2/2) に赤い黄褐色土ロームを少量含む。
2. 黒褐色土(0YR3/2) に赤い黄褐色土・明黄褐色土ロームを多く含む。
3. 黒褐色土(0YR2/2) 明黄褐色土ロームを少量含む。

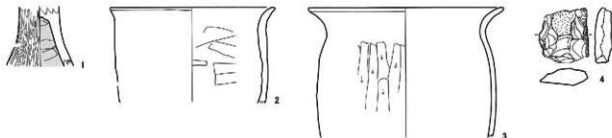
第112図 NME I H59号住居址・H60号住居址

NME I H65号住居址



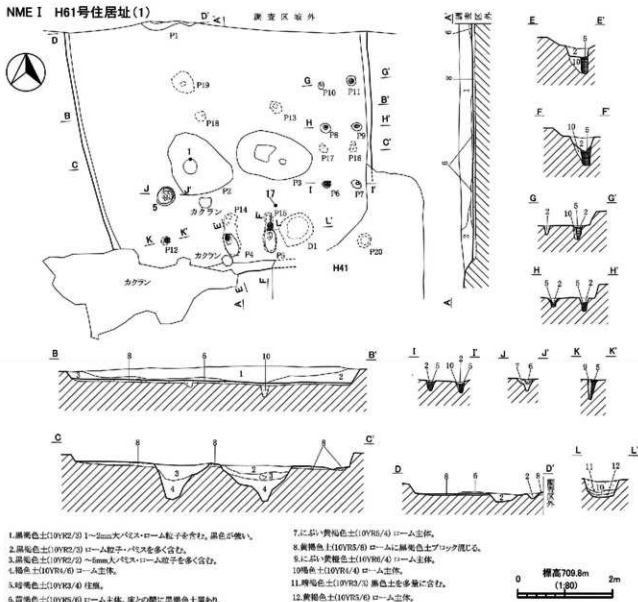
1. 灰黄褐色土(0YR5/2)しまり・粘性弱い、さらさらしている。
2. にぶい黄褐色土(0YR4/2)しまり・粘性弱い、小石を含み、じわりじわりしている。
3. 緑褐色土(0YR3/3)しまり・粘性弱い、ローム粒子を含む。
4. にぶい黄褐色土(0YR7/2)粘土ブロック。
5. 黒褐色土(0YR3/1)しまり・粘性強い、ロームブロックを多く含み、じわりじわりしている。
6. 黒褐色土(0YR3/2)しまり・粘性あり、黒色と褐色の混合土。
7. 黒褐色土(0YR3/1)しまり・粘性あり、オレンジのシルト質土を含む。

8. 褐色土(0YR6/0)しまりあり、粘性弱い、ローム・粘土ブロックを多量に含む。
9. 黄褐色土(0YR8/2)しまり弱く、粘性あり、カマド粘土層部上。
10. 黒褐色土(0YR3/2)しまり・粘性弱い、さらさらしている。
11. 黄褐色土(0YR5/6)しまり・粘性ややあり、ローム粒子多い。
12. 灰黄褐色土(0YR6/2)しまり・粘性あり、白色粘土層。
13. にぶい黄褐色土(0YR4/3)しまり・粘性あり、粘土ブロックを含む。
14. にぶい黄褐色土(0YR4/2)しまり・粘性あり、ロームブロックと黒色土の混合土、粘り。
15. 褐色土(0YR6/0)粘土。

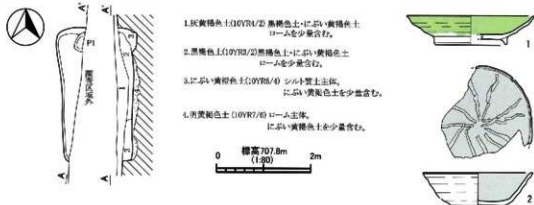


第113図 NME I H65号住居址

NME I H61号住居址(1)

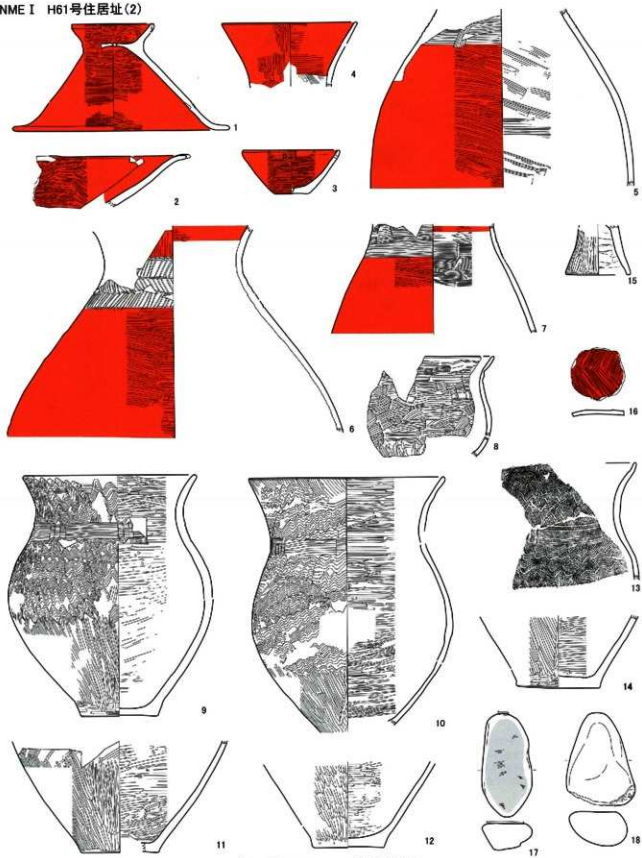


NME I H63号住居址



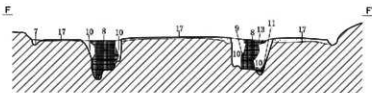
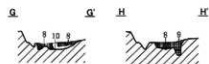
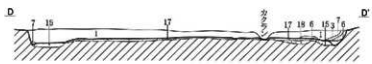
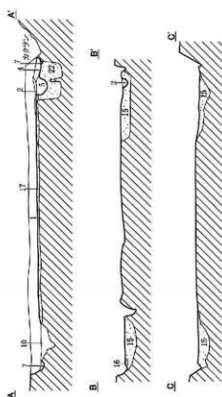
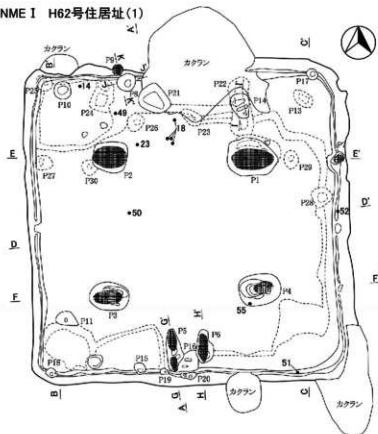
第114図 NME I H61号住居址(1)・H63号住居址

NME I H61号住居址(2)



第115图 NME I H61号住居址(2)

NME I H62号住居址(1)



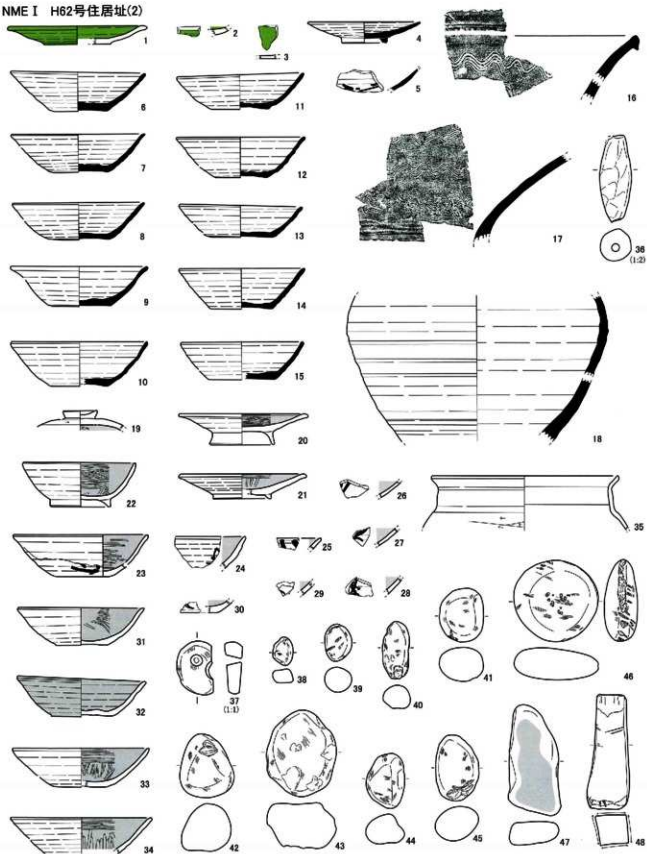
横高710.6m
(1:80) 2m

1. 黒褐色土(10YR5/2) ~5mm大パミスを含み、ローム粒子を多く含む。
2. 黒褐色土(10YR2/3) 灰を含む。
3. 黒褐色土(10YR2/3) 黒色土を含む。
4. 暗褐色土(7.5YR2/3) 炭土粒子・灰を含む。
5. 黒褐色土(7.5YR3/2) 多量の灰を含み、炭土粒子を含む。
6. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を多く含む。
7. 暗褐色土(10YR4/4)
8. 暗褐色土(10YR3/3) 珪灰。
9. 暗褐色土(10YR3/4) 珪灰。
10. 灰~黄褐色土(10YR6/3) ロームブロック層在。
11. 褐色土(10YR4/6) 珪灰。

12. 黄褐色土(10YR5/6) ローム半体。
13. 灰~黄褐色土(10YR2/2) 珪灰。
14. 黒褐色土(10YR2/2) 炭土粒子を含む。
15. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子・パミスを含み、しまりはややあるが、上面に粘状なし。
16. 芥黄褐色土(10YR8/8) ローム。
17. 暗褐色土(10YR3/4) 非常に堅く締まる。黄褐色土(10YR5/6)ロームと黒褐色土(10YR2/3)と隣在。珪灰。
18. 黒褐色土(10YR2/3)と黄褐色土(10YR5/6) ロームブロック層在土。
19. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック層在。
20. 褐色土(10YR4/6) ロームブロック層在に褐色土を含む。しまり強い。
21. 褐色土(10YR4/4) ローム半体。
22. 灰~黄褐色土(10YR6/4) <すんだローム。
23. 褐色土(10YR4/6) ローム半体。

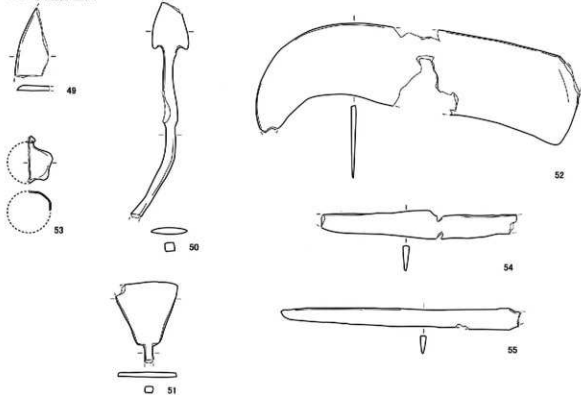
第116図 NME I H62号住居址(1)

NME I H62号住居址(2)

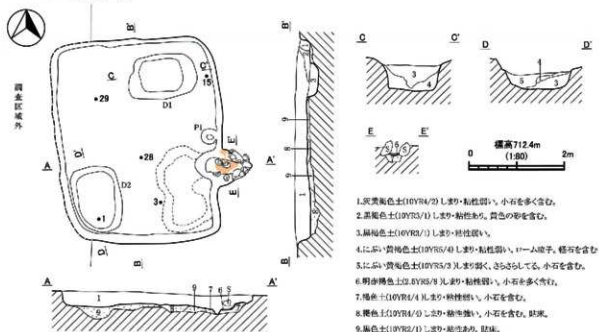


第117图 NME I H62号住居址(2)

NME I H62号住居址(3)



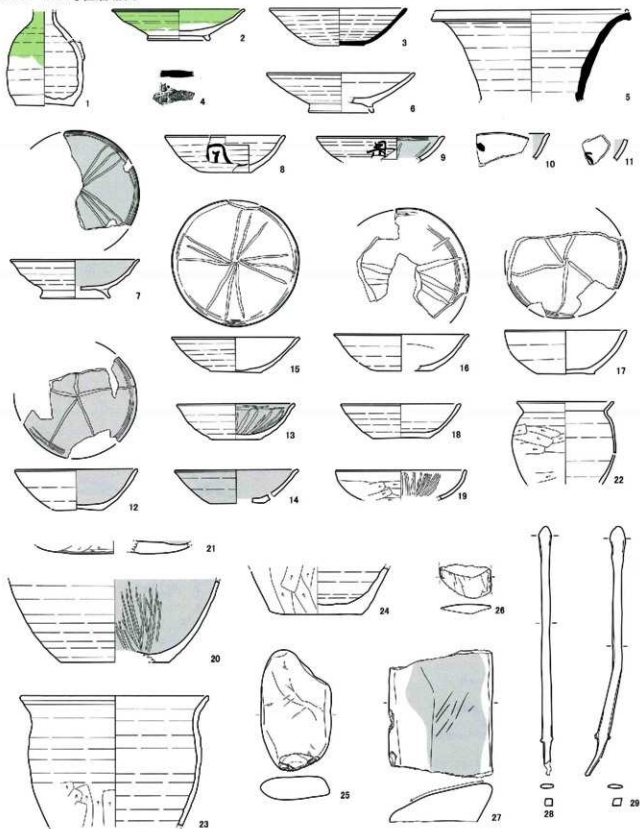
NME I H64号住居址(1)



1. 灰黄褐色土(0YR4/2) しまり・粘性强い、小石を多く含む。
2. 黒褐色土(0YR3/1) しまり・粘性あり、黄褐色の彩を含む。
3. 黒褐色土(0YR3/1) しまり・粘性強い。
4. にがい黄褐色土(0YR5/4) しまり・粘性弱い、中～大砂子、軽石を含む。
5. にがい黄褐色土(0YR5/4) しまり弱く、さらさらして、小石を含む。
6. 明赤褐色土(2.5YR5/8) しまり・粘性弱い、小石を多く含む。
7. 褐色土(0YR4/4) しまり・粘性強い、小石を含む。
8. 褐色土(0YR4/4) しまり・粘性強い、小石を含む。鉄屎。
9. 黒色土(0YR2/1) しまり・粘性あり、鉄屎。

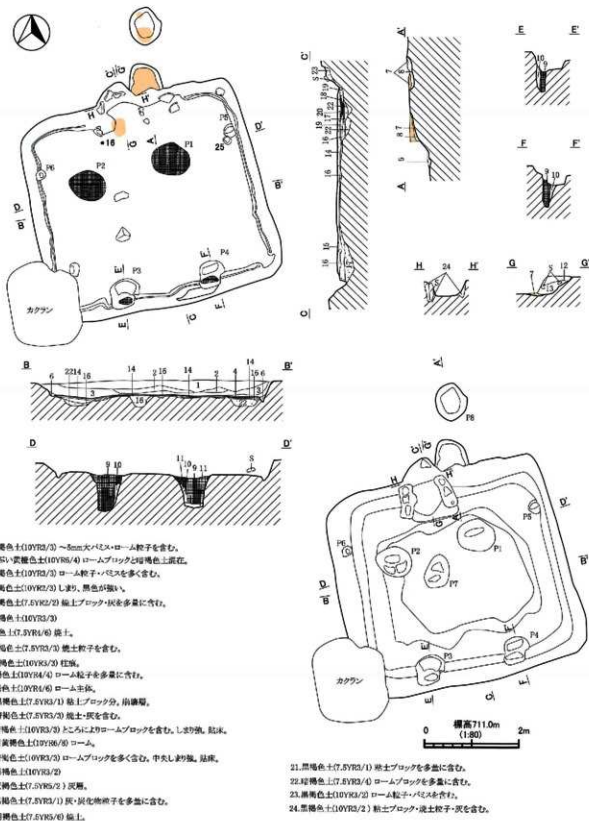
第118図 NME I H62号住居址(3)・H64号住居址(1)

NME I H64号住居址(2)



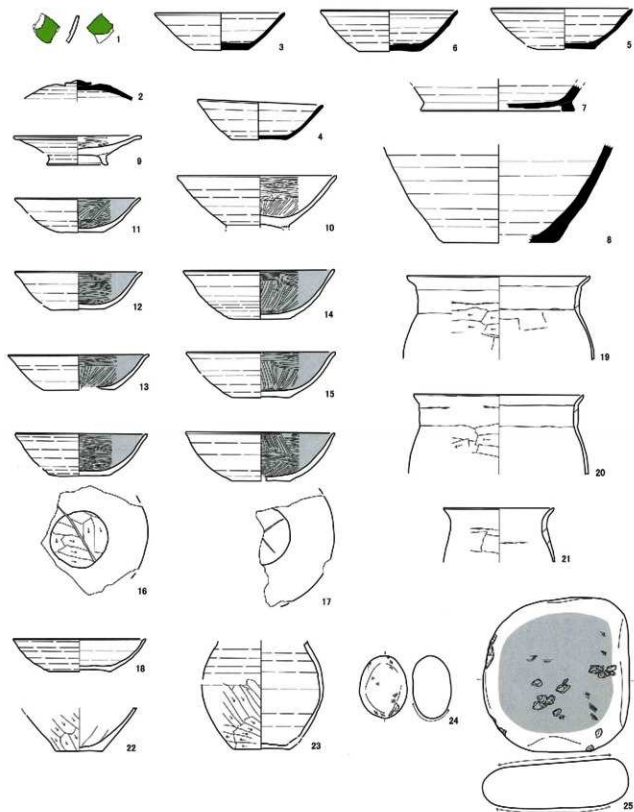
第119图 NME I H64号住居址(2)

NME I H68号住居(1) A



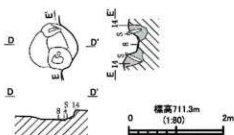
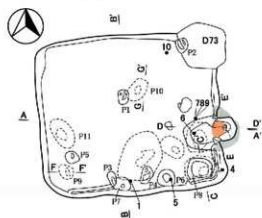
第120図 NME I H68号住居(1)

NME I H68号住居址(2)



第121图 NME I H68号住居址(2)

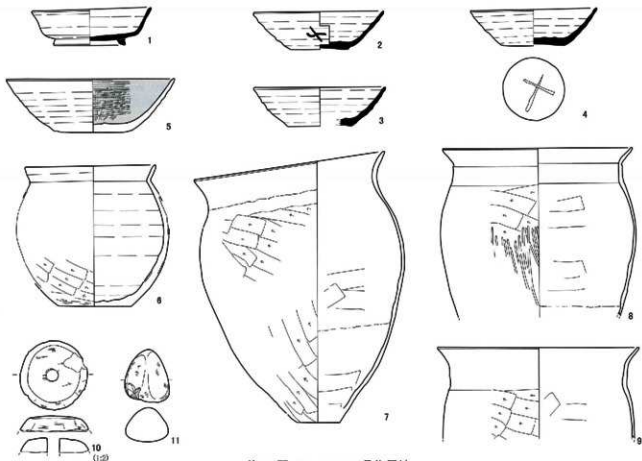
NME I H69号住居址



標高711.3m
(1:80) 2m

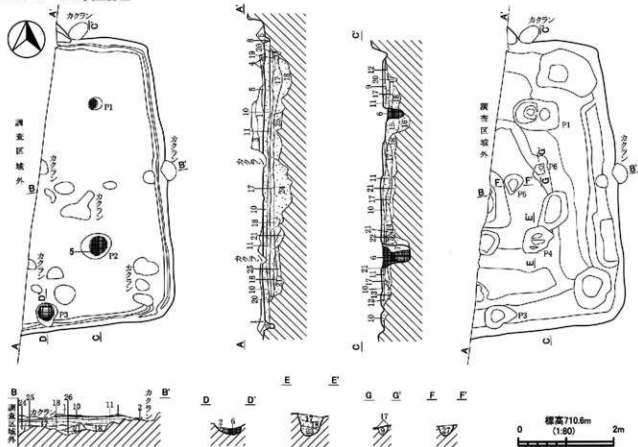


1. 暗褐色土(01YR3/4) ~5mm大パリス・ローム粒子を多く含む。また、炭化物粒子・しまったブロックを含む。
2. 暗褐色土(01YR3/2) 比較的細粒土。~3mm大パリスを含む。
3. 暗褐色土(01YR3/2) ローム粒子・パリスを含む。
4. 灰色土(7.5YR4/3) 掘けたローム粒子を多量に含む。
5. 黒褐色土(7.5YR3/2) 灰・炭土粒子を含む。
6. 暗褐色土(01YR3/2) ローム粒子・パリスを含む。
7. 暗褐色土(01YR3/4) ローム粒子・パリスを多く含む。
8. 明褐色土(7.5YR5/4) 焼土。
9. 暗褐色土(01YR3/2) 褐色のローム・ブロック・パリスを混在。ししろ、貼土。
10. 黒褐色土(01YR2/2) ローム・ブロック・パリスを含む。
11. 灰・黄褐色土(10YR5/4) ローム主体。
12. 黒褐色土(7.5YR2/2) 焼土多く、炭化物粒子を含む。
13. 暗褐色土(7.5YR3/4) ローム粒子を多く含む。
14. 暗褐色土(7.5YR3/2) 褐色の粘土・ブロックを含む。
15. 褐色土(7.5YR4/4) 炭を多量に含む。

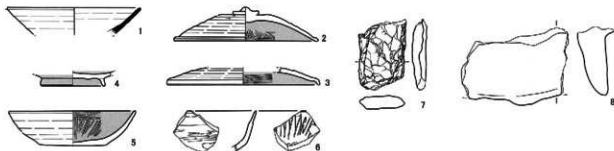


第123図 NME I H69号住居址

NME I H70号住居址

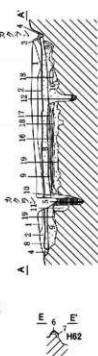
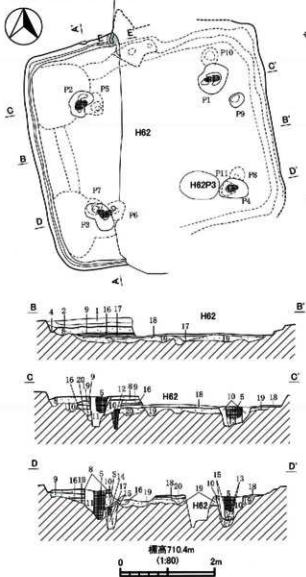


- 1.黒褐色土(0YR2/3) ローム粒子・バリスを含む。
- 2.黒褐色土(0YR2/2) ローム粒子を多く含む。
- 3.黒褐色土(0YR2/3) シート質土を含む。
- 4.褐色土(0YR4/1) 粘土。
- 5.黒褐色土(0YR2/2) 塊灰色土・炭化物を含む粘土。
- 6.暗褐色土(0YR3/0) 柱礎。
- 7.にぶい黄褐色土(0YR4/3) ロームブロックを含む。
- 8.暗褐色土(0YR3/3) ローム粒子・バリスを含む。カマド痕か?
- 9.黒褐色土(0YR2/2)
- 10.暗褐色土(0YR3/3) ロームブロックを多量に含み、非常にしりりあり、
北側に塊灰色の粘土ブロックを含む。貼床。
- 11.暗褐色土(0YR3/4) ロームブロックを極多く含み、しりりあり、貼床。
- 12.黒褐色土(0YR3/2) ロームブロック、まれに黒色土ブロックを含む。
- 13.にぶい黄褐色土(0YR4/3) ローム主体。
- 14.にぶい黄褐色土(0YR4/3) ロームブロック主体に、黒色土ブロックを含む。
- 15.暗褐色土(0YR3/2) 細ロームブロックを多量に含む。ピット痕方。上面しりりあり。
- 16.暗褐色土(0YR3/4) ローム粒子と暗褐色土混在。
- 17.暗褐色土(0YR3/4) ロームブロックを多量に含む。しりりあり、貼床。
- 18.黒褐色土(0YR3/2) ロームブロック・バリスを含む。
- 19.暗褐色土(0YR3/3) ローム粒子を含む。しりりなし。
- 20.暗褐色土(0YR3/3) ローム粒子を含む。
- 21.暗褐色土(0YR3/4) ロームブロックと暗褐色土ブロック混在。
- 22.灰黄褐色土(0YR6/2) ロームブロック。主体に暗褐色土を含む。
- 23.暗褐色土(0YR3/2) ロームブロック・暗褐色土ブロック混在。しりり。
- 24.暗褐色土(0YR3/3) 細ロームブロック・暗褐色土・黒褐色土を混在し、上面はよくしりり。
- 25.褐色土(0YR4/0)・黄褐色土(0YR5/6)・にぶい黄褐色土(0YR5/3)
ロームブロック主体に暗褐色土ブロックを含む。
- 26.黄褐色土(0YR5/6) ローム主体。
- 27.暗褐色土(0YR3/3) ローム粒子・バリスを含む。しりりなし。

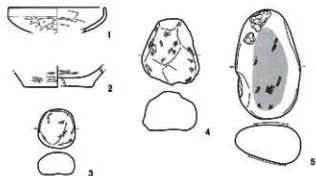


第124図 NME I H70号住居址

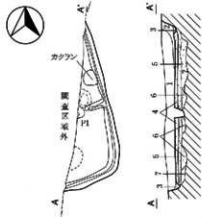
NME I H76号住居址



1. 黒褐色土(10YR2/2) ~1cm大バミスを含む。まれにロームブロック、ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 1層より黒色が強い。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 黒色土ブロック。
4. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を多く含む。
5. 黒褐色土(10YR2/2) 柱状。
6. 暗褐色土(7.5YR3/2) 粘土。
7. 暗褐色土(10YR2/2) ローム粒子を多く含む。
8. 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック・黒色土ブロック混在。しまりあり、粘床。
9. 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック・黒色土ブロック混在。しまりあり、粘床。
10. 黒褐色土(10YR2/2) 灰褐色土のシルト質土・ロームブロック・黒色土ブロックが混在。しまりあり。
11. 黒褐色土(10YR2/2) 細粒ロームでブロックを含む。
12. 濃い黄褐色土(10YR4/2) 柱状。
13. 黒褐色土(10YR2/2) 細粒ロームブロック・黒褐色土ブロックを含む。しまり。
14. 黒褐色土(10YR2/2) 柱状。
15. 暗褐色土(10YR4/4) ローム主体。
16. 黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土ブロック・黒褐色土ブロックの混在。しまり、粘床。
17. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・バミスを含む。
18. 暗褐色土(10YR4/4) ロームブロック主体。粘床。
19. 黄褐色土(10YR5/6) ロームに暗褐色土ブロックを含む。
20. 黒褐色土(10YR2/2) 黄褐色土(10YR5/6) ロームブロックの混在層。



NME I H82号住居址



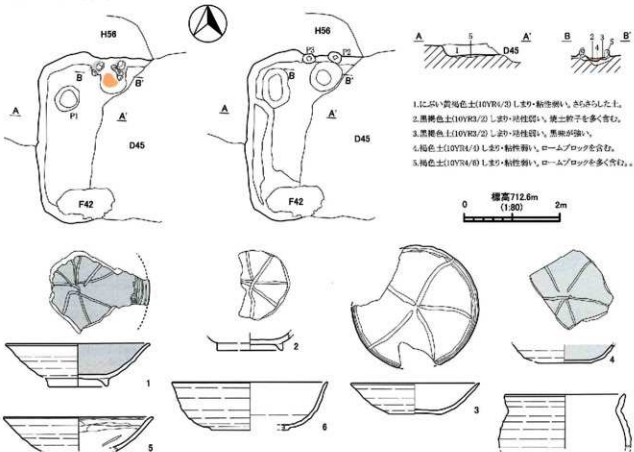
1. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・5mm大バミスを含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 1層より黒色が強い。
3. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を多く含む。
4. 黒褐色土(10YR2/2) わずかにロームブロック・黒色土ブロックを含む。しまりあり、粘床。
5. 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロックと黒色土ブロック混在。粘床。
6. 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック(3cm大)混在。
7. 黄褐色土・明黄褐色土(10YR5/6-10YR6/6) ローム主体。

標高710.4m (1:80) 2m

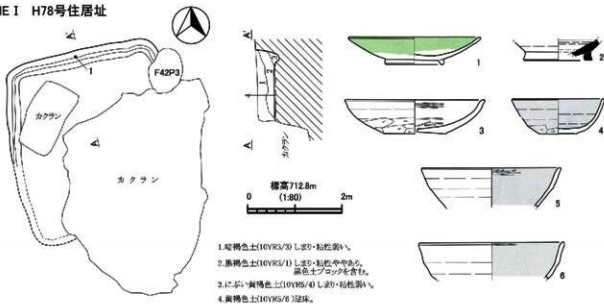


第125図 NME I H76号住居址・H82号住居址

NME I H77号住居址

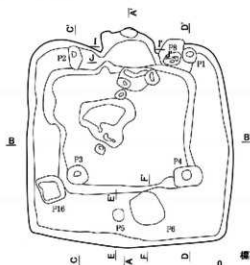
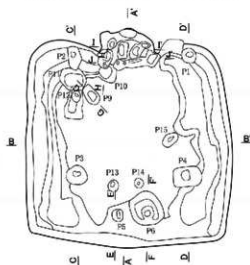
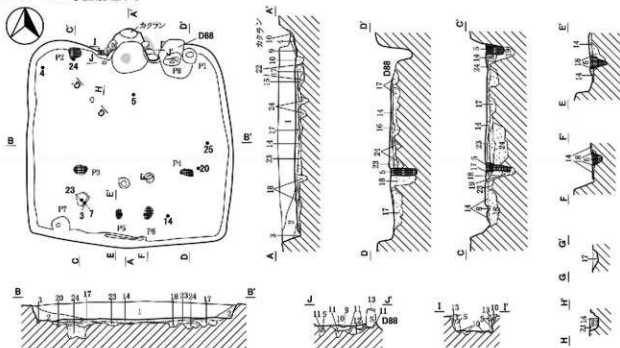


NME I H78号住居址



第126図 NME I H77号住居址・H78号住居址

NME I H81号住居址(1)

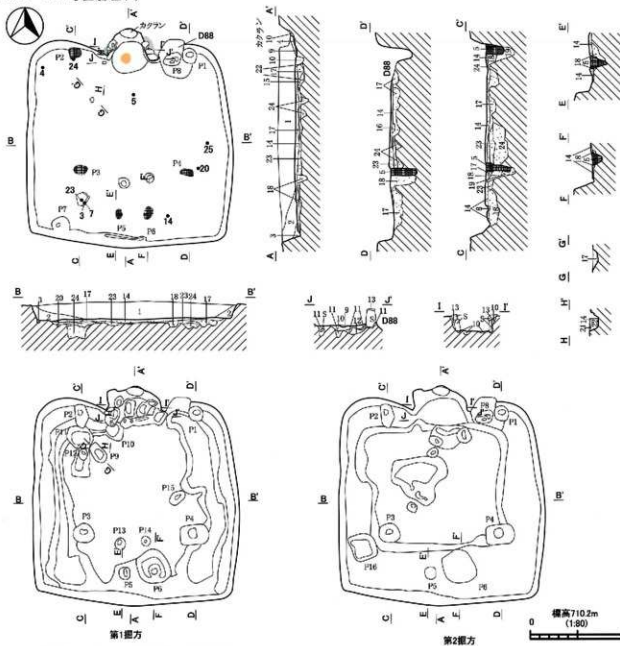


- 1.暗褐色土(10YR2/2) ~1cm大バリスを多く、ローム粒子を含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) ~5mm大バリス、ローム粒子を含む。
- 3.暗褐色土(10YR2/3) ローム粒子を含む。
- 4.黒褐色土(10YR2/3) 炭土・炭化物・灰を含む。
- 5.黒褐色土(10YR2/2) 炭。
- 6.黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子を含む。
- 7.褐色土(10YR4/4) ローム粒子を多く含む。
- 8.緑褐色土(10YR2/2) ロームブロックを含む。
- 9.褐色土(7.5YR4/4) 炭土。
- 10.黒褐色土(7.5YR2/2) 炭・灰・土器を含む。
- 11.黒褐色土(7.5YR2/2) ローム粒子を多く含む。
- 12.にがい黄褐色土(10YR5/4) ローム粒子主体。
- 13.灰褐色土(7.5YR4/2) 塊状の粘土ブロックを多数を含む。
- 14.黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック・バリス・黒褐色土ブロック混在。炭。

- 15.暗褐色土(10YR2/1) 灰・炭化物粒子層。
- 16.褐色土(10YR4/4) ローム。
- 17.黒褐色土(10YR2/2) ところにより、粘土ブロックを含む。
- 18.暗褐色土(10YR2/3) ロームブロックを多数を含む。
- 19.暗褐色土(10YR2/4) ローム粒子を多く含む。
- 20.黒褐色土(10YR2/2)
- 21.黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子層。
- 22.暗褐色土(10YR2/2) ローム粒子を多く含む。
- 23.褐色土(10YR4/4) ローム主体に暗褐色土ブロックを含む。
- 24.褐色土(10YR4/4) ロームブロックと暗褐色土ブロック混在。しまりなし。
- 25.黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック・粘土ブロック・暗褐色土ブロック混在。西い。

第127図 NME I H81号住居址(1)

NME I H81号住居址(1)



第1層方

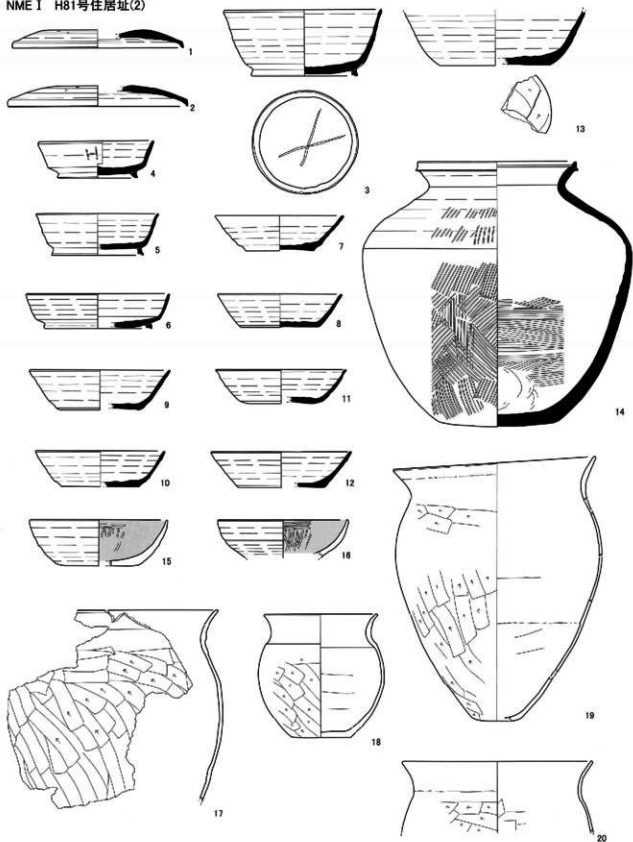
第2層方

1. 暗褐色土(10YR3/2) ~1cm大ハビタを多く、ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) ~5mm大ハビタ、ローム粒子を含む。
3. 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を含む。
4. 黒褐色土(10YR3/3) 炭土・炭化物・灰を含む。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 炭。
6. 黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子を含む。
7. 褐色土(10YR4/4) ローム粒子を多く含む。
8. 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロックを含む。
9. 褐色土(7.5YR4/4) 炭土。
10. 黒褐色土(7.5YR3/2) 炭土・灰・土器を含む。
11. 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム粒子を多く含む。
12. にごい黄褐色土(10YR5/4) ローム粒子主体。
13. 灰褐色土(7.5YR4/3) 塊状色の粘土ブロックを多数を含む。
14. 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック・ハビタ・黒褐色土ブロック散在。炭。

15. 暗褐色土(10YR3/1) 灰・炭化物粒子層。
16. 褐色土(10YR4/4) ローム。
17. 黒褐色土(10YR3/2) とごりにより、粘土ブロックを含む。
18. 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを多数を含む。
19. 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子を多く含む。
20. 黒褐色土(10YR3/2)
21. 黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子層。
22. 暗褐色土(10YR3/2) ローム粒子を多く含む。
23. 褐色土(10YR4/4) ローム主体に暗褐色土ブロックを含む。
24. 褐色土(10YR4/4) ロームブロックと暗褐色土ブロック混在。しまりなし。
25. 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック・粘土ブロック・暗褐色土ブロック散在。西い。

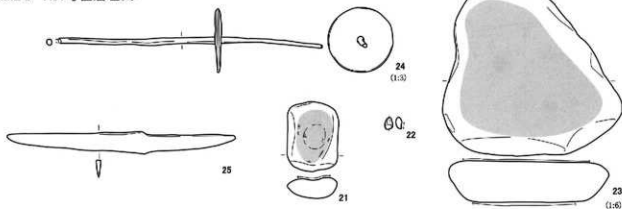
第127図 NME I H81号住居址(1)

NME I H81号住居址(2)

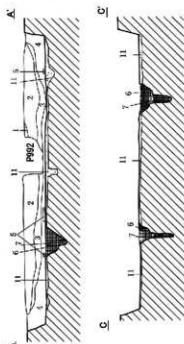
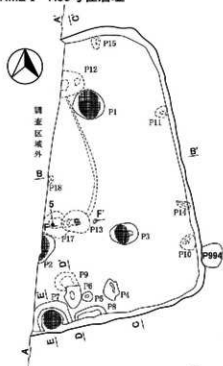


第128图 NME I H81号住居址(2)

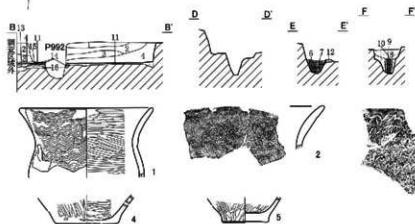
NME I H81号住居址(3)



NME I H83号住居址



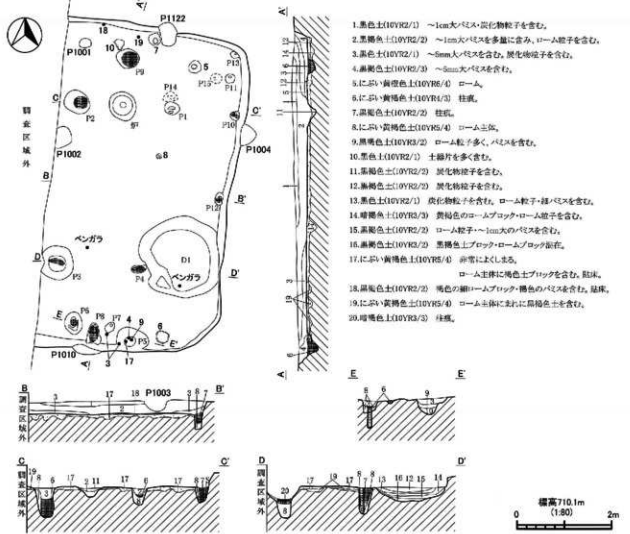
- 1.黒色土(10YR2/1) ~8mm大ノバリスを含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子~1cm大ノバリスを含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子を含み、~1cm大ノバリスを多く含む。
- 4.暗褐色土(10YR3/2) ローム粒子~5mm大ノバリスを多く含む。
- 5.暗褐色土(7.5YR5/6) ローム主体。
- 6.暗褐色土(10YR3/2) 柱状。
- 7.褐色土 (10YR4/4) ローム主体、柱状。
- 8.にぶい褐色土(7.5YR5/4) ロームブロックに暗褐色土ブロック混在。
- 9.にぶい黄褐色土(10YR5/3) 柱状。
- 10.にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム主体。
- 11.暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック+バリス・暗褐色土ブロック混在、肥床。
- 12.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム。
- 13.暗褐色土(10YR2/2) しどけなし、バリスをわずかに含む。
- 14.暗褐色土(10YR3/2) ロームブロック+バリス・暗褐色土ブロック混在、肥床。
- 15.褐色土(10YR4/4) ローム主体、肥床。
- 16.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム主体、黄褐色土ブロックを含む。



標高710.2m
(1.80) 2m

第129図 NME I H81号住居址(3)・H83号住居址

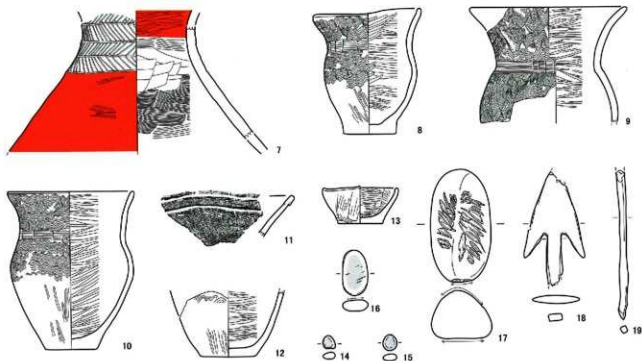
NME I H84号住居址(1)



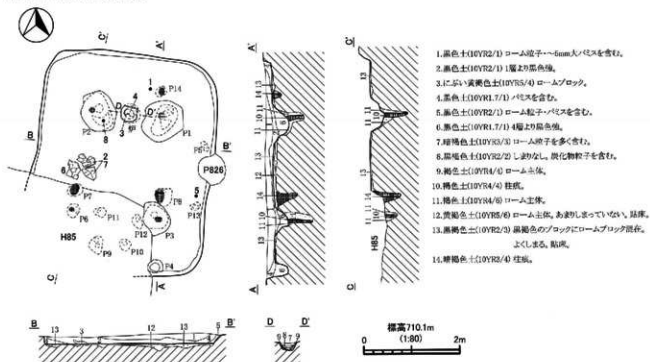
- 1.黒色土(10YR2/1) ~1cm大バリス・炭化物粒子を含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) ~1cm大バリスを多量に含み、ローム粒子を含む。
- 3.赤色土(10YR2/1) ~5mm大バリスを含む。炭化物粒子を含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/3) ~3mm大バリスを含む。
- 5.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム。
- 6.にぶい黄褐色土(10YR4/3) 柱状。
- 7.黒褐色土(10YR2/2) 柱状。
- 8.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム主張。
- 9.黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子多く、バリスを含む。
- 10.黒色土(10YR2/1) 土器片を多く含む。
- 11.黒褐色土(10YR2/2) 炭化物粒子を含む。
- 12.黒褐色土(10YR2/2) 炭化物粒子を含む。
- 13.黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子を含む。ローム粒子・柱バリスを含む。
- 14.暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色のロームブロック・ローム粒子を含む。
- 15.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・~1cm大のバリスを含む。
- 16.黒褐色土(10YR3/2) 黒褐色土ブロック・ロームブロック断片。
- 17.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ※常によく見える。ローム主律に褐色土ブロックを含む。柱状。
- 18.黒褐色土(10YR2/2) 褐色の細ロームブロック・褐色のバリスを含む。柱状。
- 19.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム主律にこれに黒褐色土を含む。
- 20.暗褐色土(10YR3/3) 柱状。

第130図 NME I H84号住居址(1)

NME I H84号住居址(2)

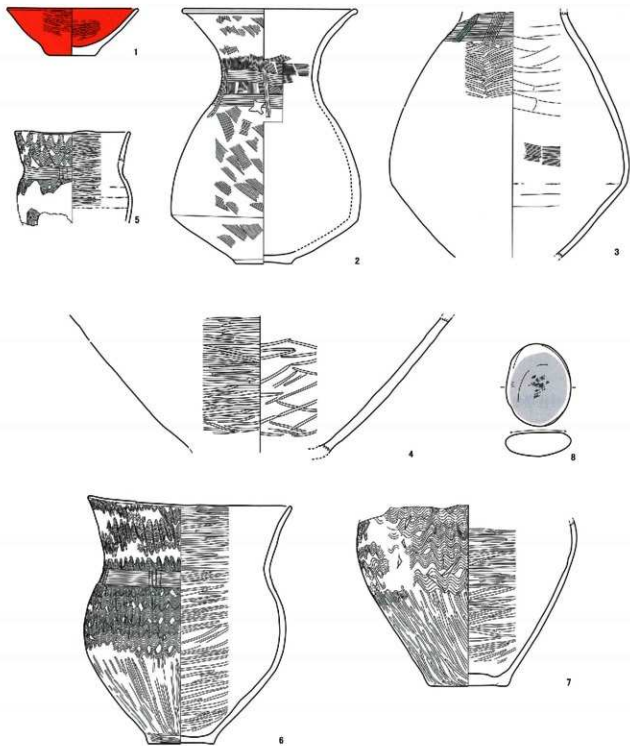


NME I H86号住居址(1)



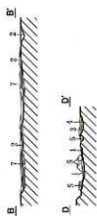
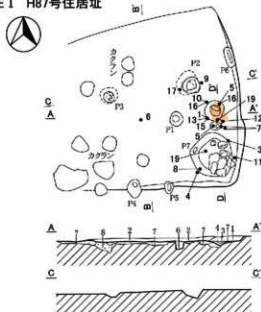
第131図 NME I H84号住居址(2)・H86号住居址(1)

NME I H86号住居址(2)

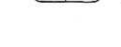
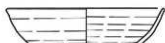
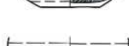
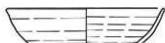
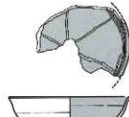
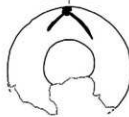
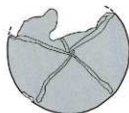
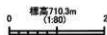


第132圖 NME I H86号住居址(2)

NME I H87号住居址

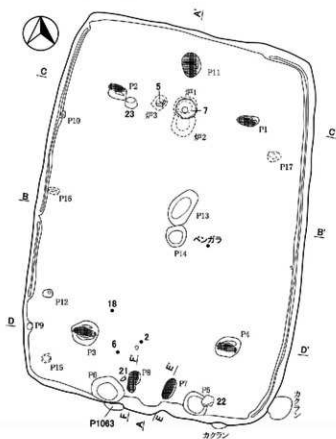


1. 緑褐色土(T7.SY92/3) 粘土粒子-灰をわずかに含む。
2. 黒褐色土(T6V92/3) コーア粒子-灰を含む。
3. 褐色土(T7.SY94/0) 焼土。
4. 緑褐色土(T7.SY93/3) 黒色土を含み、焼け込み。
5. 暗褐色土(T6V93/3) コーア粒子を多く含む。焼土。
6. 黒褐色土(T6V92/3) コーア粒子-灰を含む。
7. 黒褐色土(T6V92/3) 褐色のロームブロック存在。
8. 緑褐色土(T6V92/0) コーア粒子を極多く含む。

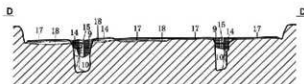
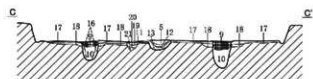


第133図 NME I H87号住居址

NME I H85号住居址(1)



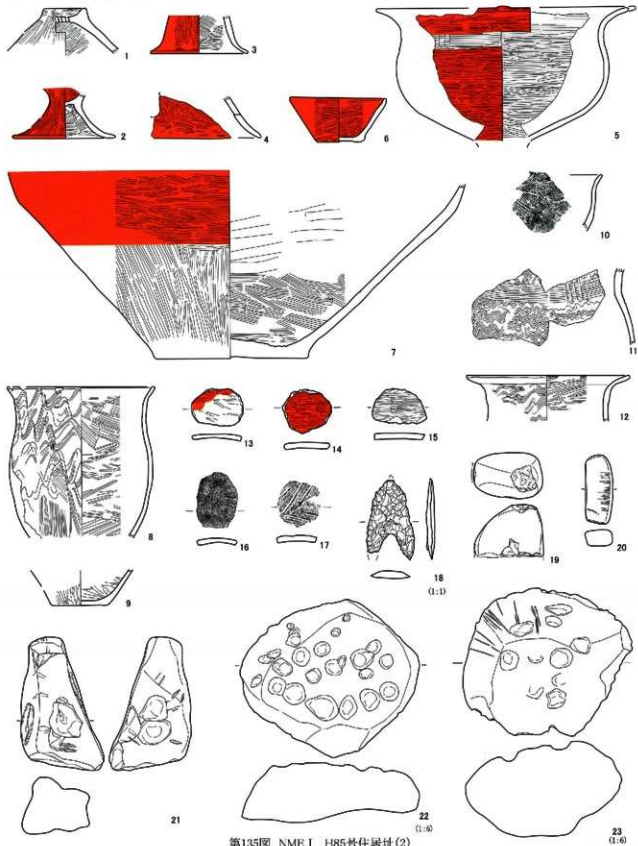
- 1.黒色土(10YR2/1) ~5mm大バリスを含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) ~1cm大バリス・ローム粒子を含む。
- 3.黒色土(10YR2/1) ~5mm大バリスを含む。
- 4.黒褐色土(10YR2/2) ~5mm大バリスを含む。ローム粒子を多く含む。
- 5.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・~1mm大バリスを多く含む。
- 6.黒褐色土(10YR2/2) ~5mm大バリス・ローム粒子を含む。
- 7.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・バリスを含む。2層より黒味あり。
- 8.暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子を多く含む。
- 9.暗褐色土(10YR3/3) 粒状。
- 10.暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子を多く含む。
- 11.黒色土(7.5YR2/1) 炭化物粒子を多量に含む。
- 12.黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子を多量に含む。
- 13.灰黄褐色土(10YR4/2) ローム主体。
- 14.黄褐色土(10YR5/6) ローム。
- 15.暗褐色土(10YR3/4) ローム主体。
- 16.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム主体。
- 17.暗褐色土(10YR3/3) ロームに暗褐色のブロック散在。非常に上くしめる。粘味。
- 18.黄褐色土(10YR5/6) ローム主体にまれに黒褐色のブロックを含む。
- 19.黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック・黒色のブロック散在。
- 20.黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子を多量に含む。
- 21.にぶい黄褐色土(10YR5/2) ローム主体。
- 22.黒褐色土(10YR2/2) 炭化物粒子・粘土粒子を含む。



標高710.1m
0 (1:80) 2m

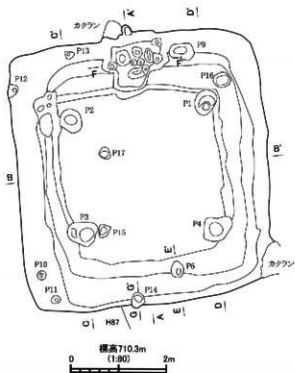
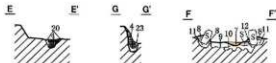
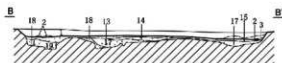
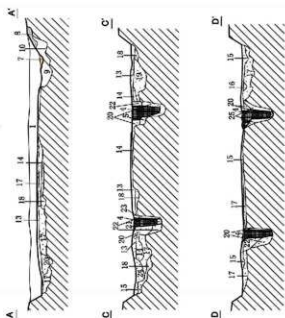
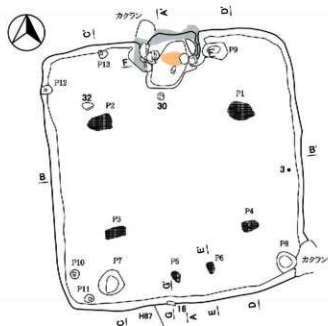
第134図 NME I H85号住居址(1)

NME I H85号住居址(2)



第135图 NME I H85号住居址(2)

NME I H88号住居址(1)

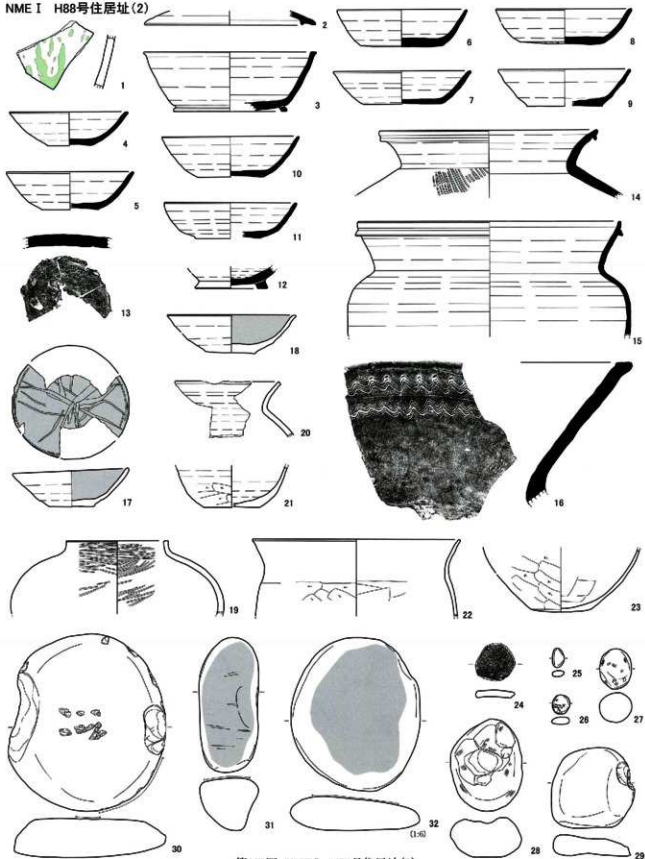


標高710.3m
(1.80)
2m

- 1.黒褐色土(10YR3/2)珪酸化物を含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2)珪酸化物粒子を多く含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/3)珪酸化する住居の黒褐色土を多く含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2)少量の珪酸。柱状。
- 5.暗褐色土(10YR3/3)ロームブロックを含む。
- 6.黒褐色土(7.5YR3/2)黒褐色土の粘土ブロックと珪土を含む。
- 7.褐色土(7.5YR4/6)上面に厚層4~5cmあり。珪土。
- 8.黒褐色土(7.5YR3/1)黒褐色土の粘土ブロックを含む。
- 9.黒褐色土(7.5YR3/2)珪酸化物粒子・粘土粒子・炭を多量に含む。
- 10.黒褐色土(10YR3/2)ローム粒子・粘土粒子を含む。
- 11.暗褐色土(10YR3/4)ロームブロックを含む。
- 12.黒褐色土(7.5YR3/1)
- 13.黒褐色土(10YR2/3)黒褐色土の粘土ブロック・ロームブロックを含み、しまりあり。珪土。
- 14.暗褐色土(10YR3/4)少量のロームブロックを含む。中央付近では、15層の上に貼ってある。珪土。
- 15.黒褐色土(10YR2/2)粘土ブロック・ロームブロックを含む。しまりあり。珪土。
- 16.黒褐色土(10YR3/1)粘土土塊。
- 17.黒褐色土(10YR2/2)ロームブロック・粘土ブロックを少々含む。
- 18.褐色土(10YR4/4)ロームブロック主体に暗褐色土ブロックを含む。
- 19.黒褐色土(10YR2/2)褐色土(10YR4/4)ブロックの混在土層。
- 20.黒褐色土(10YR2/2)ロームブロックを含む。(ピット製方塊土)
- 21.黒褐色土(10YR2/3)珪酸化物ロームブロックを含む。よくしまる。
- 22.黒褐色土(10YR2/2)ロームブロック・粘土ブロックを含む。
- 23.暗褐色土(10YR3/4)ロームブロックを多量に含む。
- 24.黒褐色土(10YR2/3)珪酸化物の層土と思われる。
- 25.にみ・黄褐色土(10YR5/4)ロームに黒色土層あり。

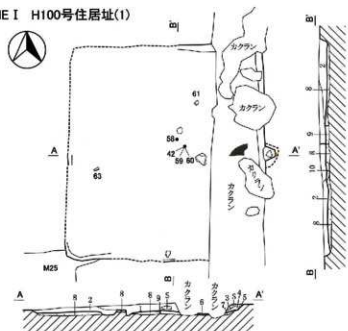
第136図 NME I H88号住居址(1)

NME I H88号住居址(2)



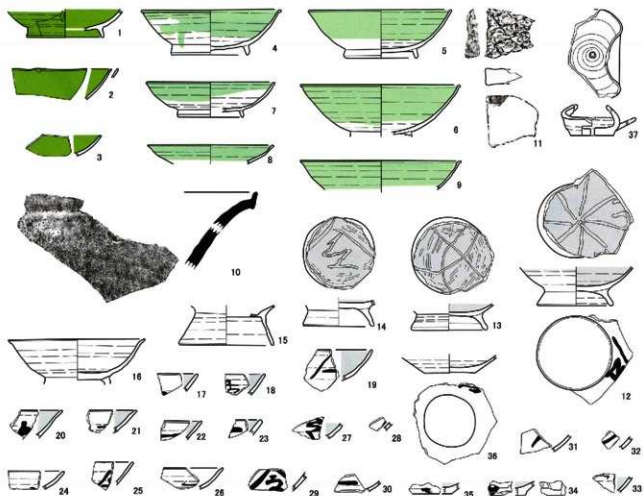
第137图 NME I H88号住居址(2)

NME I H100号住居址(1)



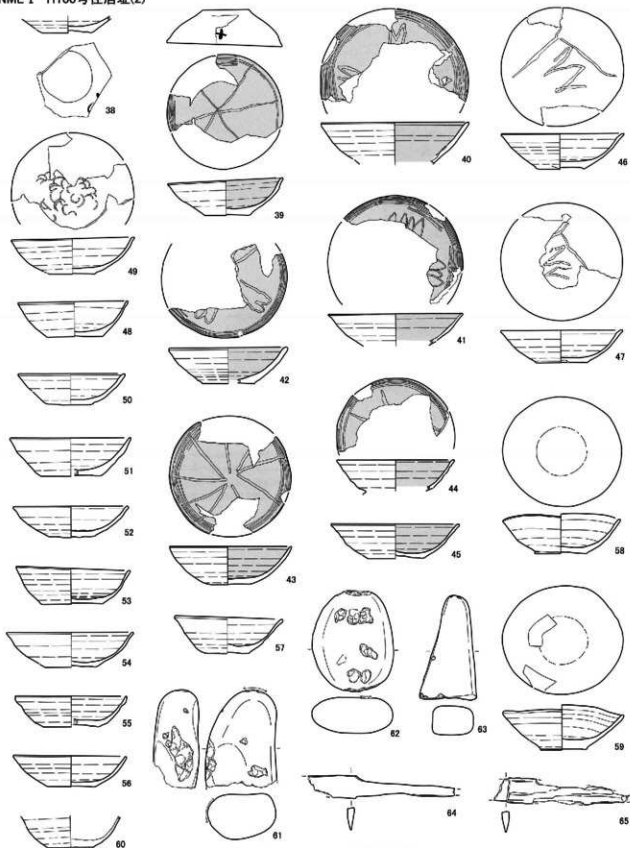
- 1.黒褐色土(10YR2/2) 灰を多量に含み、炭化物粒子を含む。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子、バミスを多量に含む。
- 3.黒褐色土(7.5YR3/2) 焼土粒子・粘土を含む。
- 4.暗褐色土(7.5YR3/2) 炭土・灰を多量に含む。
- 5.褐色土(7.5YR4/0) 焼土。
- 6.灰褐色土(7.5YR4/2) 灰主体。
- 7.暗褐色土(7.5YR3/2) カッド・焼土。
- 8.暗褐色土(10YR3/3) 駄土。
- 9.灰黄褐色土(10YR6/2) 粘土ブロックを多量に含む。石灰あり。
- 10.砂礫

標高710.0m
(1:80)
0 2m



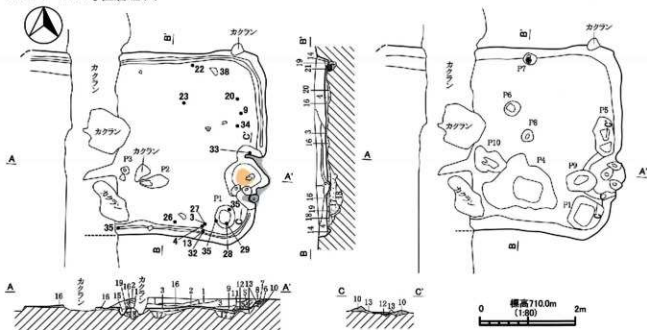
第138図 NME I H100号住居址(1)

NME I H100号住居址(2)



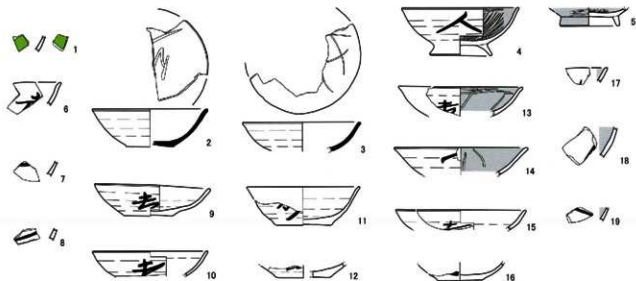
第139图 NME I H100号住居址(2)

NME I H101号住居址(1)



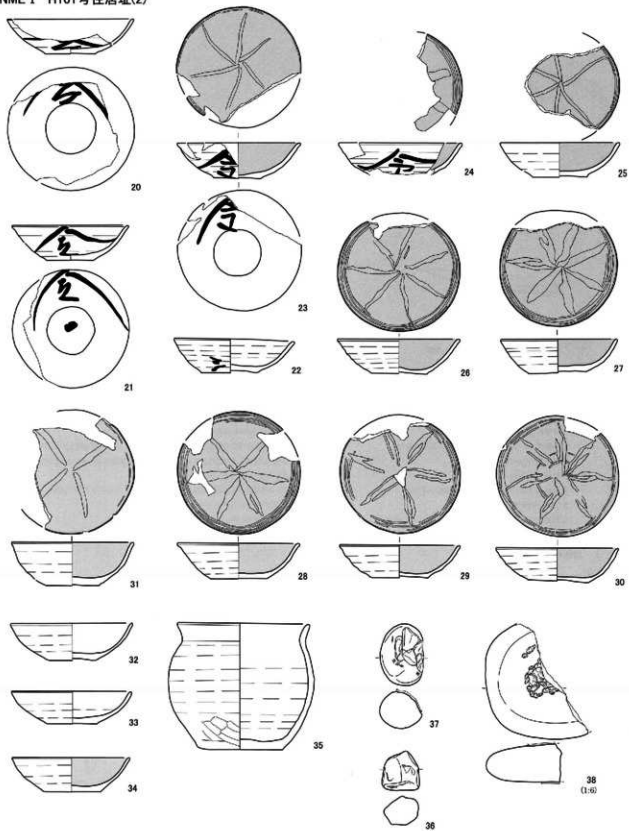
1. 黒褐色土(10YR2/2) 粘土・灰・ローム粒子～1cmパミスを含む。
2. にぶい褐色土(7.5YR5/0) 粘土・灰質。
3. 暗褐色土(10YR3/2) ～2mmパミス・ローム粒子・炭化物粒子を含む。
4. 暗褐色土(10YR3/0) ローム粒子・細0.4パミスを含む。
5. 暗褐色土(7.5YR3/2) 灰褐色土の粘土を多く含む。
6. 灰褐色土(7.5YR4/2) 粘土主体。
7. 暗褐色土(10YR3/0) 粘土。粘土や砂。
8. 暗褐色土(7.5YR2/2) 炭化物流土粒子を含む。
9. 黒色土(7.5YR2/1) 炭化物粒子多。
10. 灰褐色土(7.5YR4/2) 粘土。

11. 灰白色土(7.5YR8/1) 灰質。
12. 褐色土(7.5YR6/0) 粘土。
13. 暗褐色土(7.5YR3/2) 粘土粒子を含む。
14. 暗褐色土(10YR3/2)
15. 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子・パミスを含む。
16. 黒褐色土(10YR3/2) パミス・ロームブロックを含む。よくしまる。灰床。
17. 黒褐色土(10YR3/2) 1cm大ロームブロックを多量に含む。
18. 暗褐色土(10YR2/2) ロームブロックを含む。
19. にぶい暗褐色土(10YR4/2) ローム主体。
20. 褐色土(10YR6/0) ローム主体。
21. 暗褐色土(10YR3/2) 程度。



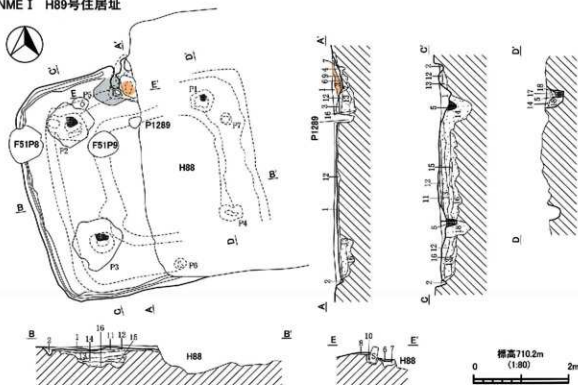
第140図 NME I H101号住居址(1)

NME I H101号住居址(2)



第141图 NME I H101号住居址(2)

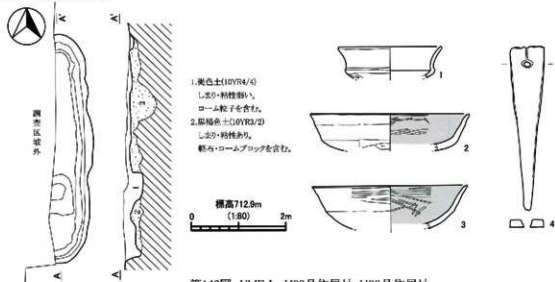
NME I H89号住居址



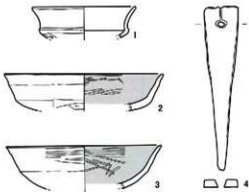
- 1.黒褐色土(10YR3/2) 細砂・石灰・ローソク燻りを含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2)
- 3.灰褐色土(7.5YR4/2) 粘土。焼けている。
- 4.黒褐色土(10YR3/2) 粘土・炭子・足土・粘土を含む。
- 5.黒褐色土(10YR3/2) 住居。
- 6.褐色土(7.5YR6/2) 炭土。
- 7.黒褐色土(7.5YR2/2) 粘土・炭化物粒子を含む。
- 8.にじみ・黄褐色土(10YR4/3) 粘土。
- 9.黒褐色土(10YR2/2) シルト質土・黒色土ブロックが散在し、しまる。足床状。

- 10.黒褐色土(10YR2/2)わずかにペリスを含む。
- 11.暗褐色土(10YR3/3)褐色土を多く含む。しまる。灰床。
- 12.黒褐色土(10YR2/2)黒褐色土にローソク燻りを含む。灰床。
- 13.黒褐色土(10YR2/2)黒褐色土に黒色土ブロック・黄褐色土ブロックを含む。
- 14.黒色土(10YR1.1/1)黒色土に黒褐色シルト質土・黄褐色土ブロックが散在。
- 15.黒褐色土(10YR2/2)シルト質土。
- 16.にじみ・黄褐色土(10YR4/3)暗褐色土に黄褐色土ブロックが少し散在。
- 17.黒褐色土(10YR2/2)ローソク燻り。
- 18.黄褐色土(10YR4/6)ローソク燻り。

NME I H99号住居址

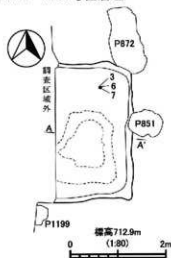


- 1.褐色土(10YR4/6)しまり・粘り強い。ローソク燻りを含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2)しまり・粘り強い。粘土・ローソク燻りを含む。

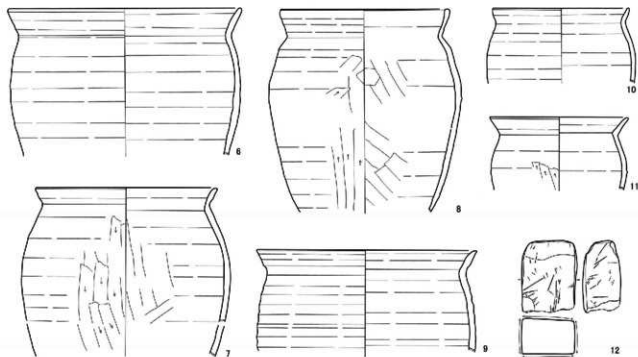
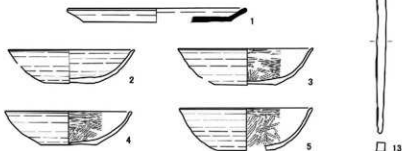


第142図 NME I H89号住居址・H99号住居址

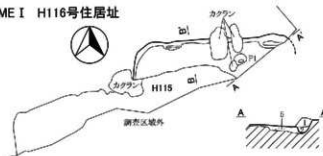
NME I H106号住居址



1. 黒褐色土(10YR3/3)しまり・粘性ややあり、ロームブロックを含む。
2. 黄褐色土(10YR5/6)しまり・粘性弱い。
3. 暗褐色土(10YR3/3)しまり弱く、動物あり、砂5%混入土。
4. 黒褐色土(10YR3/3)しまり・粘性あり、ローム粒子を含む。
5. 同上・黄褐色土(10YR5/6)しまり・粘性弱い。



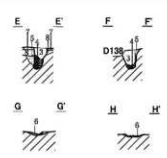
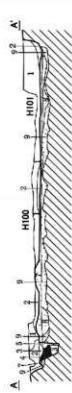
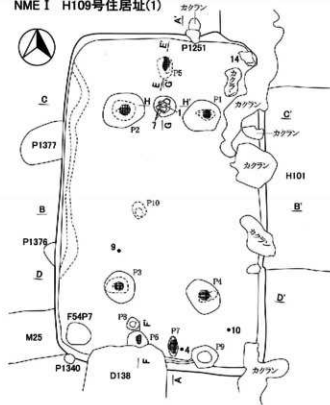
NME I H116号住居址



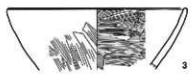
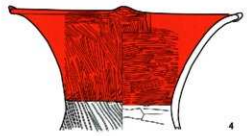
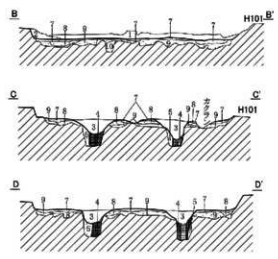
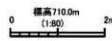
1. 暗褐色土(10YR3/3) ~1cm大の小石を含む。
2. 暗褐色土(10YR3/4)ローム粒子を多く含む。
3. 暗褐色土(10YR3/3)暗褐色土を含む。炭末。
4. 黄褐色土(10YR5/6)ローム土。
5. 暗褐色土(10YR3/3)暗褐色土ブロックにロームブロックを含む。

第143図 NME I H106号住居址・H116号住居址

NME I H109号住居址(1)

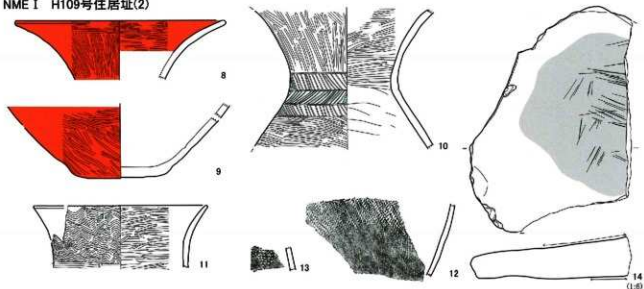


- 1.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒7・ノベリスを多く含む。
 - 2.黒褐色土(10YR2/2) ノベリスを多く含む。ローム粒を含む。
 - 3.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒・ノベリス・炭化物粒子を含む。
 - 4.にぶい黄褐色土(10YR4/3) 柱礎。
 - 5.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム主体。
 - 6.黒色土(10YR2/1) 炭化物粒子を多く含む。
 - 7.黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック覆花。しまる。
- 下面に褐色土のローム線画あり。
- 8.暗褐色土(10YR2/4) 黄褐色土ブロック存在。
 - 9.にぶい黄褐色土(10YR5/4) 黄褐色土ブロック存在。
 - 10.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム主体。

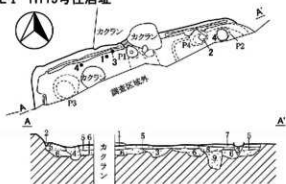


第144図 NME I H109号住居址(1)

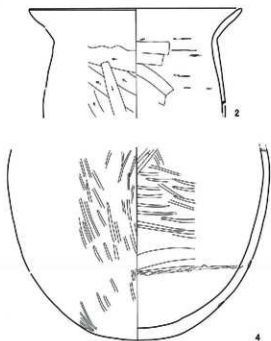
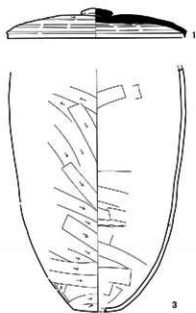
NME I H109号住居址(2)



NME I H115号住居址

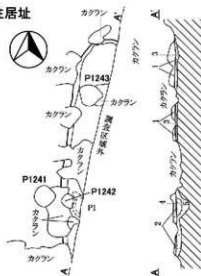


- 1.黒褐色土(10YR3/2) ~8mm大パリス・ローム粒子・
~3cm大の片屑を含む。陥没。
- 2.暗褐色土(10YR2/3) ローム粒子を多く含む。
- 3.暗褐色土(10YR2/3) しまりなし。ローム粒子・パリスを多く含む。
- 4.暗褐色土(10YR2/3) 緑色ロームブロックを多量に含む。床下ピット。
- 5.暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック・暗褐色土が混在。しるる。
- 6.黄色土(10YR4/4) ロームに暗褐色土ブロックを含む。
- 7.暗褐色土(10YR2/2) 円錐を含む。しるる。陥没。
- 8.黒褐色土(10YR2/2) 円錐、ロームブロックを含む。陥没。
- 9.黄土土(7.5YR4/4) グレーの砂。



第145図 NME I H109号住居址(2)・H115号住居址

NME I H117号住居址

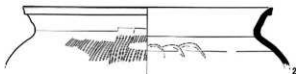
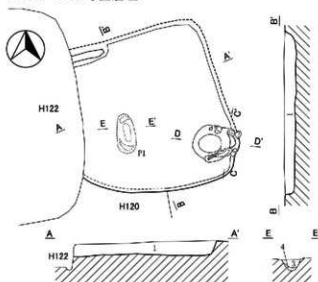


- 1.暗褐色土(10YR3/3) ローム砂子、パミスを含む。
- 2.暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色のロームと黒褐色土混在。陥床。
- 3.黄褐色土(10YR5/6) ローム主体、しまつてゐる。陥床。
- 4.暗褐色土(10YR4/6) 細粒のロームブロック主体。
- 5.黒褐色土(10YR/2) ロームブロック混在。

0 標高700.9m (1.90) 2m



NME I H121号住居址



- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 灰黄褐色のロームを含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) 焼質土。
- 3.黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
- 4.明黄褐色土(10YR7/6) ローム主体、黒褐色土を少量含む。

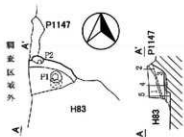


0 標高714.1m (1.90) 2m



第146図 NME I H117号住居址・H121号住居址

NME I H132号住居址

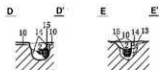
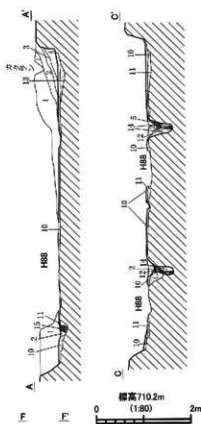
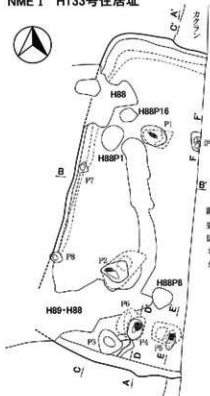


1. 暗褐色土(10YR3/2) ローム粒子・パリスを含む、わずかに炭化物粒子を含む。
2. 褐色土(10YR4/4) ローム主体。
3. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・パリスを含む。
4. 黄褐色土(10YR6/6) ローム主体、よくしまる、堅硬。
5. 黄褐色土(10YR5/6) ロームに黒褐色土ブロックを含む。

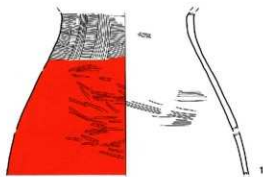
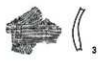
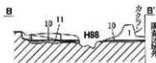


標高110.0m
(1.80) 2m

NME I H133号住居址

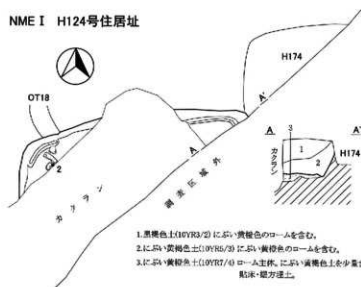


1. 黒褐色土(10YR2/2) 細かなパリスを多数に含む、
~1cm大パリスを含む。
2. 暗褐色土(10YR2/2) 1層より黒色強い。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 褐色ロームブロックを含む。
4. 黒色土(10Y2/1) ~5mm大パリスを含む。
6に多い黄褐色土(10YR4/2) 粒状。
5. 黒色土(10YR2/1) 細かなパリス・炭化物粒子を含む。
6. 黒褐色土(7.5YR2/2) 炭化物粒子・粘土質土を含む。
7. 黒色土(10Y3/1.7/1) 炭化物粒子を多数に含む。
8. 明褐色土(7.5YR6/6) 焼けた、ローム主体。
9. 暗褐色土(10YR3/2) 6に多い黄褐色ロームブロック・
黒褐色土ブロックを含む。堅硬、
よくしまる。中央はロームのみ。
10. 暗褐色土(10YR3/2) 6に多い黄褐色土(10YR5/6) ローム土体、
黒褐色土ブロックを含む。
11. 6に多い黄褐色土(10YR5/6) ローム土体、
黒褐色土ブロックを含む。
12. 暗褐色土(10YR3/2) 粒状。
13. 暗褐色土(10YR3/2) ロームブロック・黒褐色土
ブロックが混在。
14. 黄色土(10YR4/6) ローム主体。
15. 褐色土(10YR4/6) 柱礎。

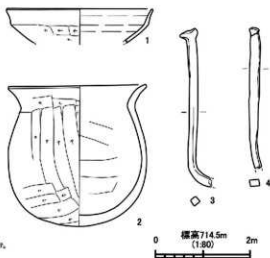


第147図 NME I H132号住居址・H133号住居址

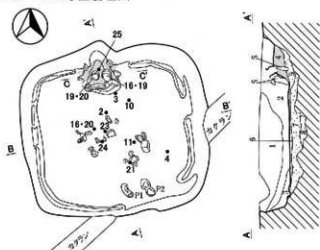
NME I H124号住居址



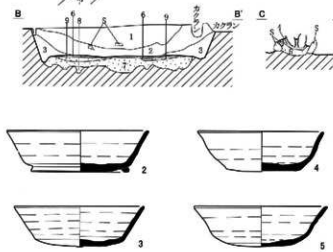
- 1.黒褐色土(10YR3/2) におい黄褐色のロームを含む。
- 2.におい黄褐色土(10YR5/3) におい黄褐色のロームを含む。
- 3.におい黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。におい黄褐色土を少量含む。 粘土・磁方磁土。



NME I H126号住居址(1)

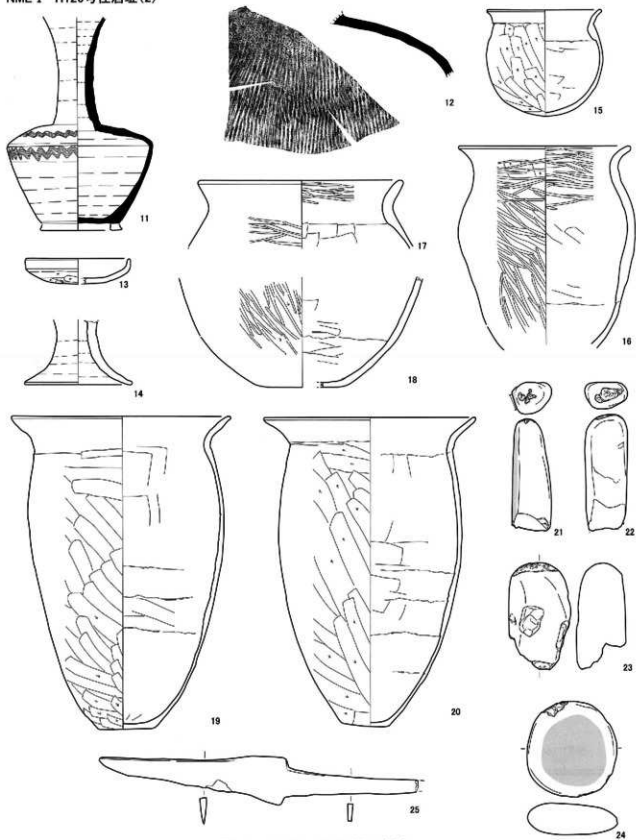


- 1.におい黄褐色土(10YR5/2) 層・上部・骨を包含する。 本址埋没後に崩壊されたもの。
- 2.におい黄褐色土(10YR5/4) におい黄褐色のロームを含む。 人為埋土。
- 3.明黄褐色土(10YR7/6)ローム・黒褐色土(10YR2/2)の混合層。
- 4.2層中に粘土・灰・炭土を含む。
- 5.黒褐色土(10YR3/2) 粘質。
- 6.黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のロームを含む。 粘土。
- 7.明黄褐色土(10YR4/2) におい黄褐色のローム・黒褐色土を含む。
- 8.におい黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。におい黄褐色土を少量含む。
- 9.明黄褐色土(10YR7/6) ローム主体。におい黄褐色土を少量含む。



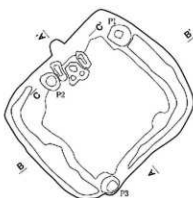
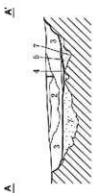
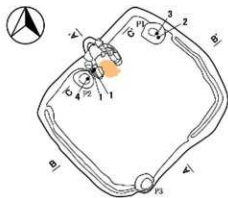
第148図 NME I H124号住居址・H126号住居址(1)

NME I H126号住居址(2)



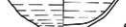
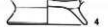
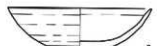
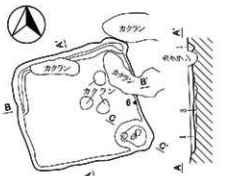
第149图 NME I H126号住居址(2)

NME I H130号住居址(1)

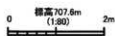


1. 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性弱い。
2. にぶい黄褐色土(10YR4/2) しまり・粘性ややあり、ロームブロックを多く含む。
3. 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり、粘性強い。
4. 黒色土(10YR2/1) しまり・粘性あり、灰を多量に含む。
5. 赤色土(10R5/6) 大木跡。
6. 暗褐色土(10YR3/3) しまり・粘性あり、灰色の粘土ロームブロックを含む。
7. 褐色土(10YR4/4) しまり・粘性ややあり、ロームブロックを多く含む。粘土。

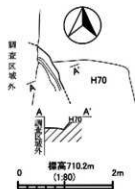
NME I H128号住居址



1. 黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性ややあり、ローム塊子を含む。
2. 黒褐色土(10YR3/1) しまり・粘性強い、灰を多量に含む。
3. 褐色土(10YR4/6) しまりややあり、粘性強い、ロームブロックを多く含む。

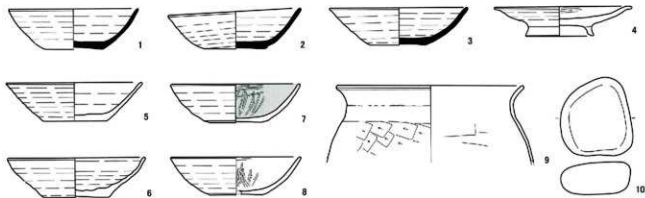


NME I H123号住居址

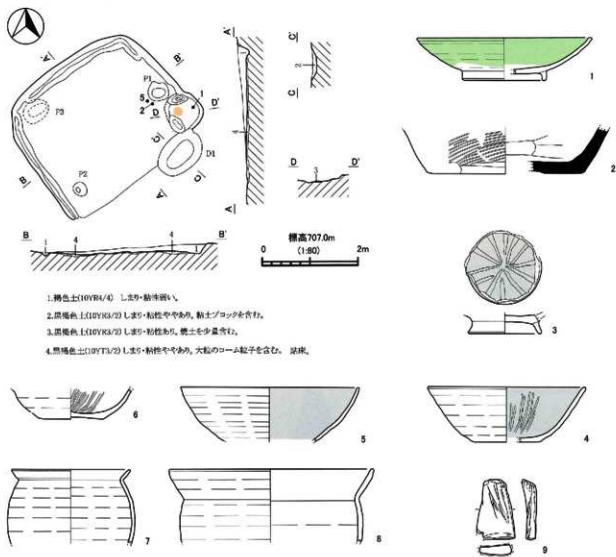


第150図 NME I H123号住居址・H128号住居址・H130号住居址(1)

NME I H130号住居址(2)



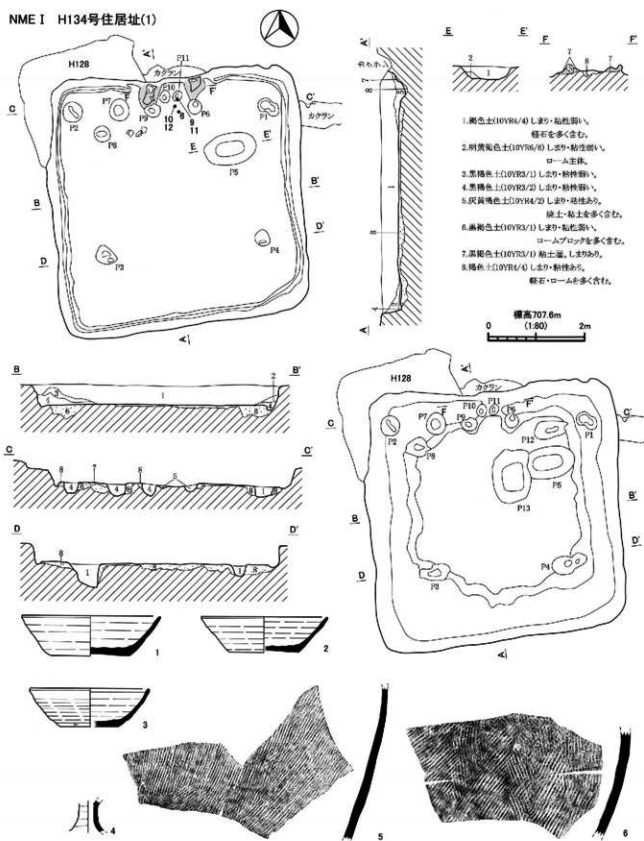
NME I H131号住居址



1. 褐色土(10YR4/4) しまり・粘味強い。
2. 原褐色土(10YR3/2) しまり・粘性ややあり、粘土ブロックを含む。
3. 原褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり、焼土を少量含む。
4. 黒褐色土(10Y3/2) しまり・粘性ややあり、大粒のローム粒子を含む。 原床。

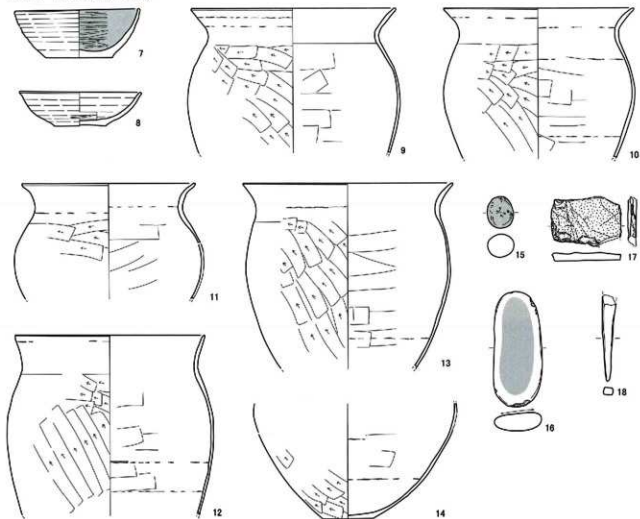
第151図 NME I H130号住居址(2)・H131号住居址

NME I H134号住居址(1)

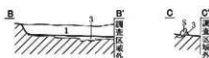
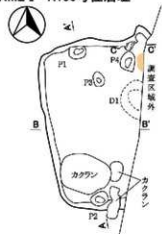


第152図 NME I H134号住居址(1)

NME I H134号住居址(2)



NME I H136号住居址



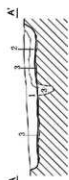
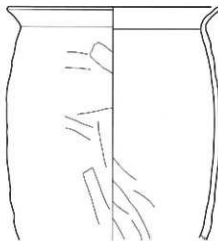
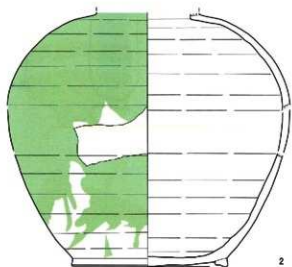
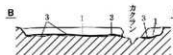
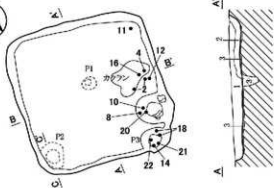
標高707.8m
(1:80) 2m

- 1.黒褐色土(GYR3/1) しまり・粘性あり、ローム、軽石を多く含む。
- 2.黄褐色土(GYR5/5) しまり・粘性弱い、ローム主体。
- 3.褐色土(GYR1/6) しまり・粘性あり、ローム粒子多く、上面硬質。



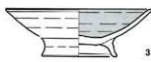
第153図 NME I H134号住居址(2)・H136号住居址

NME I H135号住居址(1)

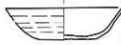


- 1.黒褐色土(10YR3/2)しまり・粘性ややあり、軽石粒を含む。
- 2.黒色土(10YR4/0)しまり・粘性強い、ローム粒子を含む。
- 3.黒褐色土(10YR3/2)しまり・粘性あり、ロームブロックが多い、粘泥。
- 4.褐色土(10YR4/4)しまり・粘性強い、ロームブロックを含む。

0 標高 707.8m (1.80) 2m

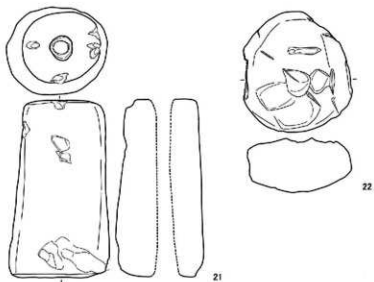


2

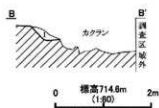
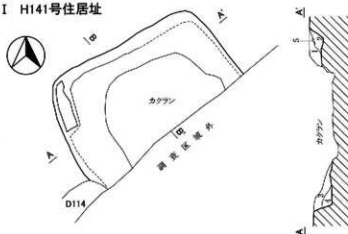


第154図 NME I H135号住居址(1)

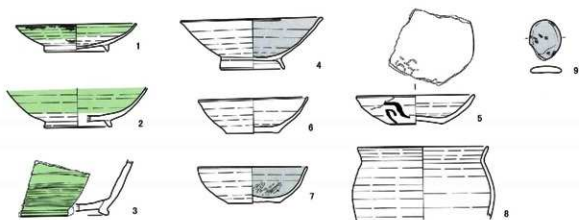
NME I H135号住居址(2)



NME I H141号住居址

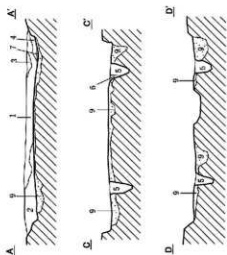
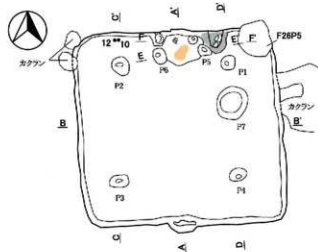


- 1.灰黄褐色土(10YR6/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
- 2.1層中に黄土粒子を少量に含む。
- 3.明黄褐色土(10YR7/6) ローム二次堆積。
- 4.黒紫褐色土(10YR2/2) に多少黄褐色のロームを少量含む。

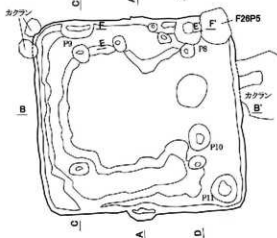


第155図 NME I H135号住居址(2)・H141号住居址

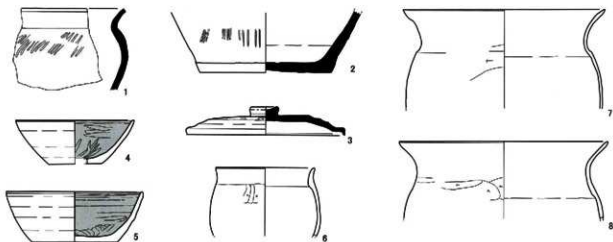
NME I H137号住居(1)



- 1.黒褐色土(10YR3/1)しまり・粘性弱い。(白層と同じ。)
- 2.暗褐色土(10YR3/4)しまり・粘性弱い。ロームブロック層土。
- 3.褐灰色土(10YR4/1)しまり・粘性強い。
- 4.灰黄褐色土(10YR4/2)しまり・粘性あり。灰色粘土を含む。
- 5.黒褐色土(10YR3/1)しまり・粘性弱い。
- 6.黄褐色土(10YR5/6)しまり・粘性強い。
- 7.暗赤灰色土(10R3/1)粘土。
- 8.褐灰色土(10YR4/1)粘土ブロックを多く含む。しまり・粘性強い。
- 9.黒褐色土(10YR3/1)しまり・粘性あり。ロームブロックを含む。

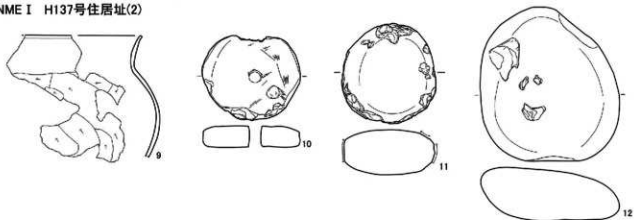


標高708.0m
(1:80) 2m

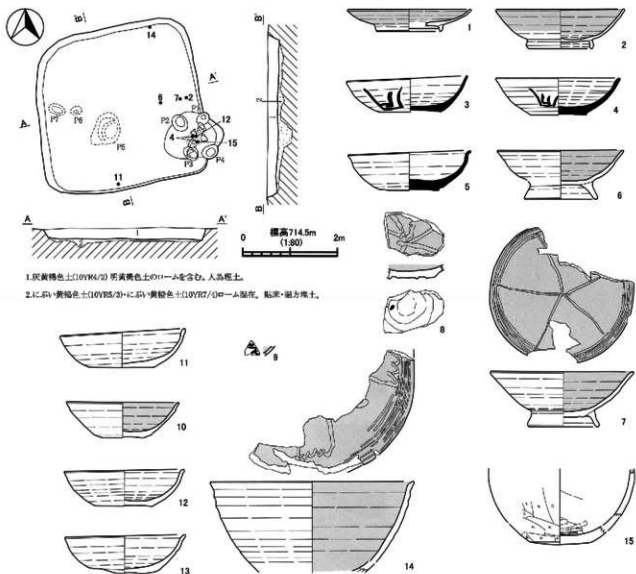


第156図 NME I H137号住居(1)

NME I H137号住居址(2)



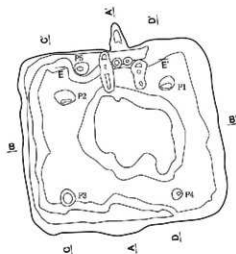
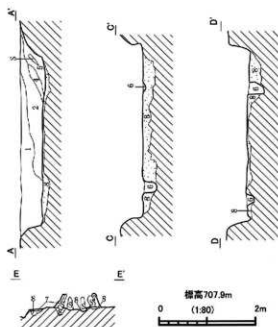
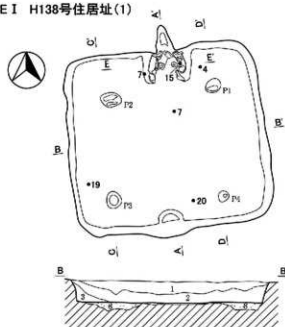
NME I H145号住居址



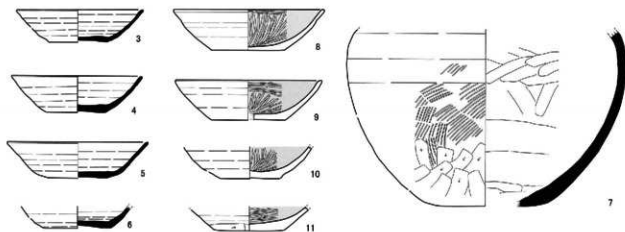
1.灰黄褐色土(10YR4/2) 黄褐色土(P1-A)を含む。人為灰土。
 2.に赤い・黄褐色土(10YR5/3)・に赤い・黄褐色土(10YR2/3)P-A層在。粘泥・磁方塊土。

第157図 NME I H137号住居址(2)・H145号住居址

NME I H138号住居址(1)

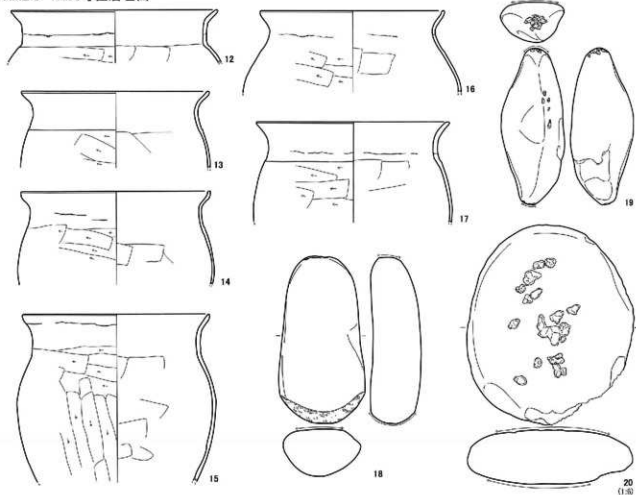


- 1.黒褐色土(0YR3/1)しどりあり、粘性強い。
- 2.暗褐色土(0YR3/4)しどり・粘性弱い、軽石・ロームブロックを含む。
- 3.にぶい黄褐色土(0YR4/2)しどり・粘性弱いロームブロックを多く含む。
- 4.黒褐色土(0YR3/2)しどり・粘性あり、灰色の粘土ブロックを含む。
- 5.灰青褐色土(0YR4/2)しどり・粘性ややあり、粘土・粘土ブロックを含む。
- 6.にぶい黄褐色土(0YR5/4)しどり・粘性あり、ロームブロックを多く含む。
- 7.黒褐色土(0YR3/2)しどり・粘性あり、灰色の粘土ブロックを多く含む。
- 8.にぶい黄褐色土(0YR5/2)しどりあり、粘性弱い、黒色土ブロックを多く含む。

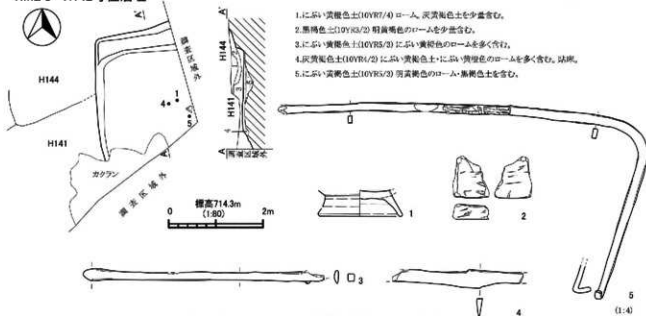


第158図 NME I H138号住居址(1)

NME I H138号住居址(2)

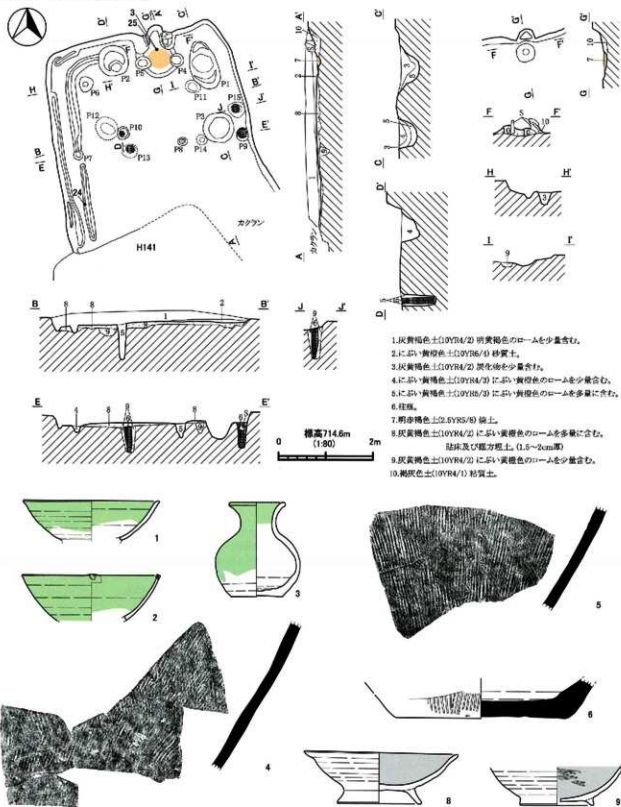


NME I H142号住居址



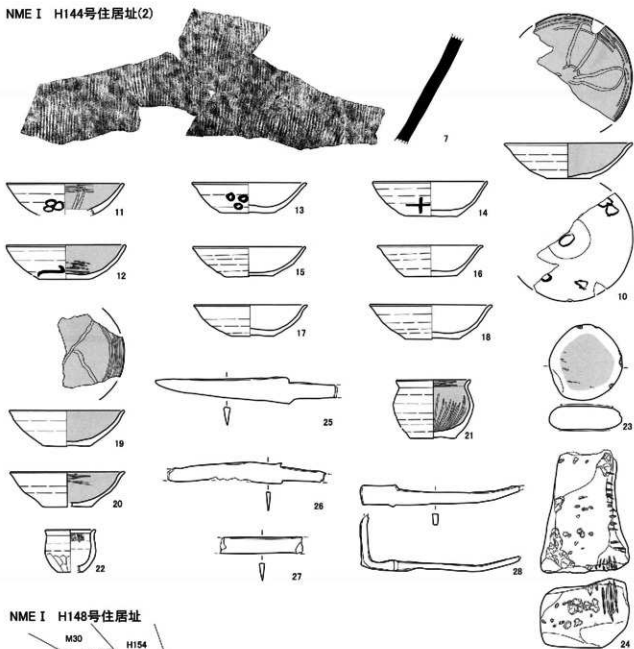
第159図 NME I H138号住居址(2)・H142号住居址

NME I H144号住居址(1)

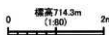
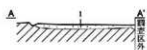
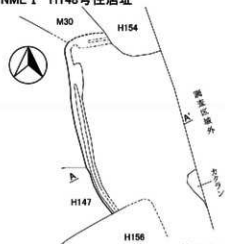


第160図 NME I H144号住居址(1)

NME I H144号住居址(2)



NME I H148号住居址

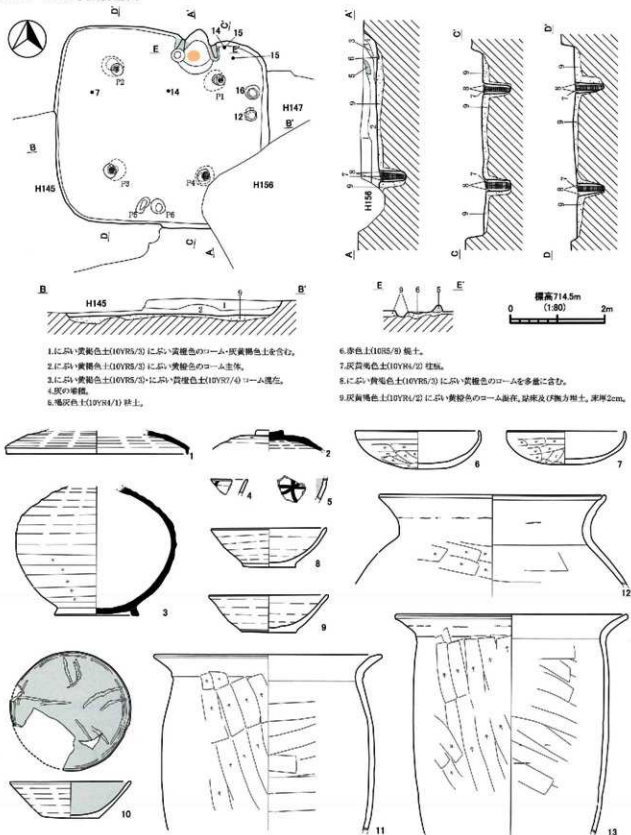


1. 灰黄褐色土(10VR/2)
に灰黄褐色のロームの存在。
陥没、面方埋土。

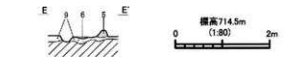
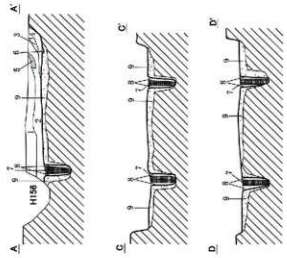


第161図 NME I H144号住居址(2)・H148号住居址

NME I H146号住居址(1)



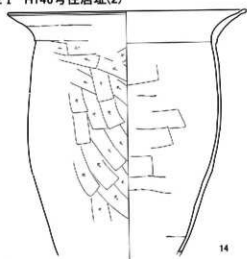
1. 灰・黄褐色土(10YR5/2) におい黄褐色のローム・灰黄褐色土を含む。
2. 灰・黄褐色土(10YR5/2) におい黄褐色のローム主体。
3. 灰・黄褐色土(10YR5/2) におい黄褐色のロームを含む。
4. 灰の堆積。
5. 黄褐色土(10YR5/1) 積上。



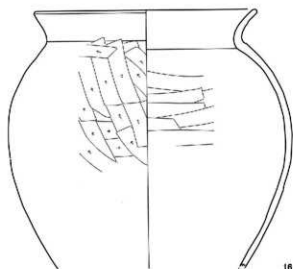
6. 赤色土(10R5/8) 粘土。
7. 灰黄褐色土(10YR6/2) 住居。
8. 灰・黄褐色土(10YR5/2) におい黄褐色のロームを多量に含む。
9. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい黄褐色のロームを含む。段床及び掘方粘土。厚2cm。

第162図 NME I H146号住居址(1)

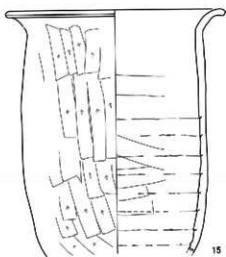
NME I H146号住居址(2)



14



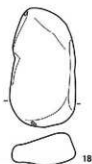
15



16



17

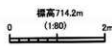
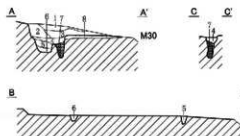
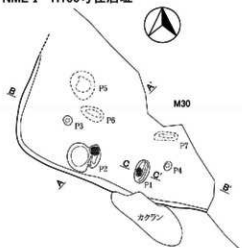


18



19

NME I H150号住居址

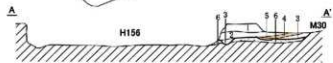
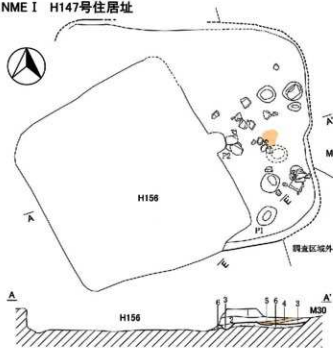


1. 黒褐色土(10YR2/2) におい、黄褐色土のロームを少量含む。
2. におい、黄褐色土(10YR5/2) におい、黄褐色土のロームを多量に含む。
3. 灰黄褐色土(10YR6/2) におい、黄褐色土のローム・黒褐色土を少量含む。
4. におい、黄褐色土(10YR5/3) 明黄褐色土のロームを多量に含む。
5. 黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色土のロームを少量含む。
6. におい、黄褐色土(10YR5/3) におい、黄褐色土のロームを含む。
7. 埋土。
8. 黄褐色土(10YR5/6) におい、黄褐色土のロームを含む。東方埋土。



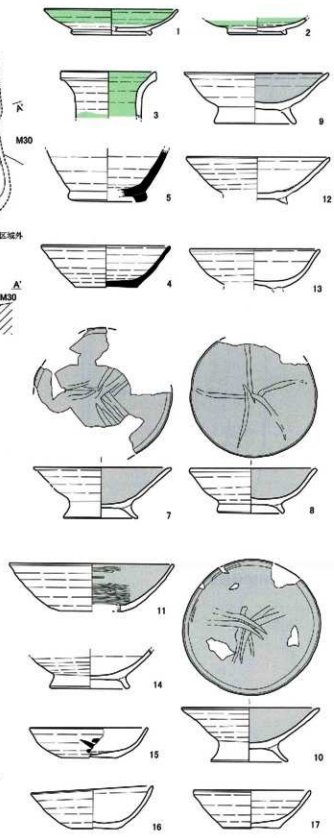
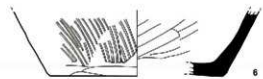
第163図 NME I H146号住居址(2)・H150号住居址

NME I H147号住居址



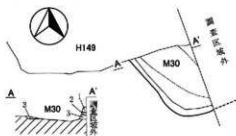
標高714.7m
(1.80)
0 2m

1. 灰黄褐色土(10YR6/2) 黒染のある灰黄褐色土を少量含む。
2. 灰黄褐色土(10YR6/2) にごり黄褐色のロームを少量含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 灰黄褐色土にごり黄褐色ロームを少量含む。
4. 赤褐色土(10R4/4) 焼土。
5. 赤色土(10R5/6) 焼土。
6. 灰黄褐色土(10YR6/2) にごり黄褐色のロームを少量含む。肥田及び前方掘上。

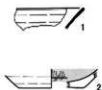
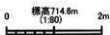


第164図 NME I H147号住居址

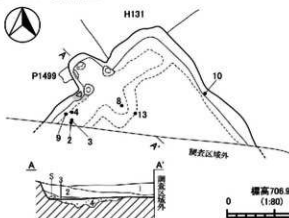
NME I H154号住居址



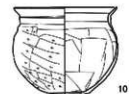
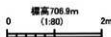
- 1.にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄褐色のロームを含む。
- 2.灰黄褐色土(10YR6/2)にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 3.にぶい黄褐色土(10YR7/4)ローム。灰黄褐色土を少量含む。



NME I H155号住居址

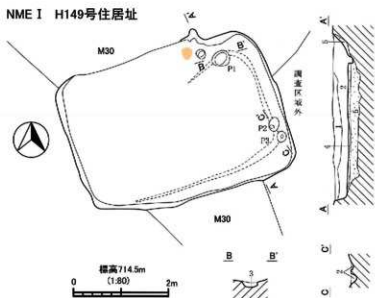


- 1.にぶい黄褐色土(10YR5/2)しまり強く、筋性あり、ローム主体。
- 2.灰黄褐色土(10YR4/2)しまり・筋性強い、細かいロームブロックを含む。
- 3.暗褐色土(10YR3/3)しまり・筋性あり、灰を多く含む。
- 4.黄褐色土(10YR5/6)しまり・筋性ややあり、ロームブロックを含む、筋床。

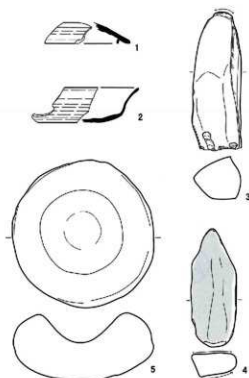


第165図 NME I H154号住居址・H155号住居址

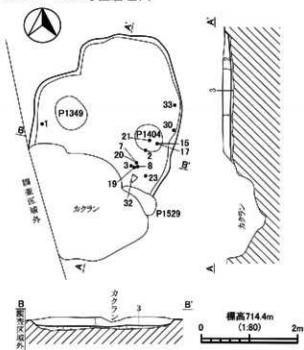
NME I H149号住居址



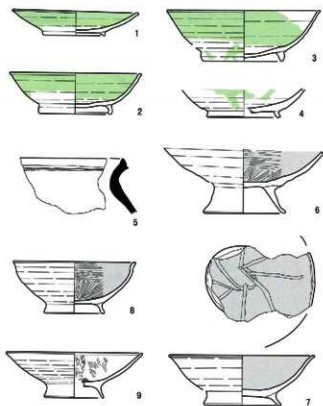
1. 灰黄褐色土(10YR4/2) に多い黄褐色土のロームを少量含む。
2. 土に多い黄褐色土(10YR7/4) ローム主体、灰黄褐色土を少量含む。
3. 土に多い黄褐色土(10YR6/3) 粘灰色の粘土を少量含む。
4. 土に多い黄褐色土(10YR7/4) ローム主体、灰黄褐色土を少量含む。陸床。
5. 土に多い黄褐色土(10YR7/4) ロームに多い黄褐色土(10YR6/3)・黒褐色土(10YK2/2) 混在。硬方礫土。



NME I H153号住居址(1)

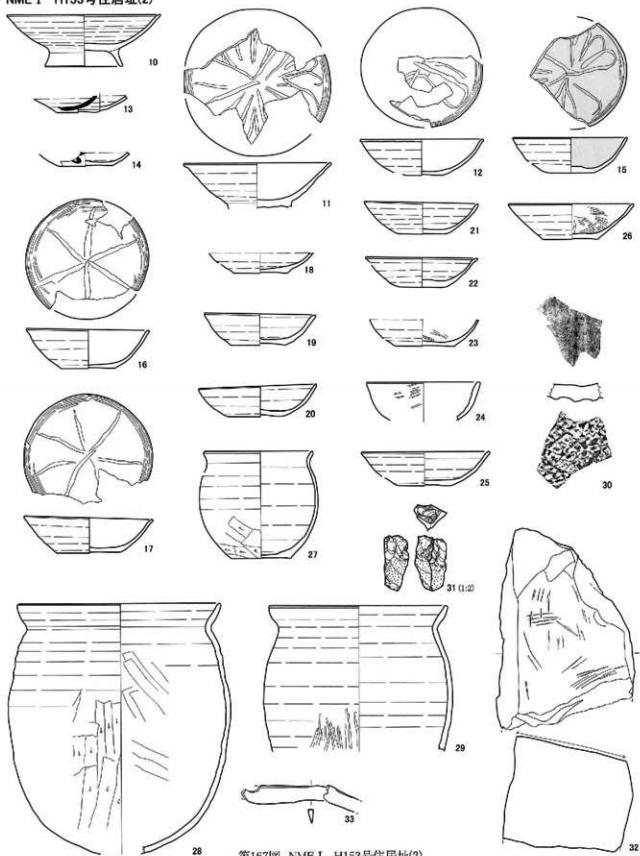


1. 灰黄褐色土(10YR4/2) の黄褐色のロームを含む。
2. 土に多い黄褐色土(10YR4/3) の黄褐色のロームを含む。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) に多い黄褐色のロームを少量含む。粘灰・硬方礫土。



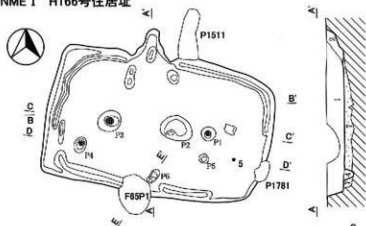
第166図 NME I H149住居址・H153号住居址(1)

NME I H153号住居址(2)

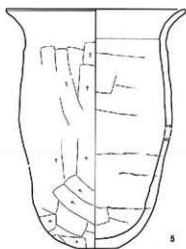
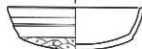
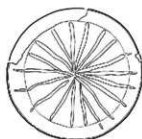
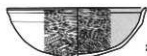
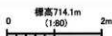
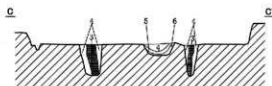


第167图 NME I H153号住居址(2)

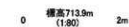
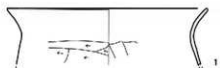
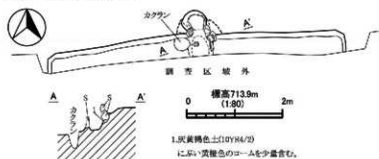
NME I H166号住居址



1. 灰黄褐色土(0YR4/3) 明黄褐色のロームを少量含む。
2. 黒褐色土(0YR3/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
3. 灰黄褐色土(0YR4/2) 粒流。
4. 灰黄褐色土(0YR6/3) に灰黄褐色のロームを多く含む。
5. 灰黄褐色土(0YR7/0) ローム主体。灰黄褐色のシルトを含む。
6. 灰黄褐色土(0YR7/0) ロームの二次堆積。
7. 灰黄褐色土(0YR4/2) に灰黄褐色(0YR7/0) のロームの混在。
 灰黄-黒方粘土。



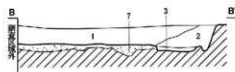
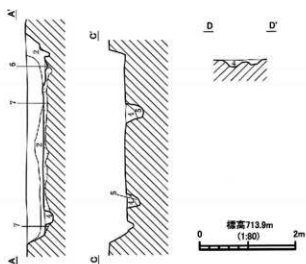
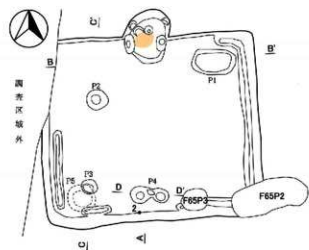
NME I H168号住居址



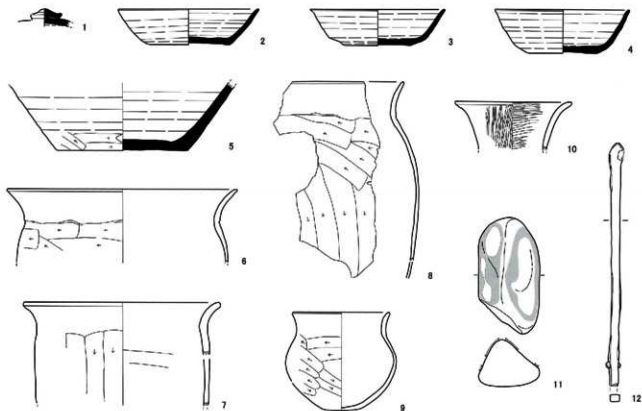
1. 灰黄褐色土(0YR4/2) に灰黄褐色のロームを少量含む。

第168図 NME I H166号住居址・H168号住居址

NME I H167号住居址

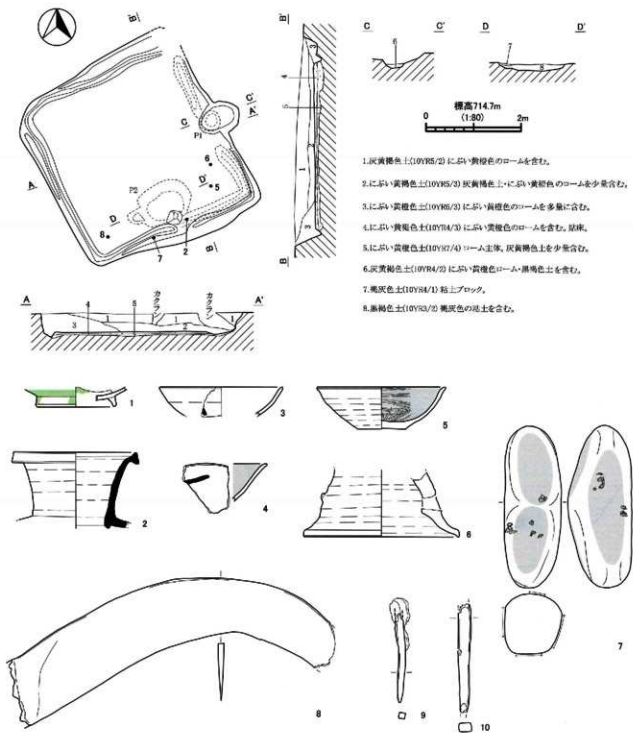


1. 1. 赤い黄褐色土(10YR4/3) 明黄褐色のロームを少量含む。
2. 黒褐色土(10YR3/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
3. 3. 赤い黄褐色土(10YR5/3) 粘土・赤い黄褐色のロームを少量含む。
4. 4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 赤い黄褐色のロームを多く含む。
5. 5. 赤い黄褐色土(10YR7/0) ローム主体、赤い黄褐色土を少量含む。
6. 6. 褐色土(2.5YR6/5) 粘土。
7. 7. 赤い黄褐色土(10YR4/3) 赤い黄褐色のロームを多く含む。粘土・黄土。



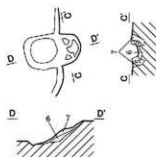
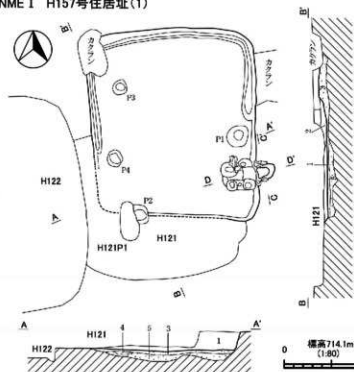
第169図 NME I H167号住居址

NME I H156号住居址

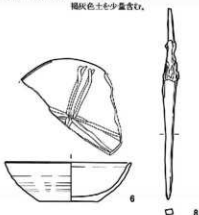
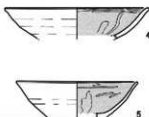


第170図 NME I H156号住居址

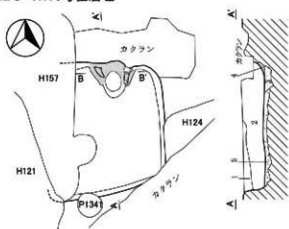
NME I H157号住居址(1)



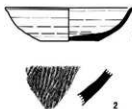
1. 灰黄褐色土(10YR4/2) 明黄褐色のロームを少量含む。
2. におい・黄褐色土(10YR5/3) におい・黄褐色のロームを多く含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色のロームにおい・黄褐色土を少量含む。
4. 黒褐色土(10YR2/2) におい・黄褐色のロームを少量含む。
5. におい・黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。におい・黄褐色土・黒褐色土を少量含む。
6. 褐色土(5YR8/6) 粘土・灰。
7. におい・黄褐色土(10YR5/3) におい・黄褐色のローム・黒灰色土を少量含む。



NME I H170号住居址

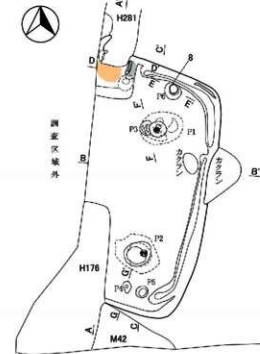


1. 黒褐色土(10YR2/2) におい・黄褐色のロームを少量含む。
2. 黒灰色土(10YR5/3) におい・黄褐色のローム・灰黄褐色土の混入・入み混り。
3. 黒褐色土(10YR2/2) 明黄褐色のロームを含む。
4. 黒灰色土(10YR4/1) 粘土。
5. におい・黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。におい・黄褐色土を含む。灰土・割方粘土。



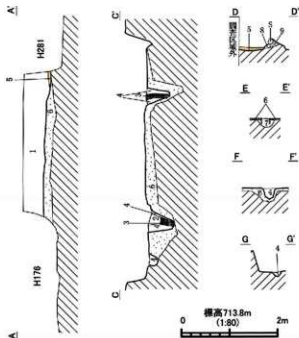
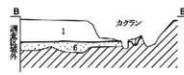
第171図 NME I H157号住居址・H170号住居址

NME I H169号住居址



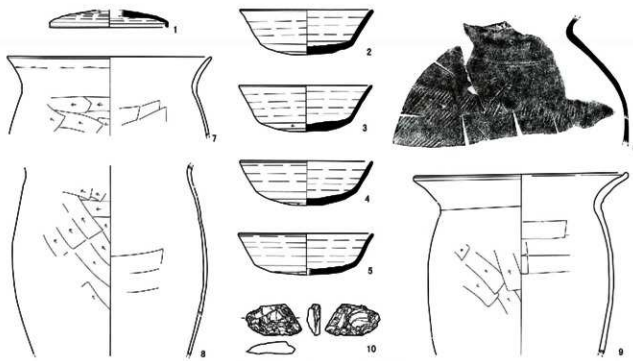
調査区域外

調査区域外



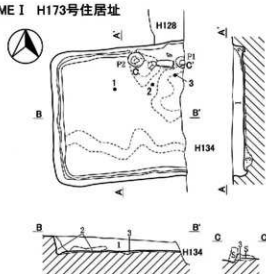
標高713.8m
(1.80) 2m

- 1.にぶい黄褐色土(0YR4/3) 明黄褐色の砂質土を多く含む。
- 2.深黄褐色土(10YR4/2) 砂質。
- 3.にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR5/3) にぶい黄褐色のローム・黄褐色のシルトを含む。
- 5.赤褐色土(10R6/3) 粘土。
- 6.深黄褐色土(10YR4/2) にぶい黄褐色のロームを多く含む。3cm厚の粘球。
下部に深黄褐色土にぶい黄褐色のロームの表面層で構成される。
- 7.にぶい黄褐色土(10YR5/3) にぶい黄褐色のロームを多く含む。
- 8.深黄褐色土(10YR4/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 9.暗灰赤土(10YR1/1) 粘土。



第172図 NME I H169号住居址

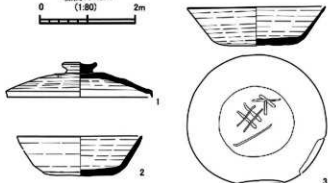
NME I H173号住居址



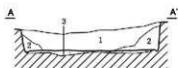
- 1.黄褐色土(10YR5/6)しまり・粘性强い、ロームブロックを多く含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/1)しまり・粘性あり。
- 3.赤黄褐色土(10YR6/6)しまり・粘性やあめ、ローム主体。

標高707.6m
(1:80)

0 2m



NME I H174号住居址



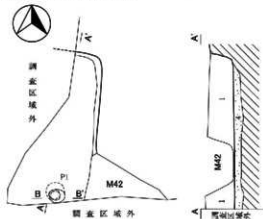
標高714.6m
(1:80)

0 2m

- 1.に黄褐色土(10YR5/3) 黄褐色のロームを多く含む。
- 2.灰黄褐色土(10YR4/2) 赤い黄褐色のロームを多く含む。
- 3.灰黄褐色土(10YR4/2) に赤い黄褐色のローム混在 胎状・籠方型上。



NME I H176号住居址



標高713.8m
(1:80)

0 2m

- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 黄褐色のシルトを多く含む。
- 2.に赤い黄褐色土(10YR7/4) ローム主体、に赤い黄褐色土を少量含む。
- 3.に赤い黄褐色土(10YR7/4) に赤い黄褐色のローム・黄褐色のベースを多く含む。2cm厚の胎状。下部は、に赤い黄褐色土に地灰色の粘土に赤い黄褐色のロームを堆積で構成される。
- 4.に赤い黄褐色土(10YR5/3)

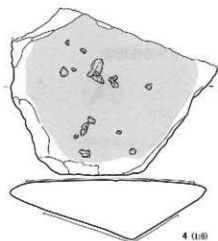
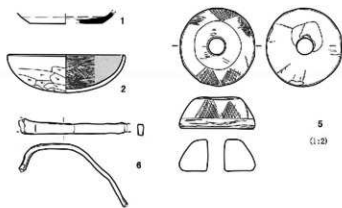


第173図 NME I H173号住居址・H174号住居址・H176号住居址

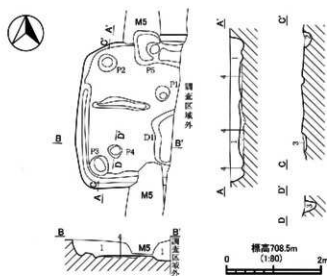
NME I H177号住居址



- 1.黄褐色土(10YR5/6)シロト主体、灰黄褐色土を含む。
- 2.灰黄褐色土(10YR4/7)に灰黄褐色のローム・黒褐色土を少量含む。
- 3.に灰・黄褐色土(10YR4/3)黒褐色土・暗黄褐色のロームを少量含む。
- 4.灰黄褐色土(10YR4/2)に灰・黄褐色のロームを少量含む。貼床。
- 5.黒褐色土(10YR3/2)に灰・黄褐色のロームを少量含む。板方埋土。



NME I H179号住居址

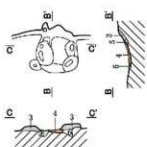
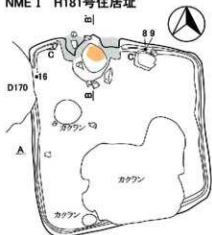


- 1.に灰・黄褐色土(10YR5/3)炭化物を少量含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2)に灰・黄褐色のロームを少量含む。
- 3.に灰・黄褐色土(10YR5/3)に灰・黄褐色のロームを少量含む。
- 4.に灰・黄褐色土(10YR5/3)に灰・黄褐色のロームを含む。貼床。

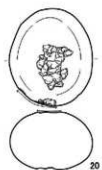
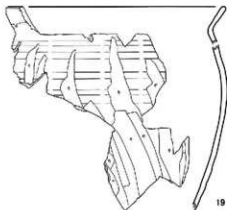
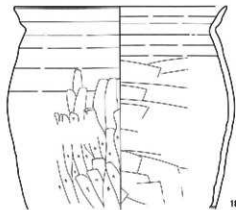
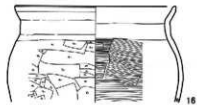
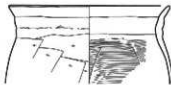
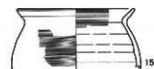
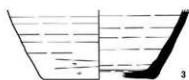
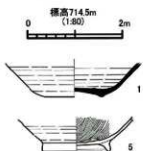


第174図 NME I H177号住居址・H179号住居址

NME I H181号住居址

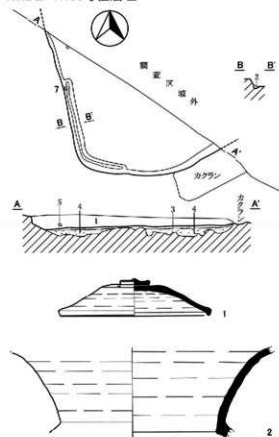


1. 暗褐色土(10YR3/2)ローム粒子・パリスを多く含む。
2. 上層・黄褐色土(10YR6/3)ローム粒子を多く含む。
3. 黒褐色土(10YR3/1)カマド構築粘土。
4. 褐色土(7.5YR4/6)焼土。
5. 暗褐色土(10YR3/2)ロームブロック・粘土ブロック・焼土ブロックを含む。
6. 黒褐色土(10YR2/2)締密土。
7. 黒褐色土(10YR3/2)
8. 暗褐色土(10YR3/4)褐色土及び黒褐色の粘土ブロックを含む。



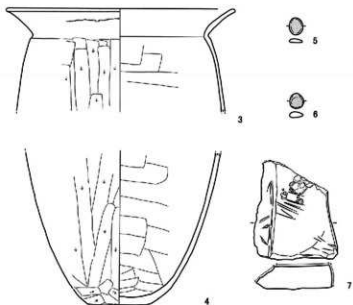
第175図 NME II H181号住居址

NME II H183号住居址

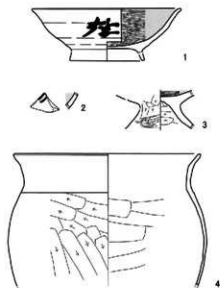
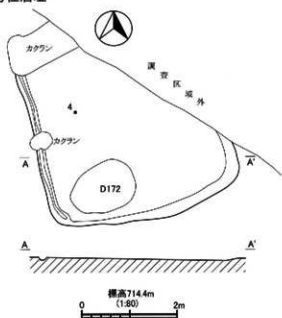


- 1.黒褐色土(10YR3/2) 硬盤に黒味のある赤褐色土を含む。
- 2.赤褐色土(10YR2/2)
- 3.褐色土(10YR4/6) 多量に含み、灰色味のある褐色土を少量含む。鉄床。
- 4.赤褐色土(10YR3/2) 褐色土ブロックを含む。

標高714.5m
(1:80)
0 2m

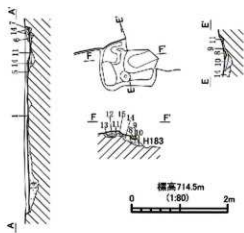
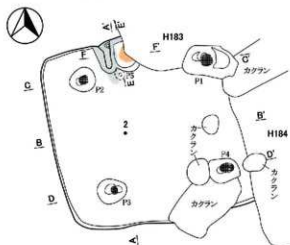


NME II H184号住居址

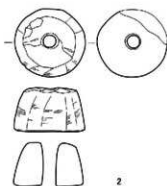


第177図 NME II H183号住居址・H184号住居址

NME II H185号住居址



1. 暗褐色土(10YR3/3) 黒色粘土ブロックを少量含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 柱痕。
3. 黒褐色土(10YR3/2) に赤い黄褐色土を少量含む。
4. 赤い黄褐色土(10YR5/4) 黒褐色土ブロックを含む。
5. 黒土(10YR2/1) 灰褐色土ブロックを含む。
6. 黒褐色土(10YR3/1) 黒色粘土ブロックを多く含む、灰黄褐色土の灰を少量含む。
7. 黒褐色土(10YR2/2) 粘土主体。
8. 赤い黄褐色土(10YR4/4) 粘土。
9. 暗褐色土(10YR2/2) 粘土粒子・炭化物を微量を含む。
10. 黒褐色土(10YR3/2) 褐色のロームを少量含む。
11. 黒色土(10YR1/1) 粘土主体、黒褐色土を少量含む。
12. 黒色土(10YR1.7/1) 粘土。
13. 赤い黄褐色土(10YR5/5) 黒褐色土を少量含む。
14. 灰黄褐色土(10YR4/2) 赤い黄褐色のロームを含む。
15. 暗褐色土(10YR3/3) 赤い黄褐色のロームを含む。

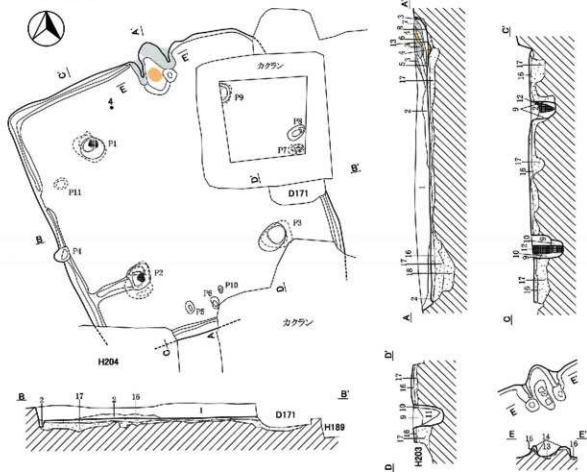


2
(1:2)

4

第178図 NME II H185号住居址

NME II H187号住居址



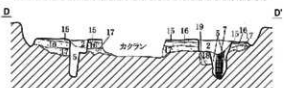
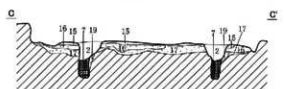
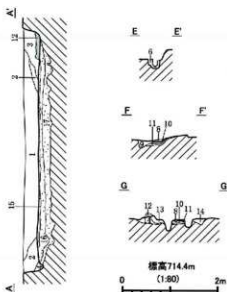
1. 灰黄褐色土(0YR4/2) におい、黄褐色シルトを多量に含む。
2. 灰黄褐色土(0YR4/2) 淡褐色の粘土を少量含む。炭化物を多量に含む。
3. 灰白色土(10YR8/2) 粘土。
4. 赤褐色土(2.5YR4/8) 粘土。
5. 淡黄褐色土(10YR8/4) 粘土・灰黄褐色土(0YR4/2) 酸在中層。
6. 黒褐色土(10YR2/2) 淡褐色の粘土を含む。
7. 淡褐色土(0YR3/4) 粘土。
8. 黒褐色土(0YR2/2) 淡褐色の粘土・におい、黄褐色のロームを含む。
淡褐色の粘土を少量含む。
9. 灰黄褐色土(0YR4/2) におい、黄褐色のロームを少量含む。
10. におい、黄褐色土(0YR7/0) ローム。黒褐色土を少量含む。
11. 黒褐色土(0YR2/2) におい、黄褐色のロームを少量含む。

12. 黒褐色土(0YR2/2) 柱頭。
13. 黒褐色土(0YR2/2) カマド西方土。
14. におい、赤褐色(06R6/2) 粘土。
15. 別黄褐色土(0YR7/0) ローム。
16. 黒褐色土(0YR2/2) におい、黄褐色土(0YR7/0) ローム・
におい、黄褐色土(0YR3/2) 黄土。粘土。
17. におい、黄褐色土(0YR7/0) ローム・黒褐色土(0YR2/2) 黄土。
黒褐色土(0YR2/2) におい、黄褐色土(0YR3/2) 黄土。西方土。
18. におい、黄褐色土(0YR7/0) ローム土塊。黒褐色土を少量含む。西方土。

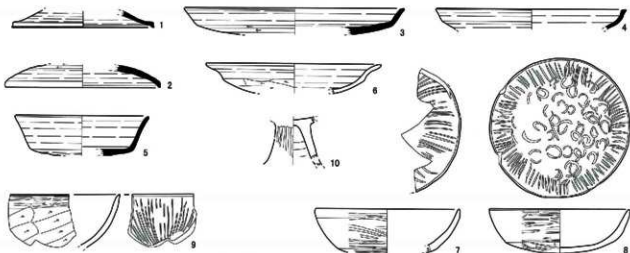


第179図 NME II H187号住居址

NME II H186号住居址(1)

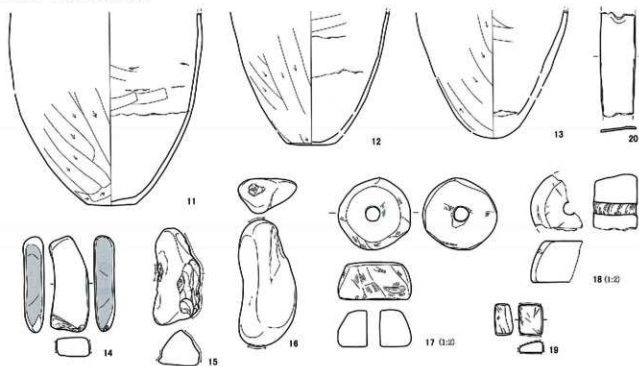


- 1.暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土ブロックを多く含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/3) に近い黄褐色のロームを少量含む。
- 3.暗褐色土(10YR2/4) 炭化物を微量に含む。
- 4.灰黄褐色土(10YR4/2) 褐色のロームを含む。
- 5.にがい黄褐色土(10YR5/3) に近い黄褐色のロームを含む。
- 6.暗褐色土(10YR3/2) 褐色土を少量含む。
- 7.にがい黄褐色土(10YR4/3) 砂質。
- 8.赤褐色土(10YR4/3) 灰床。
- 9.黒褐色土(10YR3/1) 炭化物・磁土を微量に含む。
- 10.黒褐色土(10YR2/2) 褐色土・磁土を少量含む。
- 11.灰黄褐色土(10YR4/2)
- 12.黒色土(10YR2/1) 黒粘土。
- 13.黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色土を少量含む。
- 14.暗褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色土を含む。
- 15.黒褐色土(10YR2/2) 褐色のロームを含む。灰河。
- 16.暗褐色土(10YR2/3) 褐色のロームを多く含む。
- 17.にがい黄褐色土(10YR5/3) 黄褐色のロームを多く含む。
- 18.暗褐色土(10YR3/4) に近い黄褐色のロームを含む。
- 19.褐色土(10YR4/1) 暗褐色土を含む。

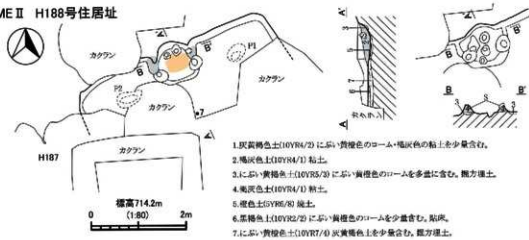


第180図 NME II H186号住居址(1)

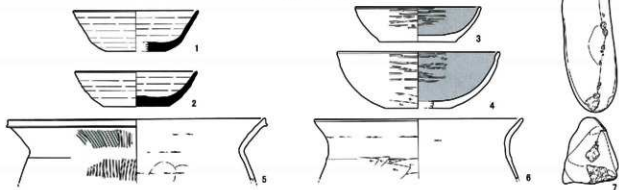
NME II H186号住居址(2)



NME II H188号住居址



1. 灰黄褐色土(010V84/2) にぶい・黄褐色のローム・黒灰色の粘土を少量含む。
2. 黒灰色土(010V84/1) 粘土。
3. にぶい・黄褐色土(101V85/2) にぶい・黄褐色のロームを多量に含む。概方遺土。
4. 黒灰色土(010V84/1) 粘土。
5. 灰色土(010V86/3) 凝土。
6. 黒褐色土(010V82/2) にぶい・黄褐色のロームを少量含む。陥穴。
7. にぶい・黄褐色土(101V87/4) 灰黄褐色土を少量含む。概方遺土。

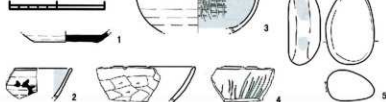
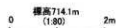


第181図 NME II H186号住居址(2)・H188号住居址

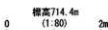
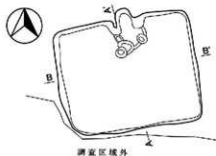
NME II H191号住居址



1. 灰黄褐色土(10YR5/2) におい、黄褐色土(シルト)におい、黄褐色のロームを少量含む。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色土(10YR7/4) ローム混在。



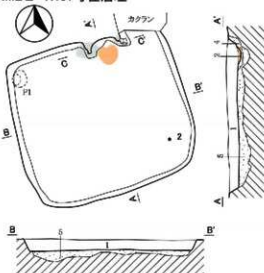
NME II H195号住居址



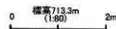
1. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色土(シルト)を少量含む。
2. 黄褐色土(10YR6/7) 灰の堆積。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色のローム におい、黄褐色土(シルト)を多量に含む。人為性土。
4. におい、黄褐色土(10YR5/2) シルト におい、黄褐色のロームを多量に含む。
5. におい、黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色土を多量に含む。
6. 黄褐色土(10YR3/2) 灰黄褐色土を少量含む。
7. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色のロームを含む。



NME II H197号住居址

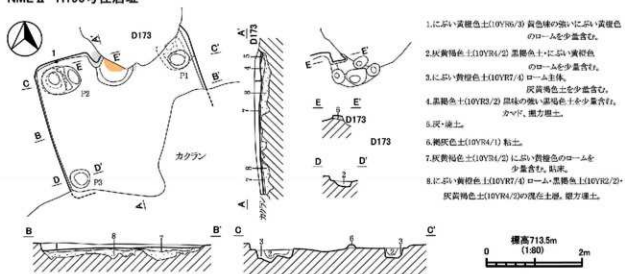


1. におい、黄褐色土(10YR6/3) におい、黄褐色のローム・黒褐色土を少量含む。
2. 明赤褐色土(10YR5/5) 積上。
3. 褐色土(10YR4/1) 積上。
4. におい、黄褐色土(10YR5/3) におい、黄褐色のローム・褐色色の粘土を含む。カマド積層土。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい、黄褐色のロームを多く含む。庭方硬土。

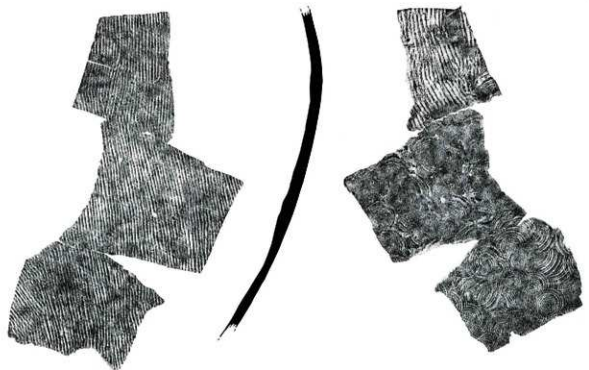
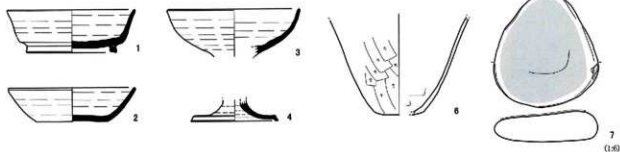


第182図 NME II H191号住居址・H195号住居址・H197号住居址

NME II H196号住居址

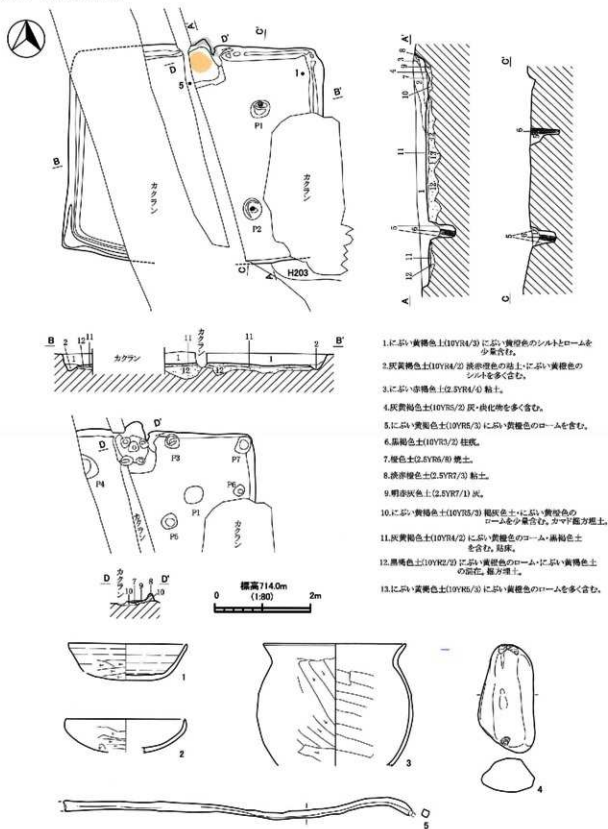


1. にぶい黄褐色土(10YR6/3) 黄緑色の強いにぶい灰褐色のロームを少量含む。
2. 灰黄褐色土(10YR6/2) 黒褐色土・にぶい黄褐色のロームを少量含む。
3. にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。灰黄褐色土を少量含む。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 腐植の強い黄褐色土を少量含む。カマド、竈方礎土。
5. 灰・埴土。
6. 細灰色土(10YR4/1) 粘土。
7. 灰黄褐色土(10YR6/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。粘土。
8. にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム・黒褐色土(10YR2/2) 灰黄褐色土(10YR4/2)の混在土層。竈方礎土。



第183図 NME II H196号住居址

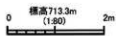
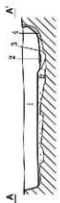
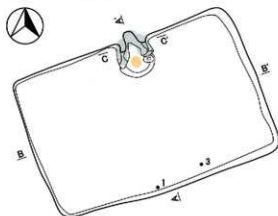
NME II H204号住居址



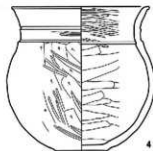
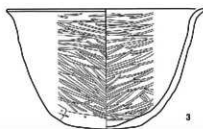
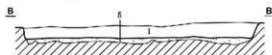
1. 1.に黄褐色土(10YR4/3) 及び黄褐色のシルトとロームを少量含む。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 灰赤褐色の粘土に黄褐色のシルトを多く含む。
3. 1.に黄褐色土(10YR4/3) 粘土。
4. 灰黄褐色土(10YR5/2) 灰・炭化物を多く含む。
5. 1.に黄褐色土(10YR5/3) 及び黄褐色のロームを含む。
6. 黒褐色土(10YR3/2) 柱状。
7. 棕色土(2.5YR6/7) 礫土。
8. 灰赤褐色土(2.5YR7/3) 粘土。
9. 明赤褐色土(2.5YR7/1) 泥。
10. 1.に黄褐色土(10YR5/3) 粗灰褐色土に黄褐色のロームを少量含む。下方は粗土。
11. 灰黄褐色土(10YR4/2) 及び黄褐色のローム・黒褐色土を含む。泥状。
12. 黒褐色土(10YR2/2) 及び黄褐色のロームに黄褐色土の泥石。粗方礫土。
13. 1.に黄褐色土(10YR5/3) 及び黄褐色のロームを多く含む。

第184図 NME II H204号住居址

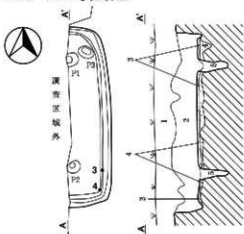
NME II H198号住居址



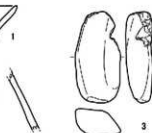
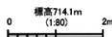
1. 灰黄褐色土(01YR4/3) 黒褐色土に灰黄褐色のロームを少量含む。
2. 褐色土(2.5YR6/8)粘土。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2)に灰黄褐色土(10YR7/4) ローム混在。カマド跡方黒土。
4. 灰黄褐色土(2.5YR7/3)粘土。
5. 灰黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。黒褐色土・灰黄褐色土を少量含む。 黒方硬土。



NME II H200号住居址

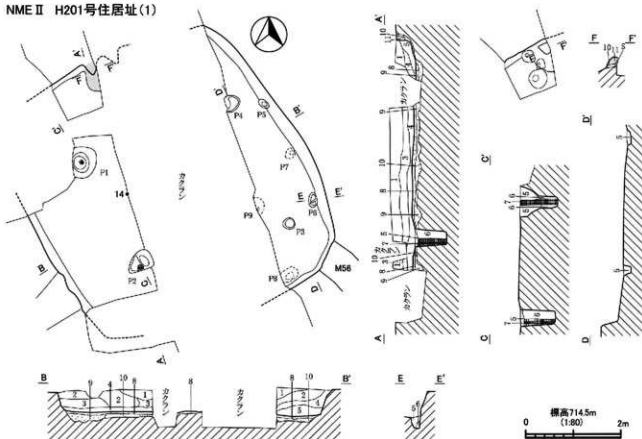


1. 耕作土。
2. 黒褐色土(10YR3/2) に灰黄褐色のシルトに灰黄褐色のロームを少量含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2) に灰黄褐色のロームを少量含む。粘実。
4. 灰黄褐色土(10YR7/4) ローム主体。灰黄褐色土を含む。黒方硬土。
5. 灰黄褐色土(10YR1/2) に灰黄褐色のロームを多く含む。

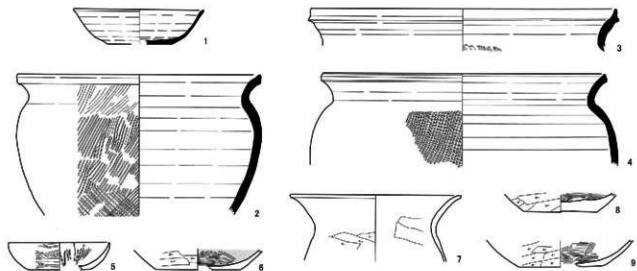


第185図 NME II H198号住居址・H200号住居址

NME II H201号住居址(1)

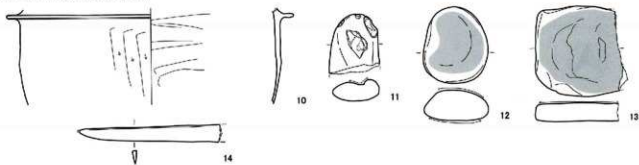


1. 暗褐色土(10YR3/3) 暗褐色土ブロックと黒褐色土ブロック混在、パリスを含む。
2. 黒褐色土(10YR2/3) 暗褐色土ブロックをわずかに含む。パリスを含む。
3. 暗褐色土(10YR3/3) 暗褐色土ブロックを1層よりは少量含む。パリスを含む。
4. 暗褐色土(10YR3/3) 暗褐色土ブロックを多く含む。
5. にぶい黄褐色土(10YR5/3) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
6. にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム、二次草蓑。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 柱礎。
8. 黒褐色土(10YR3/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。柱礎。
9. 黒褐色土(10YR2/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。極方礫土。
10. にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム主体、黒褐色土を少量含む。
11. 褐色土(10YR4/1) 粘土。

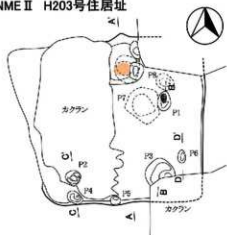


第186図 NME II H201号住居址(1)

NME II H201号住居址(2)



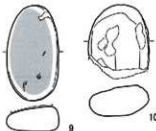
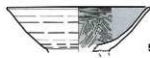
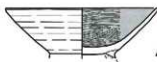
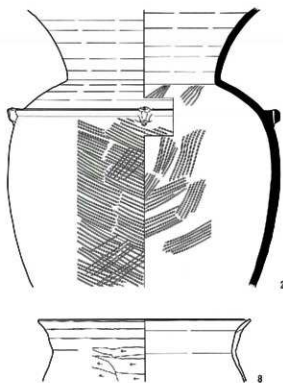
NME II H203号住居址



1. におい黄褐色土(10YR5/3)におい黄褐色のシルトとローム・黒褐色土を少量含む。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) におい黄褐色のロームを少量含む。
3. におい黄褐色土(10YR6/4)
4. 黒褐色土(10YR2/2) 柱礎。
5. 棕色土(2.5YR6/5) 埴土。
6. 黒褐色土(10YR2/2) 埴土。
7. におい黄褐色土(10YR4) ローム主体。灰黄褐色土を少量含む。壁方埴土。
8. 黒褐色土(10YR2/2) におい黄褐色のロームを少量含む。カマド壁方埴土。



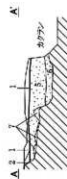
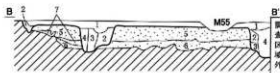
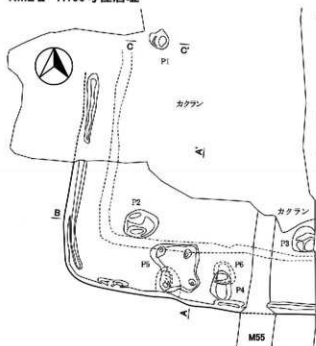
標高714.0m
(1:100)
0 2m



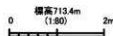
□ 11

第187図 NME II H201号住居址(2)・H203号住居址

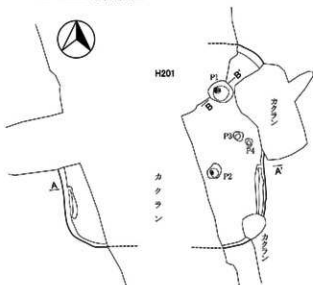
NME II H199号住居址



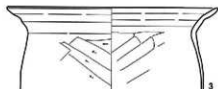
- 1.灰黄褐色土(10YR4/2)にぶい黄褐色のロームを少量含む。
 - 2.黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄褐色のロームを多く含む。
 - 3.にぶい黄褐色土(10YR7/4)ローム主体、黒褐色土を少量含む。
 - 4.黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄褐色のロームを少量含む。
 - 5.黒褐色土(10YR2/2)・灰黄褐色土(10YR4/2)にぶい黄褐色土(10YR7/4)ローム混在、無方粗土。
 - 6.にぶい黄褐色土(10YR7/4)ローム主体、にぶい黄褐色土を少量含む。
 - 7.にぶい黄褐色土(10YR7/4)ローム主体。
- ※3-6層間に床あり、6層は、H位近の礎土。



NME II H202号住居址



- 1.にぶい黄褐色土(10YR5/2)にぶい黄褐色のロームを含む。
- 2.にぶい黄褐色土(10YR5/2)にぶい黄褐色土(10YR7/4)ローム混在。
- 3.黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄褐色のロームを含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄褐色のロームを多量に含む。
- 5.黒褐色土(10YR3/2) 紅瓦。
- 6.黒褐色土(10YR2/2)にぶい黄褐色のロームを少量含む。灰瓦。
- 7.黒褐色土(10YR2/2)にぶい黄褐色のローム・にぶい黄褐色土を含む、無方粗土。

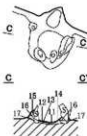
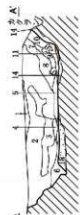


第188図 NME II H199号住居址・H202号住居址

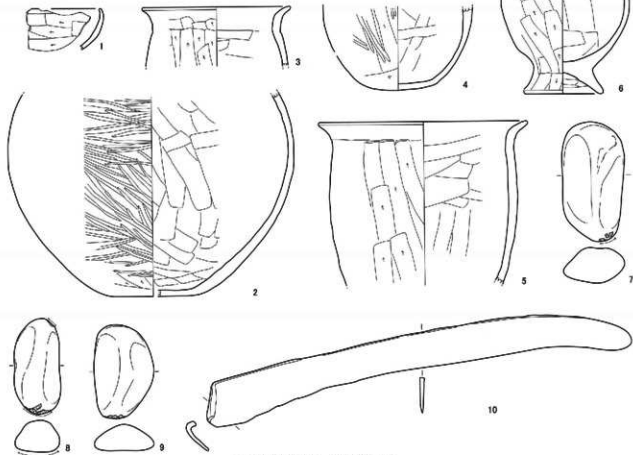
NME II H248住居



標高714.2m
(180)

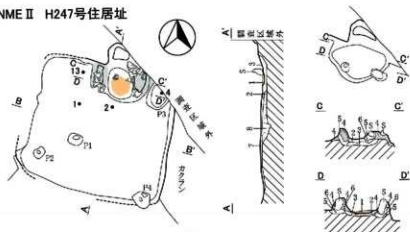


1. 灰黄褐色土(10YR6/7) に多い黄褐色土ブロックを含む。
2. に多い黄褐色土(10YR5/0) 灰黄褐色土ブロックを多量に含む。
3. 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土ブロックを多量に
に多い黄褐色土ブロックを含む。
4. 褐色土(10YR4/4) 黒褐色土ブロックを含む。
5. 暗褐色土(10YR3/3) に多い黄褐色土を多量に含む。
6. 暗褐色土(10YR3/3)
7. 暗褐色土(10YR3/3) 暗赤褐色土ブロックを少量に含む。
8. 暗赤褐色土(5YR3/2) 黒褐色土を少量含む。
9. に多い赤褐色土(5YR4/2) 灰褐色の粘土を含む。
10. 暗赤褐色土(5YR3/1) 炭化物・砂土を少量含む。
11. 暗赤褐色土(5YR3/1) 火灰質。
12. 灰黄褐色土(10YR6/2) に多い黄褐色の粘土を含む。
13. 褐色土(10YR4/4) に多い黄褐色の粘土を少量含む。
14. 灰黄褐色土(10YR6/2) に多い黄褐色土を含む。
15. 暗赤褐色土(5YR3/3) 粘土主体。
16. 黒褐色土(10YR3/2) 暗赤褐色の粘土を少量含む。
17. に多い黄褐色土(10YR5/0) 褐色のコームを含む。
18. 疑方。



第190図 NME II H248住居

NME II H247号住居址



- 1.赤褐色土(2.5YR1/6) 火床形。
- 2.灰褐色土(7.5YR1/2) 炭化地・炭土を少含む。
- 3.黒褐色土(7.5YR3/0) 灰・褐色のロームを含む。
- 4.黒色土(10YR2/1) 粘土主体。
- 5.黒褐色土(10YR2/3) 粘土ブロックを含む。
- 6.緑褐色土(10YR3/3) 粘土ブロックに灰・黄褐色のロームを含む。
- 7.灰・黄褐色土(10YR4/3) 灰・灰褐色のロームを含む。粘土。
- 8.暗褐色土(10YR2/4) 明黄褐色のロームを含む。
- 9.灰・黄褐色土(10YR5/0)

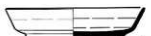


B'

標高714.4m
(1980)



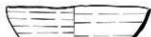
1



2



3



4



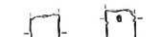
5



6



7



8



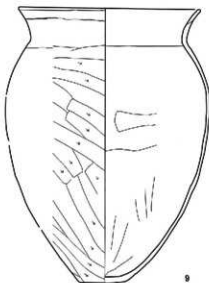
14



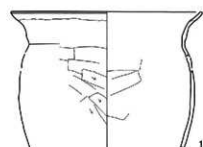
15



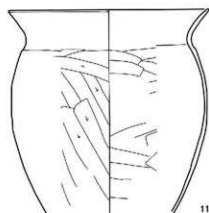
9



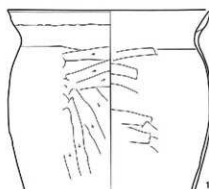
9



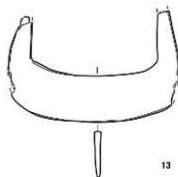
10



11



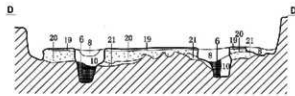
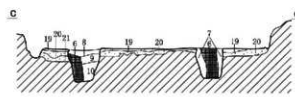
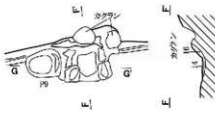
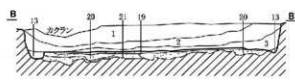
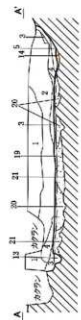
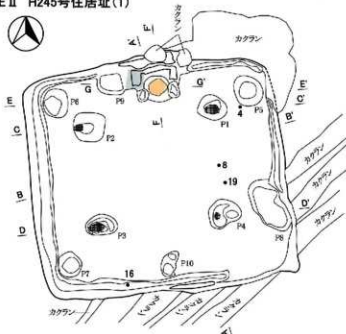
12



13

第191図 NME II H247号住居址

NME II H245号住居址(1)

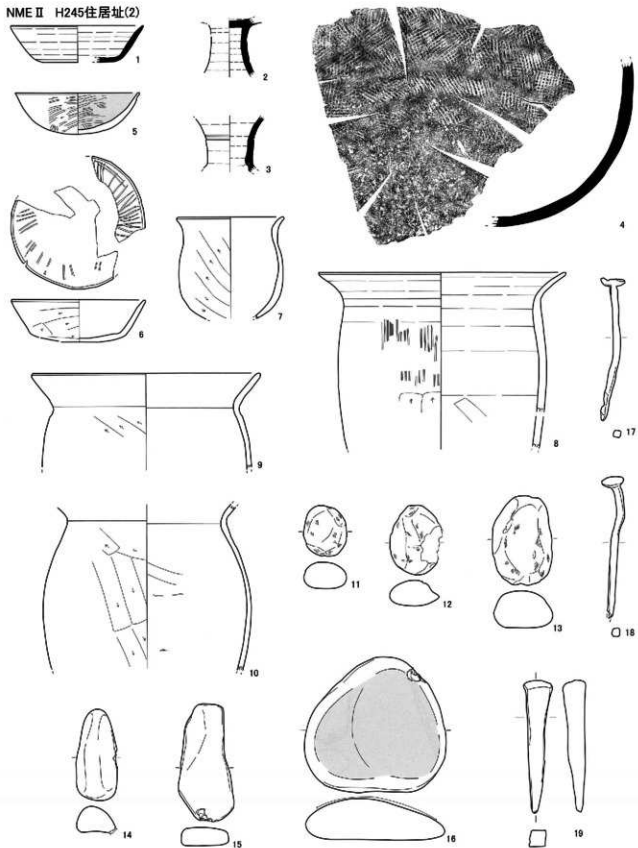


標高714.1m
(1.80)
0 2m

- 1.灰黄褐色土(10YR5/2) におい黄褐色土のシルトを少量含む。
- 2.におい黄褐色土(10YR5/4) シルト主体。灰黄褐色土を含む。
- 3.におい黄褐色土(10YR5/3) におい黄褐色土のシルト主体。におい黄褐色土のロームを多量に含む。
- 4.黒褐色土(10YR2/2) ブロック。
- 5.黒褐色土(10YR2/3) 黒褐色土ブロック・炭化跡を含む。
- 6.黒褐色土(10YR2/2) 黒褐色土を少量含む。柱底。
- 7.褐色土(10YR4/0) 黒褐色土を含む。
- 8.褐色土(10YR4/0) におい黄褐色土を少量含む。
- 9.黒褐色土(10YR2/3) 褐色土を少量含む。
- 10.黒褐色土(10YR2/0) 褐色土を少量含む。
- 11.におい黄褐色土(10YR5/3)
- 12.黒褐色土(10YR2/2)
- 13.暗褐色土(10YR3/4) 黒褐色土・におい黄褐色土を含む。
- 14.赤褐色土(7.5YR4/0) 火床跡。
- 15.褐色土(7.5YR4/0) 焼土を微量に含む。
- 16.暗黄褐色土(7.5YR2/3) 黒褐色の粘土ブロック・焼土ブロックを含む。
- 17.黒褐色土(10YR2/1) 粘土土状。
- 18.褐色土(10YR4/0) 灰黄褐色土を含む。
- 19.黒褐色土(10YR2/3) におい黄褐色土のロームを含む。
- 20.黒褐色土(10YR2/2) 褐色土を多量に含む。
- 21.黒褐色土(10YR4/0) 明黄褐色土を多量に含む。

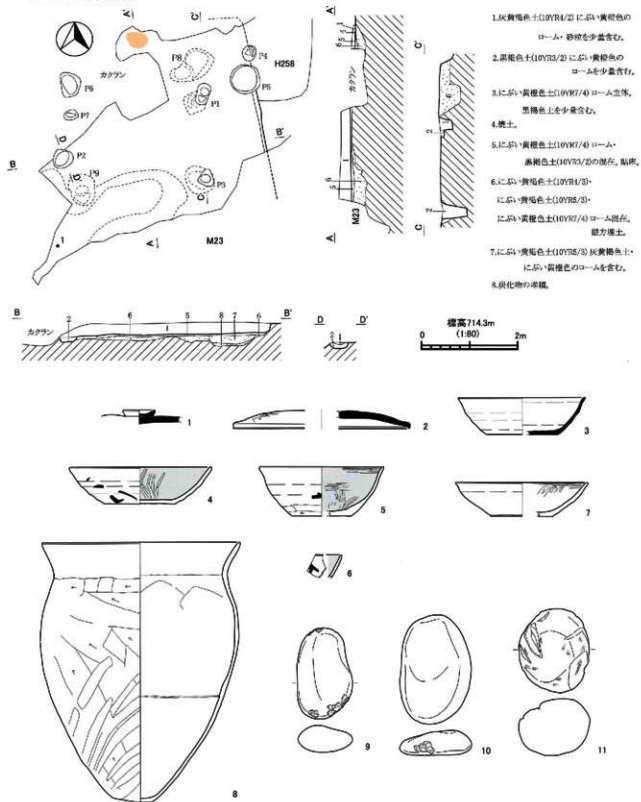
第192図 NME II H245号住居址(1)

NME II H245住居址(2)



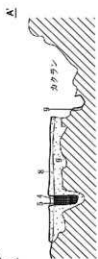
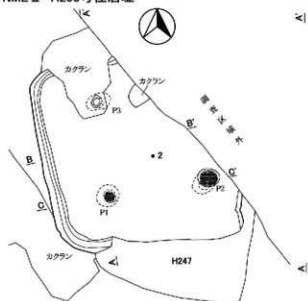
第193图 NME II H245住居址(2)

NME II H255号住居址



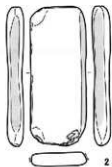
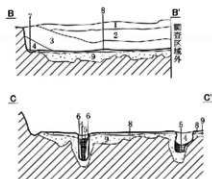
第194図 NME II H255号住居址

NME II H253号住居址

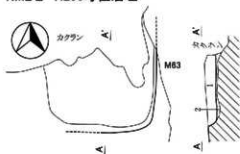


- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 小石に多い黄褐色土を多量に含む。
- 2.黄褐色土(10YR3/2) 小石に多い黄褐色土ブロックを含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/3) 小石に多い赤色土ブロックを含む。
- 4.褐色土(10YR4/4)
- 5.黒褐色土(10YR2/2) 柱溝。
- 6.灰黄褐色土(10YR6/2) に多い黄褐色色のロームを少量含む。
- 7.黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色色のロームを少量含む。
- 8.に多い黄褐色土(10YR4/3) 黄色色のロームを多量に含む。粘土。
- 9.黄褐色土(10YR3/3) 黒褐色土ブロック・褐色土を含む。

標高714.3m
(1.80)

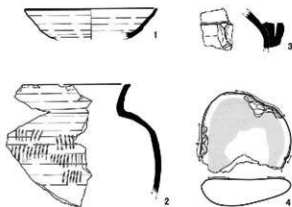


NME II H258号住居址



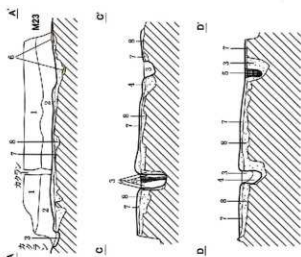
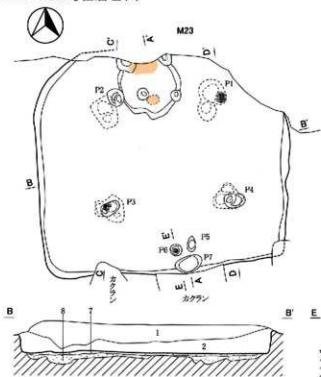
標高714.4m
(1.80)

- 1.に多い黄褐色土(10YR6/4) に多い黄褐色土シルトに多い黄褐色色のロームを含む。
- 2.に多い黄褐色土(10YR5/3) に多い黄褐色色のロームを含む。 磁方礫土。



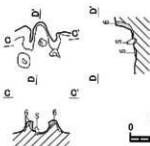
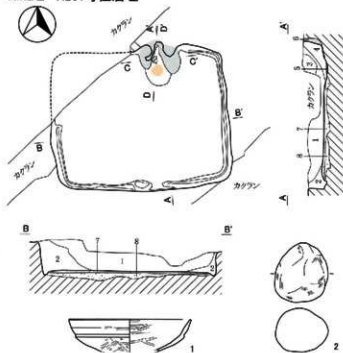
第195図 NME II H253号住居址・H258号住居址

NME II H260号住居址(1)



1. 灰黄褐色土(10YR6/2) におい黄褐色土におい黄褐色土シルトにおい黄褐色のロームを含む。人為堆土の可能性強い。
2. におい黄褐色土(10YR5/3) におい黄褐色のロームにおい黄褐色土シルトを多量に含む。人為堆土の可能性強い。
3. におい黄褐色土(10YR5/3) におい黄褐色土(10YR7/4)ローム存在。
4. におい黄褐色土(10YR5/3)
5. 灰黄褐色土(10YR6/2) 堆積。
6. 明黄褐色土(10YR5/6) 堆土。
7. におい黄褐色土(10YR4/3)におい黄褐色土(10YR7/0)の存在。疑求。
8. におい黄褐色土(10YR7/0) ローム主体。におい黄褐色土シルトにおい黄褐色土シルト・明黄褐色のローム・黒褐色土を含む。

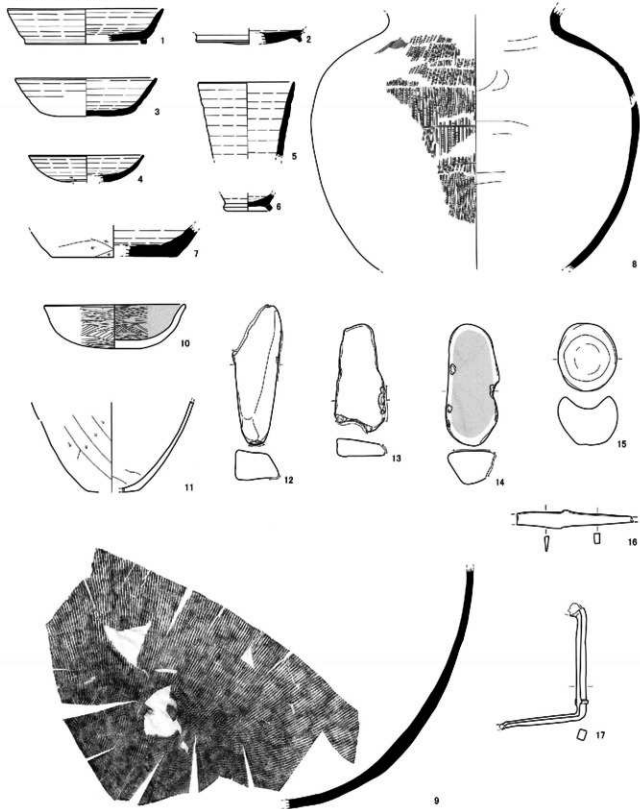
NME II H261号住居址



1. におい黄褐色土(10YR5/3) におい黄褐色のローム・黒褐色土を存在。
2. におい黄褐色土(10YR5/3) におい黄褐色のロームを少量含む。
3. におい黄褐色土(10YR5/3) 灰白色の粘土を多量に含む。
4. 黒褐色土(10YR2/2) 堆土を含む。
5. 明黄褐色土(2.5YR5/6) 堆土。
6. におい黄褐色土(10YR7/2) カマド縁部粘土。
7. におい黄褐色土(10YR7/4) ローム、灰黄褐色土存在。疑求。
8. におい黄褐色土(10YR7/6) ローム主体、灰黄褐色土を少量含む。腐方礫土。

第196図 NME II H260号住居址(1)・H261号住居址

NME II H260号住居址(2)



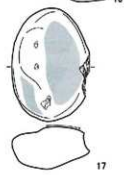
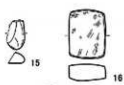
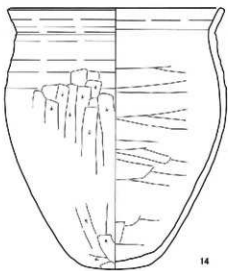
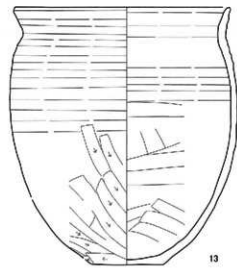
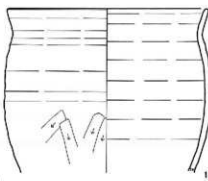
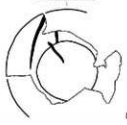
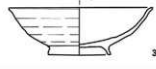
第197图 NME II H260号住居址(2)

NME II H365号住居址



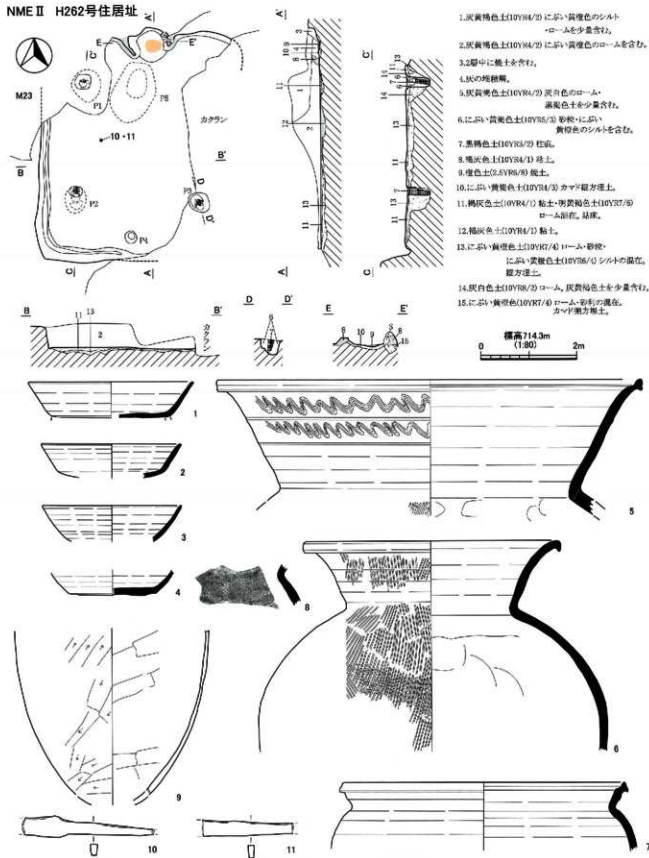
標高714.4m
(1:50)

1. 埴埴色土(OYR3/3) 小石多く、灰黄褐色のロームを少量に含む。
2. 黒褐色土(OYR3/1)
3. 埴埴色土(OYR3/3) 焼土粒子を微量に含む。
4. 埴埴色土(OYR3/4)
5. 埴灰土(OYR1/1) 粘質土、カマド床跡土。
6. 褐色土(OYR6/2) 焼土。
7. 灰黄褐色土(OYR6/2) 黒褐色・明黄褐色のロームを含む、東方焼土・粘沢。
8. 灰黄褐色土(OYR5/3) 灰黄褐色のロームを多く含む、西方焼土・粘沢。



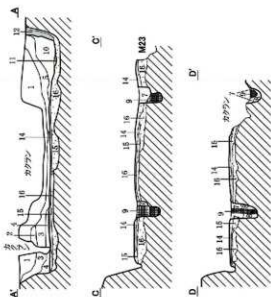
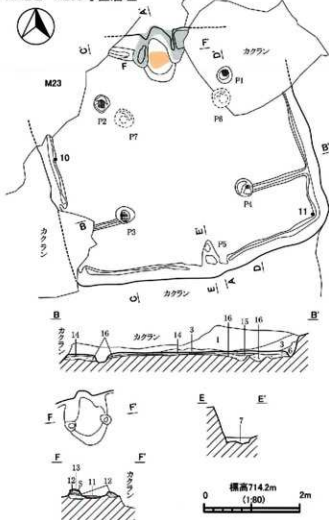
第198図 NME II H365号住居址

NME II H262号住居址



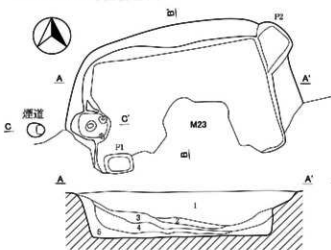
第199図 NME II H262号住居址

NME II H263号住居址



1. 赤い黄褐色土(10YR5/3) 赤い黄褐色のロームを多く含む。
2. 赤い黄褐色土(10YR5/3) 赤い黄褐色のロームを多く含む。黒褐色土も含む。
3. 赤い黄褐色土(10YR7/3) ローム主体。灰黄褐色土を少量含む。
4. 灰黄褐色土(10YR/2) 赤い黄褐色のロームを少量含む。
5. 黒褐色土(10YR3/2) 灰白色の粘土を含む。
6. 赤黄褐色土(10YR7/6) ローム、二次堆積。
7. 赤い黄褐色土(10YR5/3) 赤い黄褐色のロームを少量含む。
8. 灰黄褐色土(10Y5/2) 黒褐色土に赤い黄褐色のロームの混在。
9. 灰黄褐色土(10YR4/2) 堆積。
10. 黒褐色土(10YR2/2) 灰白色の粘土・黄土を含む。
11. 褐色土(5YR6/8) 黄土。
12. 灰白色土(10YR8/1) 黄土。
13. 黒褐色土(10YR3/2) 灰白色の粘土粒子(チャド礫方礫土)、黒褐色土を含む。
14. 赤い黄褐色土(10YR7/3) ローム主体。黒褐色土を少量含む。灰吹。
15. 灰白色土(10YR8/1) ローム主体。黒褐色土を少量含む。灰吹。
16. 灰白色土(10YR8/1) ローム。黒褐色土に赤い黄褐色土を含む。灰方礫土。

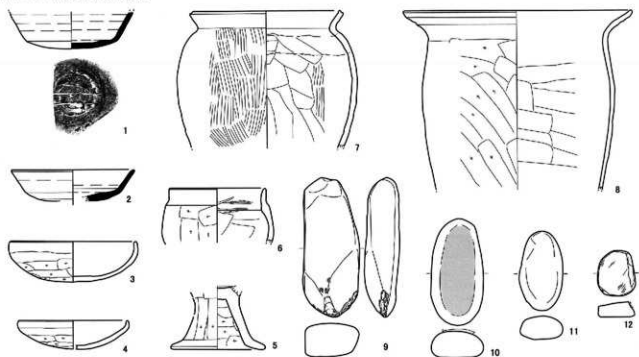
NME II H264号住居址(1)



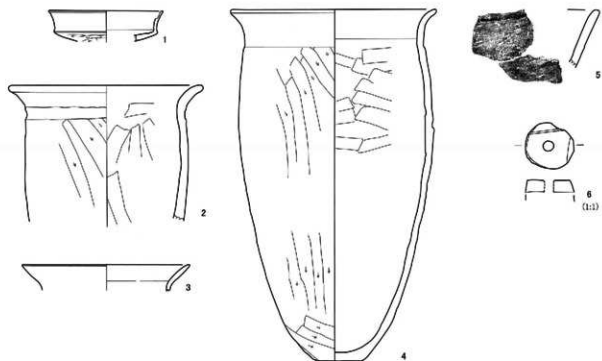
1. 黒褐色土(10YR3/2) 赤い黄褐色のローム、砂粒を含む。
2. 赤い黄褐色土(10YR5/3) ローム主体。
3. 黒褐色土(10YR3/2) 赤い黄褐色のロームの混在。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 赤い黄褐色のロームを多く含む。黒褐色土を少量含む。
5. 赤い黄褐色土(10YR6/3) ローム。黒褐色土が混在。

第200図 NME II H263号住居址(1)・H264号住居址(1)

NME II H263号住居址(2)

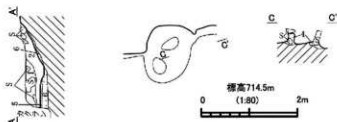
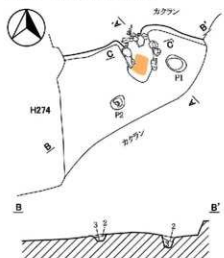


NME II H264号住居址(2)

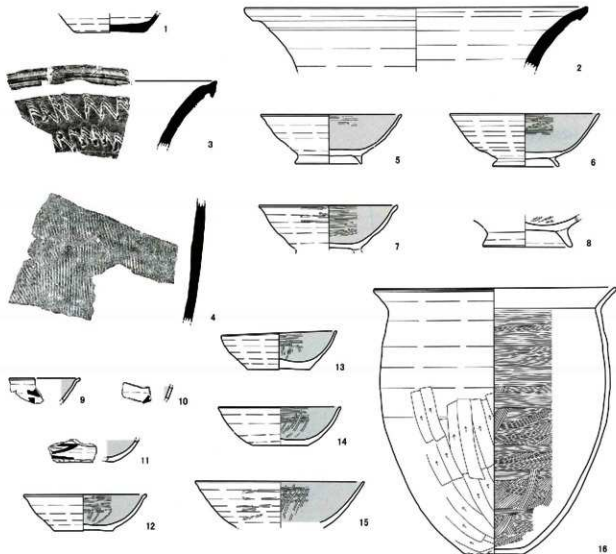


第201图 NME II H263号住居址(2)·H264号住居址(2)

NME II H266号住居址(1)

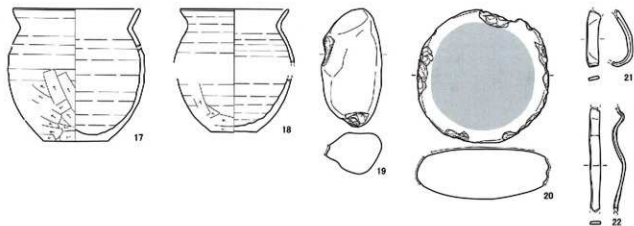


1. 灰い黄褐色土(10YR5/3) に近い黄褐色のシルト, 明黄褐色のロームを少量含む。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) 黒褐色土に近い黄褐色のロームを含む。
3. 灰い黄褐色土(10YR7/4) ローム, 灰黄褐色土を少量含む。
4. 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土, 灰い黄褐色のロームを少量含む。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2) に近い黄褐色のロームを含む。粘土。
6. 灰い黄褐色土(10YR7/4) ローム, 粘方壤土。黒褐色土に近い黄褐色土の存在。

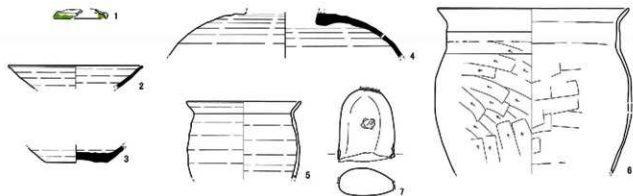
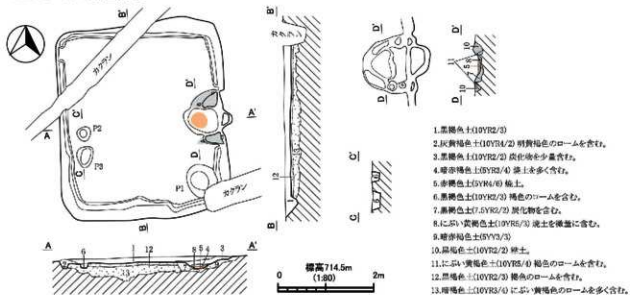


第202図 NME II H266号住居址(1)

NME II H266号住居址(2)



NME II H275号住居址

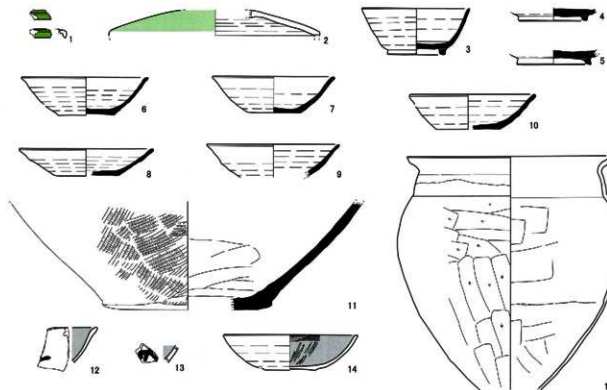
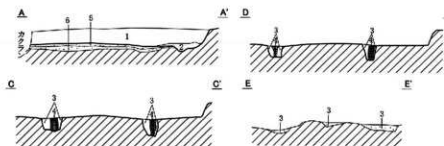


第203図 NME II H266号住居址(2)・H275号住居址

NME II H274号住居址(1)

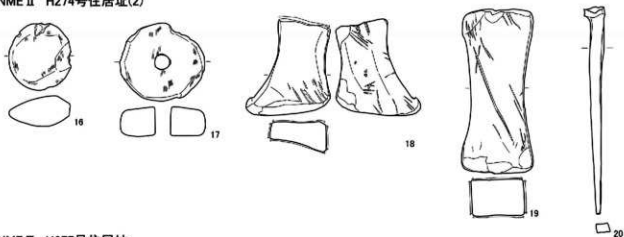


1. 灰に多い黄棕色土(10YR6/3) ロームシットを含む、人海堀土?
2. 地灰色土(10YR4/1) 粘土。
3. 灰に多い黄棕色土(10YR7/4) ローム主体、黒褐色土・灰黄褐色土を少量含む。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 粘成。
5. 灰黄褐色土(10YR4/2) 灰黄褐色のロームを多く含む、粘成。
6. 灰に多い黄棕色土(10YR7/4) ローム主体、灰黄褐色土を少量含む、凝り方土。
7. 灰に多い黄棕色土(10YR7/4) ローム、二次堆積。

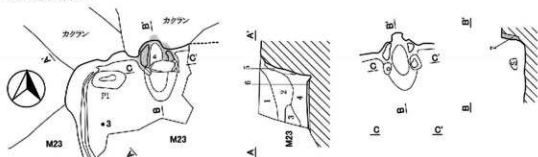


第204図 NME II H274号住居址(1)

NME II H274号住居址(2)

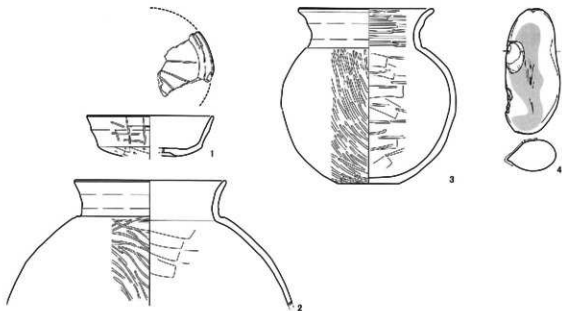


NME II H277号住居址



- 1.黒褐色土(10YR3/2) 砂粒を少量含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) におい、黄褐色のローム・灰白色の粘土を少量含む。
- 3.黒褐色土(10YR3/2) におい、黄褐色のローム・灰白色の砂粒を少量含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2) 灰白色の砂粒・におい、黄褐色のロームを含む。
- 5.明黄褐色土(10YR7/6) ローム、二次地塊。
- 6.におい、黄褐色土(10YR7/6) 黒褐色土を少量含む、凝縮・硬方厚土。
- 7.灰白色土(10YR8/1) 粘土。

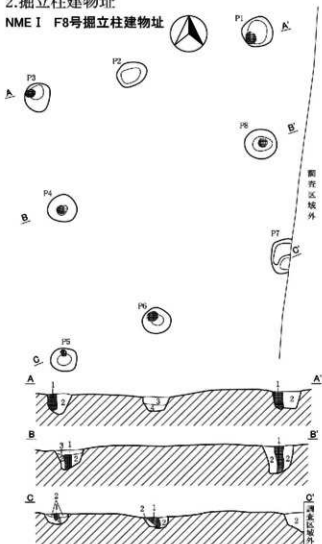
標高 714.4m
(1:80)



第205図 NME II H274号住居址(2)・H277号住居址

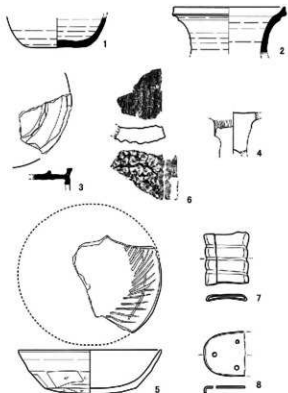
2.掘立柱建物址

NME I F8号掘立柱建物址

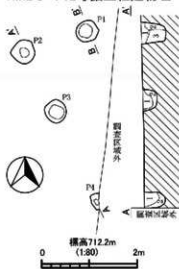


1. 暗褐色土(10YR3/4) 柱痕。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒子・パリスを含む。
3. 赤灰・黄褐色土(10YR4/3)
4. 黒褐色土(10YR2/3) 堆山の黒色土粒子を多く含む。

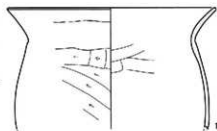
0 標高711.9m
(1.80) 2m



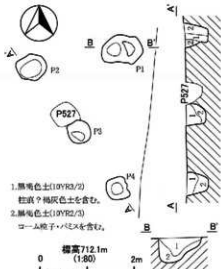
NME I F12号掘立柱建物址



1. 暗褐色土(10YR3/4) 柱痕?
2. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・パリスを含む。
3. 暗褐色土(10YR2/3) ローム粒子。2層より多い。



NME I F13号掘立柱建物址

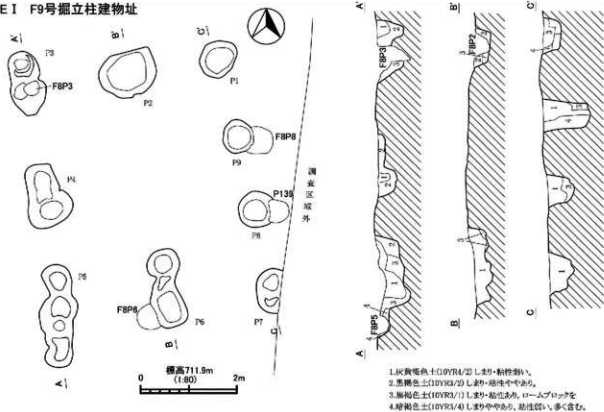


1. 黒褐色土(10YR2/2) 柱痕? 暗灰色土を含む。
2. 暗褐色土(10YR2/3) ローム粒子・パリスを含む。

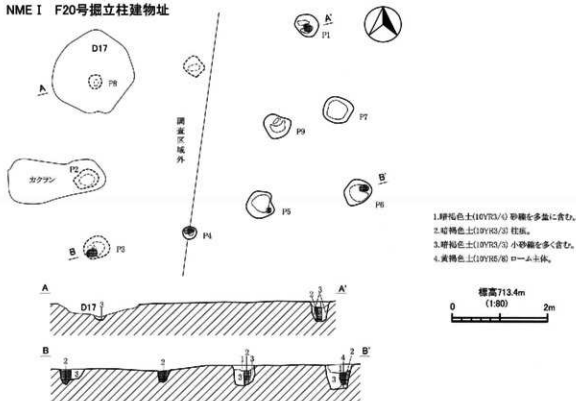
0 標高712.1m
(1.80) 2m

第206図 NME I F8号・F12号・F13号掘立柱建物址

NME I F9号掘立柱建物址

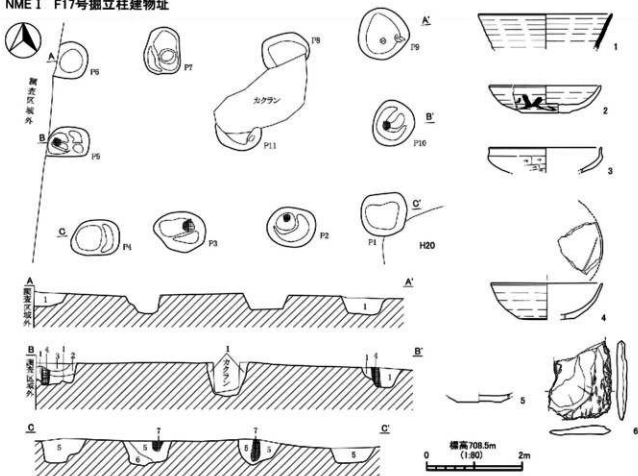


NME I F20号掘立柱建物址



第207図 NME I F9号・F20号掘立柱建物址

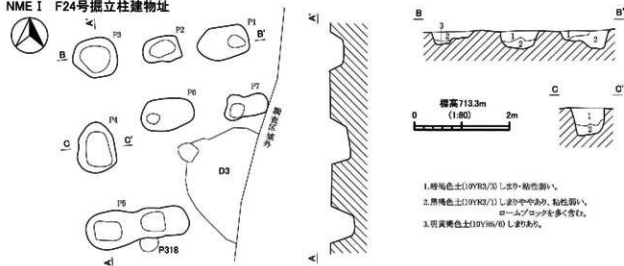
NME I F17号掘立柱建物址



1. 土に赤い黄褐色土(10YR4/3) に赤い黄褐色のロームを含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2)
3. 土に赤い黄褐色土(10YR5/3) に赤い黄褐色のロームを少量含む。
4. 赤黄褐色土(10YR4/2) 柱礎。

5. 土に赤い黄褐色土(10YR5/3) 黒褐色土・明黄褐色のロームを含む。
6. 土に赤い黄褐色土(10YR5/3) 明黄褐色のロームを含む。
7. 黒褐色土(10YR2/2) 柱礎。

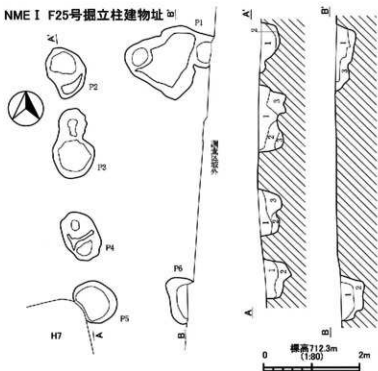
NME I F24号掘立柱建物址



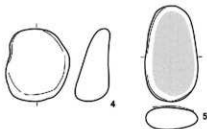
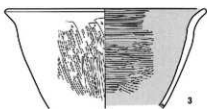
1. 黒褐色土(10YR2/2) 土が粘り強い。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 土がやや粘り、粘り強い。ローム・コップを多く含む。
3. 明黄褐色土(10YR5/3) 土が粘り強い。

第208図 NME I F17号・F24号掘立柱建物址

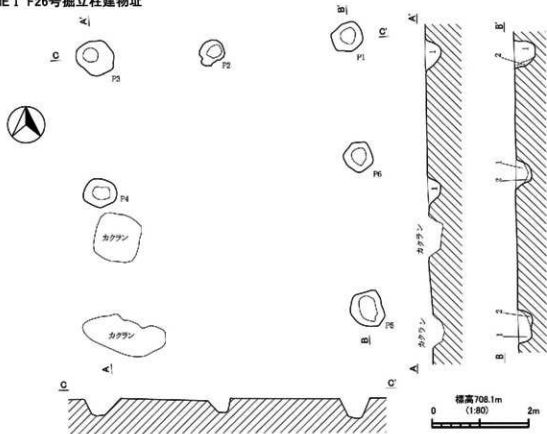
NME I F25号掘立柱建物址



- 1.灰黄褐色土(10YR4/2)しまり・粘性弱い。
- 2.黒褐色土(10YR3/1)しまり・粘性あり、ロームブロックを含む。
- 3.緑褐色土(10YR3/3)しまり・粘性強い、小石を多く含む。



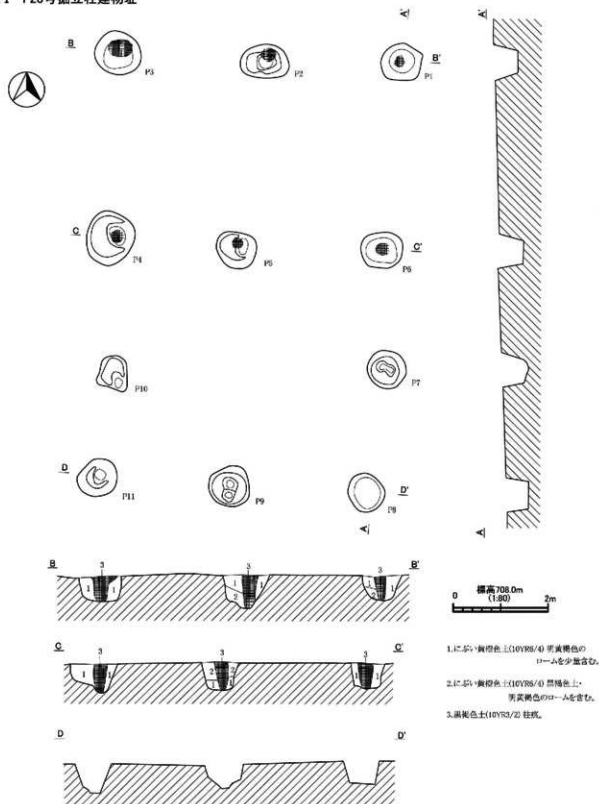
NME I F26号掘立柱建物址



- 1.黒色土(10Y2/1)はり強く、粘性あり、黒味が強い。
- 2.褐色土(10Y4/6)しまり・粘性ややあり、ロームブロックを多く含む。

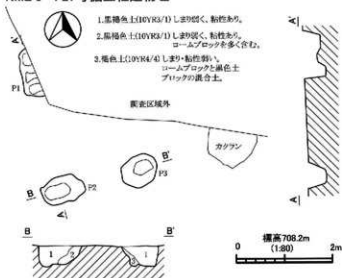
第209図 NME I F25号・F26号掘立柱建物址

NME I F28号据立柱建物址

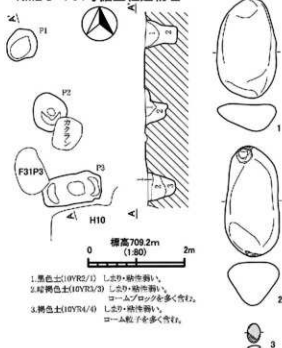


第210図 NME I F28号据立柱建物址

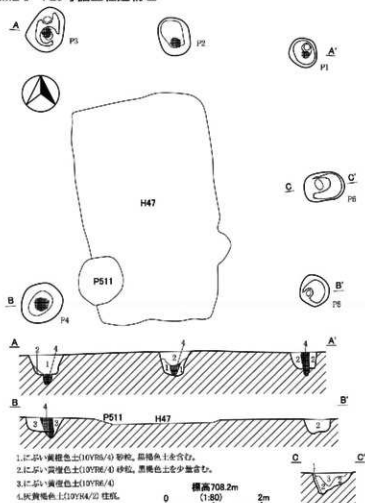
NME I F27号掘立柱建物址



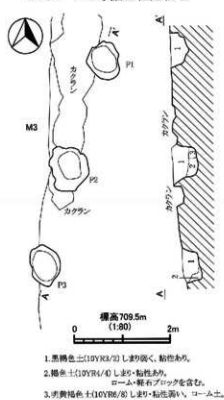
NME I F34号掘立柱建物址



NME I F29号掘立柱建物址

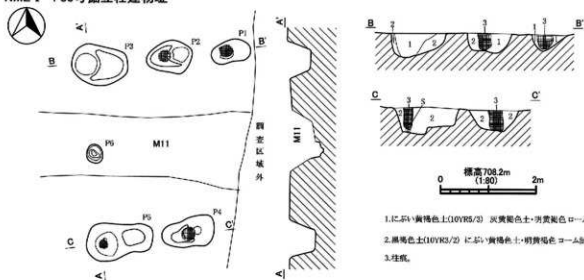


NME I F33号掘立柱建物址

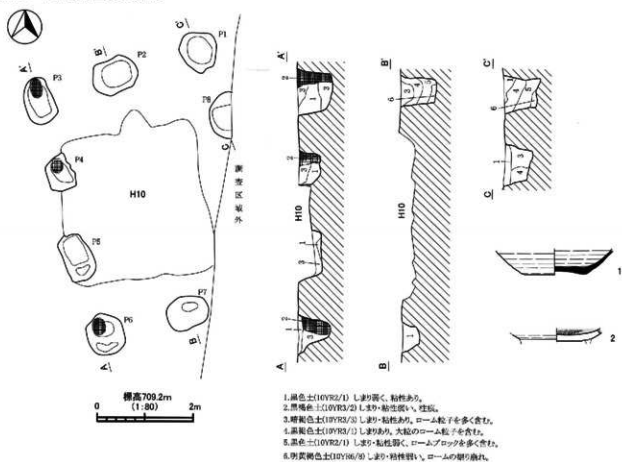


第211図 NME I F27号・F29号・F33号・F34号掘立柱建物址

NME I F30号掘立柱建物址

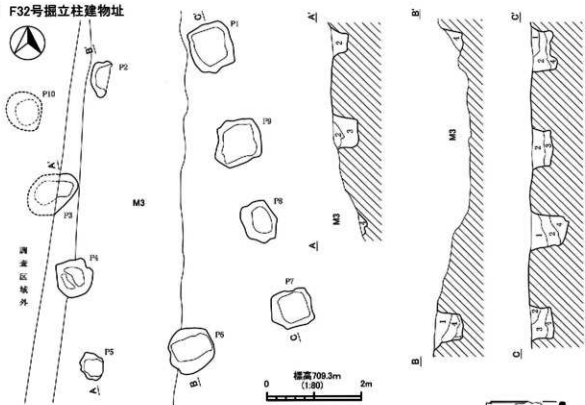


NME I F31号掘立柱建物址



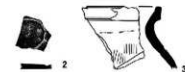
第212図 NME I F30号・F31号掘立柱建物址

NME I F32号掘立柱建物址

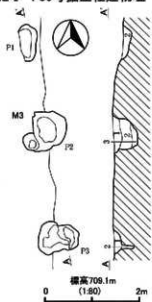


- 1.黒色土(10YR2/1)しまり・粘性强い、ローム粒子を含む。
- 2.にぶい黄褐色土(10YR4/3)しまり・粘性强い、ロームブロック多く含む。
- 3.褐色土(10YR4/6)しまり・粘性强い、ローム粒子を多く含む。
- 4.明黄褐色土(10YR6/8)しまり・粘性强い、ローム主体。

標高709.3m
(1.80)



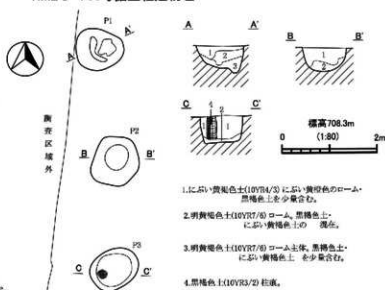
NME I F35号掘立柱建物址



- 1.黒褐色土(10YR2/2)しまり・粘性强い。
- 2.黒褐色土(10YR2/2)しまり・粘性强い、ロームブロックを多く含む。
- 3.褐色土(10YR4/6)しまり・粘性强い、ローム粒子を多く含む。

標高709.1m
(1.80)

NME I F38号掘立柱建物址

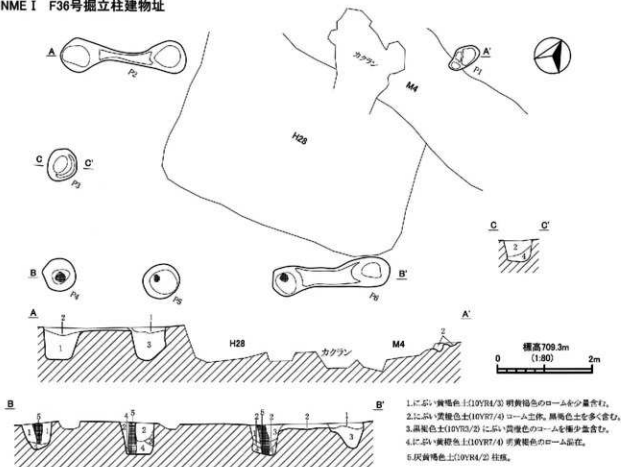


- 1.にぶい黄褐色土(10YR4/3)にぶい黄褐色のローム・黒褐色土を少量含む。
- 2.明黄褐色土(10YR7/8)ローム、黒褐色土・にぶい黄褐色土の混在。
- 3.明黄褐色土(10YR7/8)ローム主体、黒褐色土・にぶい黄褐色土を少量含む。
- 4.黒褐色土(10YR2/2)柱直。

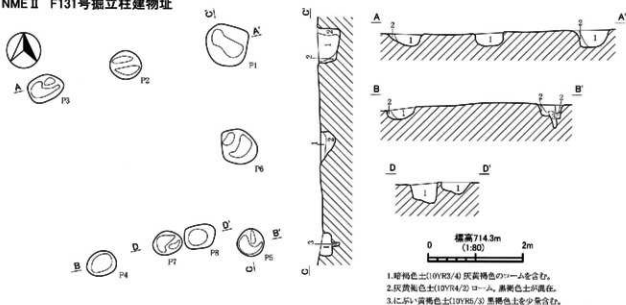
標高708.3m
(1.80)

第213図 NME I F32号・F35号・F38号掘立柱建物址

NME I F36号掘立柱建物址

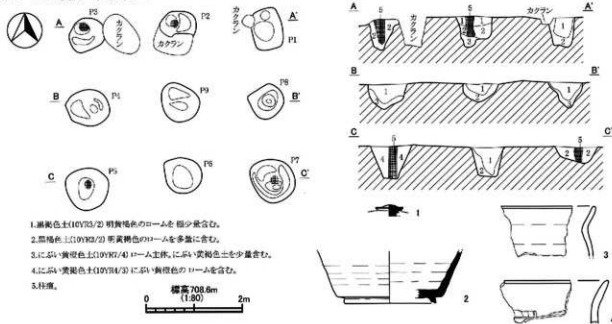


NME II F131号掘立柱建物址

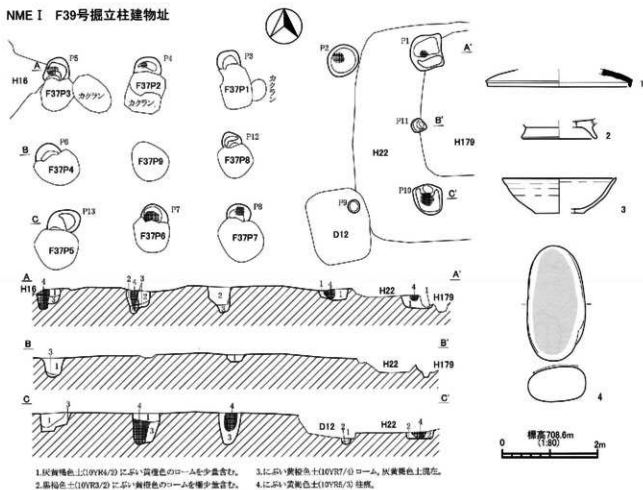


第214図 NME I・II F36号・F131号掘立柱建物址

NME I F37号掘立柱建物址

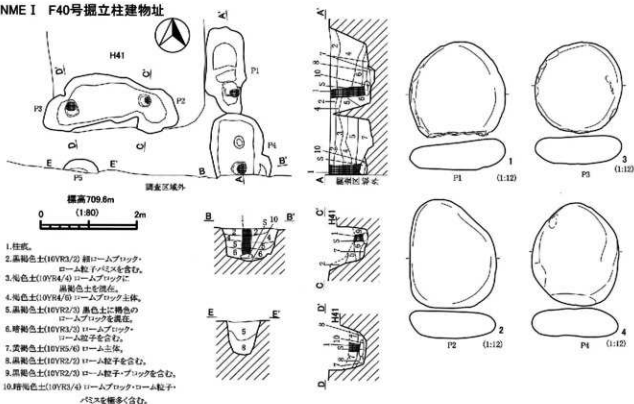


NME I F39号掘立柱建物址

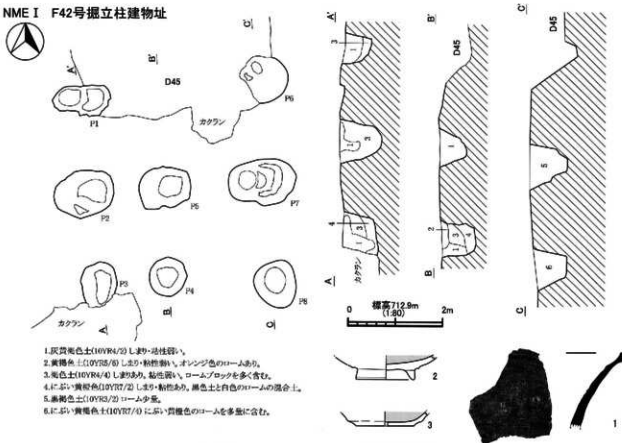


第215図 NME I F37号・F39号掘立柱建物址

NME I F40号掘立柱建物址

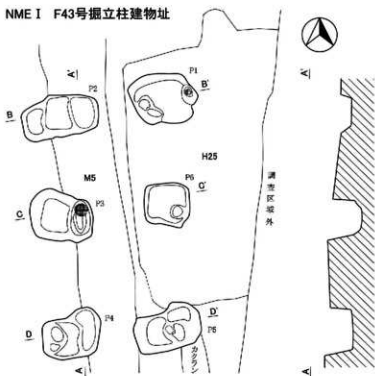


NME I F42号掘立柱建物址

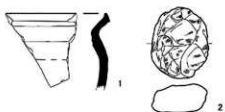
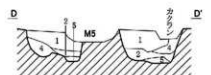
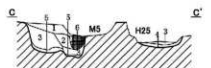


第216図 NME I F40号・F42号掘立柱建物址

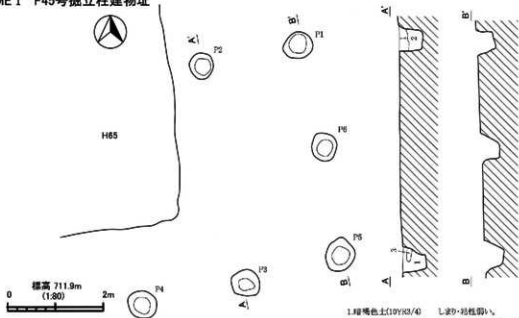
NME I F43号据立柱建物址



- 1.灰黄褐色土(10YR6/2) 明黄褐色のロームを極少量含む。
- 2.明黄褐色土(10YR7/6) ローム主体、灰褐色土を含む。
- 3.にぶい黄褐色土(10YR6/3) にぶい黄褐色のロームを含む。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム主体、灰黄褐色土を含む。
- 5.にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム2次堆積。
- 6.柱溝。



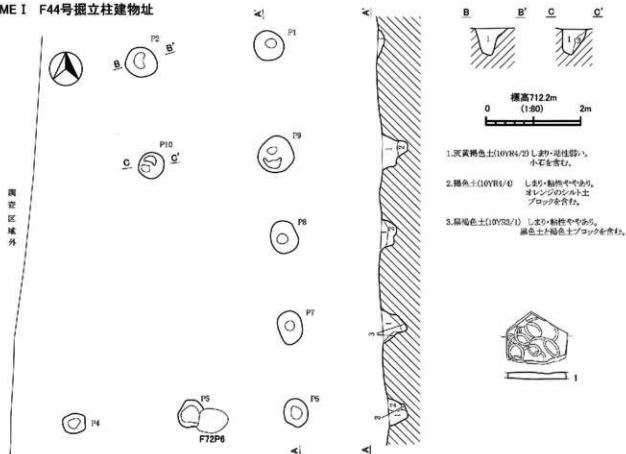
NME I F45号据立柱建物址



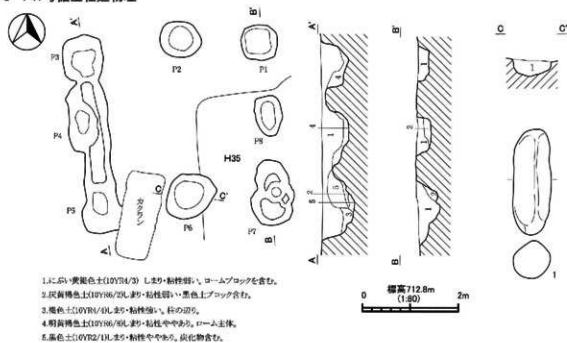
- 1.暗褐色土(10YR3/4) しざり・粘性弱い。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) しざり・粘性弱い、ロームブロックを少量含む。
- 3.にぶい黄褐色土(10YR6/4) しざり・粘性弱い、オレンジのロームブロック。

第217図 NME I F43号・F45号据立柱建物址

NME I F44号掘立柱建物址

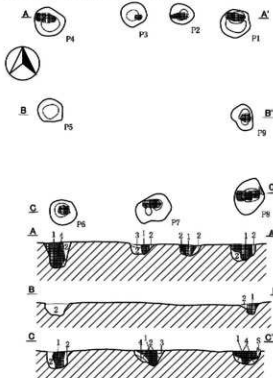


NME I F47号掘立柱建物址



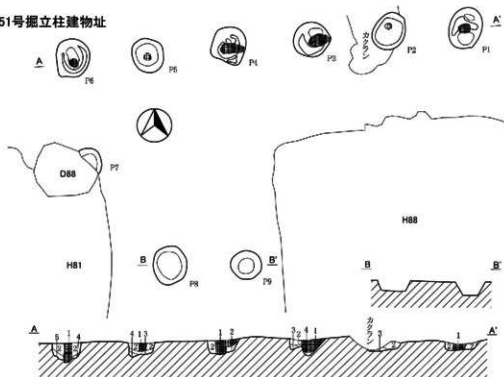
第218図 NME I F44号・F47号掘立柱建物址

NME I F49号掘立柱建物址



- 1.黒褐色土(07SYR3/2) 柱底。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・小ノミスを含む。
- 4.褐色土(10YR4/4) ローム主体。

NME I F51号掘立柱建物址

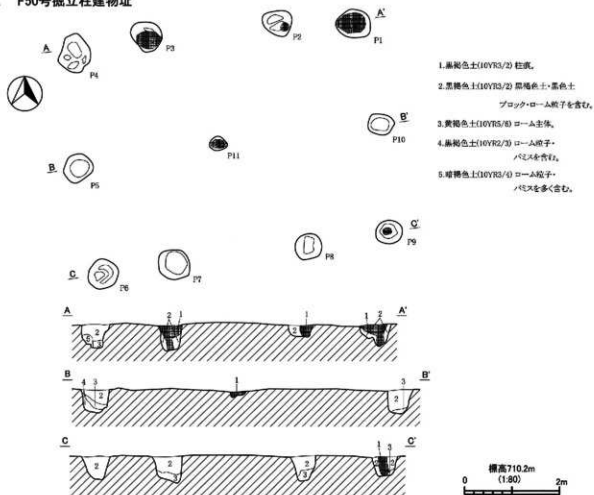


- 1.暗褐色土(10YR3/3) 柱底。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック、まれに黒色土ブロックを含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) 黒色土ブロックを多量に含む、ロームブロックを含む。
- 4.褐色土(10YR4/4) ローム主体。
- 5.黒褐色土(10YR3/2) 白色のシルト質土主体。

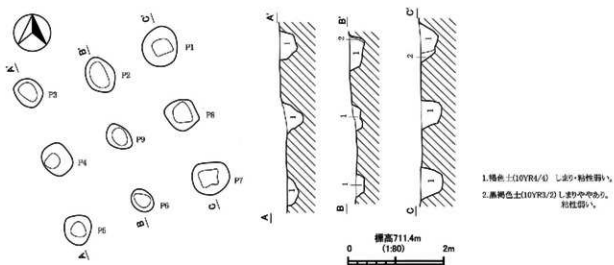
標高710.3m
(1:80) 0 2m

第220図 NME I F49号・F51号掘立柱建物址

NME I F50号掘立柱建物址

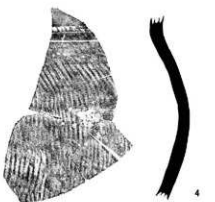
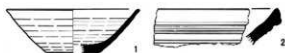
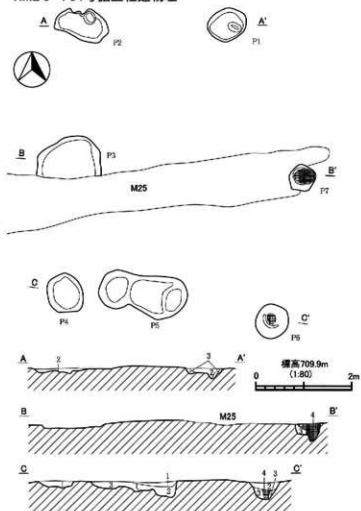


NME I F53号掘立柱建物址



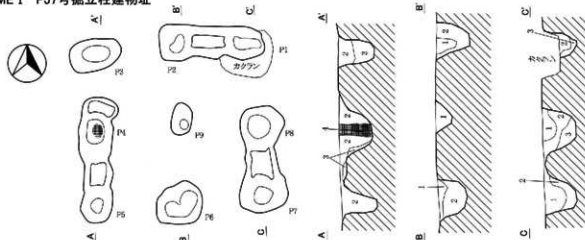
第221図 NME I F50号・F53号掘立柱建物址

NME I F54号掘立柱建物址



- 1.黒褐色土(10YR2/2) ~1cm大ハリスを多く含み、ローム粒子を含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子ハリスを多く含む。
- 3.黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色のロームブロックハリスを含む。
- 4.黒褐色土(10YR2/2) 柱痕。

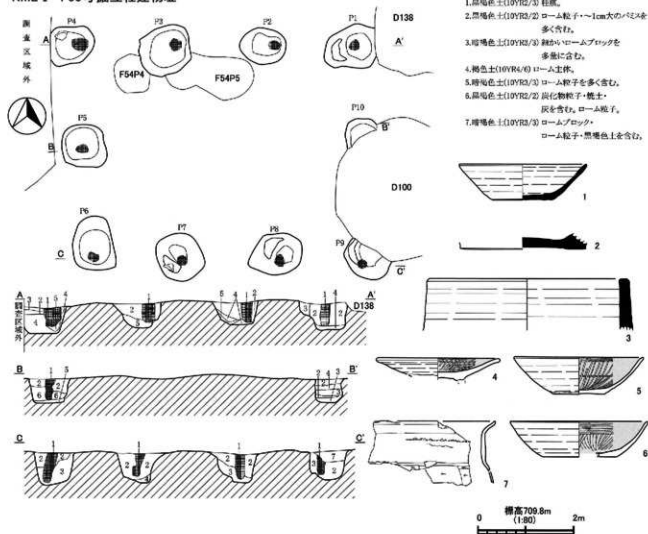
NME I F57号掘立柱建物址



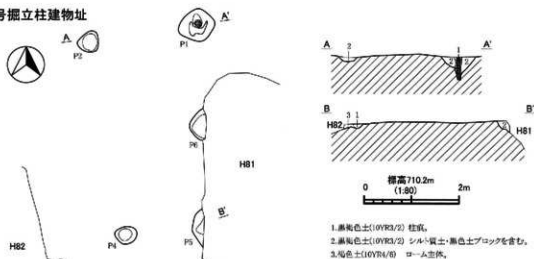
- 1.黒褐色土(10YR3/3) 土質粘性强い。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) 土質粘性强い、ローム粒子多い。
- 3.黄褐色土(10YR6/4) 土質粘性强い、ロームブロックを多く含む、堆積したような土。
- 4.黒褐色土(10YR2/2) 柱痕。

第222図 NME I F54号・F57号掘立柱建物址

NME I F55号掘立柱建物址

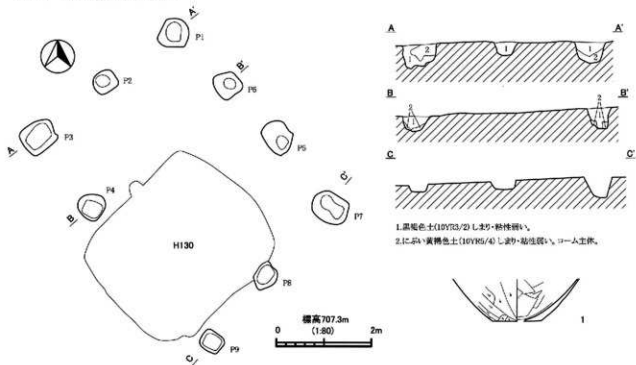


NME I F58号掘立柱建物址

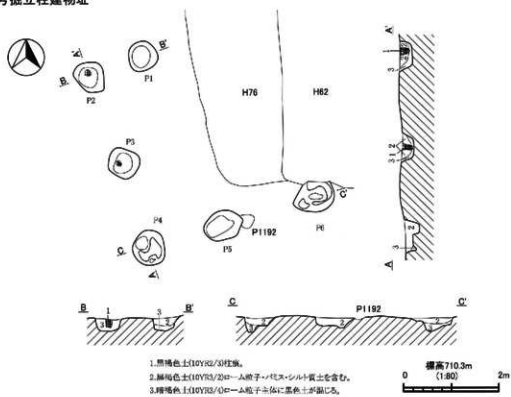


第223図 NME I F55号・F58号掘立柱建物址

NME I F56号掘立柱建物址

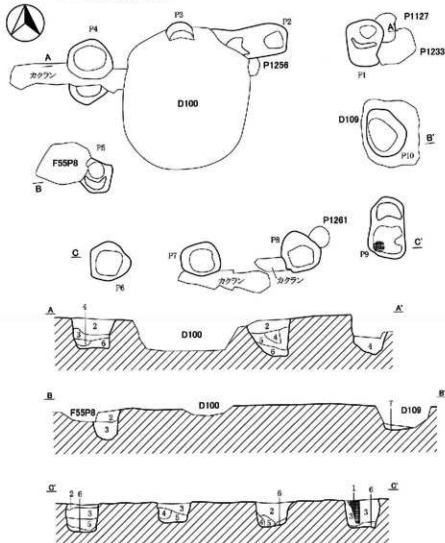


NME I F59号掘立柱建物址



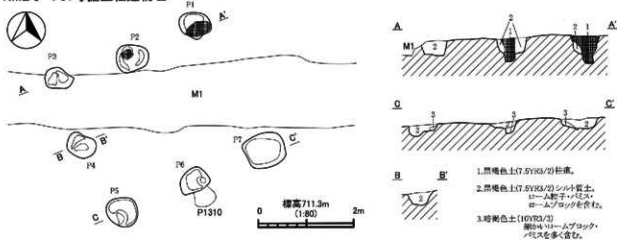
第224図 NME I F56号・F59号掘立柱建物址

NME I F60号掘立柱建物址



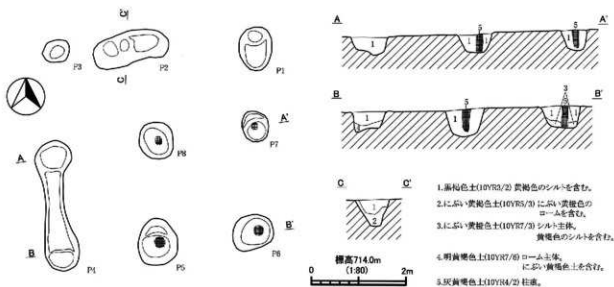
- 1.暗褐色土(10YR3/3)柱底。
- 2.黒褐色土(10YR3/2)ローム地子・
パリスを多く含む。
- 3.にぶい・黄褐色土(10YR5/4)ロームに黒褐色土
ブロック、土粒に黒褐色土の薄い層が入る。
- 4.黒褐色土(10YR2/3)ロームブロック・
パリスを多く含む。
- 5.暗褐色土(10YR3/3)ロームブロック・
暗褐色土ブロックが混在。
- 6.褐色土(10YR4/4)ローム土状。
- 7.黒褐色土(10YR3/2)・褐色土(10YR4/4)
ローム土状ブロック混在。

NME I F61号掘立柱建物址

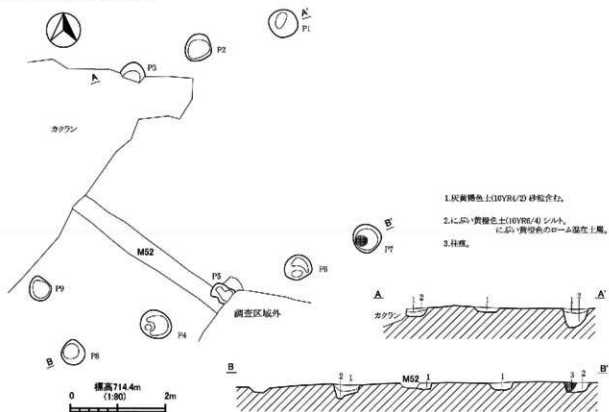


第225図 NME I F60号・F61号掘立柱建物址

NME I F65号掘立柱建物址

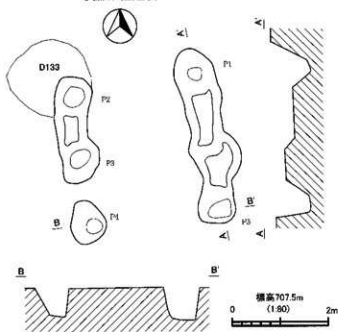


NME II F81号掘立柱建物址

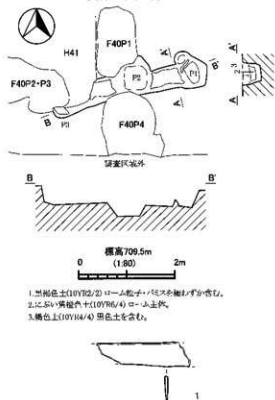


第226図 NME I F65号・II F81号掘立柱建物址

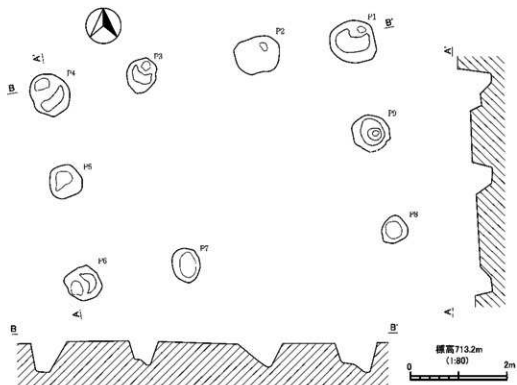
NME I F67号掘立柱建物址



NME I F71号掘立柱建物址

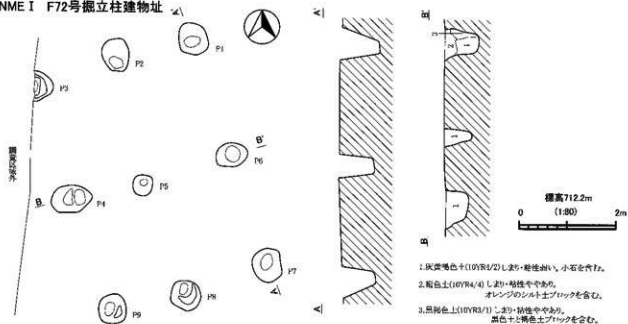


NME I F73号掘立柱建物址

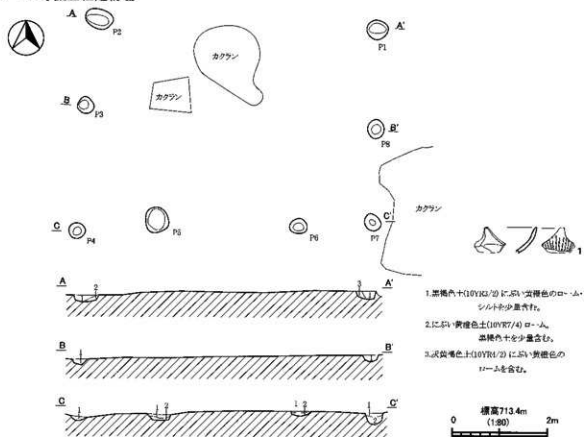


第227图 NME I F67号・F71号・F73号掘立柱建物址

NME I F72号掘立柱建物址

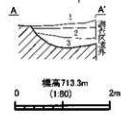
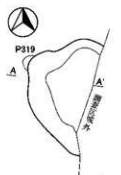


NME II F85号掘立柱建物址



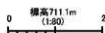
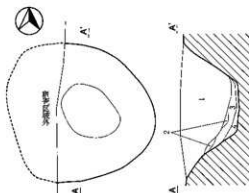
第228図 NME I F72号・II F85号掘立柱建物址

3.上 坑



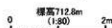
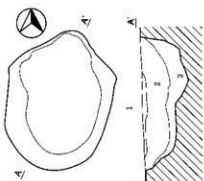
1. 土に赤い黄褐色土(10YR5/4)
2. 土に赤い黄褐色土(10YR5/4)系粘土土ブロックを含まず。
3. 黄褐色土(10YR5/6) コーム下層。

D3号土坑



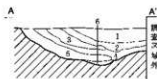
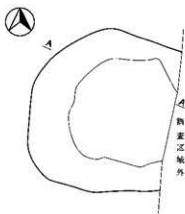
1. 暗褐色土(10YR3/3) ~1cm大のビス・ローム粒子を含み、円環状の石を含む。
2. 黄褐色土(10YR2/3) コーム下層を含む。炭化物の粒子を多数に含む。
3. 暗褐色土(10YR3/3) ~5mm大のビス・ローム粒子を含む。3mm以下の土を含む。
4. 暗褐色土(10YR2/4) ロームブロックを含み、~5mm大のビスを含む。

D4号土坑



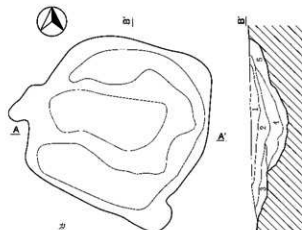
1. 灰化物層。
2. 灰褐色土(10YR4/2) 黄褐色土を含む。
3. 黄褐色土(10YR5/6) コーム上層。

D5号土坑



1. 暗褐色土(10YR3/0) 土の粘性が強い。下部に石層あり。
2. 褐色土(10YR4/6) 土の粘性が強い。
3. 灰黄褐色土(10YR6/6) 土の粘性が強い。
4. 土の粘性が強い(10YR5/6) 土の粘性が強い。1層で黒褐色。
5. 灰褐色土(10YR7/6) 土の粘性が強い。
6. 黄褐色土(10YR5/2) 土の粘性が強い。

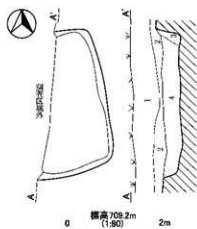
D6号土坑



1. 土に赤い黄褐色土(10YR5/4) 黄褐色土を少量含む。
2. 土に赤い黄褐色土(10YR4/2) 黄褐色土を少量含む。
3. 土に赤い黄褐色土(10YR7/6) ローム。土に赤い黄褐色土を少量含む。
4. 土に赤い黄褐色土(10YR4/2) 土に赤い黄褐色土のロームを少量含む。
5. 土に赤い黄褐色土(10YR5/2) 土に赤い黄褐色土のロームを含む。
6. 黄褐色土(10YR5/2)

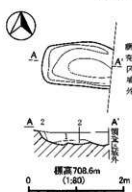
D7号土坑

第230図 NME I D3~D7号土坑



- 1.黒褐色土(10YR3/2) 灰黄色のロームを少量含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) 明黄色のロームを少量含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2)
- 4.灰黄褐色土(10YR4/2) 明黄色のロームと近い黄褐色のロームを多量に含む。黒褐色土を少量含む。人為堆土。

D8号土坑



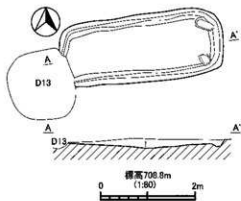
- 1.黒褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のロームを少量含む。
- 2.に近い黄褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のロームを多量に含む。

D11号土坑



- 1.土中に黄褐色土(10YR4/2) 灰黄褐色のロームを多量に含む。
- 2.灰黄褐色土(10YR4/2) 乳状褐色のロームを少量含む。
- 3.土中に黄褐色土(10YR3/2)

D12号土坑



- 1.黒褐色土(10YR3/2) に近い黄褐色のロームを少量含む。

D14号土坑



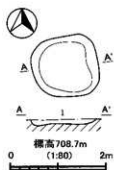
- 1.黒褐色土(10YR3/2) 土質均一。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) 土質均一。

D9号土坑



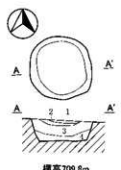
- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) に近い黄褐色のロームを少量含む。
- 2.に近い黄褐色土(10YR3/2) 灰黄褐色のロームを含む。

D10号土坑



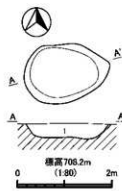
- 1.に近い黄褐色土(10YR4/2) 明黄褐色のロームを少量含む。

D13号土坑



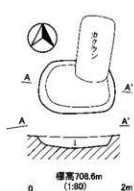
- 1.黒褐色土(10YR2/2) パステルロームを多量に含む。炭化物粒子を多量に含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) 炭化物粒子を多量に含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・パステルを含む。
- 4.暗褐色土(10YR3/2) ローム粒子・パステルを含む。

D27号土坑



- 1.に近い黄褐色土(10YR5/4) 砂利を含む。

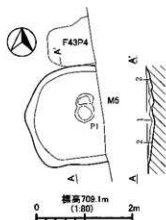
D35号土坑



- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) に近い黄褐色のロームを少量含む。

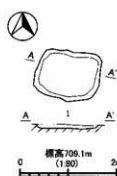
D39号土坑

第231図 NME I D8～D14号・D27号・D35号・D39号上坑



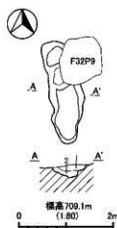
- 1.黒褐色土(10YR5/2)
- 2.にがい黄褐色土(10YR5/3)ににがい黄褐色のロームを含む。

D40号土坑



- 1.褐色土(10YR5/1)しりり・粘性强い。

D41号土坑



- 1.黒褐色土(10YR3/1)しりり・粘性强い。
 - 2.褐色土(10YR4/6)しりり・粘性强い。
- ロームブロックを含む。

D42号土坑



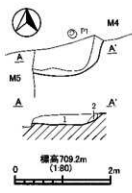
- 1.黒褐色(10YR3/1)しりり・粘性ややあり。黒粘りが強い。

D43号土坑



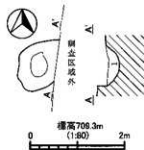
- 1.黒褐色土(10YR3/4)しりり・粘性ややあり。

D44号土坑



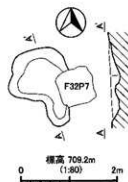
- 1.にがい黄褐色土(10YR5/3)ににがい黄褐色・明黄褐色のロームを多く含む。
- 2.明黄褐色土(10YR7/6)ローム主体。灰黄色土を少量含む。

D49号土坑



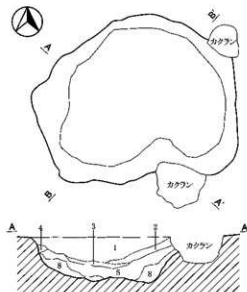
- 1.黄褐色土(10YR6/6)あり。粘性强い。粘石を含む。小石を多く含む。

D47号土坑



- 1.褐色土(10YR4/4)しりり・粘性强い。軽い土を少量含む。

D48号土坑

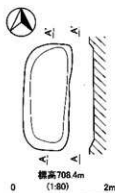


D45号土坑

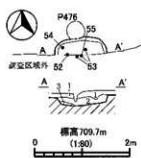
- 1.灰黄色土(10YR4/1)しりり・粘性强い。
- 2.所黄褐色土(10YR6/6)しりり・粘性强い。ローム主体。
- 3.黒褐色土(10YR3/2)しりり・粘性强い。炭化物・粘土層を多く含む。
- 4.にがい黄褐色土(10YR7/3)しりり・粘性强い。白色のローム層。層が厚い。
- 5.黒褐色土(10YR3/1)しりり・粘性强い。ロームブロックを多く含む。
- 6.にがい黄褐色土(10YR7/2)しりり・粘性强い。白色のローム層の堆積。
- 7.明黄褐色土(10YR6/6)しりりややあり。粘性强い。ローム層が厚いになる。
- 8.増褐色土(10YR3/3)しりり・粘性强い。



第232図 NME I D40～D45号・D47～D49号土坑

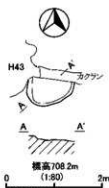


D50号土坑

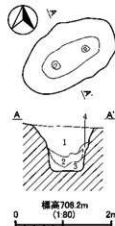


D51号土坑

1. 黒色土(10YR2/1) ベニス・ローム粒子を含む。わずかに炭化植物を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子が多く、細いベニスを含む。
3. 褐色土(10YR4/0) ローム下部に黒褐色土を含む。



D54号土坑



D55号土坑

1. 黒色土(10YR2/1) しじり・粘性あり、礫石を含む。
2. 褐色土(10YR4/4) しじり・粘性強い。軽石を含む。
3. しじり・黄褐色土(10YR6/0) しじり・粘性強い。ローム土主体。
4. 灰黄褐色土(10YR6/0) しじり・粘性強い。



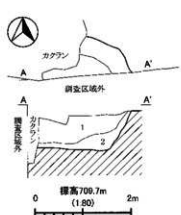
D52号土坑

1. 黒褐色土(10YR2/2) まれにベニス・ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) じょうい・黄褐色のローム粒子を層状に含む。
3. 黒褐色土(10YR2/2) まれにベニス・ローム粒子を含む。
4. 暗褐色土(10YR3/2) ほとんどしじり・黄褐色のローム粒子を多く含む。
5. 褐色土(10YR4/0) しじり・黄褐色のロームを主体に黒褐色土を含む。



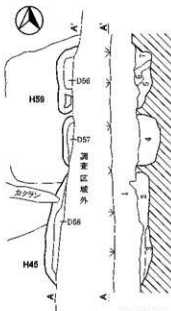
D59号土坑

1. 灰黄褐色土(10YR4/2) しじり・粘性あり。黄土に近い。
2. 灰褐色土(10YR5/0) ロームブロックが散在する。しじり・粘性強い。カクタン。



D53号土坑

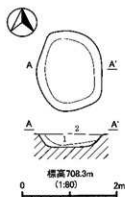
1. 黒褐色土(10YR2/2) ~5mm大ベニス。まれにローム粒子を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) にしじり・黄褐色のロームブロック散在。



D56・57・58号土坑

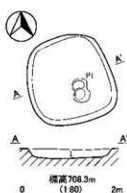
- D56
1. 灰褐色土(10YR4/1) しじり・粘性弱い。
2. しじり・黄褐色土(10YR4/2) しじり・粘性あり。
3. 褐色土(10YR4/0) しじり・粘性強い。ローム粒を含む。
- D57
1. 褐色土(10YR4/0) しじり・粘性強い。ロームブロックを多く含む。
- D56
1. 灰黄褐色土(10YR6/0) しじり・粘性あり。荒川の上の土。
2. 黄褐色土(10YR6/0) しじり・粘性強い。ロームブロック主体。
3. 灰黄褐色土(10YR4/2) しじり・粘性弱く。ロームブロックを含む。

第233図 NME I D50~D59号土坑



1. 灰黄褐色土(10YR5/3)シルト質。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2)に灰黄褐色のロームを少量含む。

D60号土坑



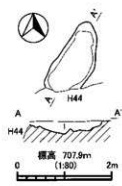
1. 灰黄褐色土(10YR2/3)明灰褐色のロームを含む。粘土・灰を含む。

D61号土坑



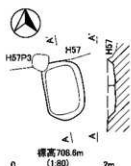
1. 黒色土(10YR2/1)しごり・粘柱や穴あり。

D62号土坑



1. 黒色土(10YR2/1)しごり・粘柱や穴あり。ローム粘土を含む。

D63号土坑

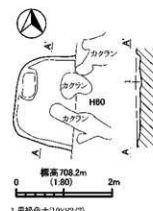


1. 灰黄褐色土(10YR4/3)に灰黄褐色のローム・黒褐色土を少量含む。

D64号土坑

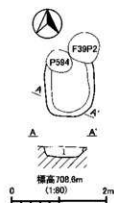


D65号土坑



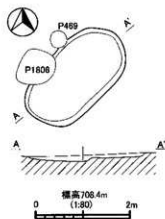
1. 赤褐色土(10YR2/2)に灰黄褐色のローム・黒褐色土を少量含む。

D66号土坑



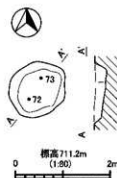
1. 灰黄褐色土(10YR4/2)に灰黄褐色のロームを少量含む。

D72号土坑



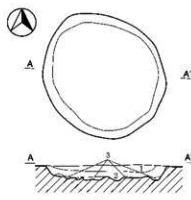
1. 赤褐色土(10YR2/2)粘土・炭化物を少量含む。に灰黄褐色のロームを少量含む。

D68号土坑



1. 緑褐色土(10YR3/4)上の粘土が細かく、細・ビス・ローム粘土を含む。

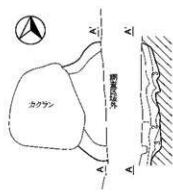
D73号土坑



1. 赤褐色土(10YR2/2)~1cm/5cm未満粘土を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2)炭色炭・炭化物粒・穴あり。
3. 黒褐色土(10YR4/6)ローム粘土。

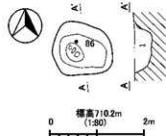
D74号土坑

第234図 NME I D60~D66号・D68号・D72~D74号土坑



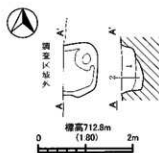
- 1.黒色土(10YR2/1) 主にローム殻を含む。(5mm大)
- 2.黒褐色土(10YR2/3) ~5mm大のローム殻を含む。
- 3.暗褐色土(10YR2/2) ローム殻のみに黒色土粒子を含む。バリス~1cm大を含む。

D75号土坑



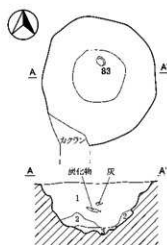
- 1.暗褐色土(10YR2/3) 少量のローム殻、5mm程度のバリスを含む。

D76号土坑



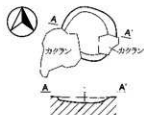
- 1.褐色土(10YR5/3) 少量の粘土質ロームブロックを多く含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/1) 少量の粘土質。

D77号土坑



- 1.灰褐色土(10YR3/3) ローム殻、バリスを含む。中央に灰と炭化物層を含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/3) バリス、ローム殻、黒色土を含む。
- 3.褐色土(10YR4/6) ローム主体。

D78号土坑



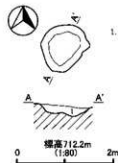
- 1.黒色土(10YR2/1) 細バリスを含む。

D79号土坑



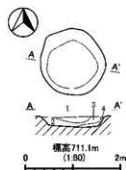
- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 少量の粘土質、粘粒質、小石を多く含む。

D80号土坑



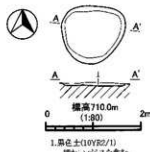
- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 少量の粘土質、粘粒質、小石を含む。

D81号土坑



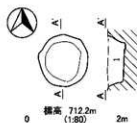
- 1.黒褐色土(10YR2/3) ~5mm大のローム殻を含む。
- 2.暗褐色土(10YR2/4) ~1cm大のローム殻、ローム殻を多く含む。
- 3.暗褐色土(10YR2/2) ローム殻、バリスを含む。
- 4.褐色土(10YR4/6) ローム主体。

D82号土坑



- 1.黒色土(10YR2/1) 細バリスを含む。

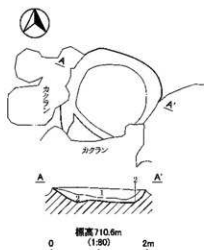
D83号土坑



- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 少量の粘土質、粘粒質、小石を多く含む。

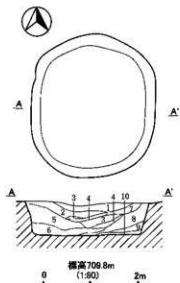
D84号土坑

第235図 NMR I D75号・D76号・D81号・D88号・D90号・D94号~D98号十坑



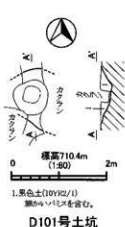
- 1.黒色土(10YR2/1) ~1cm大パリスを多量に含む。ローム粒子を含む。
- 2.黒色土(10YR1.7/1) 炭化物粒子を含む。~1cm大パリスを含む。1層より黒色強。

D99号土坑



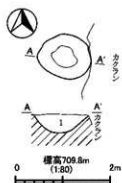
- 1.暗褐色土(10YR2/3) ローム粒子極多く含む。まれに黒褐色土ブロックあり。
- 2.暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土ブロックとにぶい黄褐色土ブロック混在。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子ロームブロックを含む。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム土体。
- 5.暗褐色土(10YR3/3) 細ロームブロックを多量に含む。
- 6.暗褐色土(10YR3/2) 上層とちやや黒褐色あり。
- 7.暗褐色土(10YR2/4) ローム粒を多量含む。
- 8.にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子細ロームブロックを極多く含む。
- 9.褐色土(10YR4/4) 細ロームブロック主体。
- 10.暗褐色土(10YR3/2) 細ロームブロックを多量含む。

D100号土坑



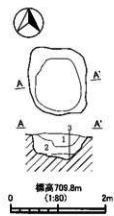
- 1.黒色土(10YR2/1) 細パリスを含む。

D101号土坑



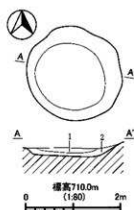
- 1.黒褐色土(10YR3/2) ローム粒を多く含む。~1cm大パリスを含む。

D108号土坑



- 1.暗褐色土(10YR3/3) ~5mm大のパリス・ローム粒を含む。
- 2.暗褐色土(10YR3/4) パリス・ローム粒子・ロームブロックを含む。炭・炭化物を含む。
- 3.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム土体。

D109号土坑



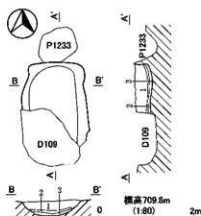
- 1.黒色土(10YR2/1) 下は3層に黒色強。~5mm大のパリスを含む。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) ~6mm大のパリス、地山となる。H85の暗褐色土を含む。

D102号土坑



- 1.黒褐色土(10YR2/3) ~5mm大パリス・ローム粒を含む。

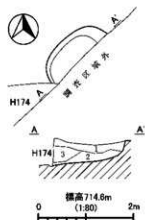
D110号土坑



- 1.暗褐色土(10YR3/3) ~5mm大パリス・ローム粒子を含む。
- 2.にぶい黄褐色土(10YR5/4) 細ロームブロック・パリスを含む。しりあり。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) ローム粒子・パリス・炭化物粒子を含む。

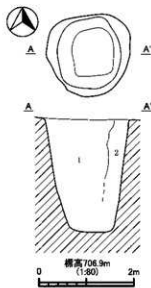
D112号土坑

第236図 NME I D99~D102号・D108~D110号・D112号土坑



1. 灰黄色土(10YR4/3) におい、黄褐色のロームを少量含む。
2. 灰黄色土(10YR2/4) ローム、二次浮腫。
3. 灰黄色土(10YR7/0) におい、黄褐色土混在。

D114号土坑



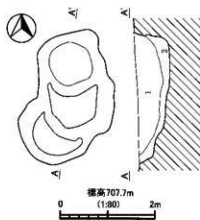
1. 黒褐色土(10YR2/2) しより・粘性強い、ロームブロックを多く含む。
2. 黄褐色土(10YR6/6) しより・粘性弱い。

D117号土坑



1. 褐色土(10YH4/6) しより・粘性弱い、ロームブロックを多く含む。

D124号土坑



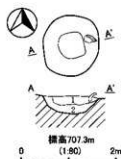
1. 灰黄色土(10YH4/3) しより・粘性弱い、軽石を多く含む。
2. 褐色土(10YR4/6) しより・粘性やや弱い。

D115号土坑



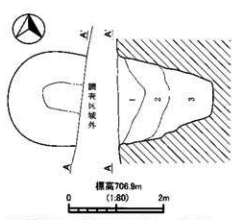
1. 黒色土(10YR2/1) わずかにシメタを含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) わずかにシメタを含む。
3. 黒褐色土(10YR3/3) ロームブロックを主に、ローム粒を多く含む。
4. 黒褐色土(10YR2/3) ローム粒を多く含む。
5. 黒褐色土(10YR2/3) ロームブロック・ローム粒を多く含む。

D119号土坑



1. 黒灰色土(10YR8/1) しより・粘性弱い。
2. 褐色土(10YR4/6) しより・粘性弱い、ロームブロックを多く含む。

D123号土坑



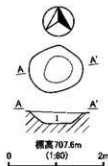
1. 褐色土(10YR2/2) しより・粘性やや弱い、ローム土を多く含む。
2. 褐色土(10YR4/4) しより・粘性弱い、ロームブロックを多く含む。
3. 黄褐色土(10YR5/6) しより・粘性弱い。

D116号土坑



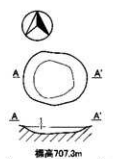
1. 褐色土(10YR3/3) ローム粒・シメタを含む。
2. 褐色土(10YR1/0) ローム粒子を多量に含む。

D118号土坑



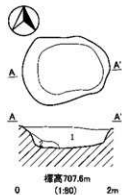
1. 黒褐色土(10YR2/1) しより・粘性弱い。

D122号土坑



1. 褐色土(10YR1/6) しより・粘性弱い、ロームブロックを多く含む。

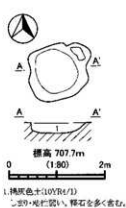
D125号土坑



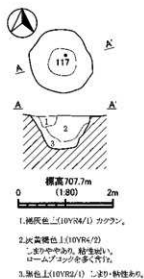
1. 灰黄色土(10YR4/3) しより・粘性弱い、軽石を多く含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) しより・粘性弱い、ロームブロックを多く含む。

D126号土坑

第237図 NME I D114～D119号・D122～D126号土坑



D127号土坑



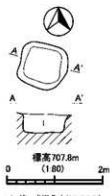
D132号土坑



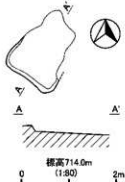
D133号土坑



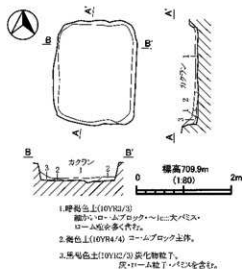
D134号土坑



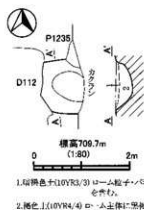
D136号土坑



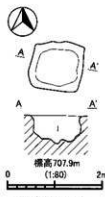
D137号土坑



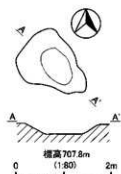
D138号土坑



D139号土坑



D140号土坑



D141号土坑



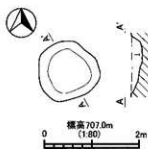
D142号土坑

第238図 NMHT D127号・D132～D134号・D136～D142号土坑



1. 黄褐色土(10YR5/6)
しじり・粘性弱い。
ロームブロックが多い。

D143号土坑



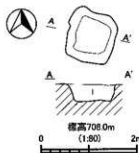
1. 黄褐色土(10YR3/2)
しじり・粘性弱い。
軽石を多く含む。

D144号土坑



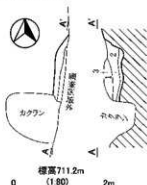
1. 黒褐色土(10YR3/2) 及び 黄褐色ローム・黒褐色土を少量含む。
2. 2.5m 以内の黄褐色土(10YR4/3) 黄褐色土上に高い黄褐色ロームを含む。
3. 2.5m 以内の黄褐色土(10YR4/3) 黒褐色土上に高い黄褐色ロームを少量含む。

D147号土坑



1. 黄褐色土(10YR5/6)
しじり・粘性弱い。ローム粒子を多く含む。

D151号土坑



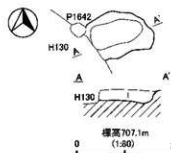
1. 黄褐色土(10YR3/3) ローム粒子 ~ 1cm 入パリスを含む。
2. 黒褐色土(10YR2/3) ローム粒子 ~ 5mm 入パリスを含む。
3. 暗褐色土(10YR3/4) 及び 黄褐色土のロームブロックを多数含む。貼座?

D152号土坑



1. 高い黄褐色土(10YR5/3)
黄褐色のシルトを含む。

D153号土坑

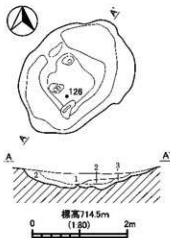


1. 暗褐色土(10YR3/3) しじり・粘性あり。
ロームブロックを多く含む。

D154号土坑

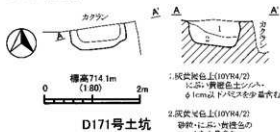


D155号土坑



1. 紅褐色土(10YR3/3)
~ 1cm 入パリス・ローム粒子を含む。
2. 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子を多く含む。
3. 2.5m 以内の黄褐色土(10YR4/3)
ローム粒子を少量含む。

D170号土坑



1. 灰黄色土(10YR4/2)
に高い黄褐色土シルト
φ 1cm 以上パリスを少量含む。
2. 灰黄色土(10YR4/2)
粘粒に高い黄褐色の
ロームを少量含む。

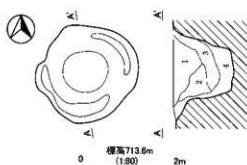
D171号土坑

第239図 NME I D143号・D144号・D147号・D151号~D155号・D170号・D171号土坑



- 1.赤褐色土(10YR5/2) 褐色セロップ、小石を散らして含む。
- 2.暗褐色土(10YR4/4) 黒褐色土を少量含む。

D172号土坑



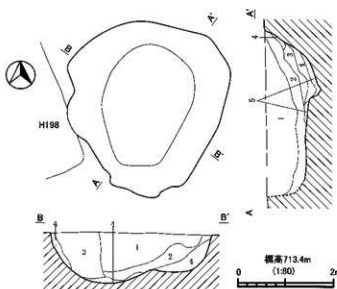
- 1.にぶい黄褐色土(10YR6/3) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 2.灰褐色土(10YR6/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 3.にぶい黄褐色土(10YR6/3) にぶい黄褐色のロームを含む。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム、黒褐色土(10YR2/2) 灰褐色土(10YR6/2)の混在土層。

D173号土坑



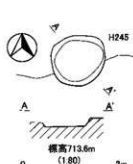
- 1.F.ぶい、赤褐色土(10YR5/3) にぶい黄褐色のロームを少量含む。

D192号土坑



- 1.にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム、灰白色土(10YR8/2) ローム混在土層。
- 2.黒褐色土(10YR2/2) にぶい黄褐色のローム、灰白色のロームを少量含む。
- 3.黒褐色土(10YR2/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム、二次堆積。
- 5.黄褐色土(10YR8/4) ローム、黒褐色土を少量含む。

D174号土坑

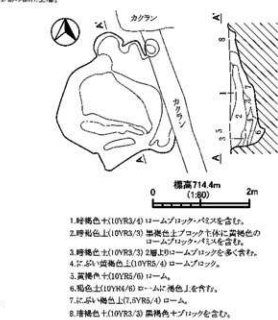


D195号土坑



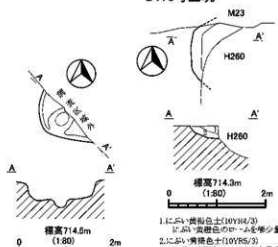
- 1.灰褐色土(10YR6/2) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 2.にぶい黄褐色土(10YR7/4) ローム主層、灰褐色土を少量含む。

D193号土坑



- 1.暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを多く含む。
- 2.暗褐色土(10YR3/2) 黒褐色土ブロック主体に暗褐色のロームブロックを多く含む。
- 3.暗褐色土(10YR3/2) 2層上層ロームブロックを多く含む。
- 4.にぶい黄褐色土(10YR5/4) ロームブロック。
- 5.黄褐色土(10YR6/6) ローム。
- 6.褐色土(10YR6/6) ロームに褐色土を含む。
- 7.にぶい褐色土(10YR5/4) ローム。
- 8.暗褐色土(10YR3/2) 黒褐色土ブロックを含む。

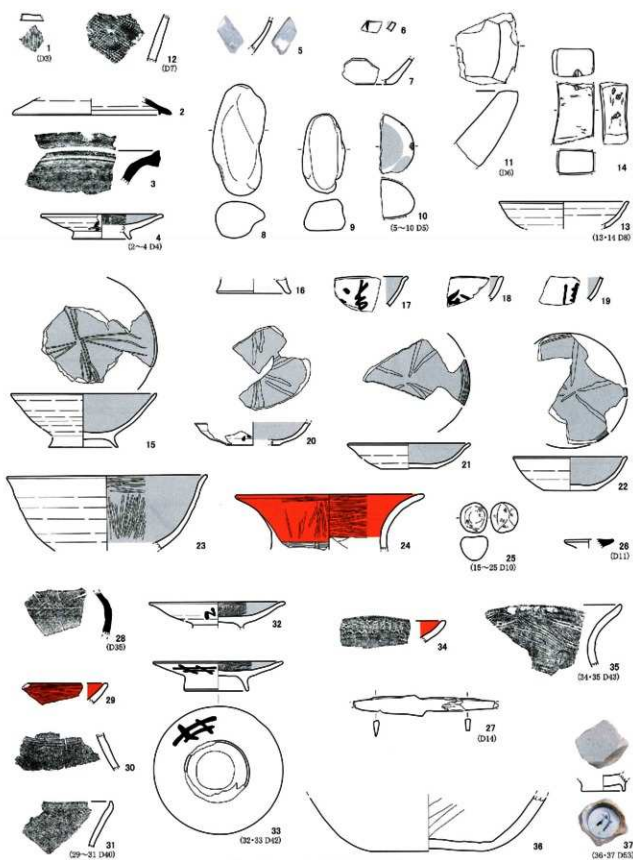
D175号土坑



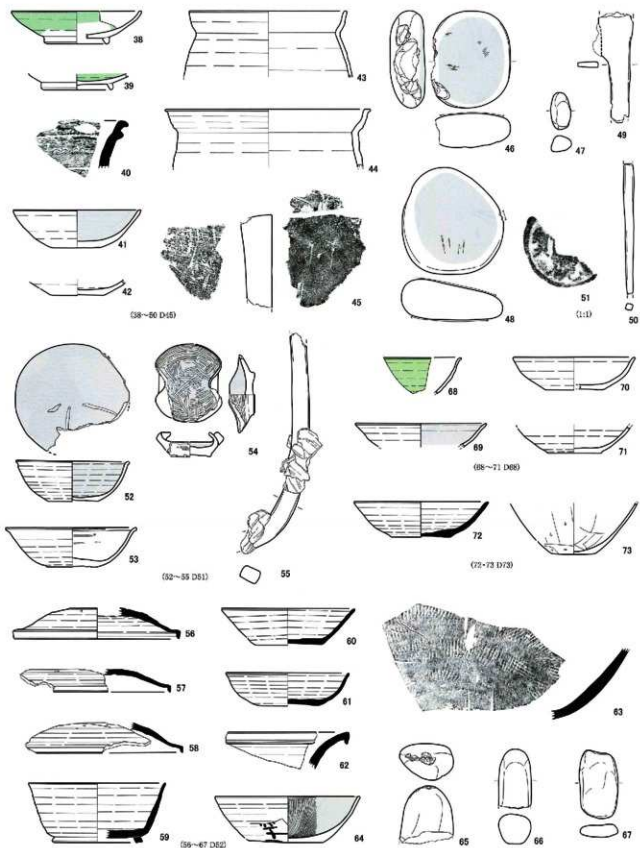
- 1.にぶい黄褐色土(10YR6/3) にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 2.にぶい黄褐色土(10YR5/3) にぶい黄褐色のロームを少量含む。

D199号土坑

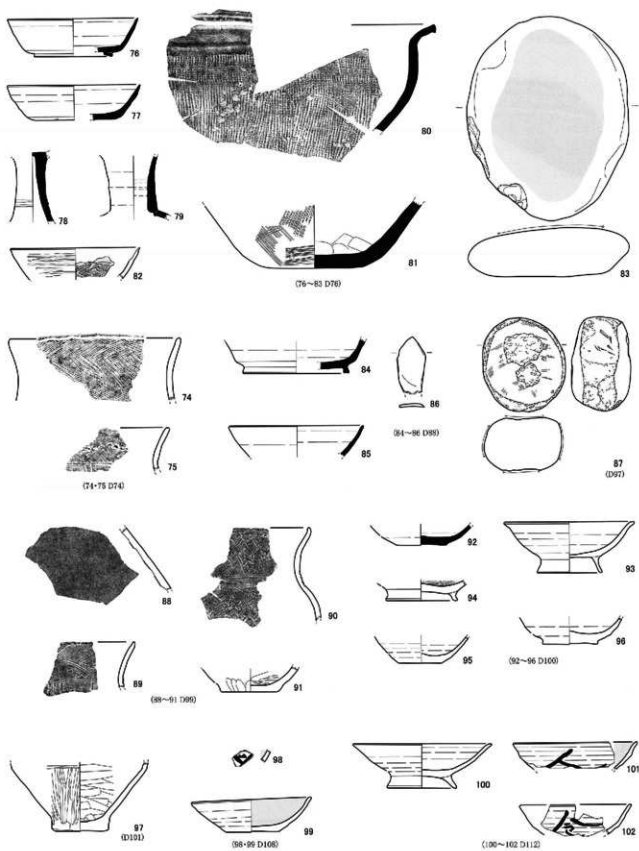
第240図 NME II D172~D175号・D192~D195号・D199号土坑



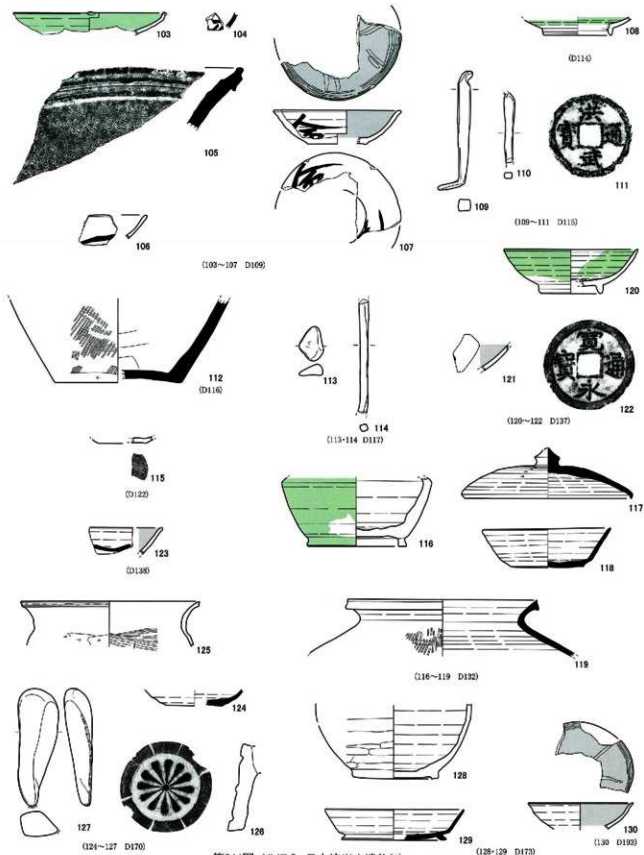
第241圖 NME I 土坑出土遺物(1)



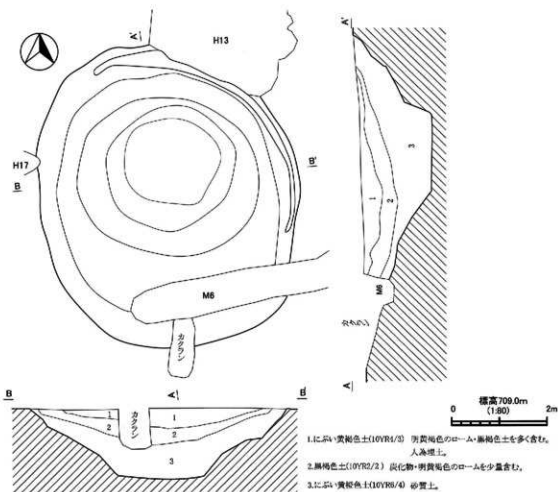
第242図 NME I・II 土坑出土遺物(2)



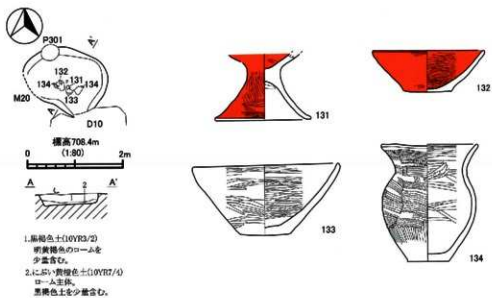
第243图 NME I・II土坑出土遺物(3)



第244圖 NME I・II土坑出土遺物(4)

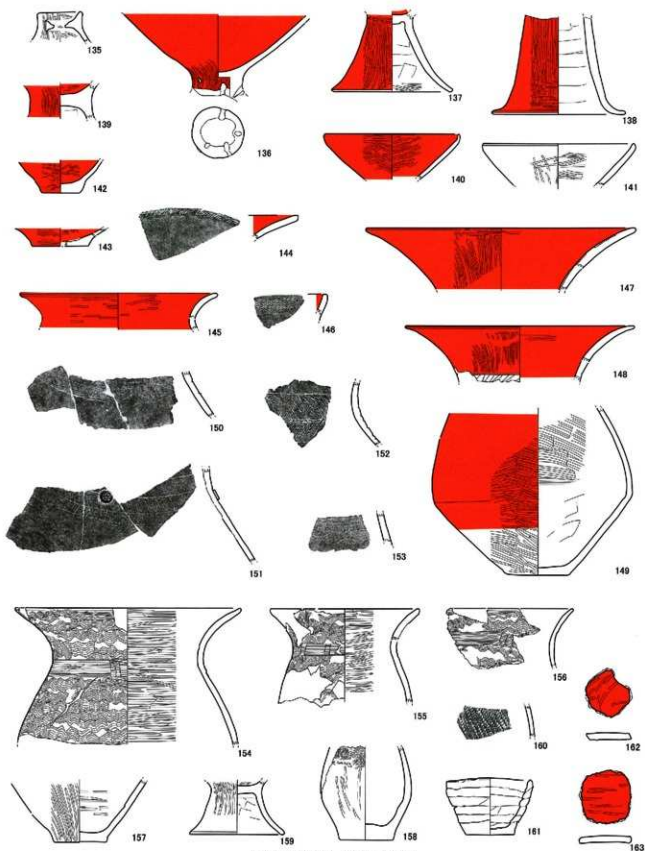


NME I D93号土坑(1)

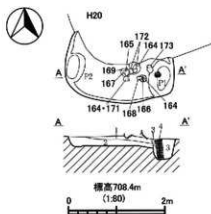


NME I D71号土坑

第245図 NME I D71号・D93号(1)土坑

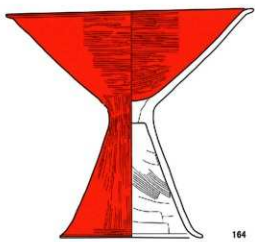


第246图 NME I D93号土坑(2)



- 1.黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄緑色のロームを少量含む。
- 2.にぶい黄褐色土(10YR4/3)に黄褐色のロームを含む。
- 3.黒褐色土(10YR3/2)にぶい黄褐色のロームを少量含む。
- 4.黒褐色土(10YR3/2)径状。

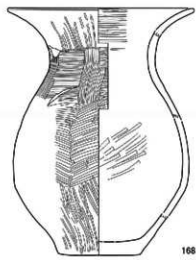
NME I D69号土坑(木棺墓)



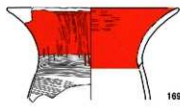
164



165



166



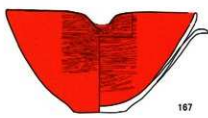
169



168



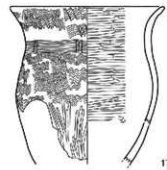
170



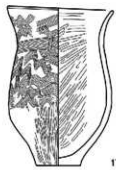
167



171

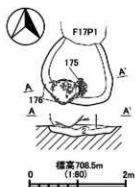


172



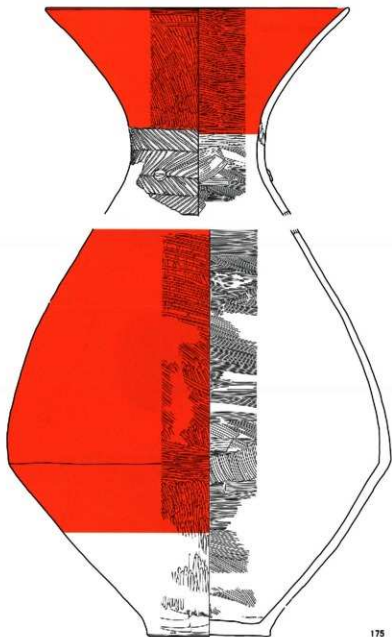
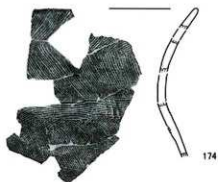
173

第247図 NME I D69号土坑



- 1.黒褐色土(19YR3/2)
明黄褐色のロームを
少量含む。
- 2.灰黄褐色土(10YR4/2)
に灰・黄褐色のローム・
明黄褐色のロームを含む。

NME I D70号土坑(1)



175

第248図 NME I D70号土坑(1)



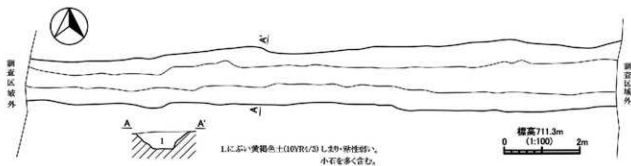
176

NME I D70土坑(2)

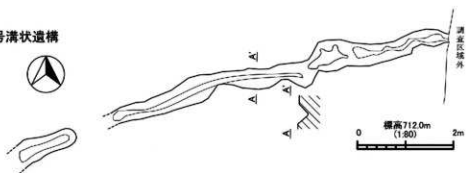
第249图 NME I D70土坑(2)

4. 溝状遺構

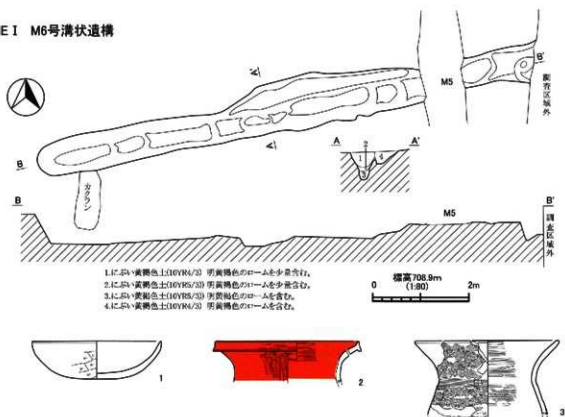
NME I M1号溝状遺構



NME I M2号溝状遺構

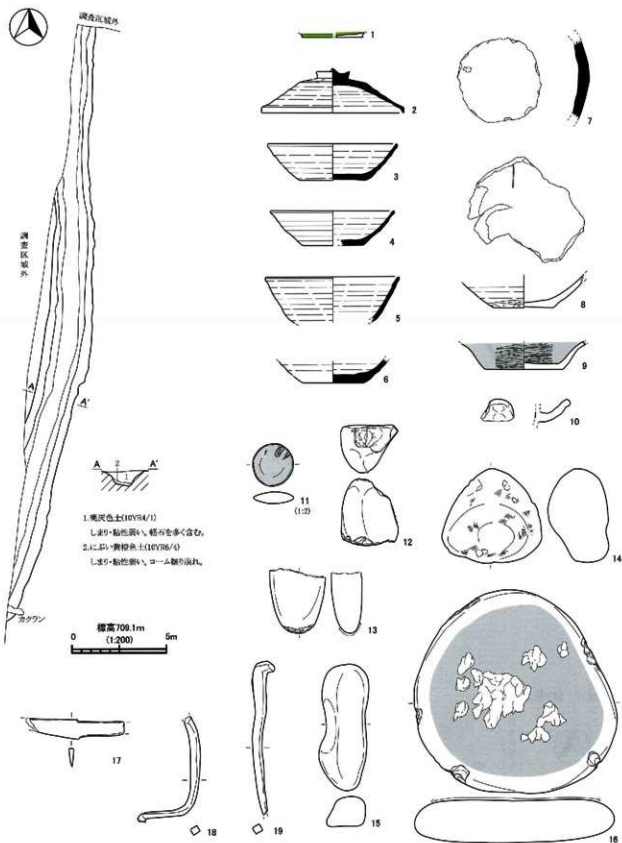


NME I M6号溝状遺構



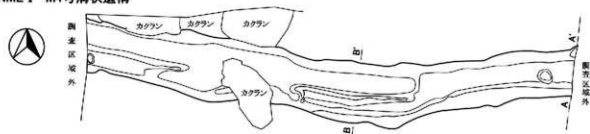
第250図 NME I M1号・M2号・M6号溝状遺構

NME I M3号溝状遺構



第251図 NME I M3号溝状遺構

NME I M4号溝状遺構



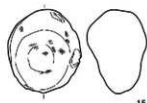
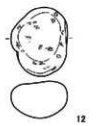
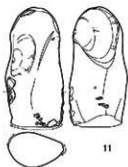
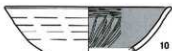
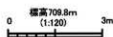
- 1.黒褐色土(0YR3/2) 小石・ローム粒子・ペリスを含む。
- 2.黒褐色土(0YR2/3) 黄褐色のロームブロックを含む、非常にしるる。
- 3.黒褐色土(0YR2/3) 2層より紫色強く、しるるなし。
- 4.褐色土(0YR4/0) 近い・棕色のロームブロック・ペリスを多量に含み、固まっている、黒色土ブロックを含む。
- 5.褐色土(0YR3/0) ロームブロック、明黄褐色のロームブロックを含む。
- 6.暗褐色土(0YR3/2) ローム粒子を多量に含む。
- 7.近い・黄褐色土(0YR6/4) ローム粒子、主に黒褐色土ブロックを含む。



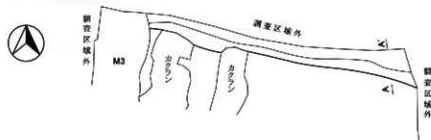
B'



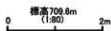
A'



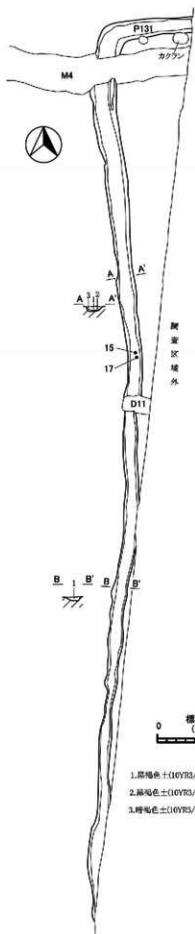
NME I M7号溝状遺構



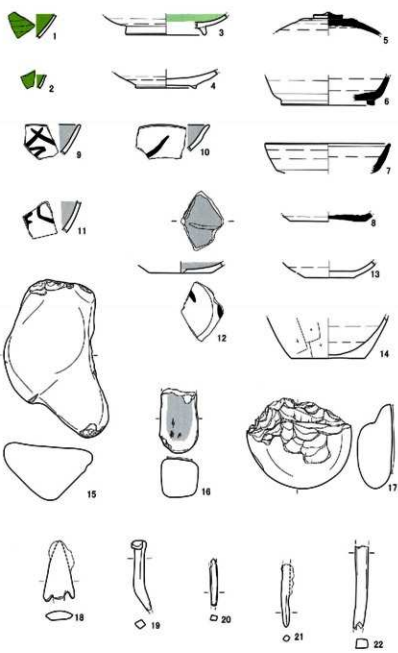
A'



第252図 NME I M4号・M7号溝状遺構



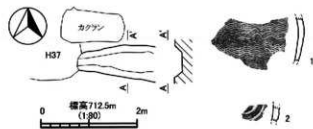
NME I M5号溝状遺構



- 1.黒褐色土(10V73)/2) ローム粒子+気泡を含む。しるる。
- 2.黒褐色土(10V73)/2) よくしるる。明黄褐色のロームの細か+ブロックを含む。
- 3.暗褐色土(10V73)/3) 明黄褐色のロームブロック。1~3cm大を多く含む。

第253図 NME I M5号溝状遺構

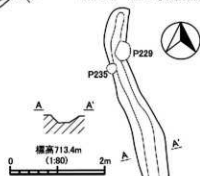
NME I M14号溝状遺構



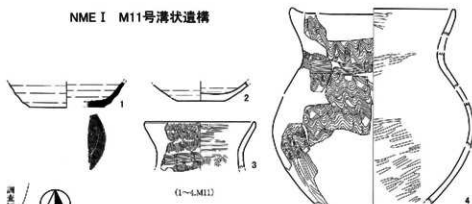
NME I M9号溝状遺構



NME I M10号溝状遺構

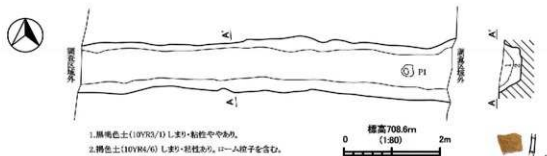


NME I M11号溝状遺構

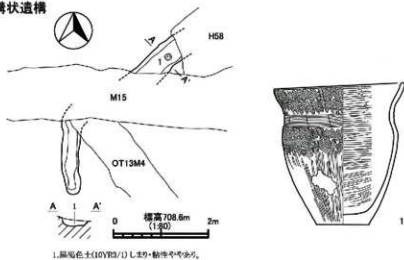


第254図 NME I M9~11号・M14号溝状遺構

NME I M15号溝状遺構



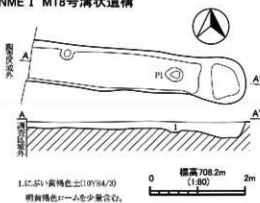
NME I M16号溝状遺構



NME I M17号溝状遺構

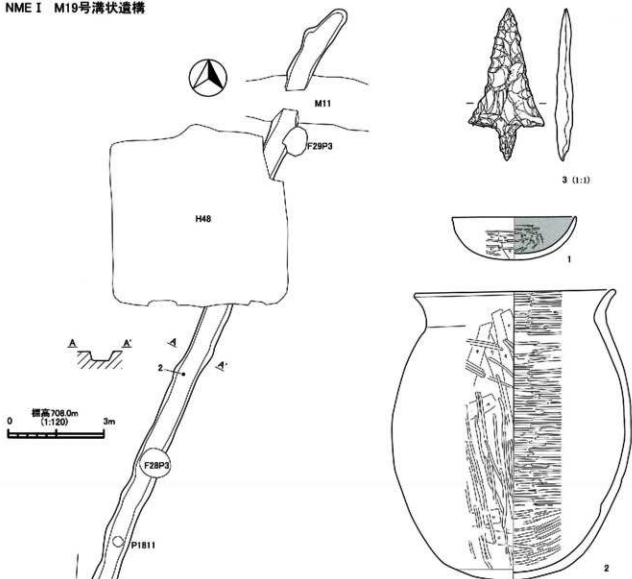


NME I M18号溝状遺構



第255図 NME I M15～M18号溝状遺構

NME I M19号溝状遺構

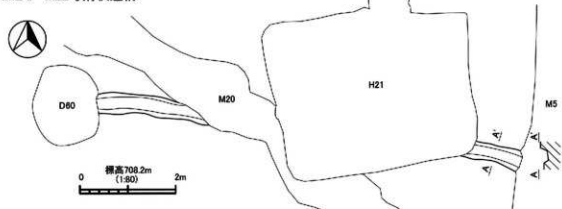


NME I M25号溝状遺構

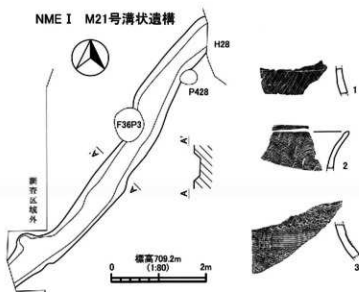


第256図 NME I M19号・M25号溝状遺構

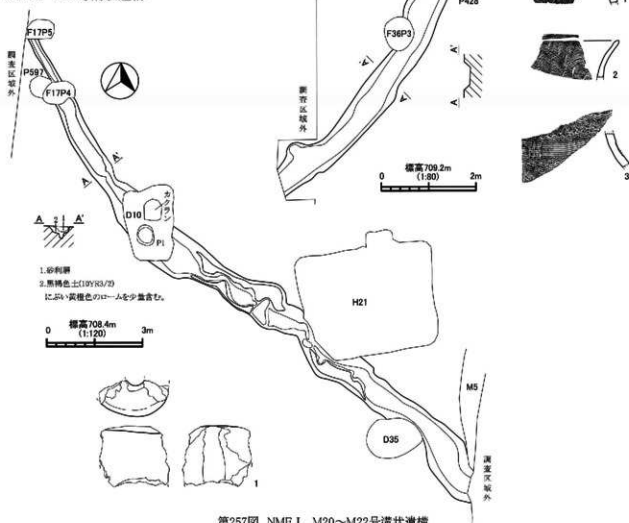
NME I M22号溝状遺構



NME I M21号溝状遺構

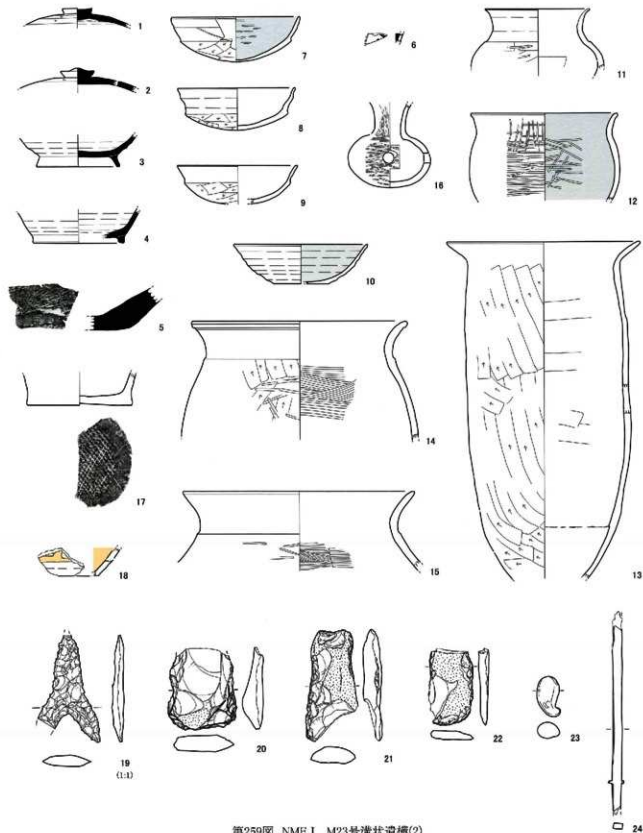


NME I M20号溝状遺構



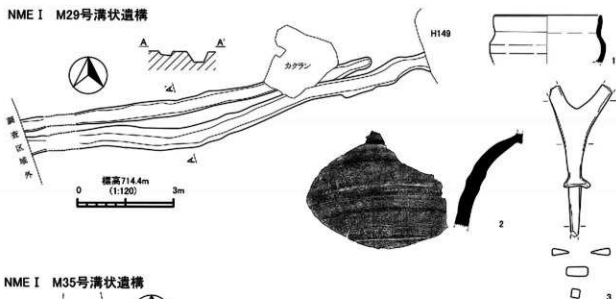
第257図 NME I M20～M22号溝状遺構

NME I M23号溝状遺構(2)

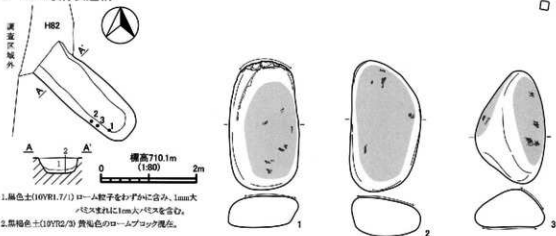


第259区 NME I M23号溝状遺構(2)

NME I M29号溝状遺構

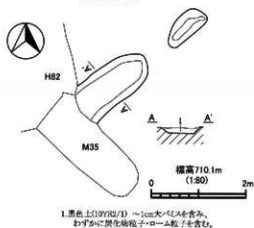


NME I M35号溝状遺構



- 1.黒色土(09YR1.7/1) コーシ粒子をわずかに含み、1mm大ハリスまじりに1mm大ハリスを含む。
- 2.黒褐色土(09YR2/3) 黄褐色のロームブロック混在。

NME I M36号溝状遺構



- 1.黒色土(09YR2/1) ~1cm大ハリスを含み、わずかに炭化稲粒・ローム粒子を含む。

NME I M42号溝状遺構

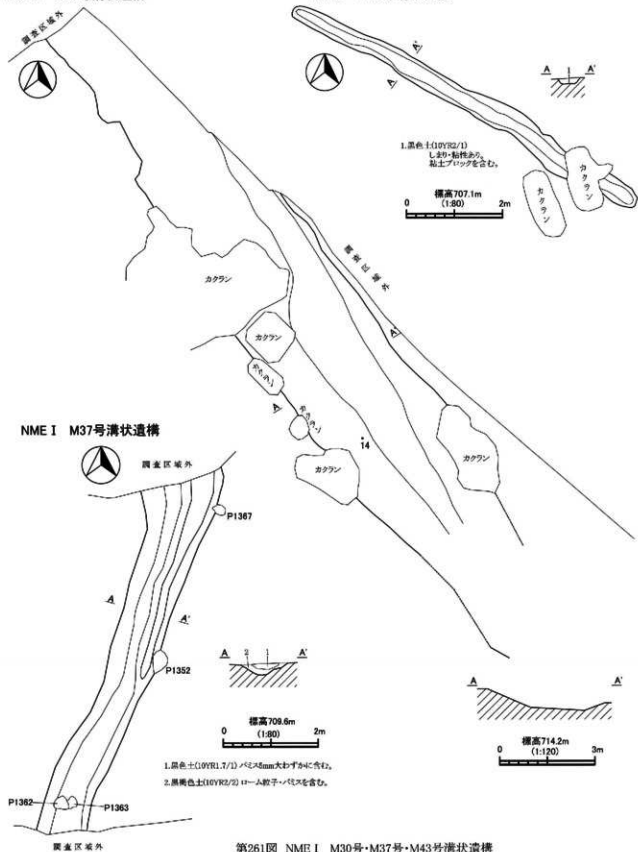


- 1.深黄褐色土(09YR1/2) 黄褐色のシルトを含む。

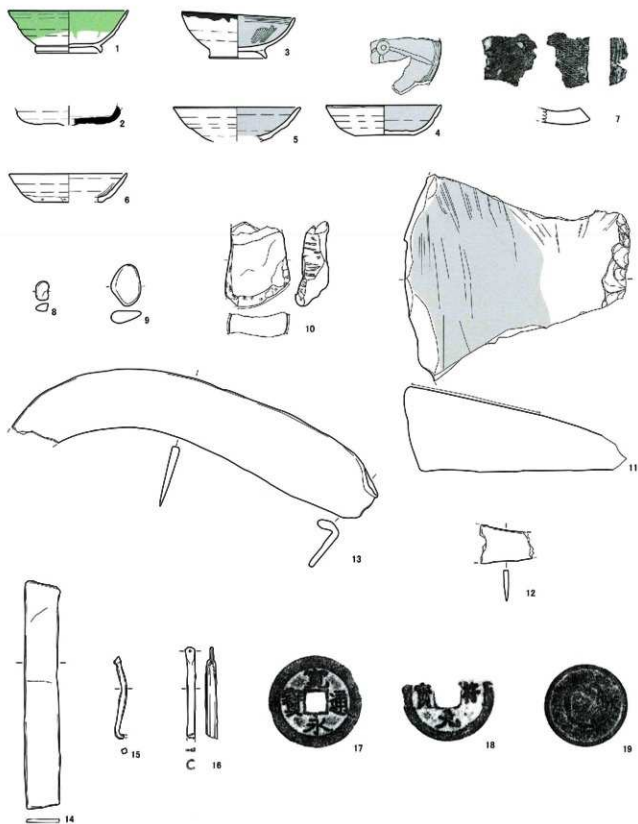
第260図 NME I M29号・M35号・M36号・M42号溝状遺構

NME I M30号溝状遺構

NME I M43号溝状遺構



第261図 NME I M30号・M37号・M43号溝状遺構

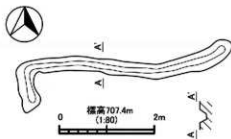


第262图 NMR I M30号溝状遺構(2)

NME II M52号溝状遺構



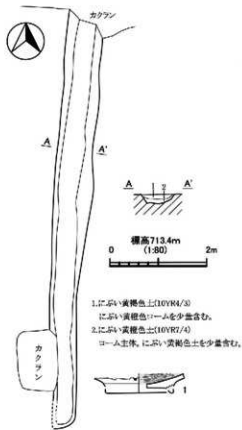
NME I M44号溝状遺構



NME II M51号溝状遺構

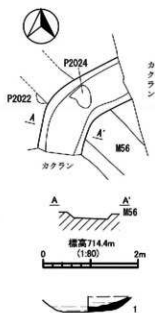


NME II M55号溝状遺構

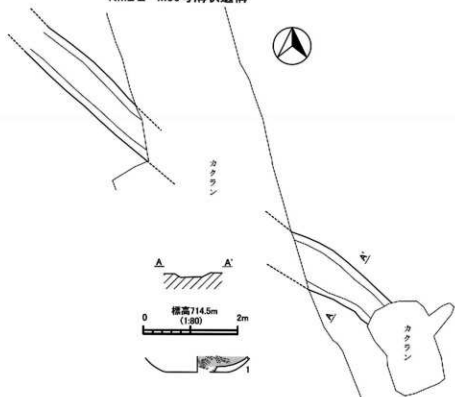


第263図 NME I M44号・II M51号・II M52号・II M55号溝状遺構

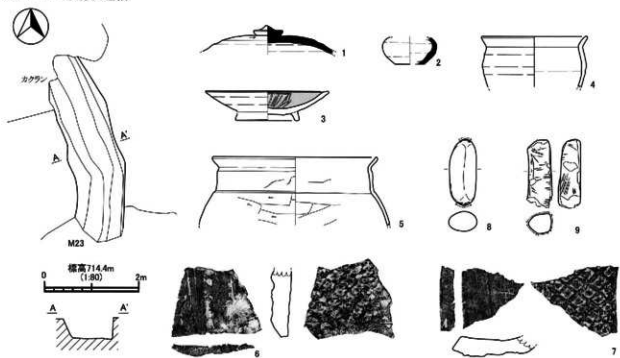
NME II M50号溝状遺構



NME II M56号溝状遺構



NME II M63号溝状遺構



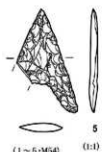
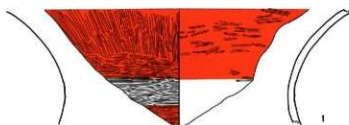
第264図 NME I M50号・M56号・M63号溝状遺構

NME II M53号・M54号溝状遺構



標高713.3m
(1:120) 3m

1. 砂層
2. におい・黄褐色土(0YR6/4)シルト層
3. におい・黄褐色土(0YR6/4)シルトと砂利の混在層。下層部には砂利が充填する。
4. 黒褐色土(0YR2/2.5)におい・黄褐色のシルトを含む。砂利を少量含む。
5. 黒褐色土(0YR2/2.5)におい・黄褐色のシルトを多く含む。砂利を含む。
6. におい・黄褐色土(0YR6/3)シルト質土主体。砂を多く含む。

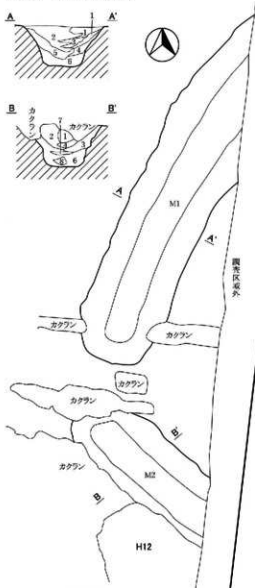


(1~5-M54) (1:1)

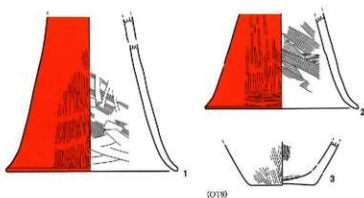
第265図 NME II M53号・M54号溝状遺構

5. 周溝墓と土器棺墓

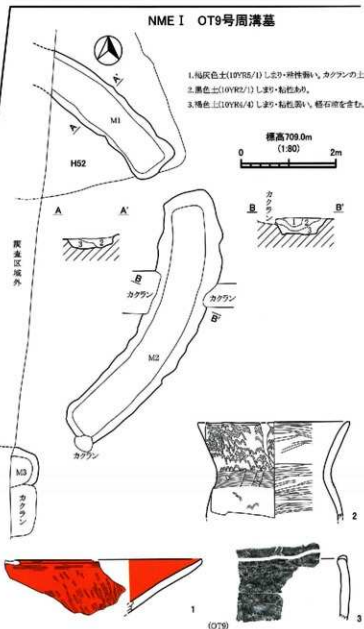
NME I OT8号周溝墓



1. に近い黄褐色土(10YR6/3)しまり・粘性弱い。
2. 黒色土(10YR2/1) 扇形が強く、しじりあり。
礫石粒子を含む。
3. に近い黄褐色土(10YR6/3)しまり・粘性あり。
礫石粒子を多く含む。
4. に近い黄褐色土(10YR7/3)しじり・粘性弱い。
ぼろぼろのローム層。
5. 黄褐色土(10YR5/6)ローム土と黒色土が
混在している。
6. 黒色土(10YR4/4)しじり・粘性弱い。
ローム層が層状になっている。
7. 濃黄褐色土(10YR3/3)しじり強く、粘性ややあり。
8. 明黄褐色土(10YR6/6)ロームブロック。



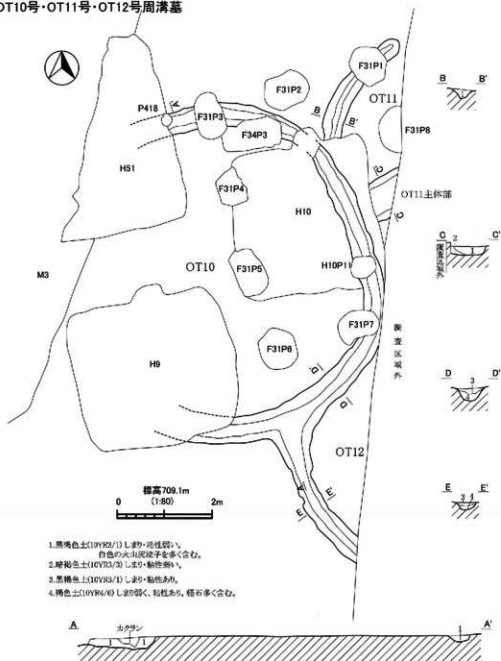
NME I OT9号周溝墓



1. 褐灰色土(10YR5/1)しじり・粘性弱い。カタランの上。
2. 黒色土(10YR2/1)しじり・粘性あり。
3. 褐色土(10YR6/4)しじり・粘性弱い。礫石層を含む。

第266図 NME I OT8号・OT9号周溝墓

NME I OT10号・OT11号・OT12号周溝墓



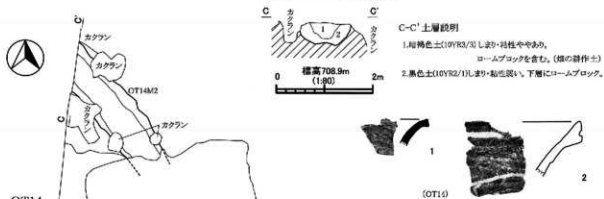
- 1.黒褐色土(10YR5/1)しまり・粘性弱い、
白色の火山灰砂子を多く含む。
- 2.暗褐色土(10YR3/3)しまり・粘性強い。
- 3.黒褐色土(10YR3/1)しまり・粘性あり。
- 4.褐色土(10YR6/6)しまり部く、粘性あり、礫石多く含む。



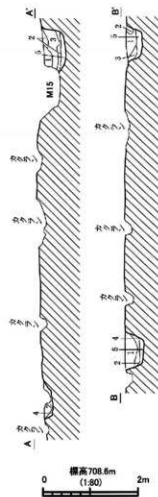
(OT10)

第267図 NME I OT10～OT12号周溝墓

NME I OT14号周溝墓



NME I OT13号周溝墓

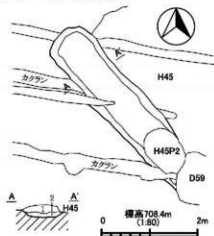


A-A'・B-B' 上層説明

1. 黒色土(10YR2/1)しまり・粘性あり、軽石殻を多く含む。
2. 灰黄褐色土(10YR4/2)しまり・粘性强い、さらさらしている。
3. 暗褐色土(10YR3/3)しまり弱く、粘性あり、ロームブロックを含む。
4. 黄褐色土(10YR5/6)しまり・粘性弱い、ローム主体。
5. 黄褐色土(10YR7/6)しまり弱く、粘性あり、黒色のブロックを含む。

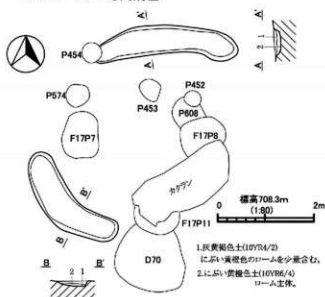
第268図 NME I OT13号・OT14号周溝墓

NME I OT15号周溝墓



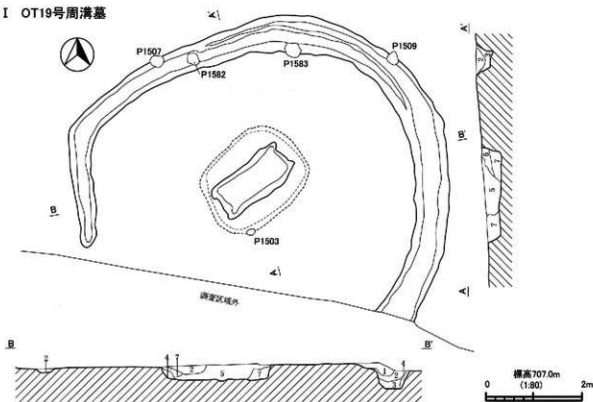
- 1.黒褐色土(10YR5/1) しまり・粘性弱い、ローム粒子を含む。
- 2.黄褐色土(10YR5/8) しまり・粘性弱い、ローム粒子あり。

NME I OT16号周溝墓



- 1.灰黄褐色土(10YR4/2) におよぶ黄褐色のロームを少量含む。
- 2.におよぶ黄褐色土(10YR6/4) ローム主体。

NME I OT19号周溝墓

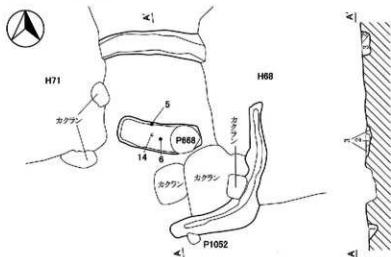


- 1.灰黄褐色土(10YR5/2) しまり・粘性弱い、砂を多く含む。
- 2.黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり、砾石を多く含む。
- 3.黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性あり、ロームブロックを多く含む。
- 4.明黄褐色土(10YR5/8) しまり・粘性弱い、ローム主体。
- 5.黒褐色土(10YR3/2) しまり・粘性ややあり、周溝の上より砾石を多く含む。
- 6.黒褐色土(10YR2/1) しまり・粘性あり、意味が一様強い、人為的埋土。
- 7.黄褐色土(10YR5/8) しまり・粘性あり、ロームブロックと黒色土の混合土、人為的埋土。



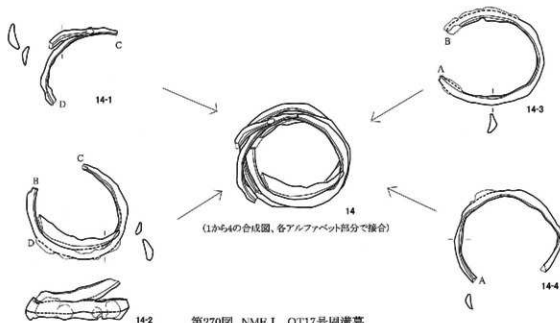
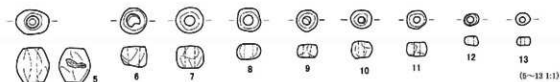
第269図 NME I OT15号・OT16号・OT19号周溝墓

NME I OT17号周溝墓



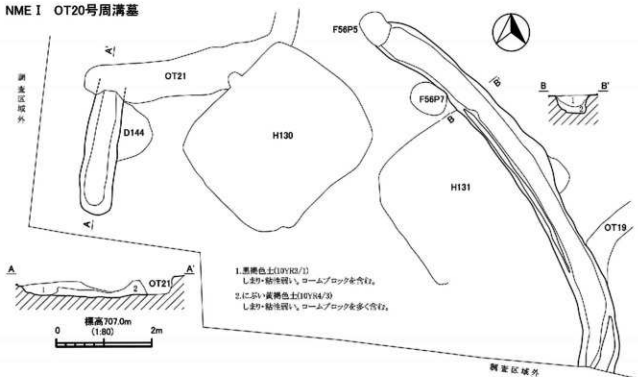
1. 黒色土(10YR2/1) ~3mm大バミス・ローム粒子を含む。
2. 黒褐色土(10YR2/2) 細かなバミス・ローム粒子を含む。
3. 暗褐色土(10YR2/3) ローム粒子 ~3mm大バミスを多く含む。

標高711.7m
(1.00)
0 2m

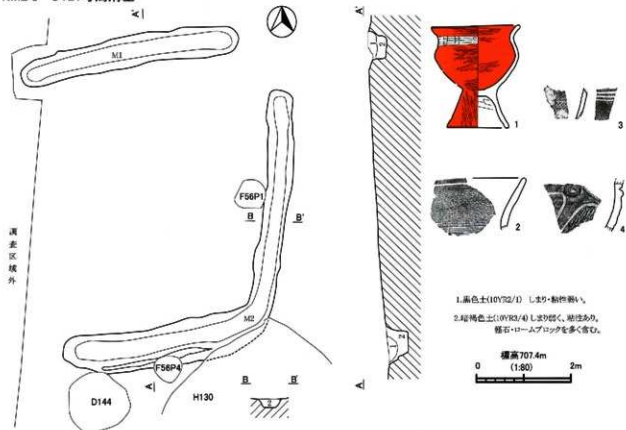


第270図 NME I OT17号周溝墓

NME I OT20号周溝墓

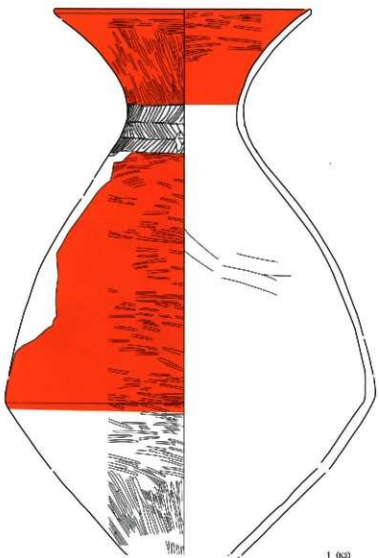
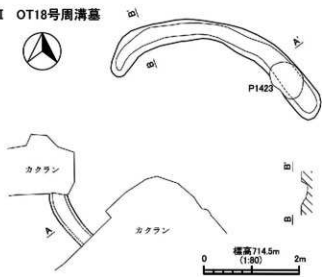


NME I OT21号周溝墓

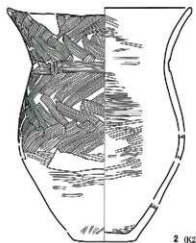
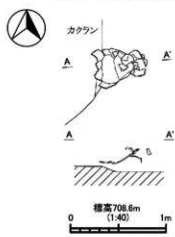


第271図 NME I OT20号・OT21号周溝墓

NME I OT18号周溝墓



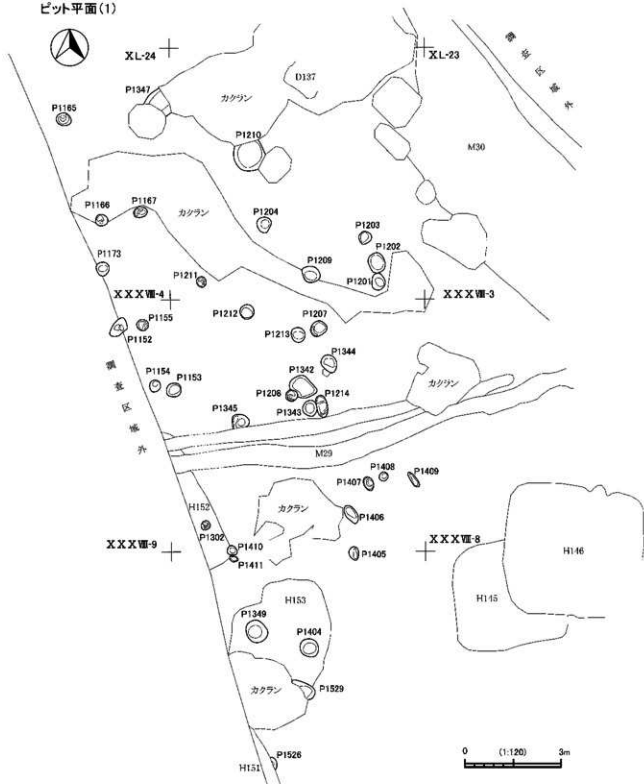
NME I K2号土器棺墓



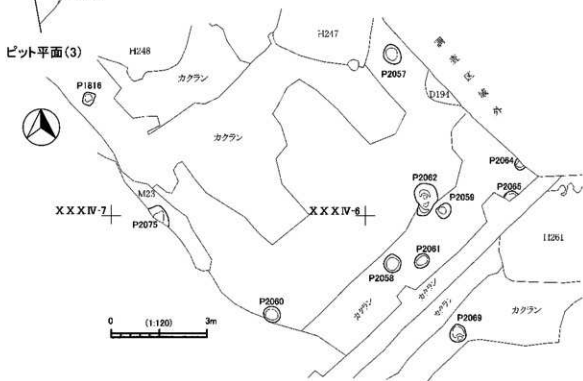
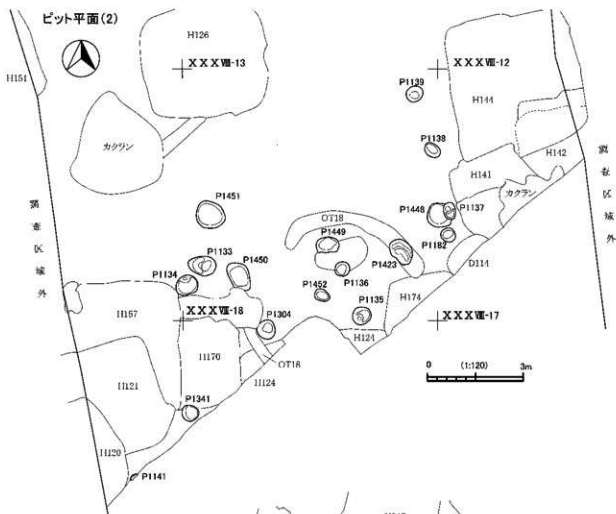
第272図 NME I OT18号周溝墓・K2号土器棺墓

6. ビット

ビット平面(1)

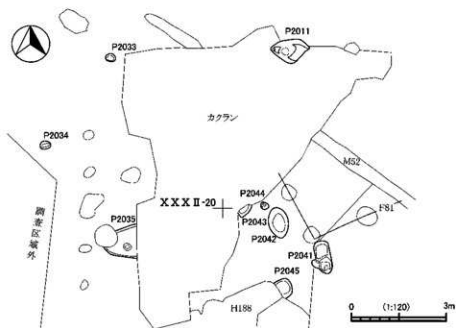


第273図 NME I・IIビット平面(1)

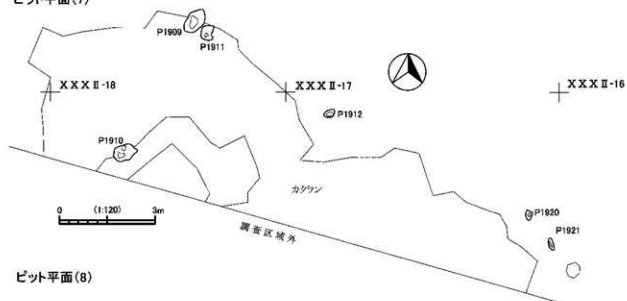


第274図 NME I・IIビット平面(2)・(3)

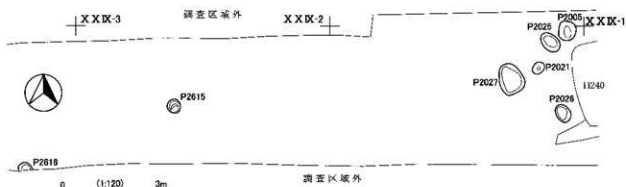
ビット平面(6)



ビット平面(7)

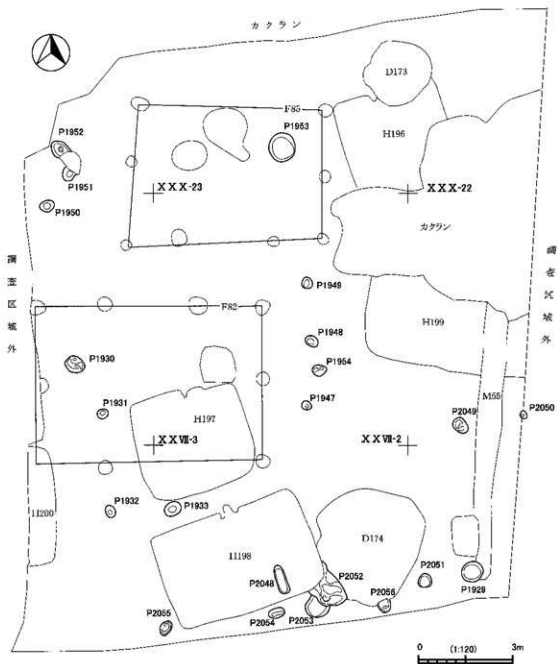


ビット平面(8)



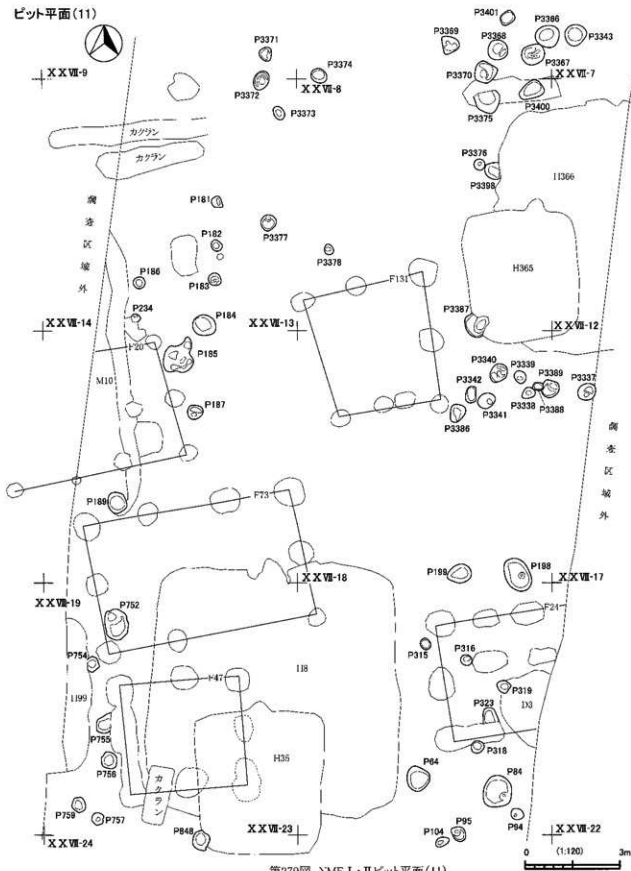
第276図 NME I・IIビット平面(6)・(7)・(8)

ビット平面(10)



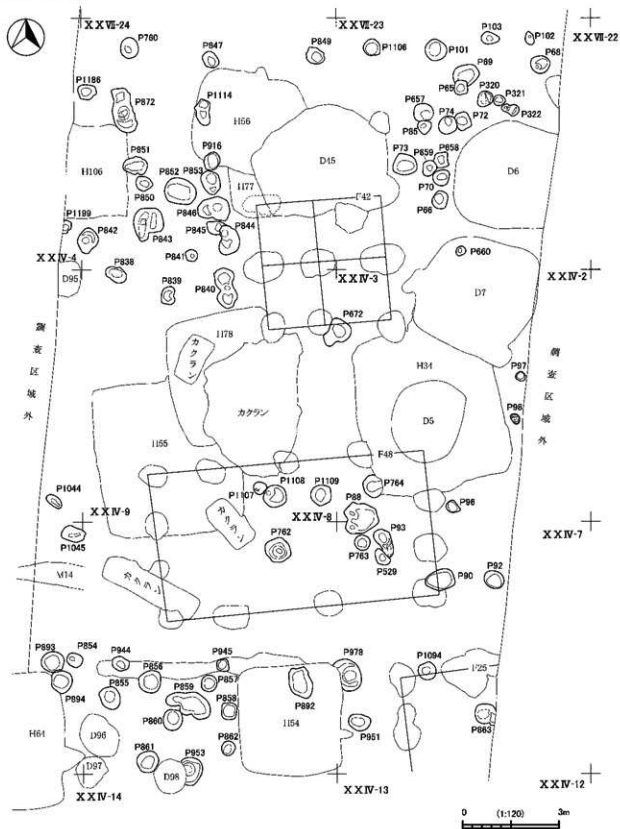
第278図 NME I・IIビット平面(10)

ピット平面(11)



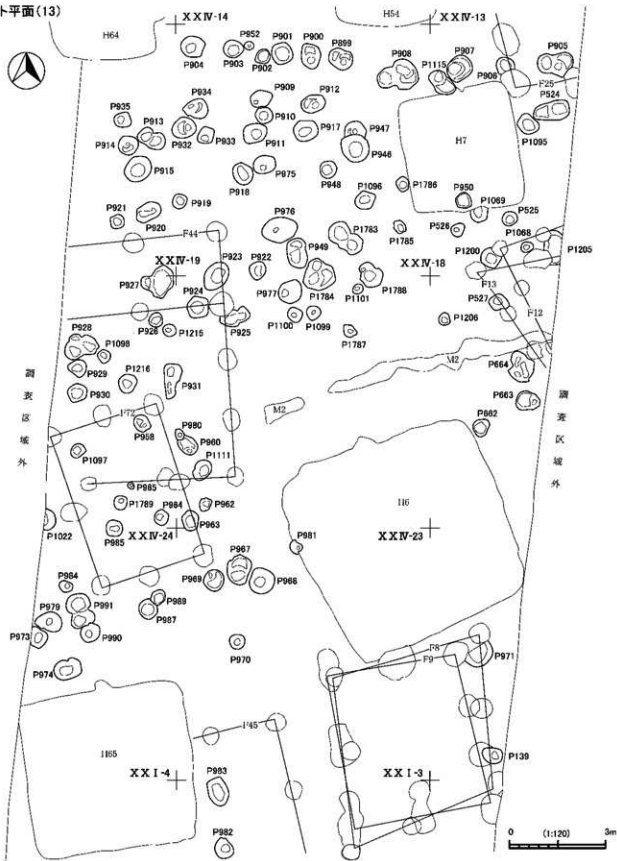
第279図 NME I・IIピット平面(11)

ピット平面(12)



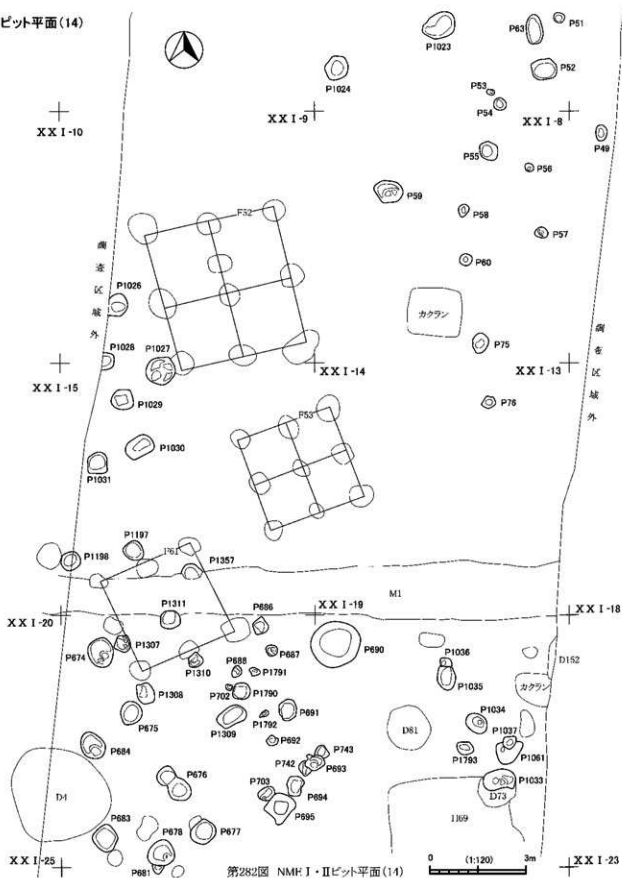
第280図 NME I・IIピット平面(12)

ビット平面(13)

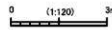


第281図 NME I・IIビット平面(13)

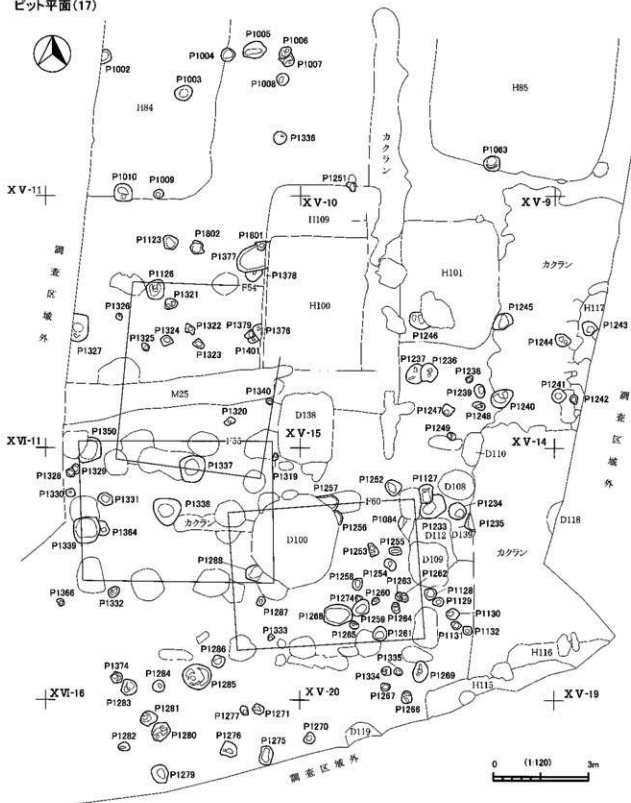
ビット平面(14)



第282図 NMH J・IIビット平面(14)

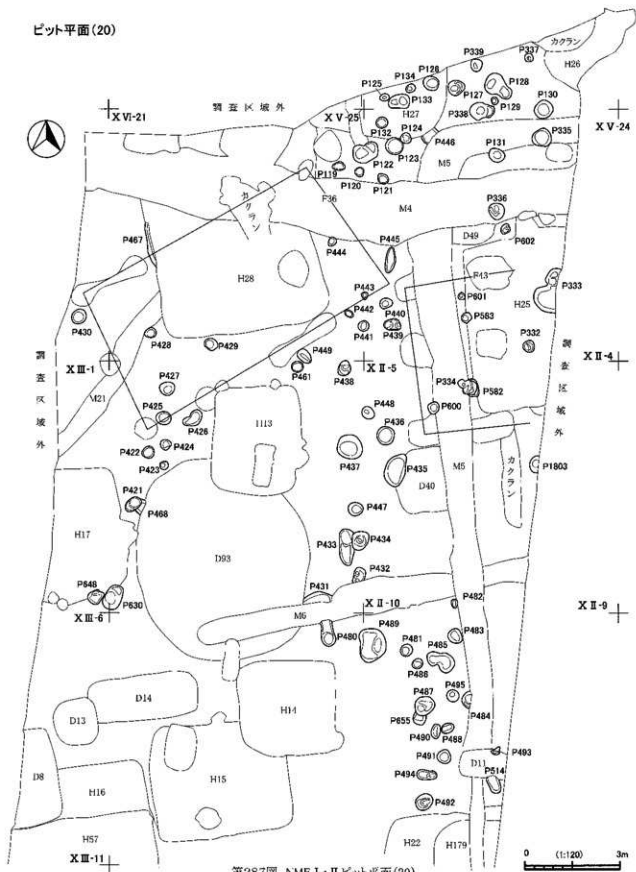


ビット平面(17)



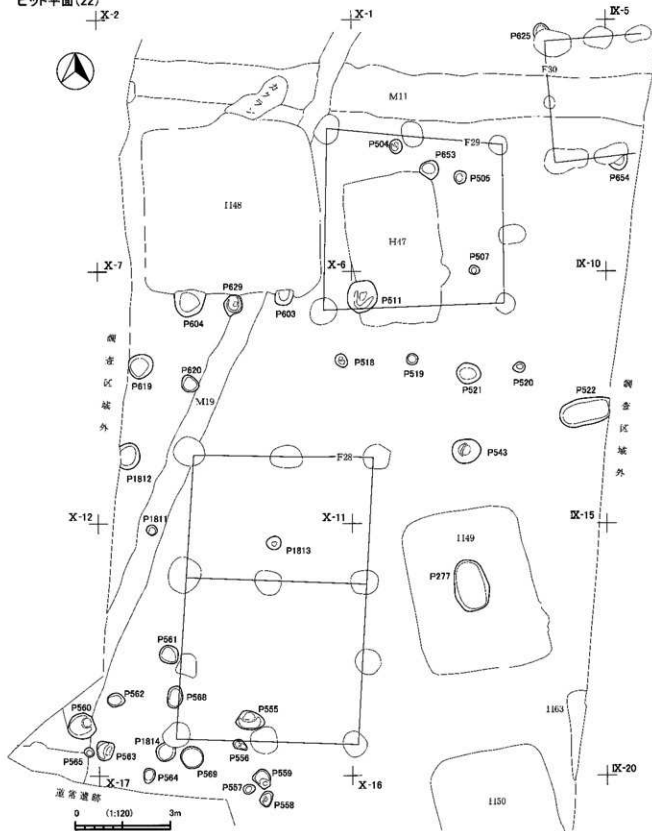
第285図 NME I・IIビット平面(17)

ピット平面(20)



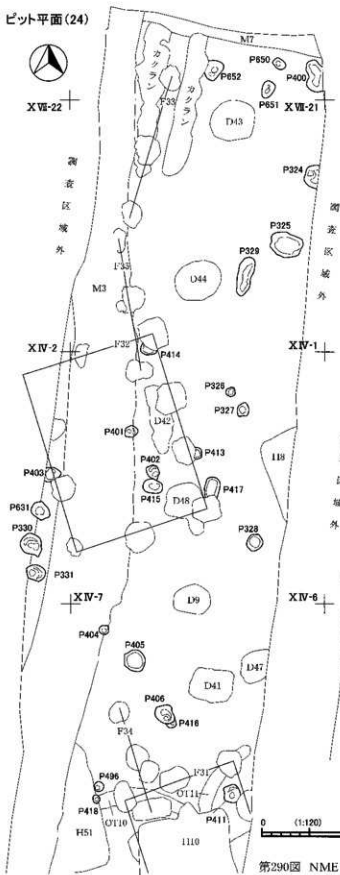
第287図 NME I・IIピット平面(20)

ビット平面 (22)

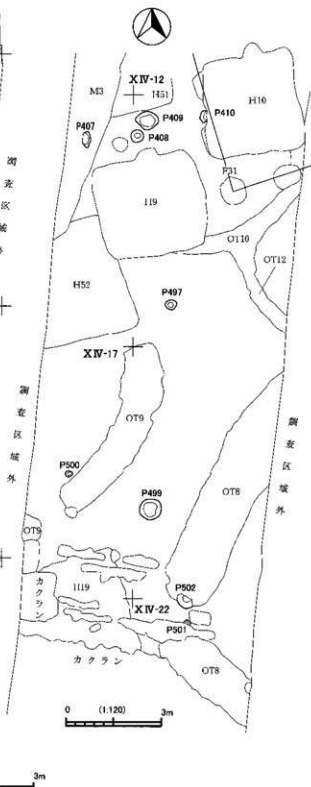


第289図 NMH I・IIビット平面(22)

ビット平面 (24)

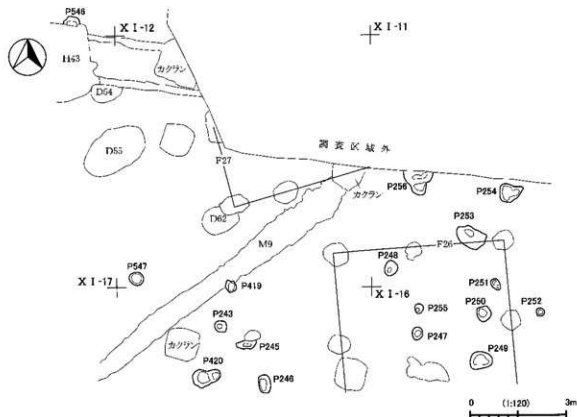


ビット平面 (25)

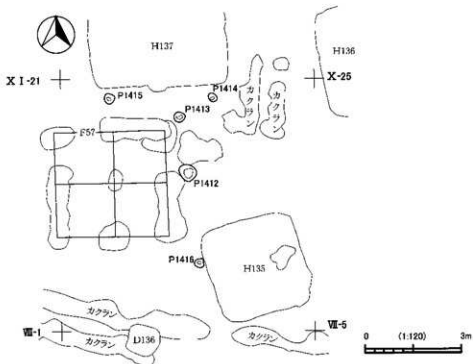


第290図 NME I・IIビット平面(24)・(25)

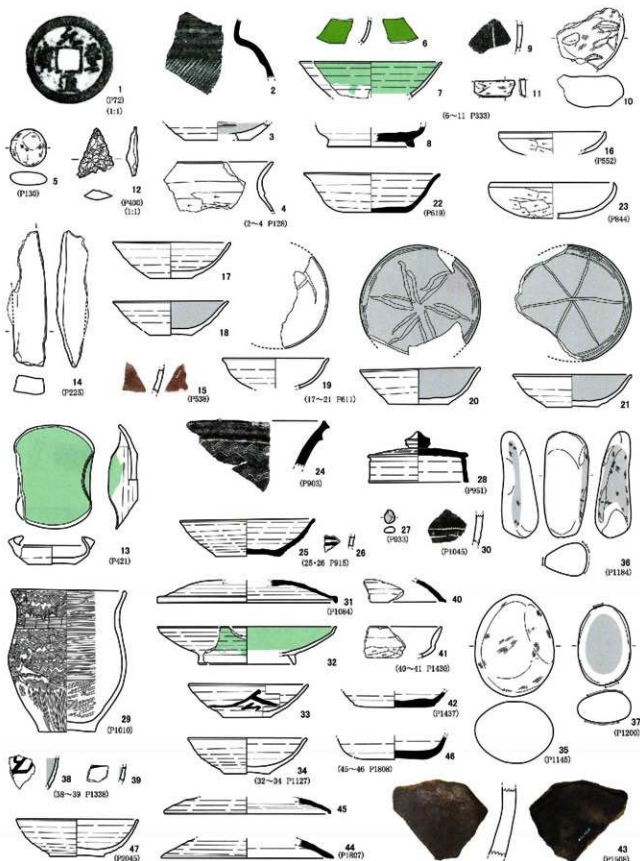
ピット平面(26)



ピット平面(27)

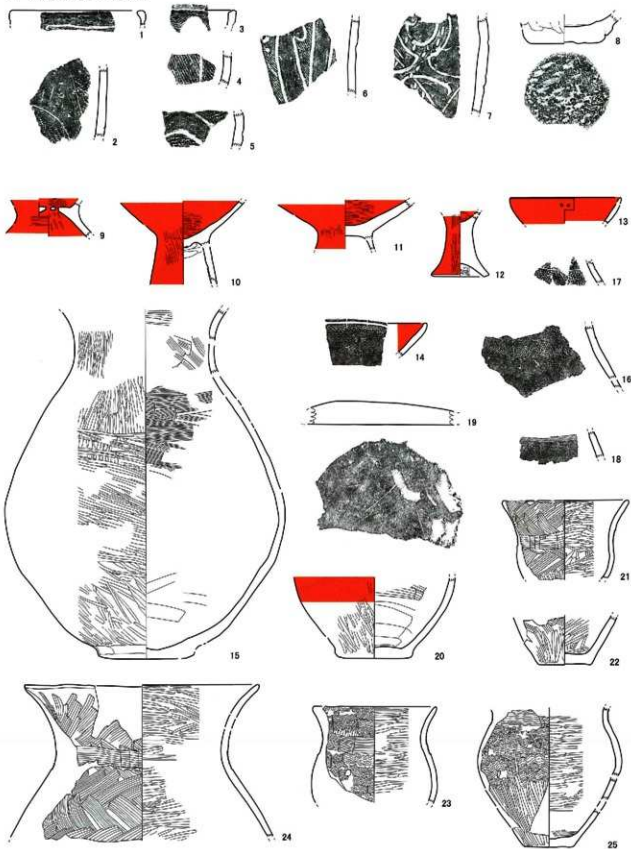


第291図 NME I・IIピット平面(26)・(27)

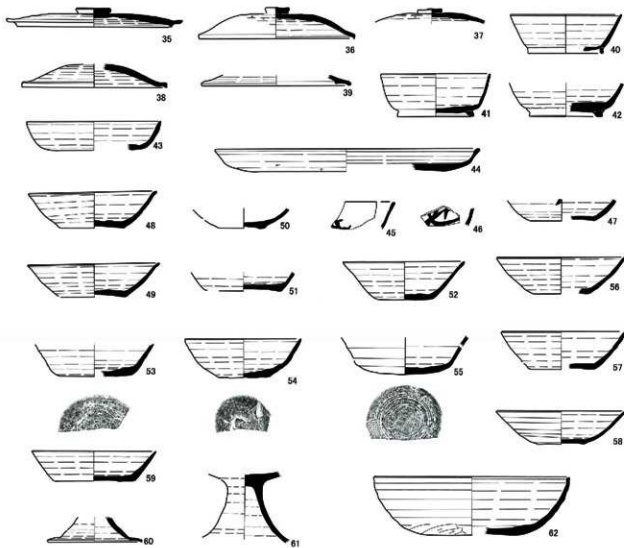
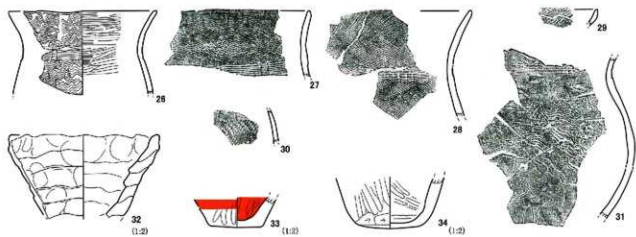


第293図 NME I・IIピット出土遺物

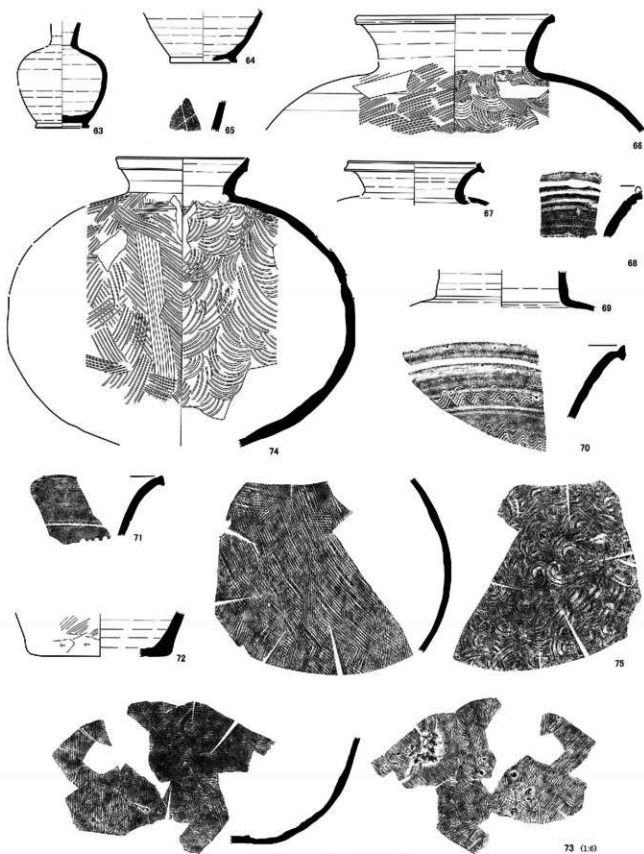
7. 遺構外出土遺物



第294図 遺構外出土遺物(1)

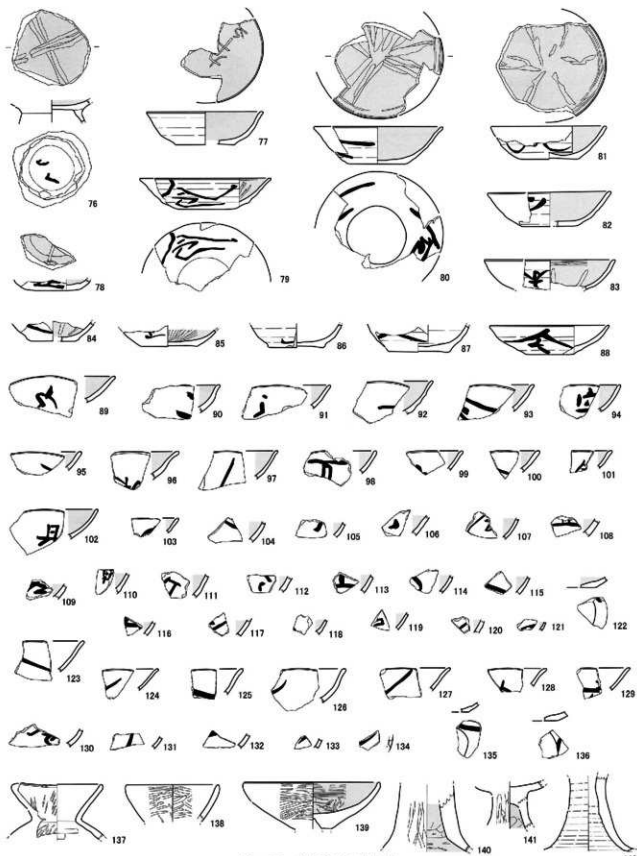


第295图 遺構外出土遺物(2)

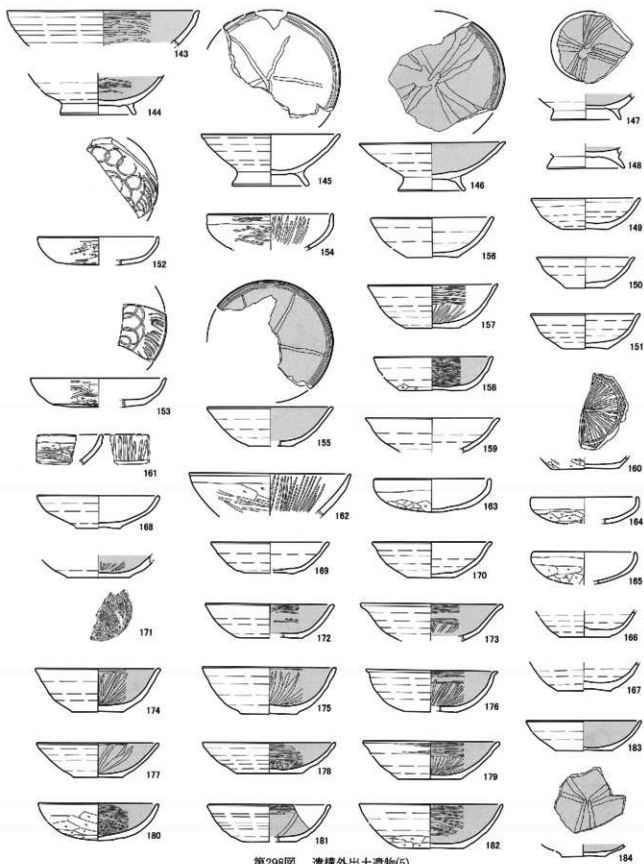


第296圖 遺構外出土遺物(3)

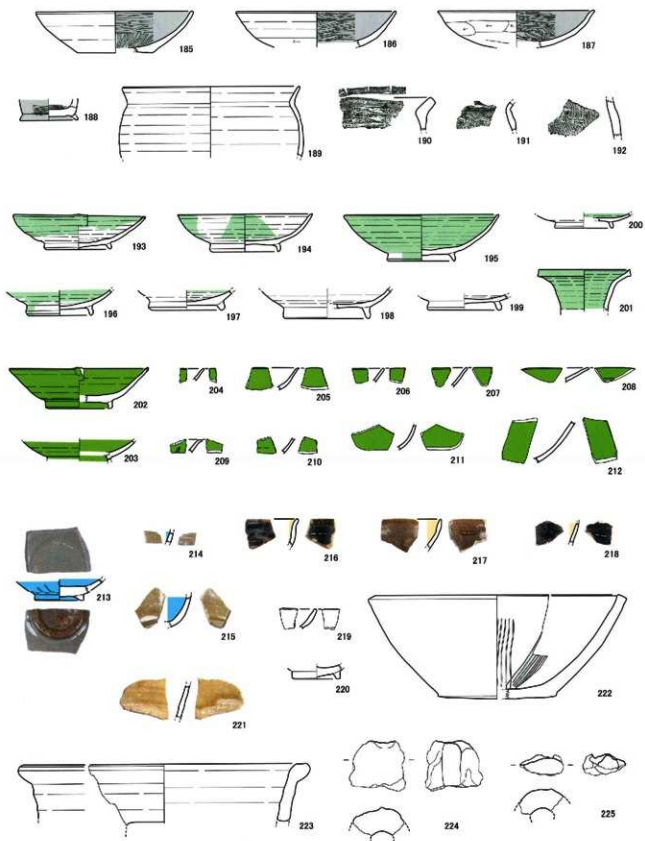
73 1:10



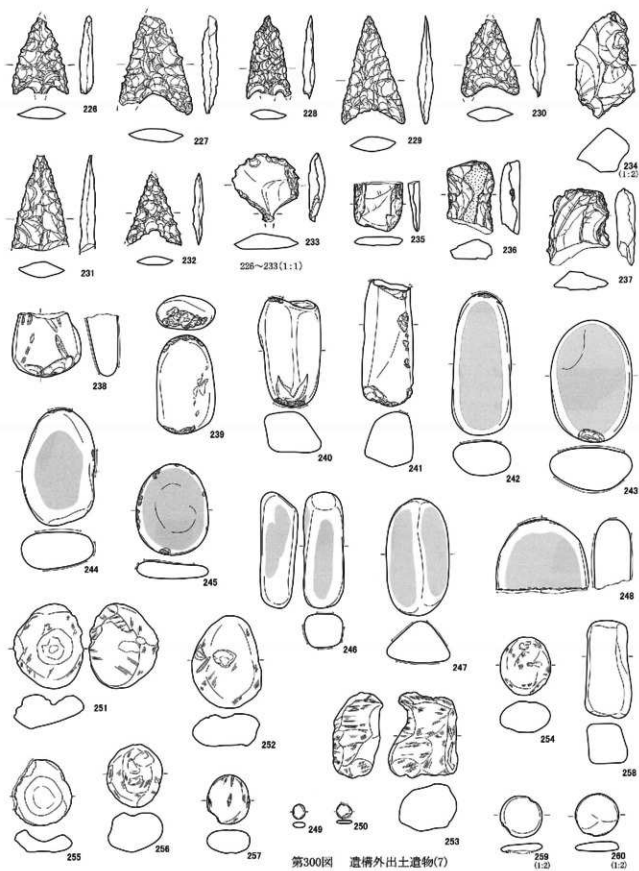
第297图 遺構外出土遺物(4)



第298图 渣桥外出土遗物(5)



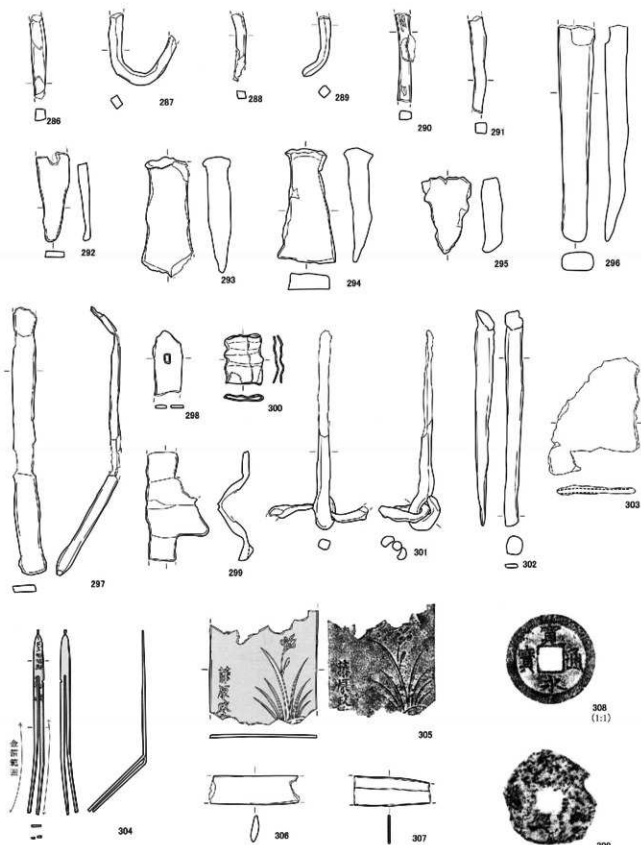
第299图 遗物外出土遺物(6)



第300图 遺構外出土遺物(7)



第301图 遺構外出土遺物(8)



第302圖 遺構外出土遺物(9)

科学分析
まとめ

第Ⅷ章 科学分析

株式会社 アーキジオ

はじめに

宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱは、千曲川の支流である湯川右岸の台地上に立地する。本遺跡は、過去の発掘調査により8世紀代を中心とした集落跡であることが確認されている。今回の発掘調査は、南北約550m、東西200mに及ぶ範囲が対象とされ、調査区の南端部では中世を主体とする遺構が多く確認されている。また、中間地点では弥生時代後期の集落と墓域および古代の集落、北部では奈良・平安時代を主体とする集落が展開することが確認されている。

本報告では、今回の発掘調査より出土した木製品や炭化材、種実、動物遺存体の種類や動・植物利用、顔料とみられる赤色物質の材質などの検討を目的として、自然科学分析調査を実施した。

Ⅰ木製品・炭化材の樹種

1.試料

試料は、H38 (No.1)、H52 (No.2)、H141 (No.3)、OT17 (No.4)より出土した炭化材4点と、D117 (No.5)、NSDJ.D6およびD20 (No.6~15)より出土した木製品など11点である。このうち、No.5には大小2個体が認められたため、2点を分析対象としている。

2.分析方法

木製品などは、剃刀を用いて木口(横断面)・柀目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の徒手切片を直接採取する。切片をガム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入し、プレバートとする。プレバートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察する。炭化材は、自然乾燥させた後、双眼実体顕微鏡や走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察する。各試料で観察された特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)、Wheeler他(1998)、Richter他(2006)を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林(1991)や伊東(1995,1996,1997,1998,1999)を参考にする。

3.結果

結果を表1に示す。木製品および木材は、針葉樹4分類群(カラマツ、マツ属複雑管束亜属、サワラ、ヒノキ科)と広葉樹1分類群(イボタノキ属)、炭化材は広葉樹3分類群(コナラ属コナラ亜属クヌギ節、コナラ属コナラ亜属コナラ節、イイギリ)に同定された。なお、H52 (No.2)は、外観が黒色を呈し、硬く、断面は金属光沢を有する。やや層状をなす面構造が発達し、面構造に垂直な断面は多孔質な組織となっており、餅板状~不定形状の孔隙が発達する。面構造と平行に剥離した面は、黒色細粒で網目状~脈状の割れ目が散在する。実体鏡下においては、鉱物粒子は認められず、かつガラス質とも判断されない。岩石片として類似したものとしては粘板岩、黒曜石などを挙げるができるが、粘板岩に特徴的な雲母鉱物は検出されず、黒曜石に特有な火山ガラス、斑晶も認められない。層状の断面における多孔質な組織や固結度を考慮すると、褐炭? (質の悪い石炭)などの可能性がある。以下に、同定された各分類群の解剖学的特徴等を記す。
・カラマツ (*Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere) マツ科カラマツ属

軸方向組織は、仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急で、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、柔細胞、仮道管、水平樹脂道、エビセリウム細胞で構成される。柔組織壁は滑らかで、垂直壁にはじゅず状の肥厚が認められる。放射仮道管の有縁喉孔の

フチはカラマツ型となる。分野壁孔はトウヒ型〜ヒノキ型で、1分野に3-5個。放射組織は単列、1-20細胞高。

・マツ属複雑管束亜属 (Pinus subgen. Diploxylon) マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急〜やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エビセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1-15細胞高。

・サワラ (Chamaecyparis pisifera (Sieb. et Zucc.) Endlicher) ヒノキ科ヒノキ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はヒノキ型〜スギ型で、1分野に1-3個。放射組織は単列、1-15細胞高。

・ヒノキ科 (Cupressaceae)

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか〜やや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔は保存が悪く観察できない。放射組織は単列、1-10細胞高。

上記したサワラを含むヒノキ科のいずれかと考えられるが、分野壁孔が観察できないなど、十分な特徴の観察に至らないためヒノキ科とした。

・コナラ属コナラ亜属クスギ節 (Quercus subgen. Quercus sect. Cerris) ブナ科

環孔材で、孔周部は1-2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、単独で放射方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (Quercus subgen. Quercus sect. Prinus) ブナ科

環孔材で、孔周部は1-2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火災状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・イイギリ (Idesia polycarpa Maxim.) イイギリ科イイギリ属

散孔材で、道管は単独または2-4個が放射方向あるいは斜方向に複合して散在し、年輪界付近で径を減少させる。道管の分布密度は比較的高い。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1-3細胞幅、1-20細胞高。

・イボタノキ属 (Ligustrum) モクセイ科

散孔材で、道管は単独または2個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-2細胞幅、1-20細胞高。

No.	道管	種類	時期	樹種
1	F38, II区	炭化物	平安時代末	コナラ属コナラ亜属クスギ節
2	F52, II区	炭化物	奈良時代	不明(橋渡?)
3	F141, IV区	炭化物 5片	平安時代末	イイギリ
4	OT17, 主体部	炭化物		コナラ属コナラ亜属コナラ節
5	D117	木	中世	マツ属複雑管束亜属
6	NSD1.D6, 井戸	平板	中世	サワラ
7	NSD1.D6, 井戸底	環孔材	中世	イボタノキ属
8	NSD1.D6, 井戸	薄平板	中世	サワラ
9	NSD1.D6, 井戸	高木炭化	中世	サワラ
10	NSD1.D6, 井戸	環孔材 2	中世	ヒノキ科
11	NSD1.D6, 井戸	南東北内柾木 2	中世	ヒノキ科
12	NSD1.D6, 井戸	南北朝炭化	中世	カラマツ
13	NSD1.D6, 井戸	北宋炭化	中世	サワラ
14	NSD1.D6, 井戸	四格木炭化 3	中世	サワラ
15	NSD1.D20, 井戸	井戸木炭	中世	サワラ

4.考察

試料は、奈良時代および平安時代末の住居跡、周溝墓の主体部から出土した炭化材、中世の井戸跡の部材などから構成される。これらの試料のうち、奈良時代の住居跡（H52）から出土した炭化物は、木材組織が認められず、金属光沢を有する黒色を呈し、やや層状をなす面構造が発達するなどの外観的特徴が確認された。さらに、鉱物粒子が認められず、かつガラス質とも判断されないという組織的特徴や固結度などから褐炭？（質の悪い石炭）に由来する可能性がある。佐久市周辺では、褐炭の産出は知られていないが、最も近い産地として高崎市南西の碓氷川南北両側にある高崎炭田がある。褐炭は中部中新統の板鼻層に胚胎し、その炭層層は碓氷郡細野付近から安中・野附を経て高崎市館付近まで約25km続いている（鈴木,1986）。

平安時代末の住居跡から出土した炭化材には、クスギ節（II138）とイイギリ（H141）が確認された。クスギ節は、二次林や河畔林を構成する落葉高木で、木材は重硬で強度が高い。イイギリは、谷斜面等に生育する落葉高木で、木材は比較的軽軟で強度は低い。佐久盆地では、古代の竪穴住居跡から出土した炭化材について、多くの樹種同定が行われているが、平安時代末頃の資料は少ない。十石坂上遺跡（小諸市）の12世紀前半とされる住居跡出土炭化材はコナラ節が確認されている（パリオ・サーヴェイ株式会社,1995）。また、聖原遺跡（佐久市）の11世紀後葉とされる住居跡出土炭化材にはコナラ節を中心にクスギ節、ハンノキ亜属が混じるという結果が得られている（パリオ・サーヴェイ株式会社,2005）。

中世の井戸跡の部材には、サワラを主としてカラムツ、ヒノキ科、イボタノキ属などが確認された。カラムツは針葉樹としては比較的重硬で強度が高く、サワラやヒノキ科は木理が通直で割裂性・耐水性が高い。イボタノキ属は、比較的重硬で強度が高いが、小径の種類が多い。部材に多く認められたサワラは、現在の本遺跡周辺には自生していないが、群馬県との県境地域などに分布する。カラムツは、火山災害地の先駆植生としていち早く生育する針葉樹で、浅間山周辺に広く生育することから、いずれも周辺域より容易に入手できたと考えられる。なお、佐久市内での中世の井戸跡に関わる部材の調査事例については、西一本柳遺跡や榛名平遺跡などがあり、サワラやヒノキ科などが確認されている（株式会社古環境研究所,2001,2003）。今回の分析結果においても、サワラを主とする特徴が確認されたことから、当該期の井戸跡の部材としてサワラが多く利用されていたことが示唆される。

II.種実遺体同定

1.試料

試料は、H62 (No.1)、H84 (No.2,3)、H88 (No.4,5)、H101 (No.6) より出土した種実遺体6試料（45点）である。

2.分析方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察する。種実遺体の同定は、現生標本および石川（1994）、中山ほか（2000）との対照から実施し、個数を数えて一覧表で示す。分析後は、種実遺体を分類群毎に容器に入れて保管する。

表2.種実遺体分析結果

No.	遺精名	時期	分類群	部位	状態	数値 (個)	重量 (g)	備考
1	H62 No.9	平安	コナラ属	子葉	平分 炭化	1	0.23	長さ 12.49mm, 幅 10.29mm, 平分の厚さ 6.0mm
2	H84 No.1,5	弥生	オニグルミ	核	破片 炭化	3	0.55	計 1/2 個未満, 最大 15.38mm
3	H84, III区	弥生	オニグルミ 炭化材	核 破片	炭化	4 2	0.78 -	計 1/2 個程度, 最大 20.28mm
4	H88 No.1	平安	オニグルミ モモ	核 破片	炭化	12 18	0.51 2.07	計 1/2 個未満, 最大 15.33mm 計 2 個程度, 最大 16.24mm
5	H88, IV区	平安	オニグルミ	核	破片 炭化	1	0.5	1/2 個未満, 基部~側部欠損, 残存長 22.62mm, 幅 18.81mm, 半分の厚さ 8.33mm
6	H101 No.16	平安	オニグルミ	核	破片 炭化	4	0.5	計 1/2 個未満, 最大 19.76mm

3.結果

結果を表2に示す。4基の住居跡から出土した種実遺体には、木本3分類群（オニグルミ、コナラ属、モモ）43個を確認したほか、No.3より炭化材2個を確認した。

種実遺体は全て炭化している。栽培種は、No.4よりモモの核（破片）18個（2.1g）を確認した。栽培種を除いた分類群は、No.2～6より落葉高木のオニグルミの核（破片）24個（26.8g）、No.1より落葉または常緑高木のコナラ属の子葉（破片）1個（0.2g）を確認した。以下に、各分類群の形態的特徴等を記す。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura) クルミ科クルミ属

核は炭化しており黒色。完形ならば、長さ3～4cm、径2.5～3cm程度の頂部が尖る広円体で縦に1周する縫合線がある。最も大きい破片のH88.IV区（No.5）は、縫合線より半割し、基部～側部を欠損する。残存長は22.62mm、幅は18.81mm、半分の厚さは8.33mm、重量は0.5gであった。核は硬く緻密で、表面には縦方向に溝状の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・コナラ属 (*Quercus*) ブナ科

子葉は炭化しており黒色。楕円体で頂部はやや尖り、基部は切形。破片は、2枚からなる子葉の合わせ目に沿って縦に割れた半分で、長さが12.5mm、幅が10.3mm、厚さ（半分）が6.0mmを測る。子葉は硬く緻密で、表面には縦方向に走る維管束の圧痕がみられる。合わせ目の表面は平滑で、正中線上は僅かに窪み、頂部には径1mm程度の小さな孔（主根）がある。大型で球状を呈すクヌギ (*Q. acutissima* Carruthers) の類の子葉とは区別され、コナラ (*Q. serrata* Thunb. ex Murray) や小型のミズナラ (*Q. crispula* Blume)、アカガシ亜属 (*Q. subgen. Cyclobalanopsis*) の子葉に似る。

・モモ (*Prunus persica* Batsch) バラ科サクラ属

核（内果皮）は炭化しており黒色。やや偏平な広楕円体。完形ならば、長さ1.5～3cm、幅1～1.3cm、厚さ0.8～1cm。破片18個の重量は2.1gで、計2個程度。最大の大きさは16.2mm。1本の明瞭な縦の縫合線が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。頂部はやや尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。内果皮は厚く硬く、表面には縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、全体として粗いしわ状にみえるが、内側表面は平滑で、種子が入る楕円状の窪みがみられる。

4.考察

平安時代の住居跡（H88;No.4）から出土した炭化種実には、栽培種のモモの核が認められた。モモは渡来種とされ、果実や核の中にある種子（仁）などが食用、薬用、祭祀等に広く利用される。栽培種を除いた炭化種実、弥生時代の住居跡（H184;No.3）、平安時代の住居跡（H88;No.4・5、H101;No.6）からオニグルミの核と、平安時代の住居跡（H62;No.1）からコナラ属の子葉が認められた。オニグルミは、川沿いなどの湿潤な肥沃地に生育する落葉高木であり、コナラ属は落葉または常緑高木とがある。コナラ属は、本地域の分布を考慮すると、おそらく落葉高木のミズナラである可能性が高い。これらの出土種実は、遺跡の立地などを考慮すると、遺跡周辺に分布した森林に生育していた樹種に由来すると考えられる。また、オニグルミは核内部の種子が生食可能で、コナラ属は子葉があくばきすれば食用可能な有用植物であることから、いずれも植物質食料として利用されたと考えられる。

III. 動物遺存体

1. 試料

試料は、NME I (No.1~41)、NSDJ (No.42~63)、NWAIV (No.64~83) より出土した動物遺存体83試料である。これらの試料には、土壌ごとに取り上げられた試料や複数点の骨が認められる試料が含まれる。各試料の詳細については、結果と併せて表に示す。

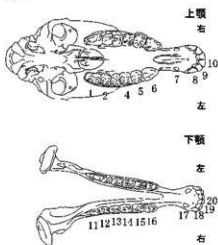
2. 分析方法

試料に付着した砂分や泥分を乾いた筆・竹串、あるいは水に浸した筆で静かに除去する。なお、土壌ごとに取り上げられた試料の中で、保存状態が極めて悪く、骨を抽出すると形質が保てないと判断された試料については、必要最低限の土壌の除去に留めている。また、一部の試料については、一般工作用接着剤を用いて接合する。自然乾燥後、試料を肉眼およびルーペで観察し、その形態的特徴から、種類および部位の特定を行う。

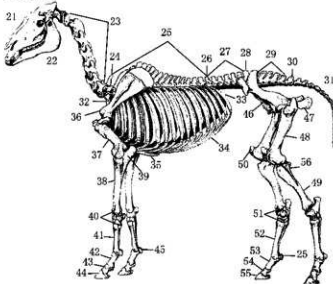
表3. 検出分類群一覧

軟体動物門	Phylum Mollusca
腹足綱	Class Gastropoda
前鰓亞綱	Subclass Prosobranchia
新腹足目	Order Neogastropoda
	アツキガイ科 Family Muricidae
	レイシガイ亜科 Subfamily Rapaninac
	アカニシ Rapana venosa
鳥綱	Class Aves
	鳥類 Ord. et. fam. indet.
哺乳綱	Class Mammalia
サル目(霊長目)	Order Primates
ヒト科	Family Hominidae
ヒト	Homo sapiens
ネズミ目(齧歯目)	Order Rodentia
ネズミ科	Family Muridae
	ネズミ亜科 Subfamily Murinae
	ネズミ Gen. et. sp. indet.
ネコ目(食肉目)	Order Carnivora
ネコ亜目	Suborder Fissipedia
イヌ科	Family Canidae
	イヌ Canis familiaris
ウマ目(奇蹄目)	Order Perissodactyla
ウマ科	Family Equidae
	ウマ Equus caballus
ウシ目(偶蹄目)	Order Artiodactyla
イノシシ科	Family Suidae
イノシシ	Sus scrofa
シカ科	Family Cervidae
	ニホンジカ Cervus nippon
ウシ科	Family Bovidae
	ウシ Bos taurus

頭蓋



全身骨格



1. 上顎第3後臼歯、2. 上顎第2後臼歯、3. 上顎第1後臼歯、4. 上顎第1前臼歯、5. 上顎第3前臼歯、6. 上顎第2前臼歯
7. 上顎犬歯(雄のみ)、8. 上顎第3門歯、9. 上顎第2門歯、10. 上顎第1門歯、11. 下顎第3後臼歯、12. 下顎第2後臼歯
13. 下顎第1後臼歯、14. 下顎第4前臼歯、15. 下顎第3前臼歯、16. 下顎第2前臼歯、17. 下顎犬歯(雄のみ)、
18. 下顎第3門歯、19. 下顎第2門歯、20. 下顎第1門歯、21. 頭蓋、22. 下顎骨、23. 頸椎、24. 第1胸椎、25. 胸椎
26. 最後位胸椎、27. 腰椎、28. 最後位腰椎、29. 仙骨、30. 第1尾椎、31. 尾椎、32. 第一肋骨、33. 最後位肋骨
34. 軟肋骨、35. 剣状軟骨、36. 肩甲骨、37. 上腕骨、38. 橈骨、39. 尺骨、40. 手投げ骨、41. 中手骨、42. 指骨(基節骨)
43. 指骨(中節骨)、44. 指骨(末節骨)、45. 馬蹄骨種子骨、46. 脛骨、47. 坐骨、48. 大腿骨、49. 脛骨、50. 膝蓋骨
51. 足根骨(頭骨・距骨含む)、52. 中足骨、53. 趾骨(基節骨)、54. 趾骨(中節骨)、55. 趾骨(末節骨)、56. 蹠骨

(全身骨格は、加藤・山内, 2003に加筆)

図1. ウマの骨格

3.結果

検出した骨・貝類の分類群を表3、同定結果を表4、骨格各部位の名称の参考を図1に示す。

骨・貝類の同定の結果、アカニシ（殻）、鳥類（四肢骨）、ヒト（頭蓋骨、下顎骨、上腕骨？、大腿骨）、ネズミ類（上腕骨、大腿骨、四肢骨、脛骨）、イヌ（下顎骨）、ウマ（臼歯、門歯、歯牙、下顎骨、上腕骨、桃骨、尺骨、基節骨、寛骨、大腿骨、距骨、踵骨、脛骨、中手骨、中足骨、足根骨、四肢骨）、イノシシ（臼歯）、ニホンジカ（臼歯）、ウシ（臼歯、下顎骨）、ウマ/ウシ（歯牙、四肢骨）、不明獣類などが検出された。以下に、特徴的な試料を説明する。

・H38.骨1 (No.8)

ウマの左下顎骨で、土塊状。第2前臼歯～第3後臼歯が植立する。

・I142.IV区 (No.16)

ウマの左上顎第3後臼歯である。臼歯高44.1mm前後を計る。

・M3.I区 (No.30)

ウマの左第2前臼歯～第1後臼歯、右上顎第3前臼歯～第3後臼歯、歯牙片、四肢骨片である。歯牙片および四肢骨片には、土塊状の試料を含む。臼歯高は、左上顎第3前臼歯が28.2mm、左上顎第1後臼歯が43mm前後、右上顎第3前臼歯が33.7mm前後、右上顎第1後臼歯が43.1mm、右上顎第3後臼歯41mm前後を計る。

・M3.II区 (No.31)

ウマの左上顎第2前臼歯・第4前臼歯～第2後臼歯、右上顎第1門歯、右上顎第2前臼歯～上顎第1後臼歯、左下顎第2前臼歯・下顎臼歯、右下顎第2～3前臼歯、右脛骨である。右脛骨は両端が欠損する。臼歯高は、右上顎第2前臼歯が46.8mm、右上顎第4前臼歯が55.3mm、右上顎第1後臼歯が56.4mmを計る。

・M3.I区 (No.32)

ウマ/ウシの四肢骨片で土塊状。桃骨・尺骨の可能性のある破片がみられる。

・M3.I区 (No.35)

ウシの右下顎骨片、ウマ/ウシの部位不明破片、大型獣類の四肢骨片、獣類の部位不明破片である。いずれも土塊状である。ウシの右下顎骨では、第1後臼歯～第2後臼歯が植立する。

・M4.上層 (No.37)

ウマの右右下顎骨、左下顎第1～3門歯、右下顎第1～2門歯、右下顎第2前臼歯、中手骨/中足骨、四肢骨などが確認される。臼歯高は、右下顎第4前臼歯が28.3mm前後、右下顎第1後臼歯が32.3mm前後を計る。

・NWAIV.M1.No.5-7 (No.57)

ヒトの左大腿骨である。両端が欠損した骨体部と近位端片である。

・NSDJ.M1.No.1 (No.71)

ウマの左脛骨である。骨体部、遠位端片、破片と割れている。

・NSDJ.M1.No.4 (No.74)

ウマの左下顎臼歯である。未萌出歯牙で、第4前臼歯か第1後臼歯の可能性はある。

・NSDJ.M1.No.7-A (No.76)

ウマの右脛骨近位端片、獣類の部位不明破片である。ウマ右脛骨は、近位端幅60mm前後を計る。

・NSDJ.M1.No.7-B (No.77)

ウマの右中心足根骨・第3足根骨・第4足根骨・距骨・踵骨・中足骨である。中足骨は、近位端幅47.3mmを計る。

・NSDJ.M1.No.13 (No.80)

ウマの右下顎第3後臼歯である。臼歯高は、84mm以上を計る。

・NSDJ.M2 (No.82)

イヌの左下顎骨である。第4前臼歯～第2後臼歯までが植立する。

・NSDJ.IV.あ2 (No.83)

ウマの左下顎第2前臼歯である。臼歯高35.4mmを計る。

なお、H85.P6No.1 (No.20)、H89.カマド掘方 (No.21)、XIV1グリッド (No.41)、NSDJ.Ta.3.IV区 (No.69)の獣骨、NWA.IV.H12.カマド (No.43)の鳥類四肢骨は、白色を呈し、表面にひび割れがみられるなど、焼骨の特徴を示す。また、NSDJ.Ta.3.No.2 (No.70)アカニシ殻片も、焼けている。

表4.骨・只類同定結果(1)

No.			時期	種別	部位	左右	部分	数量 (重量)	状態	備考
1	NMR I	H46	I区1層	平安	ニホンシカ 残渣	下顎第1後臼歯	右 破損	1 0.5g		
2	NMR I	H48		奈良	鹿頭	四肢骨	破片	1		
3	NMR I	H48	Volの土の中	奈良	ネズミ頭	上顎骨	左 遠位端	1		
					ネズミ頭	四肢骨	右 遠位端	1		
					ネズミ頭	四肢骨	左 遠位端欠	1		
					ネズミ頭	四肢骨	右 破片	1+		
4	NME I	H13	II区	平安	人堂歌板	四肢骨	破片	3	○	
5	NME I	H43			ウマ	上顎門歯	左 破片	1		
					ウシ	門歯	破片	1		
					ウマ/ウシ	歯牙	破片	15		
6	NME I	H25	カマド	平安	鹿頭	四肢骨	破片	1.6g		
7	NME I	H35	IV	平安	ウマ/ウシ	歯牙	破片	23+		
					鹿頭	不明	破片	1		
8	NMR I	H38	骨1	平安末	ウマ	下顎骨	左 破損	1		I境 P2 M3 植立
9	NMR I	H38	骨2	平安末	ウマ	寛骨	右 破片	1+		I境
10	NME I	H38	骨3	平安末	ウマ/ウシ	四肢骨	破片	1+		I境
11	NME I	H38	骨4	平安末	ウシ	歯牙	破片	9		
12	NME I	H38	骨5	平安末	残渣	不明	破片	5.7g		
13	NME I	H38	II区1層	平安末	ウマ/ウシ	歯牙	破片	10+		土塊
					ウマ/ウシ	歯牙	破片	0.9g		
14	NME I	H38	III区	平安末	ウマ/ウシ	歯牙	破片	24+		
15	NME I	H39	カマド掘方	奈良	鹿頭	四肢骨	破片	1		
16	NME I	H41	II区	平安	ウマ	上顎第3後臼歯	左 破損	1		h44.1mm =
					残渣			0.3g		
17	NMR I	H42	IV区	平安	ウマ	歯牙	破片	8		
18	NMR I	H48	I区	奈良	ウマ	上顎歯牙	破片	1.1g		
					残渣			0.4g		
19	NME I	H48	II区	奈良	ウマ	歯牙	破片	6		
20	NME I	H85	P6No.1	弥生	鹿頭	不明	破片	4	○	
21	NME I	H89	カマド掘方		鹿頭	不明	破片	1	○	
22	NME I	H126	No.11	奈良	人堂歌板	四肢骨	骨体	1		
					人堂歌板	四肢骨	破片	42		
					残渣			53.4g		
23	NME I	H126	No.12	奈良	鹿頭	不明	破片	7		
					残渣			8.8g		
24	NME I	H126	No.13	奈良	ニホンシカ	角	破片	3+		
					残渣			0.9g		
25	NMR I	H126	No.14	奈良	鹿頭	不明	破片	2		I境状
26	NME I	H126	No.15	奈良	人堂歌板	四肢骨	破片	7		
					残渣			21.9g		
27	NME I	H126	III区	奈良	ウシ	上顎第2後門歯	左 破損	1		
					ウシ	上顎門歯	破片	1		
					人堂歌板	下顎骨	破片	3		
					残渣			1.1g		
28	NME I	H169			鹿頭	不明	破片	1+		
29	NME I	H76			鹿頭	不明	破片	1+		土塊
30	NMR I	M3	I区	古代前～中世	ウマ	上顎第2後臼歯	左 破片	1		
					ウマ	上顎第3後臼歯	左 破片	1		h38.2mm
					ウマ	上顎第4後臼歯	左 破片	1		
					ウマ	上顎第1後門歯	左 破損	1		h43mm±
					ウマ	上顎第3後門歯	右 破損	1		h33.7mm±
					ウマ	上顎第4後臼歯	右 破損	1		h43.1mm
					ウマ	上顎第1後臼歯	右 破損	1+		h41mm±
					ウマ	上顎第3後臼歯	右 破片	4		
					ウマ	歯牙	破片	4		
					ウマ	歯牙	破片	1		
					ウマ	四肢骨	破片	21		I境状含む
					残渣			13.7g		

表4.4. 貝類測定結果(2)

No.	種名	産地	時期	種類	部位	左右	部分	数量 (個数)	総量	備考	
31	NME1	M3	I区	古代末~中世	ウマ	上顎第2前歯	左	破片	1		
					ウマ	上顎第1前歯	左	破片	1		
					ウマ	上顎第1後行歯	左	破片	1		
					ウマ	上顎第2後行歯	左	破片	1		
					ウマ	上顎第1門歯	右	破片	1		
					ウマ	上顎第2前歯	右	完存	1		h46.8mm
					ウマ	上顎第3前歯	右	完存	1		
					ウマ	上顎第1前歯	右	完存	1		h55.3mm
					ウマ	上顎第1後行歯	右	完存	1		h56.4mm
					ウマ	下顎第2前歯	左	破損	1		
					ウマ	下顎臼歯	左	破片	1		
					ウマ	下顎第2前歯	右	破損	1		
					ウマ	下顎第3前歯	右	破損	1		
					ウマ	臼歯	右	歯端欠	1		
			残査				32.6g				
32	NME1	M3	I区	古代末~中世	ウマウシ	歯根骨	破片	3+		土塊、横骨1尺骨9の破片有り	
33	NME1	M3	I区	古代末~中世	ウマウシ	歯根骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	歯根骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	歯根骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	歯根骨	破片	1+		土塊	
34	NME1	M3	I区	古代末~中世	ウマ	中足骨	左	破片	1+	土塊	
					ウマウシ	四肢骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	四肢骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	四肢骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	四肢骨	破片	1+		土塊	
					ウマウシ	不明	破片	1+		土塊	
35	NMR1	M3	I区	古代末~中世	ウシ	下顎骨	右	破片	1+	土塊、M1-2継立	
					ウマウシ	不明	破片	1+		土塊	
					大形獣類	歯根骨	破片	1+		土塊	
					獣類	不明	破片	1+		土塊	
					獣類	不明	破片	1+		土塊	
36	NME1	M3	I区	古代末~中世	ウマ	上顎1歯		破片	18+		
					残査			8.2g			
37	NME1	M4	I層		ウマ	下顎骨	左右	破片	1+	右74h=28.3mm L 51h=32.3mm=	
					ウマ	下顎骨		破片	1		
					ウマ	下顎第1門歯	左	破片	1		
					ウマ	下顎第2門歯	左	破片	1		
					ウマ	下顎第3門歯	左	破片	1		
					ウマ	下顎第1門歯	右	破損	1		
					ウマ	下顎第2前歯	右	破損	1		
					ウマ	下顎第3前歯	右	破損	1		
					ウマ	中下骨/中足骨		歯端欠	1		
					ウマ	四肢骨		破片	18		
					ウマ	不明		破片	40		
					残査			28.5g			
38	NME1	M4	No.2		獣類	歯牙	破片	2			
39	NME1	M5	No.3		獣類	不明	破片	43			
					残査			1.5g			
40	NME1	M19			ウマ	上顎1歯	左	破片	2		
					ウマ	歯牙		破片	1		
					獣類	不明	破片	1			
					残査			5.1g			
41	NMF1	F3179+P			獣類	歯牙	破片	1		○	
42	NWAIV	I12	No.7	平安	大形獣類	歯根骨	破片	1		I区	
43	NWAIV	I112	カマド	遺蹟	鳥類	四肢骨	破片	20+		○	
44	NWAIV	I12	平安	ウシ	上顎骨	右	第4前歯、第3後行歯部	1		I区	
45	NWAIV	I12	平安	大形獣類	下顎骨		破片	1		土塊	
46	NWAIV	H5	落車	ウシ	下顎骨	左	第1前歯、第3後行歯部	1		土塊	
47	NWAIV	M1	No.1	古代末~中世	ウマ	中手骨		歯端欠	2		
					獣類	四肢骨		破片	36+		
					獣類	不明		破片	1+	土塊	
					残査			284.9g			
48	NWAIV	M1	No.2	古代末~中世	ウマ	中下骨/中足骨		破片	1+	土塊	
49	NWAIV	M1	No.3	古代末~中世	ウマ	中下骨/中足骨		破片	1	土塊	
50	NWAIV	M1	No.4	古代末~中世	獣類	歯根骨		破片	1	土塊	
51	NWAIV	M1	No.5-1	古代末~中世	ヒト	歯之骨		破片	1		
					ヒト	下顎骨	左	下顎第2後行歯、下顎臼歯	1	土塊	
52	NWAIV	M1	No.5-2	古代末~中世	獣類	不明		破片	1+	土塊	
53	NWAIV	M1	No.5-3	古代末~中世	大形獣類	四肢骨		破片	1+	土塊	
54	NWAIV	M1	No.5-4	古代末~中世	獣類	不明		破片	1+	土塊	
55	NWAIV	M1	No.5-5	古代末~中世	獣類	四肢骨		破片	1+	土塊	
56	NWAIV	M1	No.5-6	古代末~中世	獣類	四肢骨		破片	1+	土塊	
57	NWAIV	M1	No.5-7	古代末~中世	ヒト	大腸骨	左	歯端欠	1+	土塊	
					ヒト	大腸骨	右	歯位端	1		
					残査			1857.2g			
58	NWAIV	M1	No.5-8	古代末~中世	獣類	不明		破片	1+	土塊	
59	NWAIV	M1	No.5-9	古代末~中世	大形獣類	四肢骨		破片	1+	土塊	
60	NWAIV	M1	No.5-10	古代末~中世	獣類	不明		破片	1+	土塊	

h:白歯高 GL:全長 Bp:近位歯幅 Bc:遠位歯幅

表 4. 骨・貝類同定結果 (3)

61	NWAN	M1	No.5-11	古代末~中世	鹿類	不明		破片	1-	土塊
62	NWAN	M1	No.6	古代末~中世	ウマ	肋骨+肩骨	左	近位端	1-	土塊
63	NWAN	M1	No.7	古代末~中世	ウマ?	中骨?/肩骨?		破片	1+	
64	NSDJ	I16	II区		ウマ	肩骨		破片	6	
					残歯				0.8g	
65	NSDJ	Ta2	II区	中世	イノシシ	上顎第3臼歯	左	破片	1	本瀬山歯牙
					残歯				0.2g	
66	NSDJ	Ta2	II区	中世	ウマ	肋骨	左	破片	1+	
67	NSDJ	Ta2	II区	中世	鹿類	肋骨	左	破片	1	
68	NSDJ	Ta2	IV区	中世	ウマ	上顎第3臼歯	右	破片	1	
					残歯				0.1g	
69	NSDJ	Ta3	IV区	中世	鹿類	不明		破片	1	○
70	NSDJ	Ta3	No.2	中世	アカニシ	殻		破片	1-	○
					残歯				6.6g	
71	NSDJ	M1	No.1	古代	ウマ	肋骨	左	骨片	1	
					ウマ	肋骨	左	近位端破片	1	
					ウマ	肋骨	左	破片	8	
					残歯				35.3g	
72	NSDJ	M1	No.2	古代	大型鳥類	肩骨		破片	13	
					残歯				0.3g	
73	NSDJ	M1	No.3	古代	ウマ?	上腕骨	左	破片	1+	
					残歯				1.8g	
74	NSDJ	M1	No.4	古代	ウマ	下顎臼歯	左	破片	1	本瀬山歯牙 J14/M1?
					残歯				0.9g	
75	NSDJ	M1	No.6	古代	ウマ	上顎第3臼歯	左	破片	1	
					残歯				1.2g	
76	NSDJ	M1	No.7A	古代	ウマ	肋骨	右	近位端欠	1-	Bp160mm±
					鹿類	不明		破片	1	上腕
					残歯				83.9g	
77	NSDJ	M1	No.7-B	古代	ウマ	中心線肋骨	右	骨片	1	
					ウマ	第3肋骨	右	破片	1	
					ウマ	第4肋骨	右	骨片	1	
					ウマ	肋骨	右	破片	1	
					ウマ	肋骨	右	破片	1	
					ウマ	中肋骨	右	近位端欠	1	Bp47.3mm
					残歯				67.1g	
78	NSDJ	M1	No.8	古代	ウマ	大腸骨	左	骨片	1	
					ウマ	肋骨	左	破片	1	
					ウマ	後肢長骨	左	近位端破片	1	
					ウマ	四肢骨	左	破片	16+	
					鹿類	不明		破片	1	上腕
					残歯				413.1g	
79	NSDJ	M1	No.12	古代	ウマ	下顎臼歯	左	破片	1-	
					残歯				2.0g	
80	NSDJ	M1	No.13	古代	ウマ	上顎第3臼歯	右	破片	1	h74mm以上
					残歯				0.4g	
81	NSDJ	M1	No.14	古代	鹿類	不明		破片	2	土塊
82	NSDJ	M2			イヌ	上顎骨	左	第4臼歯 第3臼歯	1+	P4-M2 離立
					残歯				4.5g	
83	NSDJ	IV区.2	検出		ウマ	上顎第2臼歯	左	破片	1	h35.4mm

h: 臼歯高 GI: 全長 Bp: 近位端幅 Bc: 遠位端幅

4. 考察

出土骨・貝類の同定の結果、アカニシ、鳥類、ヒト、ネズミ類、イヌ、ウマ、イノシシ、ニホンジカ、ウシ、ウマ/ウシを含む不明獣類などが確認された。

時期別に出土骨の状況(表5)をみると、弥生および古墳時代は、資料が少なく詳細不明である。なお、弥生時代の住居跡(H85;No.20)、古墳時代の住居跡(H12;No.43)から出土した獣類や鳥類などは出土地点と焼けていることからみて、食料としての利用が推定される。

古代~中世の資料は、出土数が多く、アカニシ、ネズミ類、ウマ、イノシシ、ニホンジカ、ウシなどが認められた。アカニシは、北海道南部から台湾、中国沿岸に分布し、水深30m以浅の砂泥底に棲息するとされる(奥谷ほか,2000)ことから、交易などによってもたらされた可能性がある。ネズミ類は、奈良時代の住居跡(H8;No.3)から出土した資料である。上記した弥生および古墳時代の資料と状態が異なるため、食料としての利用については課題が残る。イノシシおよびニホンジカは、歯牙および角が認められた。確認された部位が少ないが、おそらく狩猟の対象となっていたと思われ、食料のほか骨や角などを道具として利用した可能性がある。

表5. 動物遺存体の遺構 / 時代別検出状況 (最小個体数)

		アカニシ	鳥類	ヒト	ネズミ類	イヌ	ウマ	イノシシ	ニホンジカ	ウシ
NME I	住居址	平安	-	-	-	-	2	-	1	1
		奈良	-	-	1	-	1	-	1	1
		弥生	-	-	-	-	-	-	-	-
		不明	-	-	-	-	1	-	-	1
	土坑	不明	-	-	-	-	-	-	-	-
	溝	古代末~中世	-	-	-	-	2	-	-	1
	不明	-	-	-	-	1	-	-	-	
	包含層	不明	-	-	-	-	-	-	-	-
NSDJ	住居址	不明	-	-	-	-	○	-	-	-
	竪穴状遺構	中世	1	-	-	-	1	1	-	-
	溝	古代	-	-	-	-	1	-	-	-
		不明	-	-	-	1	-	-	-	-
		不明	-	-	-	-	○	-	-	-
NWA IV	包含層	平安	-	-	-	-	-	-	-	1
	住居址	占墳	-	1	-	-	-	-	-	-
		弥生	-	-	-	-	-	-	-	○
		古代末~中世	-	-	1	-	1	-	-	-
溝		1	1	1	1	1	10	1	2	5

○:検出

古代~中世の資料で多く認められたウマとウシは、基本的に保存状態が悪く、部位を特定できないものが多かったが、四肢骨が認められることから本来は全身の骨格が存在していた可能性がある。ウマおよびウシの骨は、焼けていない資料が多く、長野県内で確認されているウマの出土骨の状態と類似する傾向が窺える。また、今回出土したウマのうち、西中川ほか(1991)を参考として臼歯高から年齢推定できたものは、H41.Ⅱ区(№.16)、M3.Ⅰ区(№.30)、M3.Ⅱ区(№.31)、M4.上層(№.37)、NSDJ.M1.№.13(№.80)、NSDJ.IV.あ2(№.83)の6個体である。それぞれの推定年齢は、H41.Ⅱ区(№.16)が8~9歳程度、M3.Ⅰ区(№.30)が7~8歳程度、M3.Ⅱ区(№.31)が5~6歳程度、M4.上層(№.37)が13歳程度、NSDJ.M1.№.13(№.80)が3歳前後、NSDJ.IV.あ2(№.83)が7~8歳程度である。H38.骨1(№.8)は第3後臼歯が萌出していることから3.5歳以上とみられる。さらに、NSDJ.M1のウマは、西中川ほか(1991)および林田・山内(1957)を参考に、中足骨、脛骨の計測値から推定すると、成長段階であるが少なくとも体高115cm前後であり、トカラ馬程度の小型馬と推定される。

NWA.IV.M1から出土した人骨は、まとまって出土している状況や頭蓋骨、下顎骨、上腕骨?、左大腿骨が確認されたことから、本来は全身骨格が存在していた可能性がある。性別は、乳様突起が発達しており男性的である。年齢は、頭蓋の矢状縫合の外側が閉じて折らず、内側が閉じかけであることから、熟年(40~59歳)程度と推定される。

IV.X線回折分析

1.試料

試料は、H84 (№1)、H85 (№2、3)、NMEIV.H3 (№4) より出上した赤色顔料4点である。これらの赤色顔料が出土した住居跡は、いずれも弥生時代とされている。

2.分析方法

各試料から採取した赤色物質を、空気乾燥した後、メノウ乳鉢で磨砕した試料をアセトンを用いて無反射試料板に塗布し、測定試料とする。作成したX線回折測定試料について以下の条件で測定を実施する。なお、検出された物質の同定解析は、Materials Data,Inc.のX線回折パターン処理プログラムJADEを用い、該当する化合物または鉱物を検索する。

装置：理学電気製MultiFlex	Divergency Slit：1°
Target：Cu (K α)	Scattering Slit：1°
Monochrometer：Graphite湾曲	Receiving Slit：0.3mm
Voltage：40KV	Scanning Speed：2° /min
Current：40mA	Scanning Mode：連続法
Detector：SC	Sampling Range：0.02°
Calculation Mode：cps	Scanning Range：2~45°

3.結果

X線回折図を図1~4に示す。図中上段は分析に供された試料のX線回折図、下段には検出された鉱物の回折パターンを示した。なお、文中で括弧内に示したものは、X線回折図で同定された鉱物名である。固溶体やポリタイプを有する鉱物については、X線回折試験では正確な同定は困難であるため、最終的な検出鉱物名としては、それらを含むする大分類の鉱物名を使用している。

(1) H84.D1 (№1)

赤色顔料は、赤褐色 (2.5YR4/6) の小塊として土壤中に散在する。本試料では、2.69Å、2.51Å、3.67Åなどにおいて赤鉄鉱 (hematite) に基づく尖度の高い明瞭な回折を認めたほか、石英 (quartz)、斜長石 (灰長石 anorthite)、ハロイサイト (halloysite) を確認した。また、5.75Å、5.03Å、3.51Å、3.02Å、2.28Åにおいて明礬石 (alunite) と考えられる反射が認められた。

(2) H85.ベンガラ№1 (№2)

赤色顔料は、赤色 (10R4/6) 塊として土壤中に散在する。本試料では、2.69Å、2.51Å、3.68Åなどにおいて赤鉄鉱 (hematite) に基づく尖度の高い明瞭な回折を認めたほか、3.51Å、2.37Åにおいて鋭錐石 (anatase) と考えられる反射を確認した。

(3) H85.ベンガラ№2 (№3)

赤色顔料は、暗赤色 (10R3/5) 塊として土壤中に混在する。本試料では、2.69Å、2.51Å、3.67Åなどにおいて赤鉄鉱 (hematite) に基づく尖度の高い明瞭な回折を認めたほか、石英 (quartz)、斜長石 (灰長石 anorthite) を確認した。

(4) NMEIV.H3.床下 (№4)

赤色顔料は、赤色 (10R4/6) 粒として土壤中に点在する。本試料では、2.69Å、2.51Å、3.67Åなどにおいて赤鉄鉱 (hematite) に基づく尖度の高い明瞭な回折を認めたほか、石英 (quartz)、斜長石 (灰長石 anorthite) を確認した。

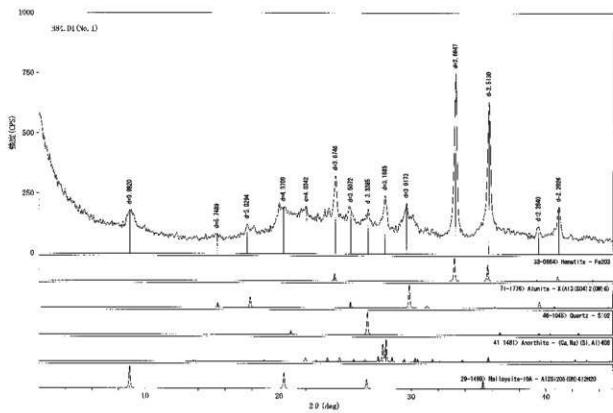


図2. X線回折図(1)

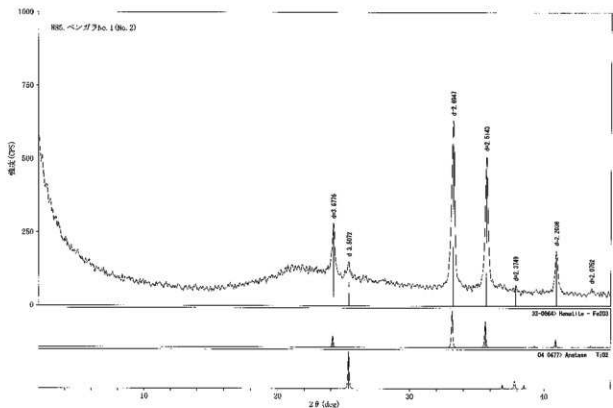


図3. X線回折図(2)

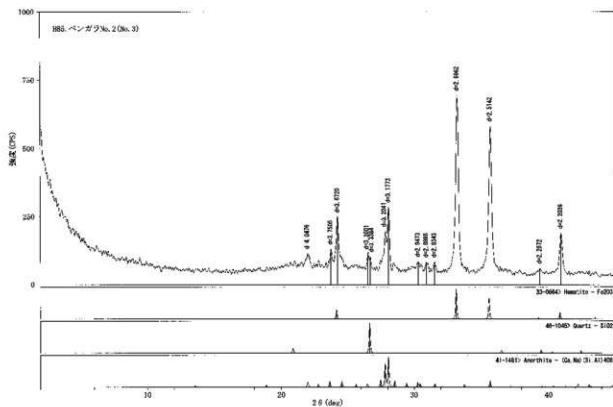


図4. X線回折図 (3)

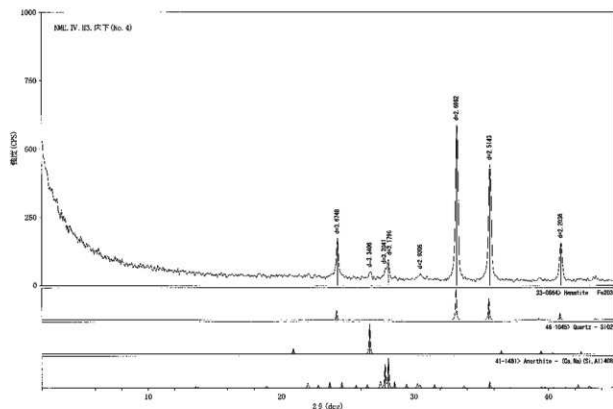


図5. X線回折図 (4)

4.考察

赤色を呈する代表的な顔料鉱物にはベンガラ(赤鉄鉱;hematite [α -Fe₂O₃])のほか、水銀朱(辰砂;cinnabar [HgS])、鉛丹(鉛丹;minium [Pb₃O₄])などがあるが、今回分析に供された試料には赤鉄鉱を確認した。水銀朱など他の顔料鉱物は認められなかったことから、これらの赤色顔料は「狭義のベンガラ」と判断される。

ベンガラには天然の赤鉄鉱を利用する場合のほか、含水水酸化鉄を焼成して得られる赤鉄鉱を利用する場合がある。また、赤鉄鉱にはパイプ状構造をなすものと、非パイプ状(塊状、球状、不定形など)構造のものがあり、前者については沼沢地などにおいて鉄バクテリアが生成する含水水酸化鉄が産物であることが判明している(岡田,1997;織藤・沢田,1997)。今後、確認されたベンガラについて、電子顕微鏡など利用してパイプ状構造の有無を観察することも有益と考える。

また、今回の調査では、赤鉄鉱以外にH84.D1 (No.1)では明礬石を、H85.ベンガラNo.1 (No.2)では鋭錐石を示唆する反射を認めた。これらの随伴鉱物からベンガラの由来を推し量ることは難しいが、明礬石などの硫酸塩鉱物は熱水変質の中でも酸性変質帯においてしばしば見られる鉱物であるため、ベンガラの由来を検討する上で注目される。

引用文献

- 林 昭三,1991.日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
林田重幸・山内忠平,1957.馬における骨長より体高の推定法.鹿児島大学農学部学術報告6.鹿児島大学農学部,146-156.
石川茂雄,1994.原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.
伊東隆夫,1995.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料,31.京都大学木質科学研究所,81-181.
伊東隆夫,1996.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料,32.京都大学木質科学研究所,66-176.
伊東隆夫,1997.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料,33.京都大学木質科学研究所,83-201.
伊東隆夫,1998.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料,34.京都大学木質科学研究所,30-166.
伊東隆夫,1999.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料,35.京都大学木質科学研究所,47-216.
株式会社古環境研究所,2001.榛名平遺跡出土木材の樹種同定.榛名平・坪の内遺跡群 榛名平遺跡 第IV分冊 中世・近世編 長野県佐久市根岸榛名平遺跡発掘調査報告書,佐久市埋蔵文化財調査報告書第84集,305-322.
株式会社古環境研究所,2003.西一本柳遺跡VIIIにおける自然科学分析.一本柳遺跡群 西一本柳遺跡VIII.佐久市埋蔵文化財調査報告書第109集,佐久市・佐久市教育委員会,1-20.
加藤嘉太郎・山内昭三,2003.新編 家畜比較解剖図説 上巻.養賢堂,315p.
中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2000.日本植物種子図鑑.東北大学出版会,642p.
西中川 駿・本田道輝・松元光春,1991.古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究.平成2年度文部省科学研究費補助金(一般研究B)研究成果報告書,99p.
岡田文男,1997.パイプ状ベンガラ粒子の復元.日本文化財学会第14回大会研究発表要旨集,38-39.
奥谷喬司・窪寺恒己・黒住耐二・斎藤 寛・佐々木猛智・上田英治・土屋光太郎・長谷川和範・濱谷 巖・速水 格・堀 成夫・松隈明彦,2000.日本近海産貝類図鑑.奥谷喬司編.東海大学出版会,1173p.
織藤順子・沢田 正昭,1997.酸化鉄系赤色顔料の基礎的研究.日本文化財学会第14回大会研究発表要旨集,76-77.
バリノ・サーヴェイ株式会社,1995.第1号住居址出土の炭化材の樹種.三子塚遺跡群 十石坂上遺跡 一長野県小諸市十石坂上遺跡発掘調査報告書一.小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書第24集.小諸市教育委員会,12-13.
バリノ・サーヴェイ株式会社,2005.聖原遺跡の自然科学分析報告書.長土遺跡群 聖原 長野県佐久市浅間山

麓田切台地上における巨人古代集落遺跡の調査 第5分冊,佐久市埋蔵文化財調査報告書第126集,佐久市土地開発公社・佐久市教育委員会,140-206.

Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E. (編).2006.針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘 (日本語版監修),海青社,70p. [Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E.(2004)IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification] .

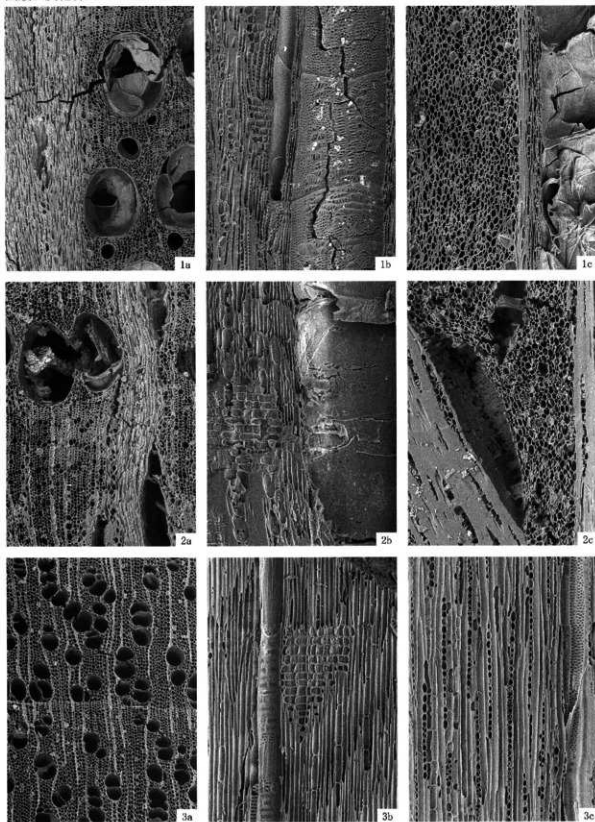
島地 謙・伊東隆夫,1982.図説木材組織,地球社,176p.

鈴木尉元,1986.高崎炭田,日本の地質3 関東地方,共立出版,246.

渡辺 誠,1975.縄文時代の植物食,雄山閣出版,187p.

Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編).1998.広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩 (日本語版監修),海青社,122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E.(1989)IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification] .

図版1 炭化材

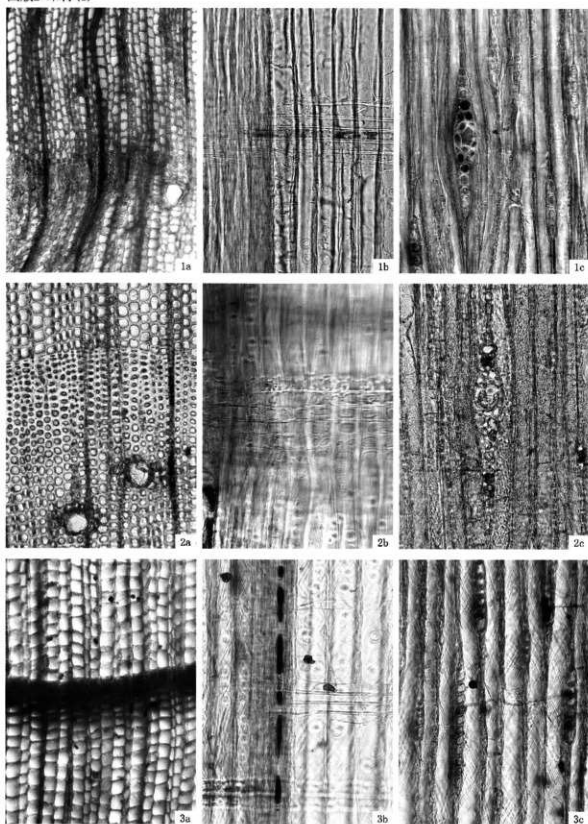


1. コナラ属コナラ亜属クヌギ節 (H38, II区; No. 1)
 2. コナラ属コナラ亜属コナラ節 (OT17, 主体部; No. 4)
 3. イイギリ (H141, IV区; No. 3)
 a: 木口, b: 柃目, c: 板目

200 μ m: a

200 μ m: b, c

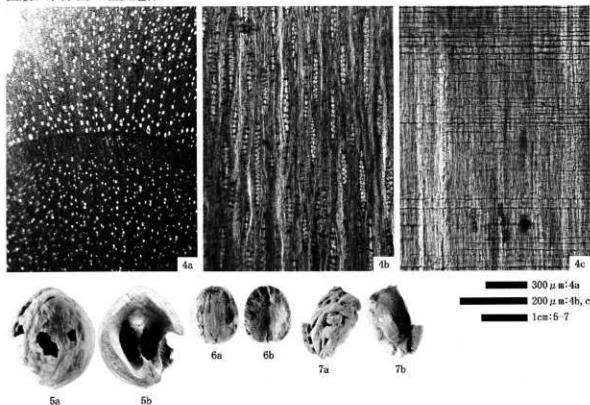
図版2 木材(1)



1. カラマツ (NSDJ, D6, 井戸; No. 12)
 2. マツ属複雑管束亜属 (D117; No. 5大)
 3. サワラ (NSDJ, D6, 井戸; No. 9)
 a: 木口, b: 径目, c: 板目

200 μ m: a
 100 μ m: b, c

図版3 木材(2)・種実遺体



4. イボタノキ属 (NSDJ. D6. 井戸底; No. 7)

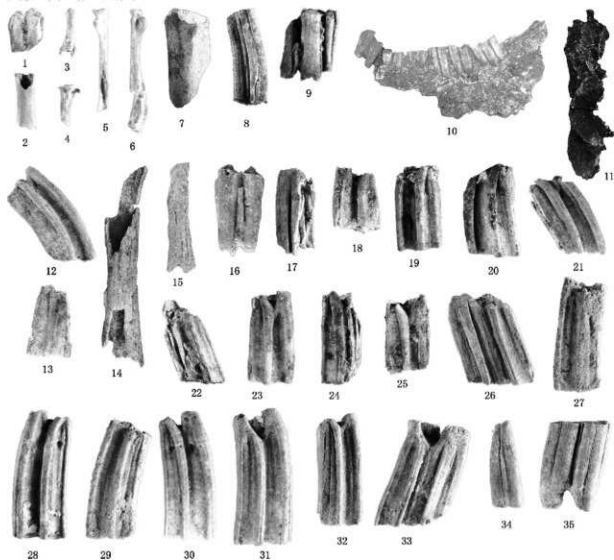
a: 木口, b: 径目, c: 板目

5. オニグルミ 核 (I88. IV区; No. 5)

6. コナラ属 子葉 (I62. No. 9; No. 1)

7. モモ 核 (I88. No. 1; No. 4)

図版4 出土骨・貝類(1)

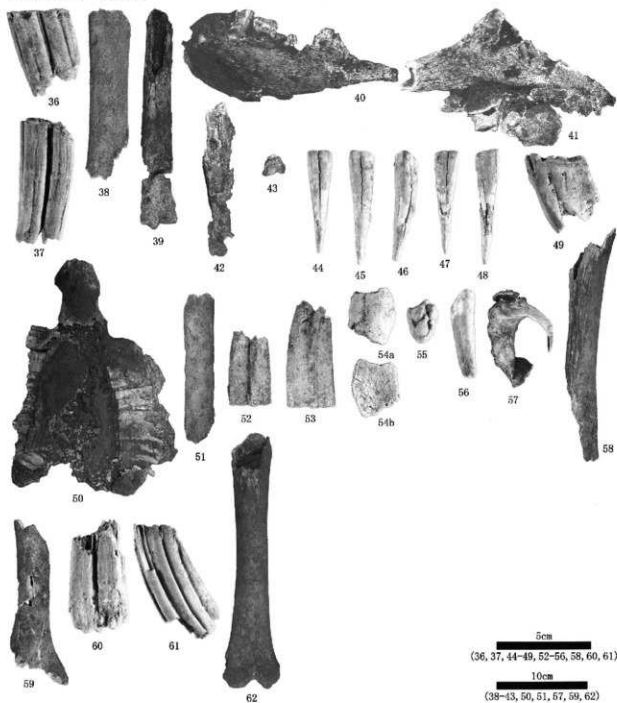


5cm 2cm 10cm
 (1, 2, 7-9, 12, 13, 16-35) (3-6) (10, 11, 14, 15)

1. ニホンジカ右下顎第1後臼歯(H6. 1区1層;No. 1)
3. ネズミ類左上腕骨(H8. No. 1の土の中;No. 3)
5. ネズミ類左脛骨(H8. No. 1の土の中;No. 3)
7. 大型獣類四肢骨(H13. II区;No. 4)
9. ウシ臼歯(H23;No. 5)
11. ウマ右寛骨(H38. 骨2;No. 9)
13. ウマ上顎歯牙(H48. I区;No. 18)
15. ニホンジカ角(H126. No. 13;No. 24)
17. ウマ左上顎第2前臼歯(M3. I区;No. 30)
19. ウマ左上顎第4前臼歯(M3. I区;No. 30)
21. ウマ右上顎第3後臼歯(M3. I区;No. 30)
23. ウマ右上顎第1後臼歯(M3. I区;No. 30)
25. ウマ右上顎第3前臼歯(M3. I区;No. 30)
27. ウマ左上顎第4前臼歯(M3. II区;No. 31)
29. ウマ左上顎第2後臼歯(M3. II区;No. 31)
31. ウマ右上顎第4前臼歯(M3. II区;No. 31)
33. ウマ右上顎第2前臼歯(M3. II区;No. 31)
35. ウマ左下顎第2前臼歯(M3. II区;No. 31)

2. 獣類四肢骨(H8. II区;No. 2)
4. ネズミ類大脳骨(H8. No. 1の土の中;No. 3)
6. ネズミ類右脛骨(H8. No. 1の土の中;No. 3)
8. ウマ左上顎臼歯(H23;No. 5)
10. ウマ左下顎骨(H38. 骨1;No. 8)
12. ウマ左上顎第3後臼歯(H41. II区;No. 16)
14. 大型獣類四肢骨(H126. No. 11;No. 22)
16. ウシ左下顎第2後臼歯(H126. II区;No. 27)
18. ウマ左上顎第3前臼歯(M3. I区;No. 30)
20. ウマ左上顎第1後臼歯(M3. I区;No. 30)
22. ウマ右上顎第2後臼歯(M3. I区;No. 30)
24. ウマ右上顎第4前臼歯(M3. I区;No. 30)
26. ウマ左上顎第2前臼歯(M3. II区;No. 31)
28. ウマ左上顎第1後臼歯(M3. II区;No. 31)
30. ウマ右上顎第1後臼歯(M3. II区;No. 31)
32. ウマ右上顎第3前臼歯(M3. II区;No. 31)
34. ウマ右上顎第1門歯(M3. II区;No. 31)

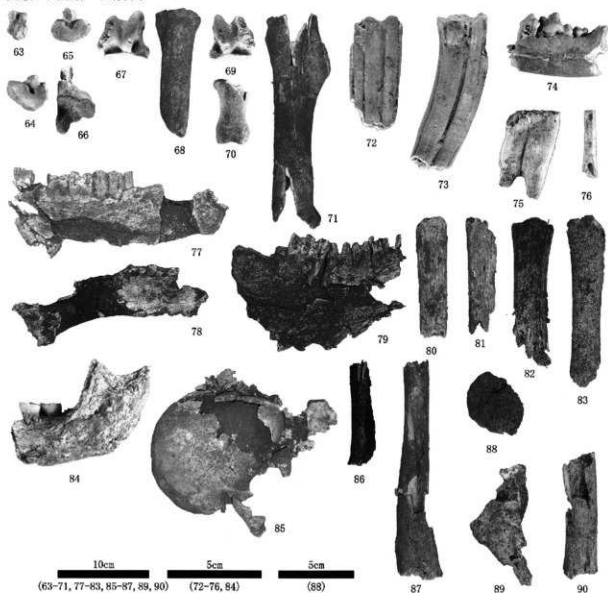
図版5 出土骨・貝類(2)



36. ウマ右下顎第2前臼歯(M3. II区;No. 31)
 38. ウマ右脛骨(M3. II区;No. 31)
 40. ウシ右下顎骨(M3. I区;No. 35)
 42. 大型獣類四肢骨(M3. I区;No. 35)
 44. ウマ左下顎第1門歯(M4. 上層;No. 37)
 46. ウマ左下顎第3門歯(M4. 上層;No. 37)
 48. ウマ右下顎第2門歯(M4. 上層;No. 37)
 50. ウマ左右下顎骨(M4. 上層;No. 37)
 52. ウマ歯牙(M19;No. 40)
 54. 獣類頭蓋骨?(XIV1グリッド;No. 41)
 56. ウマ右下顎第3門歯(NSDJ. Ta2. IV区;No. 68)
 58. ウマ左脛骨(NSDJ. M1. No. 1;No. 71)
 60. ウマ左下顎臼歯(NSDJ. M1. No. 4;No. 74)
 62. ウマ右脛骨(NSDJ. M1. No. 7-A;No. 76)

37. ウマ右下顎第3前臼歯(M3. II区;No. 31)
 39. ウマ左中足骨(M3. I区;No. 34)
 41. ウマ/ウシ不明(M3. I区;No. 35)
 43. 獣類不明(M3. I区;No. 35)
 45. ウマ左下顎第2門歯(M4. 上層;No. 37)
 47. ウマ右下顎第1門歯(M4. 上層;No. 37)
 49. ウマ右下顎第2前臼歯(M4. 上層;No. 37)
 51. ウマ中手骨/中足骨(M4. 上層;No. 37)
 53. ウマ歯牙(M19;No. 40)
 55. イノシシ左上顎第3後臼歯(NSDJ. Ta2. I区;No. 65)
 57. アカニシ殻(NSDJ. Ta3. No. 2;No. 70)
 59. ウマ?左上脛骨(NSDJ. M1. No. 3;No. 73)
 61. ウマ左下顎第3後臼歯(NSDJ. M1. No. 6;No. 75)

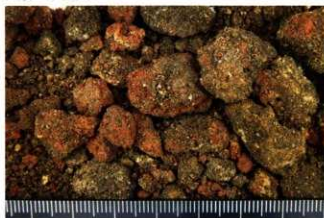
図版6 出土骨・貝類(3)



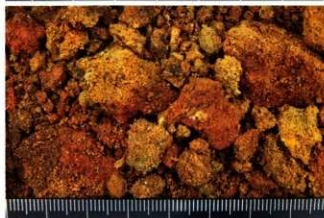
63. ウマ右第4足根骨(NSDJ. M1. No. 7-B; No. 77)
 65. ウマ右第3足根骨(NSDJ. M1. No. 7-B; No. 77)
 67. ウマ右距骨(NSDJ. M1. No. 7-B; No. 77)
 69. ウマ左距骨(NSDJ. M1. No. 8; No. 78)
 71. ウマ左大腿骨(NSDJ. M1. No. 8; No. 78)
 73. ウマ右下顎第3後臼歯(NSDJ. M1. No. 13; No. 80)
 75. ウマ左下顎第2前臼歯(NSDJ. IVあ2. 検出; No. 83)
 77. ウシ右下顎骨(NWAIV. H2. No. 6; No. 44)
 79. ウシ左下顎骨(NWAIV. H5; No. 46)
 81. ウマ中手骨(NWAIV. M1. No. 1; No. 47)
 83. ウマ中手骨/中足骨(NWAIV. M1. No. 3; No. 49)
 85. ヒト頭蓋骨(NWAIV. M1. No. 5-1; No. 51)
 87. ヒト左大腿骨(NWAIV. M1. No. 5-7; No. 57)
 89. ウマ左橈骨+尺骨(NWAIV. M1. No. 6; No. 62)

64. ウマ右中心足根骨(NSDJ. M1. No. 7-B; No. 77)
 66. ウマ右踵骨(NSDJ. M1. No. 7-B; No. 77)
 68. ウマ右中足骨(NSDJ. M1. No. 7-B; No. 77)
 70. ウマ左後肢基節骨(NSDJ. M1. No. 8; No. 78)
 72. ウマ左下顎臼歯(NSDJ. M1. No. 12; No. 79)
 74. イヌ左下顎骨(NSDJ. M2. ; No. 82)
 76. 鳥類四肢骨(NWAIV. H12. カマド; No. 43)
 78. 大型獣類下顎骨(NWAIV. H2; No. 45)
 80. ウマ中手骨(NWAIV. M1. No. 1; No. 47)
 82. ウマ中手骨/中足骨(NWAIV. M1. No. 2; No. 48)
 84. ヒト左下顎骨(NWAIV. M1. No. 5-1; No. 51)
 86. ヒト?上腕骨? (NWAIV. M1. No. 5-3; No. 53)
 88. ヒト左大腿骨(NWAIV. M1. No. 5-7; No. 57)
 90. ウマ?中手骨/中足骨?(NWAIV. M1. No. 7; No. 63)

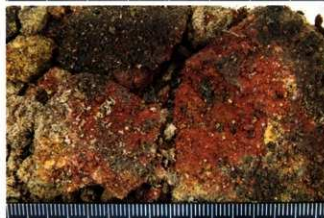
図版7 赤色顔料



1. H84. D1 (No. 1)



2. H85. ベンガラNo. 1 (No. 2)



3. H85. ベンガラNo. 2 (No. 3)



4. NWA. IV. H3. 床下 (No. 4)

第Ⅸ章 まとめ

本章では調査のまとめとして成果と今後の課題について触れてみたい。しかし、今回報告した範囲は道路や公園部分といった線の部分であり、調査された遺跡の全容については、後日報告される区画整理の面部分に委ねられる。よって本稿まとめは調査途中の予稿として位置づけいただきたい。

触れる部分は弥生時代後期の集落と墓域、特に方形周溝墓と円形周溝墓についてである。今回の調査では全長 500m 以上の長さで南北に発掘調査が行われた。この中で弥生後期の箱清水式期の集落が海拔 710m 前後にまとまって検出されている。住居址は 34 軒以上で重複が認められるため 2 時期か或いは、3 時期の区分が想定される。また、この集落をはさみ囲むように周溝墓・土坑墓・土器墓・木棺墓といった異なる形態の墓が展開しており、特に周溝墓は右の図にも示したとおり、いわゆる土橋を持つもの、持たないものなどバラエティーに富む。

また、主体部についても規模に関係なく小型の周溝墓でも主体部を持ち、なおかつ本報告書にも記載された OT17 号周溝墓はガラス小玉やヒスイの玉、螺旋の鉄釧が副葬されていた。これとは対照的に、今回調査された周溝墓の内、最大の規模 14m を測る OT25 号周溝墓は大型土坑墓を主体部とするが、小型の土器群と鉄釧片が埋め土上層より出土したのみで玉類等の副葬は見られなかった。

このような形態や副葬の差異は何かの理由で生じるのか考えてみたい。

そのためには、まず佐久平においての周溝墓のありようを確認した上で本遺跡の例が他の遺跡と比較するとどのような特徴があるのか整理してみたい。

佐久地域で発掘調査された最初の周溝墓は昭和 51 年に行われた後沢遺跡の方形周溝墓 3 例である。昭和 39 年、東京都津木向原遺跡で初めて「方形周溝墓」が発見・命名されてから 12 年後のことである。以後、今日に至るまで地域内で数多くの検出例が報告されている。それらをまとめたものが次頁の表である。現在、報告がなされているものは 52 例を数える。ただ、近年の地域内で行われている中部横断道建設に伴う発掘調査でも北部の近津遺跡群や周防畑遺跡群、また蓼科山丘陵先端の竹田峯遺跡などで数多くの周溝墓が発見されており、実数は今回の検出例も含めると



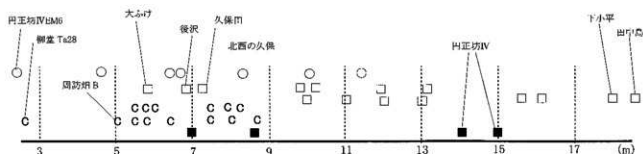
第303図 宮の前遺跡 I・II 弥生遺構配置図

佐久地域周溝益検出一覧表

No.	遺跡名	遺構名	規模	形態	土質	主体部	出土遺物	時期・備考	立地		
1	五里田遺跡	EM1	7.6×5.2	二重円形	C	あり	柴粒・土器片		藤川段丘上		
2		EM2	6.5	円形	C	あり	土坑	銅鏡7点			
3		EM3	7.4×6.4	円形	C	あり	土坑	柴粒・土器片			
4		EM4						柴粒・土器片			
5		HM1		方形	■	あり		輪瀝水式土器			
6	遺路遺跡Ⅱ	SM1	10m前後	方形	□	中央	箱瀝水式土器		山切先端		
7		SM2		四隅方形	■	あり	箱瀝水式土器・壺				
8	西・本御遺跡Ⅰ	SM1	85.9M	円形	C	なし	輪瀝水式土器・高杯		田切台地		
9		SM4	8.2×8.6	四隅方形	■	あり	青田式壺	弥生後期前半			
10		SM1	9.7×9.5	円形	○	不明					
11		SM2	5.1×6.6	円形	○	不明					
12		SM3	14.0×14.0	四隅方形	■	あり	箱瀝水式・壺・甕	弥生後期			
13		SM4		円形	○						
14		SM5		円形	○						
15		SM6		円形	○						
16		SM7									
17		SM8									
18		円正坊遺跡Ⅳ	SM9	8.0×7.3	円形	C	あり				田切台地
19			SM10	8.8×5.5	円形	○					
20			SM11	15.2×14.9	四隅方形	■		箱瀝水式・鉢・甕		弥生後期	
21			EM1	6.4×6.1	円形	○	無し				
22	EM3			円形?	○						
23	EM4		4.5×4.5	方形?	□	-					
24	EM5			円形?	○						
25	EM6		2.5×1.9	円形	○						
26	FM7										
27	円正坊遺跡Ⅲ	OT1	8.2	円形	C	あり	輪瀝水式高杯・壺	弥生後期	田切台地		
28	北西の久保	1号方形基	7.0	四隅方形	■	あり					
29	上木戸遺跡	OT1	5.3×3.1	円形	C	あり	土坑	箱瀝水式壺・分小玉	後期前半	田切台地	
30	柳堂遺跡	OM1	5.8	円形	C	あり			田切台地		
31		OM2	5.7	円形	C	あり					
32		Ta28	2.7	円形	C	あり					
33	周防御遺跡Ⅱ	1号円溝	6.0	円形	C	あり	箱瀝水式壺	後期	田切先端		
34		2号円溝	5.0	円形	C	あり	七坑	箱瀝水式・壺・高杯			
35	下小平遺跡	HM1	12.2×11.4	方形	□	あり		古墳前期	藤川段丘上		
36		HM2	18.6	方形	□	あり		壺・高杯			
37	後沢遺跡	HM1	10.5	□	あり			後期後半	藤科丘陵先端		
38		HM2	12.0	□	あり			後期後半			
39		HM3	7.0	□	あり			後期後半			
40	竹田峯遺跡	2号円溝	8.0	円形	C	あり	鉢・付付甕		藤科丘陵先端		
41		3号円溝									
42	横心平遺跡	1号方基	13.2	方形	□	あり		古墳前期	藤科丘陵先端		
43	石階築址群Ⅱ	1号方基	11.5×10.3	方形	□	あり	土師器壺	古墳前期	藤科丘陵先端		
44	田中島遺跡	1号方基	19.3×16.6	方形	□	あり	赤彩高杯	弥生末～古墳前期	千曲川西岸段丘		
45		2号方基	15.7	方形	□	-	赤彩壺	弥生末～古墳前期			
46		3号方基	16.3	方形	□	-	なし	弥生末～古墳前期			
47		4号方基		方形	□	あり	赤彩高杯	弥生末～古墳前期			
48	大ふけ遺跡	円形周溝Ⅱ	4.7×3.5	円形	○	-		弥生末～古墳前期	千曲川西岸段丘		
49		方形周溝Ⅱ	5.8×5.6	方形	□	あり	赤彩壺・高杯	弥生末～古墳前期			
50		1号方基	10×10	方形	□	あり	S字埴・高杯脚・甕	弥生後期～末			
51	久保田遺跡	2号方基	13×10	方形	□	あり	東海高杯脚	弥生後期～末	千曲川西岸段丘		
52		3号方基	7.2×7.2	方形	□	あり	高杯脚	弥生後期～末			

現在、報告書が刊行されているものについての集計であり、近年の中部横断道調査の実績は反映されていない。中澤横断道調査で佐久北部地区の周溝・西近津・近津遺跡では約39基の円溝が調査されている。

- 四隅の切れる方形周溝墓 ○ 全周の円形周溝墓
□ 土橋をもつ方形周溝墓 ● 土橋をもつ円形周溝墓



第304図 周溝墓形態別規模比較

100例に近い数となるようである。そのため今回の分析結果が大きく修正になる可能性もあるが、現状での事実把握も必要と考え上記の図を示す。この図は地域内で検出された周溝墓についてほぼ規模と形態が把握できる資料について規模と形態で比較し見たものである。まずこの図より読み取れる事は以下の点である。

1. 土橋をもつ円形周溝墓は周溝墓全体では規模的に小型のものが多く、径5～9mの範囲にほぼ収まる。
2. 全周の円形周溝墓は径11m内外よりも小さいが、規模は個体差が大きい。
3. 四隅の切れる方形周溝墓は小型（7～9m）クラスと大型（14～16m）クラスに分かれる。
4. 土橋を持つ方形周溝墓は小型（7m前後）と中型（10～13m）、大型（16m以上）の3ランクに分かれる。

次に出土遺物との関係は、

5. 土橋をもつ方形周溝墓は周溝内から供献用と考えられる土器の出土が多く、所産時期は弥生末から古墳前期に比定されるものが多い。主体部が検出されたものは無い。
6. 土橋をもつ円形周溝墓は周溝内からの土器の出土がほとんど無いものと、多量に出土するものがあり、主体部が検出される比率が高い。
7. 四隅の切れる方形周溝墓には弥生後期前半の古田式に比定されるものがある。
8. いずれの周溝墓も弥生中期（栗林式）や古墳時代中期のものは出土していない。ただ、五里田遺跡については中期の集落内に周溝墓が構築されているため混入と考えられる。

次に立地との関係は、

9. 土橋をもつ方形周溝墓で時期が弥生末～古墳前期に比定される周溝墓は河川の河岸段丘上か丘陵端等に立地する。また、これらの方形周溝墓は同時期かやや先行する時期の住居と重複関係にあるものが多い。
10. 円形周溝墓は田切台地やまたその末端に立地し、同時期の集落とはある程度の距離感をもって立地している。

以上のような様子が読み取れるのではないだろうか。

これらを要約すると、佐久地域の周溝墓は、造営時期が弥生後期を中心に一部古墳前期まで造られる。また、四隅の切れる方形周溝墓は弥生後期前半の吉山期に地域内に導入され、円形周溝墓と混在しながら構築されている。では、このような佐久地域の周溝墓の特徴を踏まえて、今回、当遺跡で検出された周溝墓はいかなる位置づけができるのであろうか。今回の調査では周溝墓が20基以上検出された。形態としては、全周の円形周溝墓・土橋をもつ円形周溝墓・四隅の切れる方形周溝墓がある。全周する方形周溝墓は確認されなかった。ただ、土橋をもつ円形周溝墓の内、当地域では初見と思われる四隅の切れるタイプのものが発見され注目される。これらは今回の報告分以外のものも含まれるため規模や時期について詳細には触れないが、規模等は上述した結果に沿うようである。また、出土遺物についても弥生後期が上流で、弥生中期や古墳前期のものは出土していない為、周溝墓群の時期は弥生後期と考えられる。また、集落の住居址との重複関係も見られない。ただ、周溝墓群が集落の北側と南側と田切末端の3か所に分かれて立地しているため、すべての墓域が今回調査された集落址に対応するのではなく、周辺地域に広がる弥生後期集落の墓域とも推定できる。このように、今回発見された周溝墓群も既存の調査例を踏襲するものと考えられるが、唯一異なるのであれば、先に触れた初見と思われる形態の円形周溝墓についてである。最後にそのことに触れてまとめたい。

今回、4か所の土橋を持つ円形周溝墓が発見された。典型的なものは最大の方形周溝墓のとなりのOT28号周溝墓で、ほぼ均等に円形の溝を四等分している。この形態はいままで長野県内で似た形態としてほぼ全容が把握できるものとして、長野市篠ノ井遺跡群聖川遺跡が知られるのみのものである。佐久地域では現在までにこのような形態は初例で、円形周溝墓は1か所か2か所の土橋をもつか全周するものがほとんどである。土橋が均等に配置されることから、四隅の切れる方形周溝墓の影響で形態が成立したと推定できる。

この推定が正しいとすると、当地域における円形周溝墓と方形周溝墓の導入時の関係が推測できる。まず、現状で四隅の切れる方形周溝墓は、西一木柳遺跡IXSM4や北西の久保遺跡1号方形周溝墓など、当地域においては後期前半でも早い段階の吉山式期に比定されるものが確認されている。これに対して、円形周溝墓は河防畑B遺跡2号周溝墓が後期中葉という年代が与えられ、千曲川流域内でも最古例の一つとして位置づけられている。とすると、佐久地域では溝で埋葬主体部を区画する周溝墓について、方形周溝墓が弥生後期の草創として早く導入され、その後に円形周溝墓が採用され一般的な墓制として広く普及していったことが考えられる。このことは、今一步想像をたくましくすれば河防畑B遺跡に代表される所謂「小規模不定形円形周溝墓」については佐久地域が県内では初現と考えられないであろうか。現状の認識として、関東地方において東京湾沿岸を中心に四隅の切れる方形周溝墓は中期後半の宮ノ台期に盛行する。お隣の群馬県側の資料でも四隅の切れる方形周溝墓は弥生中期後半の例がある。尚且つ、中期にさかのぼる円形周溝墓の存在も指摘されている。弥生中期後半の粟林期以来互いに交流し影響しあった群馬地域と佐久地域において、在来の木棺墓や竪穴墓を溝で区画するという新たな要素を加えた墓「円形周溝墓」を創設したと想像したい。

従来より円形周溝墓の系譜と出現について、その系譜を瀬戸内方面に求め、伝播ルートを日本海側にもとめる見解も提示されている。今回は発見された円形周溝墓と方形周溝墓から地域内で「創設」の可能性を提示してみたが、このことは現状ではあくまでも想像の域を出ない。今後、未調査部分の発掘がなされ、報告される区画部分の報告書の中で発見された周溝墓群の個々の形態や築造順序などより詳細な解析が進めば、今回の「想像」の方向性も見えてくるのではないだろうか。

しかし、現状で言える確かなことは今回の調査事例は中部横断道関係で発見されている周溝墓の調査例も含め、今後の佐久地域はもちろん千曲川流域での周溝墓、特に「円形周溝墓」の理解に貴重な資料を提示したことは間違いないであろう。以上、雑戯であるがまとめたい。

引用・参考文献

1. 1996『関東地方の方形周溝墓』 山岸良二編 同成社
群馬県側の周溝墓については第2部 第七章 群馬県の方形周溝墓を参考とした。
2. 1993『長野県考古学誌』69.70 科野区画墓・墳丘墓における円と方(メモ) 青木一男
3. 1991『長野県考古学誌』63 千曲川流域の周溝墓堂書 青木一男
4. 1966『大星山古墳群・北平1号墳』上行越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 7
第2章 5.「まとめ」の中で青木一男氏により「円形周溝墓の系譜」について述べられている。

巻名	周防畑遺跡群 若宮遺跡Ⅳ 道常遺跡 南近津遺跡Ⅲ 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ
ふりがな	すぼうばたいせきぐん わかみやいせきよん どうじょういせき みなみちかついせきさん みやのまえいせきいち・に
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第198集
編著者名	富沢 一明
編集・発行機関	佐久市教育委員会 社会教育部 文化財課
発行年月日	2012.10
郵便番号	385-0006
電話番号	0267-68-7321
住所	長野県佐久市志賀5953
遺跡名	周防畑遺跡群 若宮遺跡Ⅳ 道常遺跡 南近津遺跡Ⅲ 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ
遺跡所在地	佐久市長十呂1281-1外
遺跡番号	佐久市
北緯	36-17-02.9628
東経	138-27-39.9757
調査期間	若宮遺跡Ⅳ 平成21年10月13日～12月22日 (現場) 道常遺跡 平成21年9月30日～12月24日 (現場) 南近津遺跡Ⅲ 平成21年7月28日～10月30日 (現場) 宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ 平成22年5月17日～平成23年12月12日 (現場) 平成21・22・23年度 (整理作業)
調査面積	12,086.5㎡
調査原因	都市再生整備計画事業
種別	集落址
主な時代	弥生後期・古墳後期・奈良・平安・中世
主な遺構	竪穴住居址・竪穴状遺構 192 (弥生後期・古墳後期・奈良・平安・中世) 掘立柱建物址 56 土坑 183 溝状遺構 47 周溝墓 14
主な遺物	弥生土器 (箱清水式・二軒屋式)、奈良・三彩、緑釉陶器、灰釉陶器 土師器、須志器、石器類 (石鏃・打製石斧・紡錘車・臼・叩き石・砥石) 鉄製品 (鉄釧・鎌・鍬・刀子・斧・釘・馬具)、古銭 ガラス小玉、翡翠丸玉
特記事項	今回の調査でも周辺部の遺跡と同じく「大井」の墨書や刻書が出土し、土師器坏の見込み部に暗文で書かれた「令」の文字や瓦等が出土し注目される。また、弥生後期の集落に按じて墓域が確認され、四隅の切れる方形周溝墓や円形周溝墓とともに、土坑墓や土器棺墓が混在する墓域の形成がみられ、墓制の多様性が注目される。

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第198集

厩防畑遺跡群

若宮遺跡Ⅳ、道常遺跡、

南近津遺跡Ⅲ、宮の前遺跡Ⅰ・Ⅱ

2012年10月

編集・発行 長野県佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市中込3056

社会教育部 文化財課

〒385-0006 長野県佐久市志賀5953

TEL 0267-68-7321

FAX 0267-68-7323

印刷所 キクハラインク有限公司

